建築と社會

11

十一月號

第二十輯第十一號・昭和十二年十一月一日

日本建築協會



神戸瓦斯株式會社

設計　渡邊節建築事務所殿
施工　株式會社清水組殿

弊社製　スチールサッシ
　　スチールドアー　納入
　　スチールシヤツター

型錄贈呈

營業種目
瀨川式特許スチールサツシ
瀨川式特許スチールドアー
朝日式特許スチールシヤター
瀨川式特許スチールバーチシヨン
瀨川式特殊高級網製建具並
ブロンズドアー及メールシユート
其他一般的建築金物類
瀨川式遮光暗幕
一手販賣

朝日建材株式會社大阪支店

大阪市東區高麗橋二丁目(高麗橋野村ビル)電話北濱(23)長4714(2) 5227(3)
本　社　東京市麹町區丸ノ內二(丸ビル內)電話丸ノ內 1141(4)

北町工場　東京市城東區北砂町三ノ一二
南町工場　東京市城東區南砂町七ノ五〇〇
シヤツター部工場　東京市城東區南砂七ノ四七八
暗幕工場　東京市城東區北砂町三ノ一二
　　大阪市東成區中川町日本ドアーチエツク製作所

大阪都市計畫防火地區圖を頒布す

今回下記內務省告示に依つて大阪の防火地區が廣範圍に渉つて追加指示されましたに就いて、同防火地區圖を次の通り實費にて頒布しますから御入用の方は至急お申込下さい

大阪都市計畫防火地區圖(二萬分ノ一)1部

●實　　費　15錢　(外に送料2錢)

●送金方法　振替　(振替口座大阪39975)

內務省告示

大阪都市計畫防火地區追加變更ノ件

昭和十年十月二十八日附議　議事第一一九號　第六〇四

內務省告示　第百八十八號

大正十二年七月十三日內務省告示第二百二十七號大阪都市計畫防火地區追加變更ノ件昭和十一年四月四日內閣ノ認可ヲ受ケ昭和十一年四月二十九日ヨリ之ヲ施行ス其ノ關係圖面ハ大阪府廳及大阪市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十一年四月九日

內務大臣　潮　惠之輔

申込所　社團法人　日本建築協會

建築と社會

第20輯　第11號　　昭和12年11月發行

十一月號

目　　次

オリンピツクに主張する……松澤一鶴（1）
日支事變とオリンピツク東京大會……岸田日出刀（5）
オリンピツク競技場として外苑改造に就いて……小林政一（14）
オリンピツク藝術競技に就いて……石原憲治（18）
東京オリンピツク村の一試案……小宮賢一（20）

日本萬博……福田重義（27）
日本萬國博覽會に於ける二・三の問題に就いて……本多次郎（37）

防空の統制……小林隆德（46）
都市防空の建築技術……加藤得三郎（52）
防空上の避難防護施設……熊井安義（57）
防空上より見たる都市建築行政……芦浦義雄（66）

時局と技術者……新名種夫（74）
戰時經濟體制を中心として……武內文彬（79）

・時　　報・

日本の防空……フオン・アルブレヒト（104）
都市空襲の實例（2）……Hamilton Fife（108）
鐵骨梁の經濟的配置……（115）
大都市の保存地域に就て……シヨン エス ランシル ジヤコブ クレーン（120）
防空法關係法令……（128）
鐵鋼工作物築造許可規則……（134）
ブツク・レビユウ……堀口甚吉（139）

・新建築欄・

大阪警察病院　東淀川共同廐舍（大阪）　魚崎町廳舍（兵庫縣）　Hoffmarn 氏の La Roche製藥會社事務所（ドイツ）　教會堂（ドイツ）　飛行機格納庫（ドイツ）　創造國民博覽會（ドイツ）　1937年度パリ博覽會の諸建築（フランス）　オハイオ州の住宅（アメリカ）　カリフオルニヤの住宅（アメリカ）　庭園內の小プール（イタリー）　壁畵「アメリカ」（アメリカ）

會報……（150）
・附錄・　建築申請書及屆書雛形（その3）……法制委員會（141）

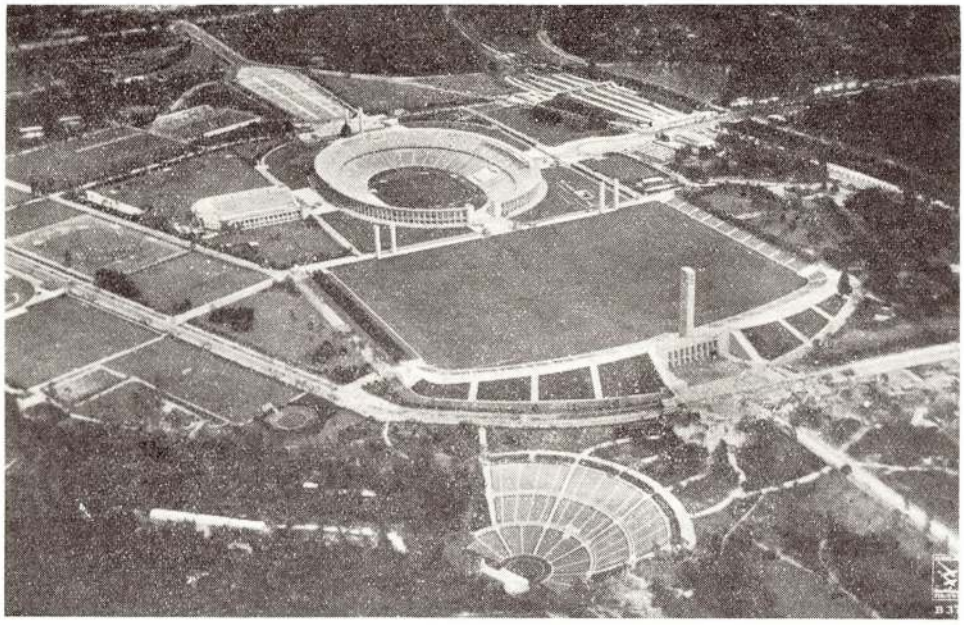
オリンピツクに主張する

松　澤　一　鶴

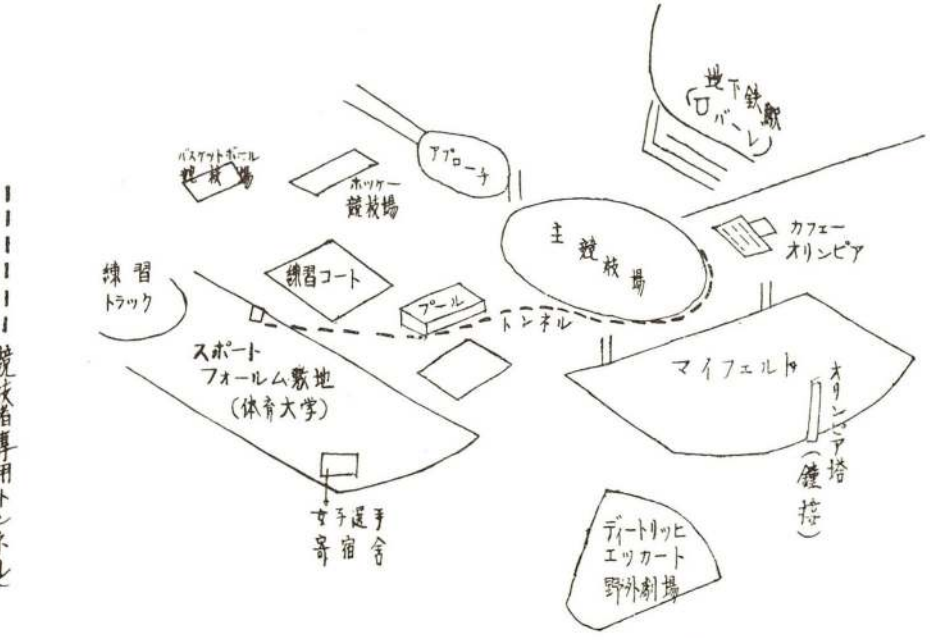
昨夏オリンピツク大會に水泳選手達と行を共にして伯林に到着したその日すでに張り切つた彼等をオリンピツク競技場に練習させに連れて行つた。始めて觀るスタヂアムの規模の壯大さに先づ心を奪はれた。その後幾會を待つて伯林市内の遊覽飛行を試み視點を空に移して眺めたライヒス・スポート・フエルト全體の配置の美しさに再び強く感激させられた。此等の印象と大會の盛大さとは特に第12回大會が東京市に決定されてからは一層僕等には魅する樣に強く作用して、スポーツマンの負け嫌ひも手傳つて、我々の手で東京大會を此よりももつと立派にやり度い、やる可きだと半ば感傷的な氣持で歸つて來た。

そして愈々この事にかゝつて見ると事毎に大きな現實の困難にぶつかり、幻滅に驚く度に段々と考へさせられて來た。東京大會としては自ら守るべき所がある事を知り、徒らに伯林の夢を追つて形や規模のみでオリンピツク大會をメジユアすべきでない事は呑み込めて來たが、それなりにオリンピツク東京招致の成功をあれ程までに喜んで呉れた日本人であり乍ら、オリンピツクの價値を餘りにも知らな過ぎる事が殘念で堪らなくなつて來た。

ナポレオンに敗れた獨逸がヤーンを盟主とする體育運動に青年の身體と精神を復興して普佛戰爭に勝つて以來獨逸は本當にスポーツの力をアプリシエイトして居る。歐洲大戰に失敗した獨逸は再び此の點に思ひを致して居るのであらう。破産に頻すると云はれて居る財政親の内から尙數千萬馬克を支出して國民のスポーツ殿堂を築き上げ、"世界の若者"に呼びかけて立派にオリンピツクを迎へた獨逸のスポーツに對する理解の深さを、此頃ではたゞたゞ美しく思つて居る。純スポーツ論から云へば、伯林オリンピアードは、あまりにも獨逸の國策が盛られ過ぎて居ると非難もされて居る樣であるが、徒らにロスアンゼルスではどうだつた、伯林ではかうであつたと形の跡ばかりを追つて國策も方針も何もないオリンピツクを開いたとて何にもならないと考へる樣になつた。國としてスポーツや、オリンピツク競技を如何にアプリシエートするかがはつきりして來れば自ら形も規模も定まつて來る、とかう考へむしろ來るべきオリンピツクに對處する決心をした。たゞ我々スポーツ關係者の側から云はせて貰ふと、此頃の我國では將來に備へて資源の整備や國民精神總動員に一般が非常な熱意を示して居るのに、準備に少くとも20年はどうしてもかゝる人間の問題をとり上げないのは不思議で仕方がない。體育を興しスポーツを奬勵して、立派な身體と戰に勝つ精神を作り上げなくてはならぬのに、どうしてかうも無關心なのかと疑ひ度くなる。かうした時機にオリンピツクが東京へ來やうと云ふのである。どうして此を



ベルリンに於ける第11回オリンピック競技場



同配置説明圖

もつと利用して若い人達に呼びかけ體育やスポーツに對する熱を煽らないであらうか。これが殘念で堪まらぬ。博覽會は我方で思ひ立てば又いつでも出來るが、オリンピックは1940年に東京に指名された以上は延ばす事も出來ず近い將來の數十年間は恐らく再び亞細亞へ來る順番は無いであらう。かゝる意味で國民はもつとオリンピックの事をじつくり考

へ直して貰ひ度い。競技場設計はそれからでも遅くは無いとさへ考へる。

たゞ玆に時局の重大性は無視し得る事でない。我々スポーツマンも亦支那が一日も早く反省して舊交を溫めて呉れる事を祈るものである。我々は最後の瞬間まで、次に來るべきものの最初にして最も必要なものとしてオリンピツク開催の希望を棄てずにその用意を忘れてはならないものだと思ふ。オリンピツク競技は形ではなくて精神なのであるから、いざとなればオリンピツク會長バイエ・ラトウル伯爵が折紙つけた様に現在の明治神宮競技場その儘でも出來。又我々にはその覺悟が出來て居る。

たゞ我々は現代の日本人にとつてオリンピツクを東京で見られると云ふ事は正に千載一遇と稱してもよい位なチヤンスだ。東京大會に對しては皆は外國人の觀客の收容能力や施設を心配したり、外容招致を以て宣傳の全部であるかの様な空氣であるがこれは誤りで、我々はこの千載一遇のチヤンスに我々日本人を一人でも多く觀せしめてその心を奮ひ立たしめなければならぬ事が第一と思ふ。この爲には出來得る限り多くの座席を日本人に與へる事を考へなくてはならず、許し得る限り此の爲の準備をしなければならぬと思ふ。

かう云つた考へで我々日本水上競技聯盟ではオリンピツクプールに對する幾つかの希望を持つて居る。勿論我々が苦心して奉獻した現在の明治神宮水泳場は當初の豫定計畫通り濾過循環消毒のプラントを附し、土盛りの上に設置されてある假設の半永久的スタンドを本式のものにすれば、收容力 2萬人に近い立派なオリンピツク競技場となるであらう。そして其儘でも少くも僕が見た限りでは、今までのどのオリンピツク水泳競技場に比しても劣らない堂々たるスタヂアムである事も斷言出來る、けれども前述せる様に國民のなるべく多數に見せて感激を與へしむる爲には尙多くの座席を必要とし、且その後の我國の水上競技界の進歩はプール其物の改造をさへ要求して居るのである。しかし目下の狀態では競技場準備の方面の事は全く膠着狀態になつて居るので、從つてプールの計畫も何等の決定を見て居ない。何れは氣持よく決定して立派なゲームの行はれる事は信じて疑はないが、それまでは我々の單なる希望として述べるより仕方が無い。

オリンピツク・プールは矢張り競泳池と飛込池を別個にする必要がある。場合に依つては水球用のフイールドを常備する様になるかも知れない。競泳池はオリンピツクの規定で長さは 50m と定められてあるが、巾は恐らく 20m 位まで縮められる事になるであらう。25mの巾では廣すぎて競技審判上の不便を少なからず感ずる。飛込池は少くも 20m 平方は入用である。此等のプールに附屬してどうしても淨水裝置、即循環濾過消毒の諸設備を作らなければならぬ。その上に競技判定、水の波止め、その他の器械をも組み込もうと思つて研究中である。

此等のプールを中心にスタンドが繞らされる譯であるが、特に注意して頂かなければならぬのは、競技の性質上見易い席はプールの長軸の兩側の 4であつて短邊に沿つた所は甚だしく見難いから、こんな所に幾ら席を增やしても仕方が無いと考へる。我々の要求する

のはプールの長邊に添つた左右のスタンドに出來得る限り多くの席を持つたスタヂアムを作り度いと云ふのである。之を伯林のシユキム・スタヂオンに就て見れば、當初の設計は兩短邊の方は無視してあつて、一方は飛込塔を設け一方は噴水渡渉池から芝生に連なつて居つた。しかし大會間際になつた所が座席の不足から渡渉池上に木造急設スタンドを增し、終には見える見えぬは問題外にして飛込塔の裏にまで立席の見物場所——否收容場所を追加した樣な有樣であつた。尤も全體で1萬3.000千人で現在の明治神宮水泳場と大差はないのであつたからその座席の不足は當然な事であつた。

以上の際にプールの左右の席を出來るだけ增加すると云つても、プールの大さは定まつて居るし、プールを深く堀り下げると云つても自ら限度があらうし、スタンドの高さは市街建築法に依つて高さを制限される事であらうから、我々としては 5萬人と主張したいが大體に於てスタヂアムのマキシユムは定まつて終ふであらう。我々としてはこの左右の席が1萬づゝ2萬人位、その他の席を合して 3萬人位は確實に收容し得るスタヂアムを作らないと、一般の要求に應じ切れぬ事になるであらうと心配して居る。

かゝる規模で敷地を考へると巾はかなり大きなものとなる。從つて我々は始めから、現在明治神宮水泳場の敷地は巾の點で狹すぎる事を指摘してオリンピツク組織委員會の注意を促したのであるが、主競技場以外には新に敷地を求める事は考へて貰へず、次の案として現在敷地は隣接して居る省線電車線路上を覆つて敷地を擴げる事を提出したが、これも費用の點と內務省方面の反對に會つて駄目となつた。遂に現在では主競技場と離れ、小石川後樂園あたりに別個に敷地を求める案が考究されて居ると云つた樣な次第である。今後どう發展するかは容易に豫測する事は出來ないが、時局收まつて許し得るならばかゝる最低限度の要求を容れたオリンピツク・プールの新設を實現したいものである。

殊に日本の近代水上競技史を考へて見るとその飛躍は新競技場の設備される毎に段階がはつきりして居る事が判る。芝公園プールが出來てから水上競技が近代化し、玉川プールが巴里オリンピツク・プールを模して作られるとアムステルダム大會に鶴田選手の優勝となつた。その後明治神宮水泳場が完成したのであるが、水上競技に對する施設としては世界をリードするに足るものであつて、ロスアンゼルスのプールは技術的には神宮プールからヒントを得た所が多い、と云はれて居る。そして競技では世界制覇を完成した。この結果をエリストラポレーションで推し進めると、どうしても東京大會では世界に冠たるプールを作つて世界に始めての偉大な成績を擧げなくてはならなくなる。此の點からも是非新プールが作り得る樣な事態に一日も早くならん事を祈つて已まぬ次第である。(終)

日支事變とオリンピツク東京大會

(主として主競技場問題に就いて)

岸田日出刀

(一)

昭和十二年五月號の建築學會々誌「建築雜誌」上に私は既に「第十二回オリンピツク大會々場論」を發表した。該論に對する意見は何等建築界に於いて聞くを得なかつたが、東京大會の競技場施設に對する私の見解と抱負理想とは、當時と今と何等の變化を認めず、私の所論はどこまでも正しいものと確信してゐる。今茲に私の所論を改めて亦繰返す意志はないが、敢て私にオリンピツク東京大會競技場施設に就いて語らせやうとする本會當事者に對する義理からも、又昨春以來我建築界を代表したかたちで、東京大會の計畫に參與し、遙々昨夏伯林まで第十一回大會競技場施設の調査に文部省から派遣された手前もあり、茲に私の所論の要旨に就いて記述することの義務と必要とを痛感する次第、更に頃來日支事變の急展開に應じオリンピツク東京大會を繞る幾多の困難な問題の惹起しつゝある今日それらに就いて私自身建築家の立場として適應の意見を發表するといふことは徒爾でないと思ひ、敢て茲に筆を執る次第である。

昨夏第十二回オリンピツク大會が東京開催と決定した時の全國的の歡呼の喜悅、昨年暮近く德川家達公を會長として東京大會組織委員會が結成されてからの諸情勢、別して主競技場敷地問題を繞つての紛糾した經緯と推移等に就いては、茲に事新しく記すまでもなく、各位既によく充分御承知のことゝ思ふ。

最後的案として今日一應決定してゐる主競技場案は、既に新聞紙上にて知られてゐる通り、工費約五百萬圓を以て、現在の神宮外苑陸上競技場を毀ち去りその跡に新規に收容人員七萬五千人の陸上競技場を造るといふ案である。その經費としては今春の通常議會で協贊を經た文部省提出のオリンピツク東京大會補助費四百七十萬圓を大體この主競技場の建設に充當し、工事の設計監督一切內務省の手で行ふといふことに決定してゐる。そして今秋早々內務省の手で設計に着手し十一月から工事にかゝるといふ計畫の下に諸般の準備が進められてゐた時、恰も七月七日の事變突發から今日見るやうな日支事變の大展開となり、オリンピツク大會そのものゝ開催が可能なりや否やの大問題に逢着し、政府の消極的聲明は幾多悲觀說を生むに至り、主競技場の建設計畫は言はずもがな、オリンピツク大會そのものゝ根抵が搖ぎ出し、大會當事者の焦慮をよそに、世は擧げて日支事變の推移發展のみを見まもつてゐるといふ現狀であり、このところオリンピツク問題は火の消えた感が

ある。

國家非常時の際單なるスポーツのために巨額の金を費すは宜しく止めたがよいと或者は說き、又他の者は非常時は非常時としてよく時艱を克服すると共に、大國の襟度を示してオリンピツク大會はオリンピツク大會として國際信義の上からも堂々と開催すべきものと強く主張する。中止說にも一應の理はあり、また開催主張の說にも立派な根據がある。これらの問題にも後に觸れるであらうが、まづ私は日支事變に關係なく、私の主張をはつきりと茲に明かにしたいと思ふ。

（二）

私は昨夏の伯林オリンピツク大會に當り、文部省からオリンピツク競技場施設の調査を命ぜられて彼の地に出張し、親しく詳さに同大會を視た。そして東京大會の競技場問題を考へた時到達し得た結論は、東京大會々場として明治神宮外苑今の競技場を適宜新改造するといふ計畫が、あらゆる觀點より檢討して不適當であるといふことで、今も變らぬ私の「明治神宮外苑オリンピツク大會々場不可」の論であり、主張であつた。

神宮外苑を不可とする理由根據は後にも記すが、文部省から調査員として派遣された他の數名の調査員（建築家は筆者のみ）は、すべてみな私と同じやうな主張を堅持してゐた。それだのに私だけが恰も神宮外苑不適當論者の急先鋒をなすの觀を與へたのは、それら私と同じ主張をもつ人々はみな何れも大日本體育協會に所屬する者で、招致委員會の神宮外苑案が立案された當時そのリーダー格をつとめたのが同協會であつたといふやうな關係で自由の立場から、その主張を強く社會に發表できずまたしやうとしなかつたゝめ、自由の立場からその主張を機會ある毎に發表した私だけが唯一人いきり立つてゐるやうに見えたに過ぎない。

昨夏伯林に於いて私は既に大阪毎日新聞を通じて、乞はれるまゝに東京大會々場論を故國に寄せた。その要旨は神宮外苑はオリンピツク大會々場として好適ではない、宜しく地を郊外適當の所に定めて、一大綜合競技場を建設すべきだといふにあつた。かやうな所論に私が達したのは、何も伯林大會時の國立綜合競技場の壯觀に心を奪はれたゝめでもなく、假決定してゐる神宮外苑案にけちをつけやうといふ考へからでもない。オリンピツク大會なるものを親しく視て、オリンピツク大會なるものゝ正しい認識を得、東京大會に於いても、單にオリンピツクのためのオリンピツク施設の計畫は國家的見地より見て策の上乘なるものに非ず、オリンピツクの東京開催を絶好の機會として、多年要望して求め得られなかつたスポーツの中心的殿堂として大綜合競技場を建設するの理想を達成すべしと考へたからであり、またそれは國民體位の向上に間接ながら何等かの點で寄與する所大きいであらうと信じたからであり、更に神宮外苑今の競技場地域は地積の關係上敷地の大擴張をしない限り、收容人員十萬人の主競技場の建設は無理であることを技術的に立證し得た

からである。オリンピツク大會を眼の當り觀るまでは、かうした理解や認識や理想は私自身少しも持つてゐなかつたが、オリンピツク大會の實地調査により、私は確固たる信念を以て右の主張を公然となし得る素地を形ちづくることができたのである。

私の送つたオリンピツク東京大會々場論は、當時神宮外苑案を固執してそれ以外何等の代案をも考へ得なかつた日本朝野の各方面を痛く刺激し、私を目して平地に波瀾を起す不德漢となしたり、また理論抜きに眞つ向から私の理想を空想呼ばはりをしていはれない反駁が投げつけられてゐるのを昨秋歸國して始めて識り、事の意外に一驚を喫すると共に、私の理想論も遂に俗耳には入りさうもないと思はれ、一抹寂寥を感じたが、その後私の主張は少しも變らぬ許りか、益々その正しいことを強く信じたのだが、當時オリンピツクの當事機關を繞るデリケートな諸情勢は私をして餘儀なく沈默を守らしめ、私自身も小人オリンピツクを誤る、我亦何をか言はんやの氣持ちになつた。

本年正月から、他の建築技術家と共に、會場敷地調査委員になつたり、組織委員會の競技部內の競技場關係の委員になつたりして新聞紙上に私の計畫案などが時折報道揭載される機會があつたりした。オリンピツクの競技場と言へば直ぐ私が引き合ひに出されたりして、その度毎に私は妙な氣がしてならなんだ。

（三）

神宮外苑に計畫の十萬人の主競技場と三萬人の水泳競技場設計案として私が前川國男君と協同して作つたものなどが新聞紙上に大きく報道されたりしたので、私の前からの主張を詳しくは知らぬ人達は、宛も私が神宮外苑會場論者であるかの如くに誤り考へた向もあるやうだ。あーした設計圖を作つたのは、副島伯が六月のワルソー會議に携行して東京大會の準備進捗狀況をそれとなく國際オリンピツク各國委員連に諒解せしめるためのほんのスケツチに過ぎぬものだつたのだ。更に本圖の作製により、十萬人と三萬人の主競技場と水泳競技場とを今の神宮外苑の地に配するとかくも不調和のものとなり、あの邊一帶の風致を害することを間接に當事者に說明了解せしめたいと願ふ心からでもあつたのに、結果は反對に私が十萬人の主競技場を神宮外苑今の地に計畫することの正しさを技術的に肯定し、更に主張でもしてゐるかの如くに誤り考へられるに至つては、笑止千萬である。世の中にはジヤーナリズムの犧牲になつてよくかうした事例もありと聞いたが、自ら經驗してなるほどとも思つた。

何が故に私は神宮外苑大會々場案を非としたか。上に記したゞけでも大體その理由はよく判つてもらへると思ふが以下少しく筆を進めて私の主張のよりよき理解に資したい。すべては過去のことだと考へられるかもしれぬが、このことは日支事變下のオリンピツク競技場計畫を論ずる場合是非とも識つてゐなければならぬ重要のことゝも思はれる。

まづ神宮外苑案なるものが登場してきた經緯を一通り概觀する必要がある。本案が主張

された理由は大體三つある。第一は月島案に對する關係、第二はラツール伯の視察と支持、第三は皇紀二千六百年記念といふことである。第一、第二の理由は左程重要なものではなく、月島案が自然消滅してからは何の理由にもならず、ラツール伯が神宮外苑をみてこれに手を入れゝば立派な競技場になると言つたのも當然で、當時あの競技場以外に整備した競技場を持たなかつた東京として神宮外苑を觀せる以外に道なく、ラツール伯にしてもあれでよいだらうと言ふ外に道はなかつたことも極めて自然である。あれ以上立派な競技場が神宮外苑以外の地にオリンピツクを機會に東京市が造ることに伯も何の反對をしようぞ。問題は皇紀二千六百年記念の事業として大童になつて招きよせたオリンピツク大會であるから是が非でも神宮外苑で行はねばならぬといふ第三の理由は一見相當根强い根據がありさうに見えよう。

オリンピツク大會が神宮外苑で行はれるといふことは、一部では思想の上からの反對もあるやに聞くが、オリンピツクを正しく認識する以上神宮外苑會場まことに結構なことで日本國民として無上の名譽でもあり誇りでもある。しかし技術上の立場から神宮外苑の今の地が不適當であるとはつきり判つた以上は、抽象的には正しかつた外苑會場案も影薄くなり案の根據も動搖し、皇紀二千六百年記念といふ絶對的とも考へられる根據に對してもまた別の考へ方がなされよう。

オリンピツク組織委員會が要望する十萬人收容の主競技場を明治神宮外苑今の地に建設することが不適當とされる場合、無理やりにも外苑今の地に執着拘泥することは、皇紀二千六百年記念の素志に悖ることにもならう。むしろオリンピツクを絶好の機會として、他に一大綜合競技場を新たに建設する積極的方策こそ、正に皇紀二千六百年を國家的に記念しやうとする素志に副ふものと信ずる。

（四）

明治神宮外苑今の競技場地域にオリンピツク主競技場を建設することは何が故に不適當であるか。主競技場の規模は十萬人が要望されてをり、組織委員會當事者も十萬人收容を最小限度と考へたが、オリンピツク大會の主競技場の規模としては、ロスアンゼルス及び伯林大會共に十萬人の規模のものであるから、蓋し妥當の要求であり計畫と思ふ。

神宮外苑の敷地面積は全部で十數萬坪を算する尨大なものであるが、現在の陸上及び水上競技場のある地積の面積は約三萬餘坪に過ぎない。此の地積に十萬人の主競技場と水上競技場を計畫することは何としても無謀極まるものである。次の三點を擧げてその非なる所以を强調しなければならぬ。

（イ） 敷地面積の狹隘

（ロ） 神宮外苑の風致を害する

（ハ） 現在のスタンドは全部破壞し去らねばならぬ

これら三項の詳細なる說明は建築雜誌五月號にしてあるから、徒らに紙數を費すのを避けて茲には摘錄しないが、隣接敷地を大規模に買收することが實現困難なる現狀に於ては敷地狹隘の難狀は如何ともし難く、また十萬人收容の競技場の規模は凡そ一定したものであり、それが實現された曉のあの邊一帶の景觀が如何樣になるか、そしてそれが繪畵館を中心にした外苑の風致とスケールの點で如何に不調和のものとなるかは、現在の野球場外野周壁の風致破壞の事實から觀ても容易に想像しうることであらう。更に數十萬金を投じて建設後あまり年月も經たぬ今の陸上競技場スタンドを破壞し去るとは、あまりにもオリンピツクのためのオリンピツク計畫であり、國家的見地より見て、識者の決して贊し兼ねる亂暴の計畫である。

茲に於いて「オリンピツク大會を機會に大綜合競技場を新たに建設すべし」といふ私の主張が生まれる。そして私は機會ある毎にそれを熱心に主張してきた。主張の要旨を茲にまた繰返すことは、私の所論に茲で始めて接する各位もあることゝ思ひ、無意義なことではないと思ふ。以下は本年五月五日に記した私の主張の要旨であるが、事情の異つた今日でも決して私の主張は誤つてゐないと信ずる。

「今ぞ一大綜合競技場を新たに建設するの議を決すべき絶好の機會である。オリンピツクは僅か十六日間のものではあるが、その意義は大きい。一切の姑息を止めて理想の實現に邁進すべき時は正に今である。外苑競技場の改造（むしろ新造）で我慢するか、また他に大綜合競技場を新たに建設する考へになるかどうかは、オリンピツクの考へ方如何により決まる。消極的に考へれば外苑以外は考へられないが、積極的に考へれば徒らに今の外苑競技場に執着することの愚が認識できやう。

一つのものをいくらつゝき廻しても、殘るものは結局一つである。他に造ればより以上立派なものができて二つとなる。この見易い道理の判らぬ筈はない。それができぬといふのは感情的に公平無私の必境でないからであらう。一應三年後のオリンピツクとその直後とを視た眼を、更に三四十年後の將來に向けて貰ひたい。大競技場を造つてもその利用價値がどうのかうのといふのはあまりにも近視眼的である。時代は進む。利用價値の點で心配は不要であり、將來大規模の綜合競技場が欲しいとなつても、さう急にはできない。今ならできる。さうしてこそオリンピツク大會を東京に招致し得たことが始めて活きてくる。

新たに建設さるべき大綜合競技場の敷地はどこか。大東京は廣い。苦勞は要らない。新たに大綜合競技場が何れかの地に建設されたとする。名付けて「オリンピツク競技場」とする。今の神宮競技場は「神宮競技場」として永久に存在し、皇紀二千六百年を記念して建設された大綜合競技場は「オリンピツク競技場」として昭和の聖代を代表する絶好のモニユメントとして永く光り輝くであらう。他に會場を移すを論ずるに當り、人は外苑競技場を捨てると難するかもしれない。だがそれは捨てるのではなく却て拾ふことであり救ふ

ことである。一度大改造を施さんか、現在のスタンドも毀ち去り、由緒ある神宮競技場は消えてしまふのである。救はんとすることは却て捨てることになり、殺すことになる。

更に十六日間に過ぎぬオリンピツクだけへの視野を少しく遠い將來にまで擴大してみる。新綜合競技場の建設を機會に大東京市の都市計畫上の施設はそれを中心として漸次整備され、大東京市が近代都市として其形式內容を整へる上に大きな刺戟となり得ることだけでもその價値は大きいであらう。

オリンピツク大會までにあらゆる競技場が新綜合競技場に完備する必要は毛頭ない。大會に對しては大會諸競技を支障なく遂行し得るに足るだけの規模でよく、漸次綜合競技場としての實を備へるやうにすればよい。重要なのはかやうに完全の形式內容を持つ綜合競技場の敷地をオリンピツクを機會に定め、其根幹となるべきものを大會を機に整備するといふことである。外苑を離れる以上理想のものを造らねばならぬの論も認識不足で、オリンピツク迄に何もかも不急のものまで備へる必要はない。遠大な計畫の完成は將來に期し、まづかやうな遠大な理想を實現し得る根本となる敷地の決定といふことの重要さをよく理解すべきである。

外苑競技場に執着すれば殘るものは一つであるに對し、他の地に計畫すれば同じ經費で二つとなる。その利害得失は三歲の童子も之を識る。三歲の童子も判る利得の理も實際には認められないかもしれぬ。假りに認められたにしても實行はされないかもしれぬ。何故か。そこに從來からの行がかりがあり、私情があり、面子へのこだはりがあり、更に何よりも理想が缺けてゐるからである」。

かう記して私は最後に次の言葉で私の主張を結んでゐる。「會場がどこにならうが、オリンピツク大會は必ずできる。だが神宮外苑競技場改造案の實行は、オリンピツクのためのオリンピツク會場案で、オリンピツクを死用するものであり、オリンピツクを機會に新たに大綜合競技場を建設することは、大會の遂行を完全になし得るのみならず、遠き將來の日本のためにオリンピツクを活用するものである。」

更に語を繼いで私は「飜つて思ふ。當事者は現在のまゝの外苑競技場でオリンピツクを執行するの英斷はないか。それなら理論の筋道は立派に立つ。跡方もなく現狀を壞ち去る改造案よりは、國家的見地より見て優ること數等である」とも書き記してゐる。

（五）

紛糾に紛糾を重ねた東京大會の主競技場問題は去る六月二十一日に本決定を見た。即ち下記十項の希望條件が內務省から提示され、オリンピツク組織委員會當事者は、外苑できへできればどんな條件でも諸々として聽從するの態度を以て、遂に主競技場は本極まりといふ一見慶賀すべき落着を見た。

內務省希望十項

一、競技場擴張總經費（土地買收を含む）は内務省指定期までに明治神宮に奉獻すること。但し總經費四百五十萬圓乃至五百萬圓とし、第一期工費として本年度經費百二三十萬圓を支出すること。

二、工事は該經費で明治神宮の手により之を施工す。

三、設計及監督は明治神宮でなし、スタンド延坪を七千五百坪、收容人員は七萬五千人とす。

四、主スタンドは假設スタンドを含み高さ六十五尺乃至七十尺とし、東京大會終了後はその一部を取拂ふこと（收容人員約五萬人）

五、芝生側は東京大會のため一時假設スタンドを設けるが將來は芝生として存置す（收容人員約二萬五千人）

六、オリンピツク東京大會が中止又は延期のことある場合ありと雖も外苑に相應しき競技場を完成すること。

七、神社境内に於いて行ふを不適當と認むる行爲及び設備は之を承認せず。

八、文部省並に東京市の補助金は第一に主競技場に充つること。

九、物價騰貴による工費不足の場合は追加して經費を奉獻すること。

一〇、オリンピツク東京大會終了後はこれが維持管理には絶對に條件を附せざること。

主競技場計畫の現況は上の通りである。

神宮外苑の陸上競技場を改造するのに五百萬圓どうして金がかゝるのかと、一見不思議に思はれる向もあるかもしれない。この點を少しく說明する必要がある。陸上競技當事者の言によれば、現在の神宮競技場はそのアレナ（トラツクとフイールド）の計畫が、時代をくれでオリンピツクの如き大競技を行ふに適しないから全然新しい規模内容のものにしなければならぬと主張されるから、アレナの新造といふことになる。この新形式のアレナはその長軸短軸共に今のアレナよりは遙かに大きく、繪畫館側に敷地の擴張が少しも求められないから、當然西側即ち今スタンドのある方角に擴げられなければならぬ。さすれば今のスタンドは邪魔となり、旁々今のスタンドも直線式のもので規模も充分ならず、これを全部破壞し去ることになる。だから神宮外苑競技場の改造とは謂ふが、單に今の敷地を利用するといふことだけのことで、全然新造なのである。新造としてみれば五百萬圓の巨額の工費も決して不當でないことが理解されやう。

五百萬圓位はオリンピツクのためとならば何でもないと人は言ふかもしれぬが、私をして言はしむればこれほど愚かしい金の使ひ方はないやうに思ふ。今の神宮競技場は、あれはあれとして立派なものである。過般の日米對抗陸上競技も立派にできたし、今も神宮競技が立派に行はれてゐるではないか。如何にオリンピツクなればとて、あれを跡方もなく壞し去るといふことは尠くも賢者のなすべき計畫ではない。日本がそれほど富裕ならば兎に角、今の日本としてみれば五百萬圓は莫大な金である。況んや日支事變の今に於いてをや。

五百萬の大金を捨てるが如くにして完成される競技場は單に七萬五千人收容といふオリ

ンピツク主競技場としては中途半ばのものである。七萬五千人とは何と刻んだ數ではないか。十萬人收容の主競技場を今の地に建設することは、前にも記した通り、敷地狹隘にして周圍の風致を害するからである。建つべからざるところへ建てやうと無理押しするからこんな滑稽なことになる。

一應決定はしてゐるものゝ、今のまゝの計畫で主競技場が實現しやうとは私は思はない。オリンピツク當事者中にも識者はゐる筈、かうした不合理と不得策の解らぬ筈がない。況して今日支事變に直面してオリンピツクそのものゝ開催すらが種々論議されてゐる現狀で、五百萬圓を捨てるに均しい愚者の策が實現されようとは思へぬ。

日支事變に關係なくオリンピツクは開催しなければならぬ。事實開催されるであらう。だが主競技場に對する今の計畫は日支事變に關係なく宜しく廢棄さるべきである。

一度神宮外苑と決定したオリンピツク會場が他に新たに計畫されやうなどと夢想する者ではない。私の主張は主張としてどこまでも正しいと信ずるが、それは私の理想であり、また一部識者の理想でもあるが、理想は多くの場合に理想たるに止まつて實現されないのを常とするから、これ以上私の理想を强く主張するの愚はしないであらう。

現實の主競技場計畫を正視して、其誤れるを指摘するに本稿の目標を置きたかつた。その理解をより適切ならしめるために、參考として私の抱く理想と主張とを茲に紹介したに過ぎない。

オリンピツク大會の競技場施設としては、主競技場以外に幾多數多くの課題がある。水泳競技場、蹴球競技場等々。而してその根本は主競技場である。根本の主競技場で紛糾したゝめに、主競技場に隣接するをオリンピツクの原則とする水泳競技場も未だに未決定の事情にある。水泳競技場問題に就いても記すべき多くのものがあるが、あまり長くなるから茲には省略するが、新聞紙の報道によれば、水泳競技場の敷地としては、オリンピツク當事者は後樂園跡(小石川)の地を考慮してゐるとか、さすれば主競技場は神宮外苑に、水泳競技場は小石川に、蹴球競技場は芝公園にといふ具合に、從來のオリンピツク大會に見られなかつた分散式競技場となる譯、あまり感心したことではない。これもあれも、更に代用競技場の惱みも、源をたゞせば敷地の撰定を誤り、新綜合競技場建設の大理想をオリンピツク當事者が持ち得ないからである。

バラバラ競技場でもオリンピツクはできやうが、今ある陸上競技場を跡方もなく毀ち去つて七萬五千人收容といふ不徹底な計畫のために五百萬圓の大金を投ずることだけは何としても止めたいものだ。現在のまゝか、多くも百萬圓位の增改築で主競技場を計畫し、すべて質素な規模でオリンピツクを遂行するのが殘された唯一の方法と信ずる。

日支事變に直面してオリンピツクそのものが危殆に瀕する今日、神宮外苑競技場新造五

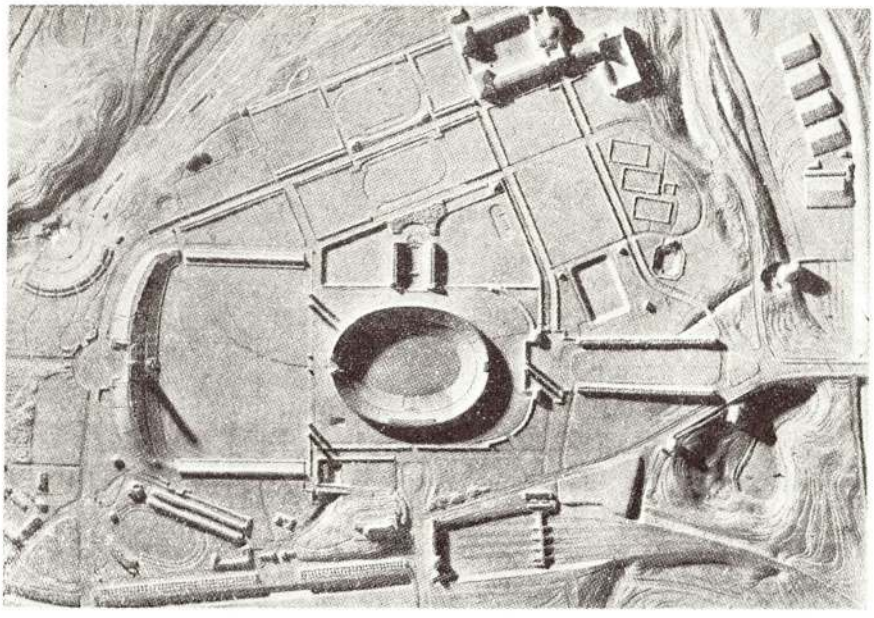
百萬圓計畫案が一日も早くオリンピツク當事者により揚棄されんことを衷心希望して止まない。かやうな誤つた主競技場計畫案を無理押しに通しながら、政府補助金を更に五百萬圓增額希望するが如きは正に狂人の沙汰である。政府憤つてオリンピツク中止をほのめかしたのも故なしとしない。

だが私はオリンピツクを愛する。オリンピツクの眞の意義を正しく理解するが故に、何としても三年後にはオリンピツクの東京開催を期待して止まない。

オリンピツクを開催するためには、日本人何人もが正しいと首肯し得るやうな諸般の計畫の下に事が進められなければならぬ。現在の主競技場計畫案に關する限り、私は何としても首肯し兼ねる。心ある識者はみな私と同じ見解と信ずる。

日支事變に直面して感更に深い。敢て主競技場問題に關し本稿を記す所以である。

（昭和十二年九月）



ライヒスポーツグラウンドの模型（Moderne Bauformen 1936, 8. より）

オリンピツク競技場として外苑改造に就て

小林政一

昨年夏オリンピツク招致に成功して吾等は前代未聞の盛事を四年後に見らるることと大に喜び、やれ敷地の選定だの、豫算の編成だのと馬力をかけたのであつたが、僅か一年を經た今日、日支事變と言ふ重大時局に當面してその開否が危まれる事情に立到つた。思へば隨分テンポの早い變化である。そして一部の人々の間にはオリンピツク辭退説もあるやうであるが、同組織委員會並に東京市方面では今後更に重大な時局の變化がない限り斷然開催する方針を以て進むことに決定せられた樣であるから、多分開催には間違ひがないと思ふ。各種の設備の具體案の決定、遂行は尙ほ暫く時局の推移を見てからでなければ困難ではないかと思ふ。

斯樣な次第で競技場の敷地、施設の概要に就ては本年2月第一次の決定を見たけれどもその後各種の事情に依り尙研究することが必要となり、そのまま今日まで未決定のまま持續せられて居る有樣である。私は直接オリンピツク組織委員會には關係はないが、他より側聞する所を記して前置きとする次第である。

參考のため組織委員會で第一次に決定せられた各施設の敷地並に豫算を擧げれば次の通りである。

主競技場（外苑改造）	250萬圓
水泳場（外苑改造）	100
球技場（青山射擊場跡）	250
自轉車競技場（芝浦）	15
第二室內競技場（外苑相撲場）	10
演武場補助費（未定）	50
第一室內競技場補助費（御茶水）	100
漕艇場補助費（戸田村）	40
馬術場補助費（世田ケ谷）	20
冬期競技場補助費（札幌）	30
オリンピツク村（砧臺）	100
合計	965

（括弧內は場所）

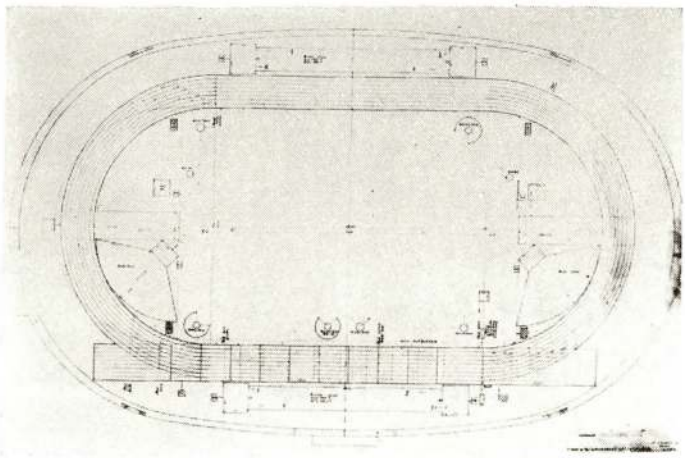
その後主競技場建築費もこの豫算を以てしては到底實行困難となり、その他各種競技場



にも變更が生じて來たので現在の見込では 1,000萬圓出でるであらうと想像されるが未だ決定されない様である。

さてその內自分の直接關係する明治神宮外苑競技場の改造案に就て、申述べて見たいと思ふ。

同競技場は大正13年3月完成したもので、當時としては隨分進歩的に設計した積りであつたが、今日では謂はば時代遲れになり實用上にも種々不便な所も出て來た様である。殊に國際オリンピック競技を行ふ事になると單に觀覽者を幾萬人容れ得るやと言ふ問題以外に、グラウンドそのものが狹過ぎる。國內競技であれば現在のグラウンドの廣さで充分であるが、何しろ53ケ國の多數の選手が集まり短時日の間に行はれるのであるから競走、投擲、跳躍などの各種競技が同時に並行して行ふことが出來、然も互に完全にデイスターブされない様にせなければならぬ。斯うなると現在のグラウンドでは狹過ぎることになり、



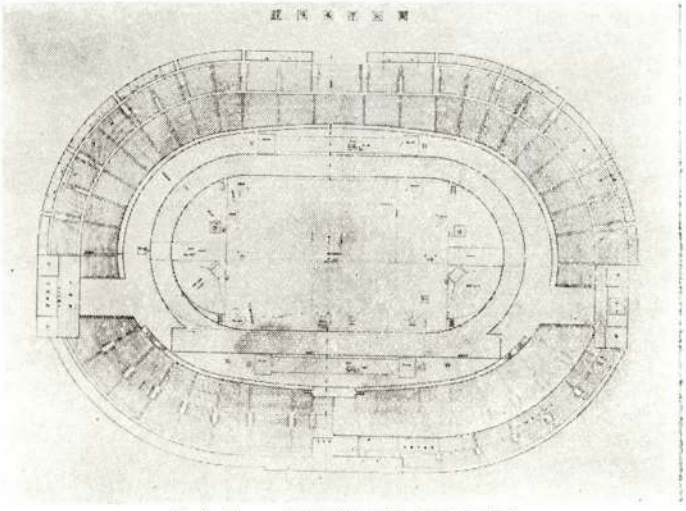
第 2 圖　オリンピツク主競技場グラウンド配置

茲に改造の必要が生じた譯である。但しオリンピツクが濟んだ後では又廣過ぎることになるかも知れぬが。

そこでグラウンドは何うなるかと申すと、圖面の如く廻周 400米の楕圓形トラツクを配置し、その一邊を延長して約 140米の長さとし、ここで 100米の競走が行はれる。楕圓形の巾は 8 コース分、直線走路の巾は 9 コース分とする、1 コースの巾は1.25米で兩側の 2 コースは餘分の意味で設ける積りである。

楕圓形の彎曲部は三心圓弧として形成し、トラツクの中庭には巾75碼、長 115碼の矩形の蹴球場を容れ、その兩側に多少の餘地が存するだけの巾とせねばならぬ。又彎曲部には槍投の助走路と走高跳場を二箇所づゝ配し、矩形の四隅及中央には圓盤投場、鐵丸投場、鐵鎚投場等を配置する。圓盤投、鐵丸投は約45度の角度内で約70米位の距離に達するからこの落下面がフイールド内に配置することが必要である。

楕圓形トラツクの兩側には外方に棒高跳、三段跳、走巾跳の競技場を二箇所づつ配置する。これはピツトの外に約60米の助走路を付したもので、その外側には觀覽席との間に4米以上の空地を置いて競技者が觀衆のためデイスターブされない様にする。グラウンドの外周には巾 2 米乃至 3 米の溝を繞らして寫眞班及役員の通路とし、選手の出場のためには中庭と選手控室とをトンネルで連絡して之を通ることとする。



第 3 圖　外苑競技場改造案平面圖

斯様なグラウンドの配置は競技上から見ると非常にやかましい問題で、この配置は組織委員會競技部で審議せられ漸く決定を見た案で、大體配置は所謂歐式と稱せられるもので伯林オリンピツク競技

場を手本とし且つ之よりも幾分廣くして改善を加へた案である。

斯様な配置のグラウンドが今回要望せられて居るので之を外苑競技場に容るることとすれば現在の觀覽席を取壞はして之を配し、更にスタンドを新築するより外途がないので、今日まで色々と可否のやかましい問題となつた譯である。

別圖は私の立てた外苑改造案で未だ諸種の會議にかけてデイスカスされたものではないが參考のため茲に揭げる次第である。即ちグラウンドの西側には鐵筋コンクリート造の大スタンドを建築して之に貴賓席、委員席、記者席、通信員席等を配する外一般觀覽席として合計約3萬 5,000人を容るるものとする。その下階には多數の選手更衣室、入口、階段室の外各種の室を配置し、スタンドは2階棧敷付きで座席の段數75段、高さトラツク面上約75尺に達する見込みである。

場の東南北三面には現在の傾斜芝地を利用してこの上に簡單な構造の觀覽席を造る。このスタンドは木造でオリンピツク大會終了後は之を撤去して現在の如く芝生の觀覽席として殘す積りであるが、この假設スタンドは約4萬 5,000人、前と合計して約8萬人を容れ得る見込みである。

場の南北端には門を設け南門上には神火壇を設け、北側には國旗揭揚所、スコーアボールド、及び約 200人を容るる奏樂堂を設ける豫定である。

大體を說明すれば以上の通りであるが果してこの案が行はれ得るや、又根本的に變更されて遠く郊外に持つて行き、新しく建設されるやら今の所全く未定である。

オリムピツク藝術競技に就て

石原憲治

肝心のオリムピツクの東京開催が此度の支那事變の爲めあやしくなつて來た爲めに、一般に何だか氣乘り薄の空氣が感ぜられ、何處となく首すぢが寒い心持がする。

政府では斷念して居るのだが、唯その發表の時機をひかえて居る樣に見られるがどうであらうか。若しそうだとすると、如何に騷いでも仕方がない事になるわけだ。それかあらぬか昨今は體協側を除いた方面では一般に鳴りを靜めて靜觀休止の狀態にあるといつてよいあれ程大騷ぎをしたのに、一千五百萬圓の事業費が出ない樣では甚だ心細いことになつたものだ。

事變となつて擧國一致すべきは當然であるが是れと共に他の一切の文化活動が休止してよいわけのものでは勿論ない。今年も各美術團體は展覽會を開いて文展もまた近く開催される事になつて居るのだから、國家の美術奬勵が休止されたわけでない事勿論である。唯此際國際的スポーツ及び藝術競技を催す丈けの餘裕があるか否かと云ふ事になると思ふが是れは國家の面子にかけてもやつてほしいし、日本は戰爭許り強いのではなく文化的事業にも如何に熱心であるかを此際知らしめる必要があると思ふ、是れは文化外交としても意義のある事に相違ないのである。

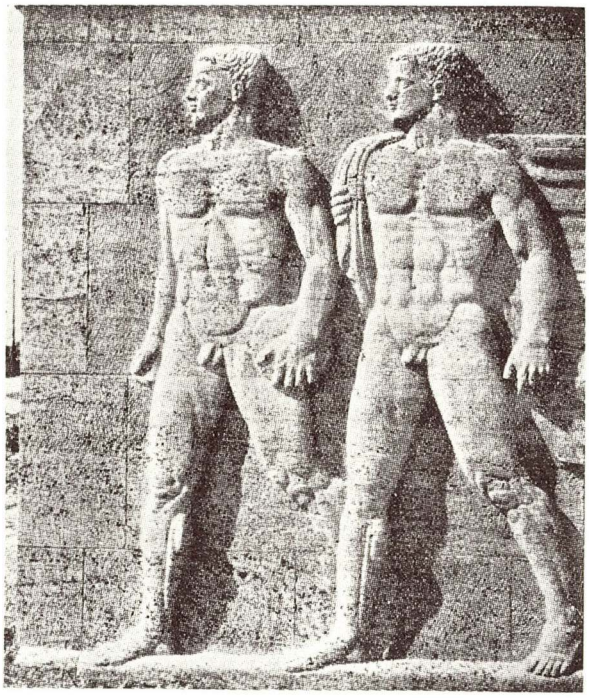
然し是れはあつてほしいといふ願望であつて、事實に有り、又有るであらう事とは必ずしも一對しないのみか、現實の狀態が悲觀的材料に滿たされて居る事は事實である。

さて問題の藝術競技であるが、從來此の藝術競技といふものが、オリムピツク運動競技の蔭にかくれて、その存在すらほとんど知られて居なかつた樣である。わが國で初めて出品したのは第十回ロサンゼルスの時であつたと思ふが、その時は極少數しか應募作品がなかつた。わたしもその時一點の出品を試みた。第十一回の伯林の時は繪畫方面は可なり出品數も增加した樣であるが建築方面は依然として淋しいものだつた。是れはオリムピツクがスポーツの方に力が入つて他の藝術競技などはほんのさしみの妻にもならない位にしか考へられて居らぬ爲めに出品する者もオリムピツクの御相伴の樣な所に出品するのを喜ばなかつた事もあらうと思ふ。此の樣に價値を過少に評價する原因の一つは我國內出品勸誘と宣傳が足りなかつた事も考へられる。

「次回第三回目の參加は主催國として世界各國に呼びかけ、すべてを組織指導して行かなければならぬ重大な地位に立つのであるから、」責任が甚だ重い。從前の樣に御座なりのことをしておくわけに行かない。これこそ眞の擧國一致で行かねばならぬだらうと思ふ。

すでに大日本體育協會の組織も改組された事であるから、いよいよ東京主催となれば、建築部門に就ても夫々出品募集に就て、周當な用意をしなくてはならぬものと思ふ。その爲めに建築部門丈けに就ても審査の方法及び出品の內容の檢討をして如何なる內容が適當であるかを明にし又出品者勸誘を廣くする必要がある。そして部分計畫建築關係者に廣く是を周知せしめる手段方法を充分に取られねばならぬと思ふ。

從來の樣に三點や五點の出品では心細い少なくとも四五十點の內から十點位の優秀なるものを豫選して出品する位迄にしたいものである。



獨逸體育大學入口の浮彫
ライヒ スポーツ グランド附近
（Zentralblatt 1936.7. より）



オリムピツクプール塲內にある浮彫

東京オリンピツク村の一試案

小　宮　賢　一

オリンピツク村の沿革

古代オリンピヤの祭典には、選手は一同神域に籠つて身心の穢れをはらふのが常であつたと傳へられてゐるが、今のオリンピツク村のごときものが設けられたかどうかは知らない。近代オリンピツク大會に於いて初めて村が設けられたのは、第8回のパリー大會である。之が設けられた理由は、古代オリンピツク精神の復興といふ意味もあつたのであらうが、一方又外國選手の宿泊に關する世話はオリンピツク規約によつて組織委員會の責任になつてゐるので、參加選手の增大とゝもにむづかしくなつたこの問題の解決を之に求めようと試みたのである。この時のは極めて小規模な試驗的なものであつたのであまり問題にもならず、次のアムステルダム大會では設けられなかつたが、其の次のロサンゼルス大會には極めて大規模なものが設けられ、且大成功ををさめたので、爾來オリンピツク大會には缺くことのできぬものゝ樣になつてしまつた。

このオリンピツク村はロサンゼルス市の東南方約12粁、主競技場から6粁のボルドウキン丘に8萬餘坪の土地を借受けて之に極く一時的な施設をしたものであつた。この丘は遙かに太平洋を望む見はらしのよい處であるが、寫眞で見ると地區內には樹木などもあまりなく一寸殺風景である。施設としては一棟4名宛の宿舍500棟の外に食堂8棟、事務所、應接所、病院等あらゆるものが設けられたが、建物は何れも假設的なもので、中でも宿舍は特に組立式として、宿泊者が定員 2.000名を超過する場合には直ちに建增する準備が整へられて居た。

昨年のベルリン大會の施設は、その規模、設備とも正に劃期的なものであつたが、オリンピツク村も亦極めて完全なものが陸軍の協力によつて建設された。之は將來衞戍病院とする意圖の下に、市の中心部から30粁近く離れた幽邃の地デーベリツツに設けられたもの



ロサンゼルスのオリンピツク村

で約16萬坪の敷地の中に素朴な煉瓦造の宿舍 140棟が將來病院本部となる大食堂を中心にして、美しい白樺の林の中に建てられた。村の中には練習用トラツク、フイールド、プール、屋內運動場の設備すらあつて村としての設備はまづ完璧であつたが、たゞ主競技場との間の14粁の距離をバスで往復するのは選手にとつて多少苦痛ではなかつたかと思はれる

東京大會とオリンピツク村

オリンピツク東京大會の決定に先立つて招致委員會が昨年3月決定した招致計畫大綱によると、オリンピツク村は「東京舊市の西方又は北方に當り外苑と自動車で30分以內の山手地區に 2,000人を收容し得る宿舍を建設する」と具體的に揭げられて居り、又本年2月組織委員會で承認された小委員會案には、オリンピツク村は總經費 115萬圓を以て砧村、上高井戶、等々力等に設定することゝなつてゐる。(その後確か砧村が第1候補地となつた樣に思ふ)

しかしこの時決定した建設費總豫算も、現在の時局下に於いては更に削減されることにならぬとも限らない。さうした場合には結局一種の附隨的施設にすぎないオリンピツク村の費用が先づ切りつめられることになるかと思ふ。元來オリンピツク村の施設は競技場等と違つて村として用ひられるのは大會前後1ケ月程にすぎず、後は不用になるものであるから經濟的に特別の考慮が必要になる。從來の例によると村は宿泊者から一定の宿泊料を徵收するのであるが、之は食事費から交通費、其の他村內の施設使用料金を含めて、ロサンゼルスでは1日2ドル、ベルリンでは1日6マルクであつたから、現在の爲替相場で換算すると前者が約6圓90錢、後者が約8圓60錢になる。從つて我國なら勿論設備の程度如何によるが、さしづめ 5~6 圓見當とならう。又村の利用される期間は從來の例によると大體競技の開始前1ケ月から競技終了までゝあるが、選手の中には早く到着しても村に入らずに避暑地等に合宿して練習するものも多いし、又競技種目によつては閉會前に退去するものもあらうから、1人平均の利用期間はもつと短くなる。競技期間は全體を通じて16日以內といふ制限があるが、近年の大會では殆どすべてその最大限によつてゐるから、村の平均利用期間は20日未滿といふことはあるまい、故に假りに宿泊料を1人1日5圓、滯留期間を20日とし、且其の內食費、交通費、事務費などがその半にあたるものとすれば、宿泊設備に充當し得る金額は1人當り50圓である。從つて宿泊人員を 2,000人としても其の總收入は僅かに10萬圓である。

かくの如くオリンピツク村の經營は、まともにやつたのでは到底採算がとれないので、前2回のオリンピツク村に於いても、この點には特別の考慮が拂はれてゐる。即ちロサンゼルス大會の場合には徹頭徹尾一時的、假設的に行く方針で、土地はある人から事實上無償で借用する、建物は組立式で使用後は分解して賣却して了ふ、家具その他の調度類は或は借入れ、或は購入に先立つて豫め處分先を見附けておく、電燈だけは引くが瓦斯などはボンプ入のもので間に合はせるといつたやり方で、極度に經費の節約が計られたのであつ

た。又ベルリンの場合には設備そのものには莫大な費用がかけられたが、之は寧ろ陸軍の建設した衛戍病院をそつくりその儘借用した様なものであるから（勿論設計には十分村としての要件が考慮されたのであるが）組織委員會の負擔は極めて輕小だつたと考へられる

とにかく此の様に經費の節約を計ることが絶對であるとすると、經局オリンピツク村の計畫は原則的にロサンゼルス式で行くか、ベルリン式で行くか、或は兩者の混用（土地と建物について）で行くことが必然的に必要になる。（尤もこの外從來からある施設——學校寄宿舍の如きもの——を利用することも考へられるが、之れは多少村といふ觀念から離れる。從つて村の計畫の第一段はこの方針の決定にあるわけである。ロサンゼルス式の行き方は、位置の選定並びに設計にかなりの獨立した自由さがあるが、經濟の點に於いて難色がある。殊にロサンゼルスの場合の様な組立家屋部分品の賣却等は、この種家屋の普及してゐる米國にしてはじめて出來ることであるし、又生活樣式を異にする日本では、調度類の處分もかなりむづかしい。もつとも此の頃東京の某百貨店で組立式サンマーハウスの賣出しをしてゐたが、案外こんな處に需要を見出し得るかも知れないが。一方ベルリン式の行き方は、ベルリンに於ける陸軍當局の如き特定の引受け手のあることが前提となるのでその可能性は局限されるが、經濟の點では相當充分な施設を整へ得るから、より引受け手さへあれば之にこしたことはないと思ふ。この邊は實際問題であるから我々の机上の試案ではある程度その可能性を假定して行くより仕方がない。

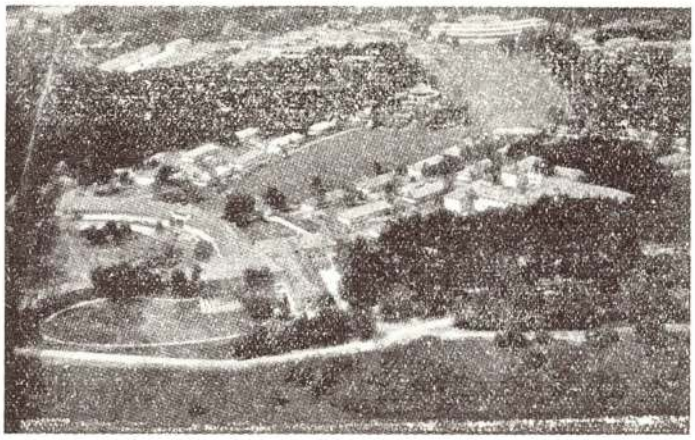
東京オリンピツク村の試案

ベルリンのオリンピツク村は衛戍病院として計畫されたものであるけれども、その設計に當つては、この小さな聚落にドイツの都市計畫（或は地方計畫）の理想——自然と人間を、即ち鄉土景觀と建造物とを渾然融和せしめんとする所謂園邑都市（Landstadt）の理想——を表現することに、設計者のマルヒ博士及びウイプキング教授は大いに苦心したといふことである。こういつた事はオリンピツクと直接關係のないことではあるが、我々都市計畫の仕事に携はつてゐるものとしては、東京大會のオリンピツク村をしてやはり何か我國の都市計畫上有意義なものにしたいといふ希望を懷いて居り、且又そのすることが他方村のベルリン式經營方法の一案としても一考の餘地がある様に思はれるので、その可能性を吟味する意味で、甚だ雜駁ではあるがやゝ具體的な計畫案を試みた次第である。それはオリンピツク村の建設を機會に、或る理想を盛つた一大近隣住宅地を實現しようといふのである。

巨大都市の膨脹力といふものは眞に驚くべきもので、例へば東京等では年々20萬近くの人口が增加する。勿論之は自然增加のみではなく、その大部分は地方からの移入人口である。そして之等の流入人口に對應する市街地の開發、住宅の供給は現在殆ど私の企業として行はれて居る狀態で、その供給するところのものは都市計畫上遺憾な點が少くない。

從來住宅の改善に當つては主として保健、衛生上の要求が、經濟上の要求と並んで重要

視されてきたのでのるが、近年この方面に於いて既に可成りの經驗を持つ歐洲諸國に於いては、更に住宅の形式といふものが又非常に重要視される様になつた。數年前までは、最も經濟的に健康的な住宅を供給するための最も合理的な形式は高層の大集合住宅の形式であるとされ、大陸諸國に於いて盛に斯かる大住宅群の建設が行はれた。ところが最近になつて、この様に個性を無視した、土から遊離した住宅といふものは國民の精神に面白からぬ影響を與へる。こう云つた住宅からは鄉土愛は生れない、殊に育兒に不適當なるため出産率低下の原因ともなる、といふ様な理由から、住宅は各戸が相當の庭をもつた一戸建の形式がよいといふことが、殊に國家主義の國々に於いて主張される様になつた。此の傾向は本年パリーに開かれた國際都市計畫及住宅計畫會議に於いて、高層建築か低層建築かといふ議題の下に各國の代表の討論が行はれた結果、その大多數が前記の様な小住宅の支持者であつたといふことによつても、世界に於けるかなり一般的な傾向であることがうかゞはれる。就中ドイツは此の方面に對して極めて積極的で、嘗てジードルンクとして有名だつた彼の大高層住宅群に代つて、各戸毎に相當廣い菜園を備へた小住宅の聚落が目下盛に建設されてゐる。家屋は一戸建の小さなものであるが、菜園の面積は300坪程のものが多く、居住者は之によつて土に親しんだ生活を營むと同時に、又之から獲られる收入によつて建築費を償却して行き、數年の後にはすべてを自己の所有となし得る仕組みになつてゐる。



ベルリンのオリンピツク村

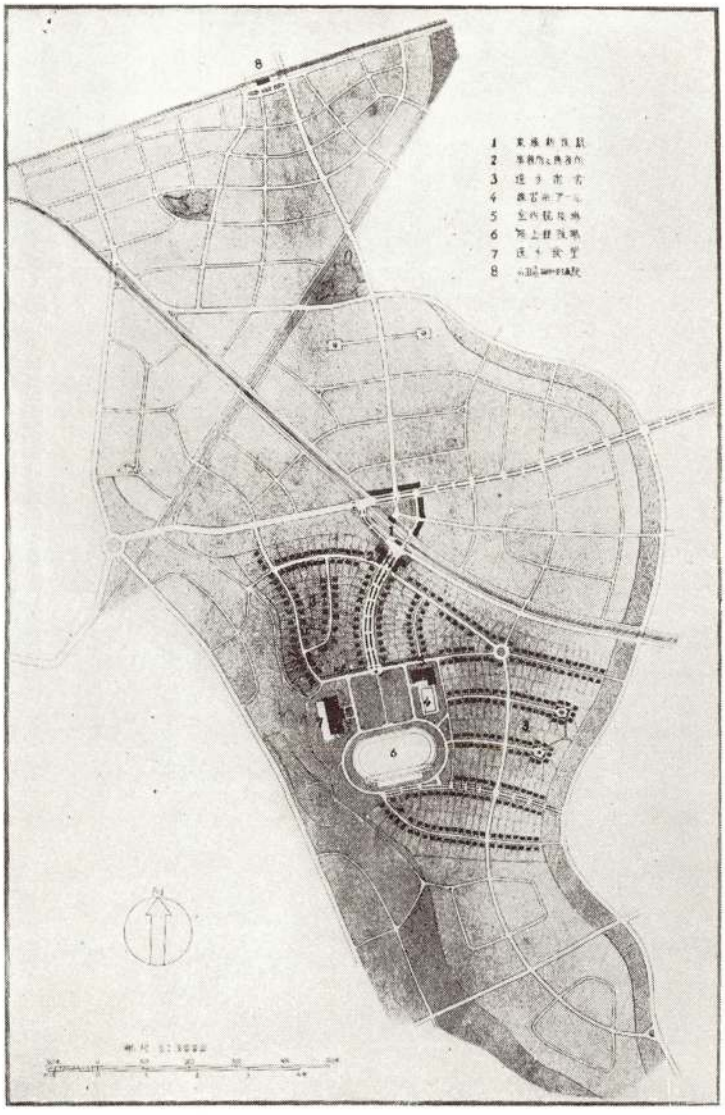


ブラレデンブルグ・クールマルクのクラインジードルンク
オリンピツク村と何か一脈相通じた所がある。

我國の住宅の形式は大地との給合といふ見地からは比較的良好だつたのであるが、大都市に於いては郊外地と雖もさういふものが次第に少くなつて、敷地の極めて狹

い土地から半ば遊離した様な住宅が多く建てられて、雑然とした殺風景な市街を形造つて行く状態である。勿論之を是正するためには技術、財政の兩方面に於いて公の積極的援助が必要であらう。しかし之にもまして必要なのは住宅の供給者並に需要者に、斯かる形式の住宅の優れた點を知らしむることではないかと思ふ。之に最も有効なる手段は先づ理想的な住宅地の見本を作ることである。

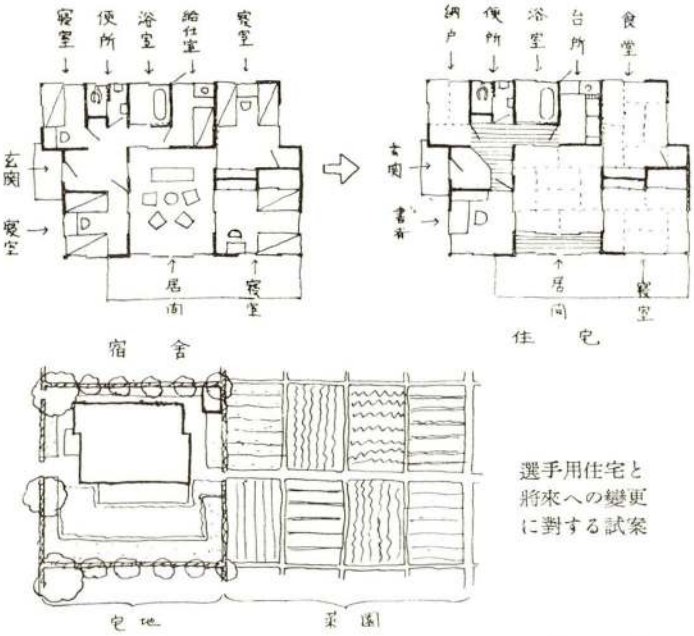
之は少からぬ費用を要することであるが、若し斯かる住宅地をオリンピツク村の副産物として實現することが出來、且之が村の方としても經濟であるとしたら、正に双方共極めて好都合な譯である。この可能性を考へて見るのが次に揭げる東京オリムピツク村試案の目的であつた。



東京オリンピツク村試案

この試案に於けるオリンピツク村の位置は、組織委員會の第一候補地にあげられてゐる砧臺の附近と假想した。之は神宮外苑から西南方約12粁の多摩川に近い高臺である。圖の中央を横斷する太い道路は澁谷驛附近とを繋ぐ都市計畫放射街路の一部であり、又中央を斜に走つてゐる軌道は澁谷に到る其私鐵の免許線でいづれも現存せぬものであるが、之はオリンピツク開催までには完成するものと假定した。この兩者によれば都心との交通は相當に便利であり勤勞者の住宅地としては決して不適當で

はない。又オリンピツク村としての選手の送迎にはバスによるよりは寧ろ省線との連絡運轉により競技場附近まで電車によつた方が便利であらう。電車によれば12粁の距離は大して問題ではなからうと思ふ。



選手用住宅と將來への變更に對する試案

圖中1は停車場で、驛前廣場は自動車の駐車場に用ひられる。2は村の入口で、左右に事務所及び應接所を設ける。之は建坪約 300坪で、村の終了後は住宅地の管理事務所並に店舗として使用される。村の入口としては之が唯一で、圖中に見える其の他の道路の出口の部分は、外の道路に面する一列の宅地とゝもに一時的な綠地として閉塞し、村の西及東側に多少濃く現れてゐる永久綠地（何れも外側に下る斜面）とゝもに村を完全に外界から遮斷してしまふ。

村の入口より幅員25米の廣い並木道が中央公園まで續く。途中之に交る大きな逆S形の道路は村の動脈で、將來はこの住宅地内の居住者が驛に通ふ重要な道である。之より派生する小道路に面して約 300戸の宿舍が並ぶ。之は一戸の面積約25坪とし、選手 6～7 名宛合計 2,000名を收容し得るものとする。この宿舍は將來一寸した改造によつて日本人の住む菜園付住宅としようといふのであるから、實際問題としては却々設計がむづかしいに相違ない。が之も決して不可能ではなからうといふことの證據までに、こゝに揷案を一つあげて置く。之はメートル法による面積88平方米（26坪）の家屋で宿舍としては選手7名、給仕1名を收容することができる。改造後は右側の樣に和洋折衷式住宅となるのだが、純洋風住宅とすれば勿論更に簡單である。

敷地はオリンピツク村の時代による劃然たる區劃割をせず、ブロツク全體を一面の草地として置くのであるが、住宅となつた場合には圖の樣に1戸平均 220坪の劃地に區劃し、更に之を約 100坪の宅地と100～115坪の菜園とに分つ。便所は水洗式として汚水を各ブロツクの中央（即ち菜園の中央）の腐敗槽に導いて其のまゝ肥料にする仕組みである。

中央公園は面積約 2,000坪で、集會場にも球技の練習などにも使用し得る廣い芝生を中心に、正面に一周 400米の練習用トラツク（6）、左右にプール(4)、體育館及び脫衣場(3)

食堂(7)等を設ける。晴れた日ならば、東の崖上に建つ食堂からは、はるかに富士山の姿を望み得るであらう。この部分の施設はオリンピツク村の時代には休養及び練習用施設であり、將來は一般の近隣運動公園となるのである。

この計畫の面積概要は次の通りである。

總面積	134,500坪		
內譯、廣場、道路、	14,000坪	中央公園	22,700坪
其他の綠地（斜面）	21,500坪	建築用地	76,300坪

終りにこの計畫の實施方法について少しく說明しよう。之には先づ前述の引受手、即ち此處では 300戶の大分讓住宅地を經營するものを見出すことが必要である。之は結局市或は公益團體の事業としてやることが適當であるが、その際政府あたりから長期の低利資金の供給があれば極めて好都合である。オリンピツク組織委員會は之に對して使用期間に對する家賃を支拂ひ、且改造費等を負擔する。又中央公園は市の公園として施設し、食堂等の特殊施設は組織委員會の負擔とする。この方針で行くものとして之に要する經費をざつと算出して見ると、土地買收費から宿舍等の諸調度の損料まで一切を含めて二百餘萬圓の巨額となるが、この內オリンピツク費より支出される部分——即ち云ひかへればオリンピツク村のために費された費用——は僅か三四十萬圓である。（この內約十萬圓は前述の如く宿泊料として回收される。)從つて之はオリンピツク村建設の一方法としても相當經濟的な方法である。

尙この土地を取得する爲には、買收を容易ならしめる爲に、もつと廣い範圍——例へば國中驛を中心として略圓形をなす約30萬坪の區域、之は一つの近隣單位である——に對して區劃整理を行ひ、村の用地をこの區域內の全地主から少しづつ出させるとか、或は買收を希望するものから出させる樣なことを考へるべきであらう。又この案の樣に住宅地として建設する場合には、都市計畫事業として實施すれば法律上土地を收用することも出來るわけである。

日本萬博

福田重義

概說　　經費
會場　　交通
博覽會表

概說

昭和十五年は建國以來丁度二千六百年に當るので、朝野を擧げて大祝典を行ふことになり、其祝典事業の一つが紀元二千六百年記念日本萬國博覽會であつて、我國では始めて開催せらるゝものである。

日本萬國博覽會成立に至る迄の經路、目的及大要等については甚だ簡單ながら、去る六月廿九日京濱各新聞社幹部招待會席上に於て述べられた、會長藤原銀次郎氏の挨拶文に盡してあるから次に轉記して讀者諸君の御參考に供する。

本日は操觚界有力なる各位の御會合を御願ひ致しましたところ、御多用中にも拘らず多數御出席下さいまして、誠に有難う御座ゐます。

御承知の如く昭和十五年は恰も紀元二千六百年に相當致しますので、これを記念するため各種の祝典並に事業が、朝野の間に計畫せられて居るのであります。日本萬國博覽會の開催につきましては、久しき前より識者の間に唱導せられて居りましたが、二千六百年記念と言ふ國を擧げての喜びの年を迎へんとして、急速に進捗致し、昭和九年、京濱十團體を發起團體と致しまして、日本萬國博覽會協會の設立を見たのであります。

政府に於かれましても、本計畫を極めて有意義なる記念事業なりと認め、二千六百年祝典事業の一に指定すると同時に、特に商工省内に博覽會監理課を設け、更に監理委員會を設けまして、專ら本事業の監督、指導、援助の機關たらしめて居られるのであります。

日本萬國博覽會協會に於きましても、之れと相呼應して昨年十一月、事業の直接經營に當るべき日本萬國博覽會を組織致し、小川、伍堂兩會長を經て、不肖私が乏しきを以て會長の任に就き、次いで事務總長以下各部長を任命致し、茲に陣容を整備して計畫の實行に入つて居る次第であります。

更らにこれと併行いたしまして、博覽會の基礎的調査研究を爲すため、既に計畫、出品に關する委員會を設けて居り、更に近く交通、宣傳等の委員會を設け、着々其進捗を計つて居る次第であります。

抑も、今回開かれんとする日本萬國博覽會の目的とするところは、第一に紀元二千六百

年を慶祝して、建國の御偉業を偲び、萬邦に比類なき皇室の彌榮を壽ぎ奉り、第二に日本文化並に產業の過去現在を展示して國威を海外に宣揚し、第三にこれを以て東西文化の融合をはかり、萬國親善の基を開かんとする念願に外ならないのであります。

而して本博覽會計畫の大要を申上げますと、先づ會期は昭和十五年三月十五日より八月卅一日迄、即ち百七十日間であります。次に會場は、月島の埋立地を第一會場とし、橫濱を第二會場と致します。

經費は、本會直接經費として三千五百萬圓（追加更正案では四千四百萬圓）を計上して居ります。其の財源の主なるものは前賣券の賣上に依り度いと考へて居ります。

其の直接經費の外に、會場內外の連絡設備費特に道路橋梁費として約千五百萬圓（追加更正案では千二百萬圓）諸外國參同費及內國出品人其他の投資豫想額三千五百萬圓を加へますと、本博覽會開催に要する直接、間接經費の總額は八千五百萬圓（追加更正案に依れば九千壹百萬圓）となるのであります。

次に私共が最も關心をもちますることは、萬國博覽會と開催地たる東京、橫濱兩市の產業關係であります。

大凡如何なる事業に致しましても、必ず經濟的影響を伴ふものでありまするが、就中萬國博覽會の如き其の會期中約三千萬人（追加更生案では四千五百萬人と考ふ）の入場者を豫想せられまするので、開催地の產業が、之れが爲めに甚大なる影響を受けることは申す迄もありません。これは既往の外國博覽會の例に徵しましても明かなる所でありまして、所謂博覽會景氣の齎す効果は、殊に大なるものがあるのであります。

今次の日本萬國博覽會に於ては、前述八千五百萬圓（九千壹百萬圓）の外入場者中地方より上京者千五百萬人と假定致し、宿泊料其他一人の消費額を十圓と見積りましても、一億五千萬圓となります。更らにこの期間中約十萬人の外國觀光客が豫想せられますが、國際觀光局の調査に依りますれば、外國觀光客の一人平均消費額は約二千圓との事でありますから、外國人の國內消費額は約二億圓となります。この半額を京濱間に於て消費するものと致しましても、本博覽會に依つて開催地に消費さるゝ金額は實に三億三千五百萬圓（三億四千百萬圓）の多額に上るのであります。斯の如き巨額の金が動きますことは、京濱產業界の一大福音であるのみならず、延いて全國的に敏活なる經濟的活動を促し、國民生活の明朗化を招來するものと信じて疑はないのであります。されば本會の事業は眞に紀元二千六百年を祝賀するに相應しきものと言つても、敢て過言ではないと思ひます。

以上申述べました所に依りまして、萬國博覽會の重要性を、御賢察願へることゝ存じます。

斯の如き高遠なる理想に輝く國家的本事業の遂行は、もとより博覽會當局のみの力を以てよくする所はでありません。廣く朝野協力一致の御後援を仰がねばならないのであります。殊に社會の木鐸として、世論指導の任にあらるゝ操觚界各位の絕大なる御援助に依ら

ざれば、到底所期の目的を達し得ないのであります。

希くば各位に於かれましては、私共の微衷の存する所を諒とせられまして、充分の御指導御聲援を賜り度いと存じます。

今夕は本博覽會の爲めに、貴重なる時間を御割き下さいまして感謝に堪へません。茲に重ねて御禮を申上げまして御挨拶に代へる次第であります。（文中追加更正案とあるのは最近考へられて居るもので之れは筆者が書き加へたものである）

經　　費　（未決定案）

收入額　44,000,000圓　收入金は協會で行ふ抽籤券付回數入場券の前賣金の繰入れに依る

支出額　44,000,000圓

會場建設費約　20,000,000圓
土　木　費　4,000,000圓
建　築　費　10,000,000圓
設　備　費
裝　飾　費　5,000,000圓
人　件　費　1,000,000圓
事　務　費　約 6,000,000圓
入場券前賣費約 6,000,000圓
經　營　費　約 9,000,000圓
豫　備　費　約 3,000,000圓

以上は博覽會が直接取扱ふ經費であるが、博覽會開設に伴つて會場內外の連絡設備即ち橋梁、道路、渡船場、給水、排水等に對して、東京市が投ずる費用は約千二百萬圓位ではないかと思はれる。

會　　場

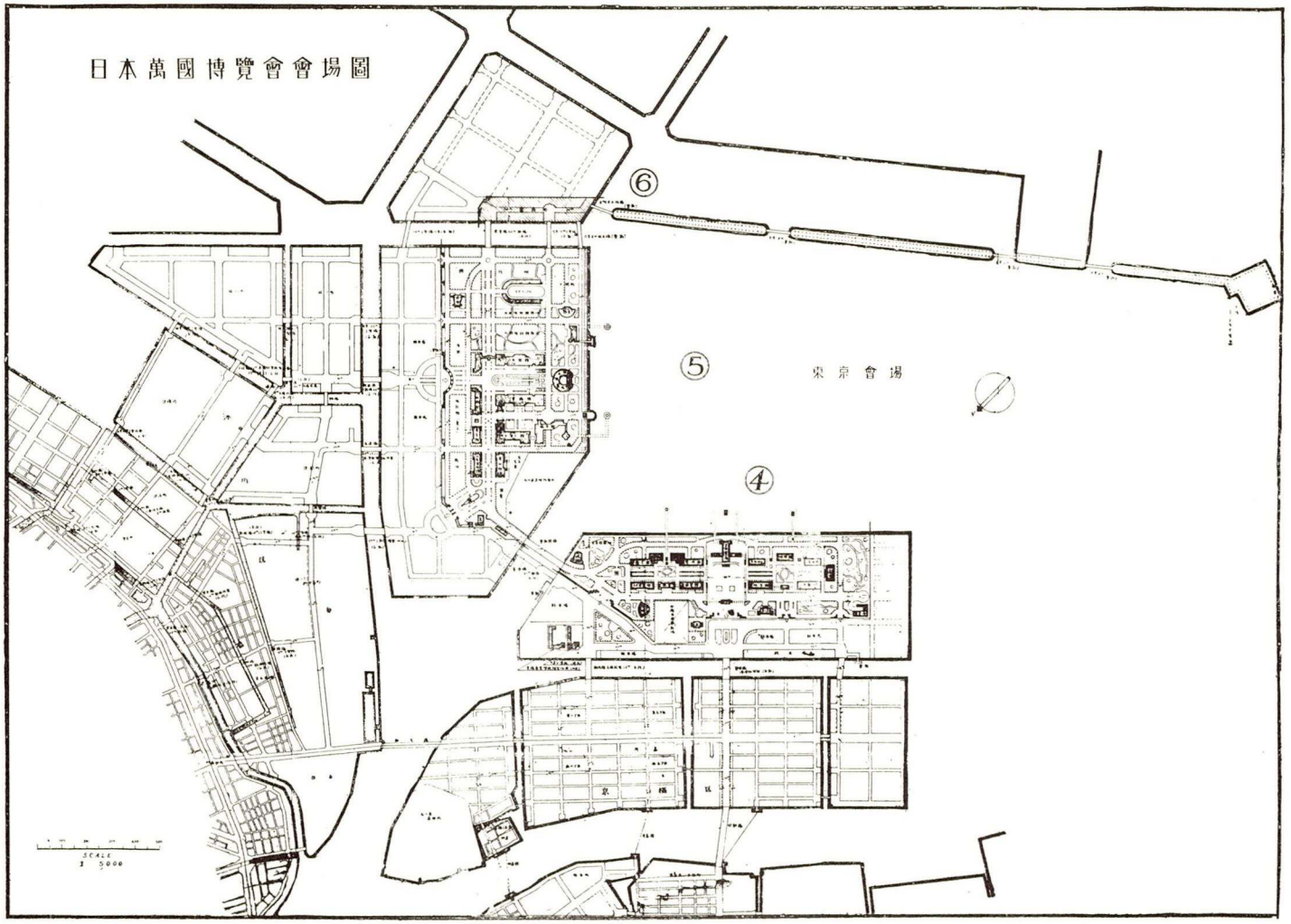
東京會場

位　置　東京市埋立地第四號（春海町）、第五號（豊洲）、第六號、防波堤、第三臺場

面　積　約四十四萬坪（會場敷地比較圖は東京驛と建國記念館と一致する樣に、東京市地圖の上に會場圖を重ね其大さの觀念を與へたものである）

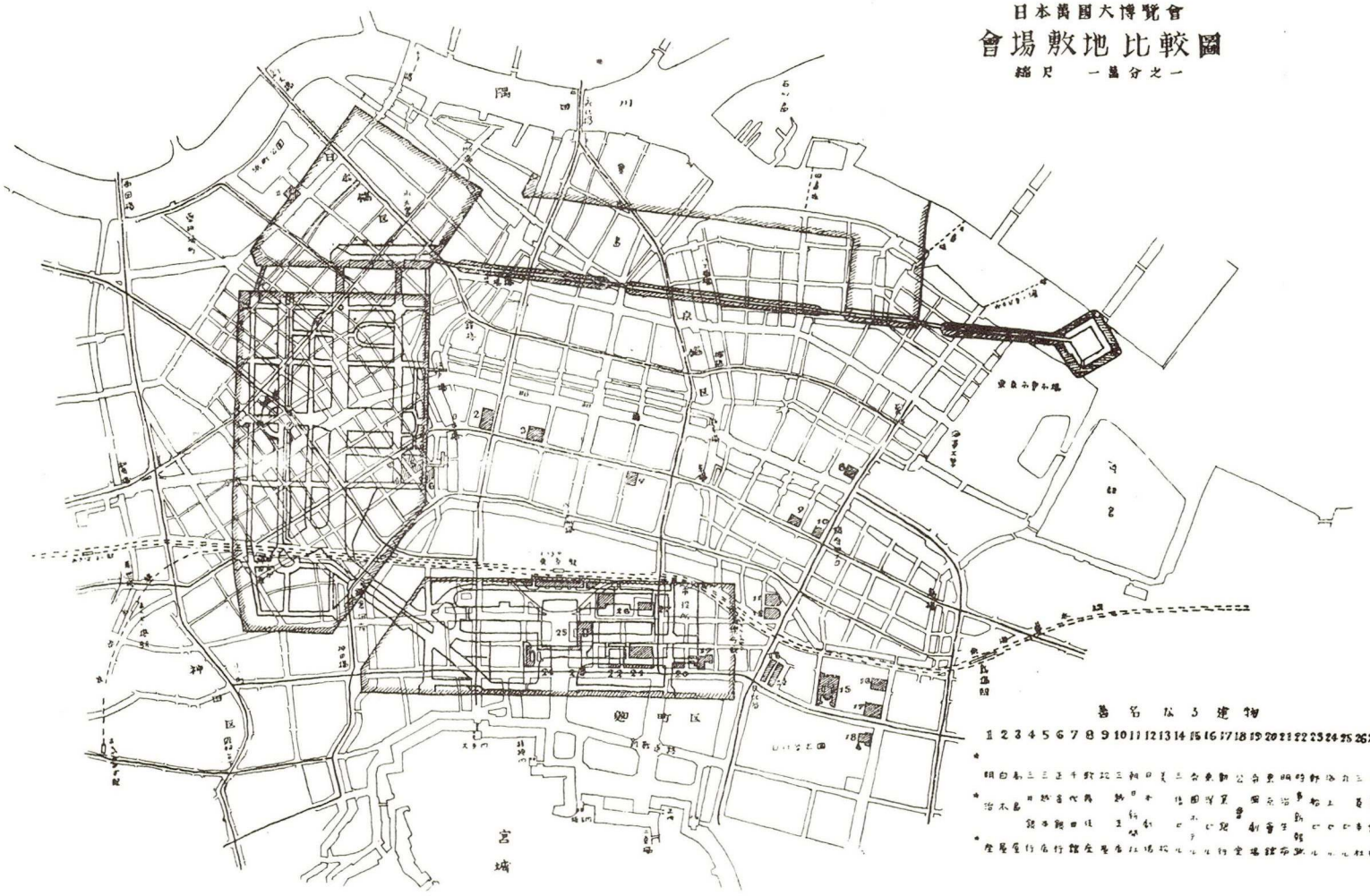
配　置　會場圖に見る如く第四號地では、日比谷交叉點から直達する道路に直面して建國記念館を建て、其左右に相對的に建物を配置して廊下で繼ないである。

五號地では中央に大噴水池を設け、其片側に機械館、電氣館其他を、他の側に外國館、外國特設館敷地及び興行物敷地等を設けて相對的に配置して


日本萬國博覽會會場圖
⑥
⑤
東京會場
④
SCALE
1 5000

日本萬國大博覽會
會場敷地比較圖

縮尺 一萬分之一



あるが、建物の配置は四號地、五號地共に敷地内にある道路並びに計畫道路に大分拘束されて居る。

建物敷地は成る可く綠化し道路は舗裝し海邊には散步道を設ける積りである。(此案は會場計畫委員會で決定したものである)

建　物　四號地に建つものは建國記念館其他精神文化に關するものが多く五號地のものは產業文化に關するものが多いので、建物型式も自ら四號地に於ては日本趣味を基調としたものとし五號地に於ては近代自由型のものとして居る。

建物は大體三梁間で全幅十二間半又は十四間半、軒高三十九尺又は四十二尺、外部は準耐火構造となつて居る。

第四號地に建つ建物——建國記念館(3000坪)、生活館及び社會館(720坪)保健衞生館(720坪)、教育館(720坪)、美術館(960坪)、文藝館(740坪)、科學館(790坪)、經濟館、燃料館及び海外發展館(990坪)、土木建築館(760坪)、通信交通館及び觀光館(1800坪)、發明館及び印刷寫眞館(1800坪)、鑛山館(450坪)、武德館(450坪)、野外演藝場(900坪)、演藝館(675坪)、事務局(1800坪)、倉庫(500坪)、其他

第五號地に建つ建物——農業館(720坪)、林業館及び食料館(1080坪)、紡織館(1080坪)、蠶絲館(720坪)、化學工業館製作工業館及び工藝館(2420坪)、機械館及び電氣館(2250坪)、航空館(1350坪)、外國館(2250坪)、映畫館(675坪)、野外音樂堂(1800坪)、內國即賣所(1800坪)、賣店(2700坪)倉庫(500坪)、外國特設館、其他

講演會場

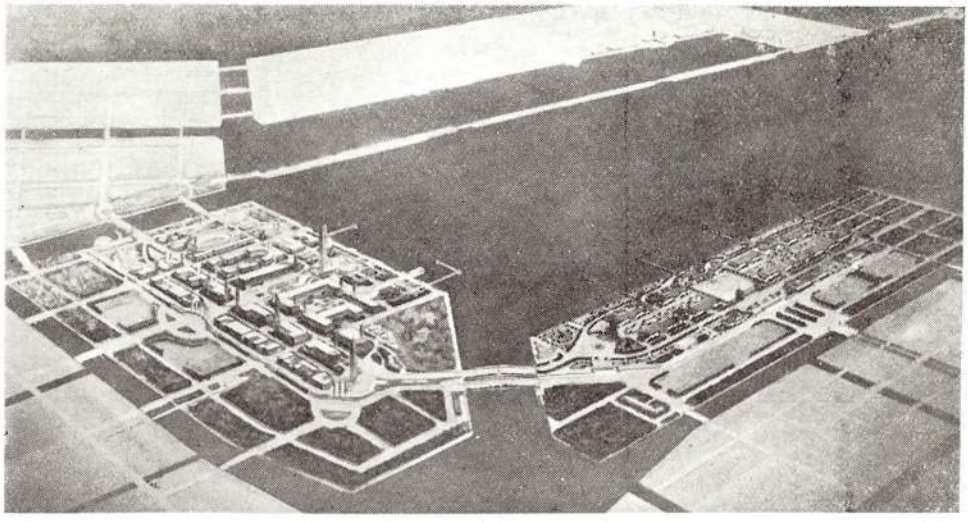
位　置　面積共に未定　　建　物　近代自由型

海洋館(700坪)、水產館(700坪)、水族館(800坪)、野外音樂堂(450坪)、事務局(90坪)、諸建物(450坪)、其他

交　　通

在來の內國博覽會及び外國萬國博覽會の實績から考へて、此博覽會には

總入場者	45,300,000人
內有料	43,800,000人
無料	1,500,000人
一日平均	266,000人
混雜日	666,000人
混雜時一時間	147,000人



日本萬國博覽會々場鳥瞰豫想圖

があるものとして交通問題が研究されて居る。

以上十四萬六千人を輸送する爲めに京橋方面の橋梁及び渡船施設の改善、深川方面の橋梁新設、道路の擴張、省線越中島線の新設等を實施すると二割の減率を見込むでも、陸上の輸送能力は十三萬九千人となり徒歩入場者を混雜時一時間入場者の五分として七千四百人と推定すれば、優にすべての入場者を輸送し得る事になる。

以上は混雜時一時間入場者の輸送能力であるが、此博覽會場に何の方面から何程の入場者が來るかに就いては明確な見込みをたて難く、從つて輸送能力に應じて交通機關の統制を行ひ、各方面の入場者の數を調整する事は勿論行はねばならぬことになる。此交通問題は中々難問題であつて、今折角交通委員會に於て審議中であるから近日に成案を得る事と思ふ。

横濱會場に關しては位置未定の爲め記事省略。

博覽會表

世界に於ける萬國博覽會の實績、日本に於ける主なる博覽會の實績、我國參同せる海外博覽會一覽表を雜誌「萬博」より拔萃して揭げ置く。

世界に於ける萬國博覽會の實績

會名	主催	開催地	年次	會期	會場坪數	入場者數	經費	
							收入	支出
					坪	萬人	萬圓	萬圓
1 倫敦萬國博覽會	民間協會	倫敦	1851	141日	29.000	604	508	295
2 紐育萬國博覽會	〃	紐育	1852	5ヶ月	76.000	125	—	128
3 巴里萬國博覽會	政府	巴里	1855	200日	51.000	516	128	460

4 倫敦萬國博覽會	民間協會	倫敦	1862	171日	38.000	621	420	459
5 巴里萬國博覽會	政府	巴里	1867	210日	208.000	1.020	1.050	938
6 墺國萬國博覽會	〃	維納	1873	186日	705.000	726	426	2.340
7 米國獨立記念 100年費府博覽會	官民	費府	1876	159日	348.000	986	773	1.600
8 巴里萬國博覽會	政府	巴里	1878	190日	227.000	1.610	948	2.216
9 〃	〃	〃	1889	180日	327.000	3.235	2.000	1.600
10濠龍（市俄古）萬國博覽會	民間會社	市俄古	1893	183日	775.000	2.754	3.764	5.650
11巴里萬國博覽會	政府	巴里	1900	210日	327.000	4.768	4.862	4.500
12聖路易萬國博覽會	民間會社	聖路易	1904	185日	1.518.000	1.970	4.904	5.183
13巴奈馬太平洋萬國博覽會	〃	桑港	1915	288日	960.000	1.883	3.500	2.590
14米國獨立 150年記念萬國博覽會	〃	費府	1926	184日	1.331.000	650	5.400	5.400
15進歩1世紀市俄古萬國博覽會	〃	市俄古	1933	170日	516.000	2.257	6.225	5.396

日本に於ける主なる博覽會の實績

會名	主催	開催地	年次	會期	會場坪數	入場者數	經費	
							收入	支出
					坪	人		圓
1 第1回内國博覽會	政府	東京	明治10年	112日	30.000	454.168	——	106.875
2 第2回内國博覽會	〃	〃	〃 14年	122日	43.000	822.395	——	276.350
3 第3回内國博覽會	〃	〃	〃 23年	〃	40.000	1.023.693	——	486.148
4 第4回内國博覽會	〃	京都	〃 28年	〃	50.000	1.136.695	——	377.256
5 第5回内國博覽會	〃	大阪	〃 36年	151日	114.000	5.305.209	307.047	1.214.832
6 東京勸業博覽會	東京府	東京	〃 40年	134日	52.000	6.574.212	687.689	1.266.813
7 大正博覽會	〃	〃	大正 3年	132日	125.000	7.468.610	713.485	1.647.808
8 平和博覽會	〃	〃	〃 11年	144日	117.000	11.081.326	3.879.830	4.776.686
9 國產振興東京博覽會	東京商工會議所	〃	昭和 3年	65日	20.000	2.242.987	1.687.800	1.687.800

備考　我國に於ける博覽會に於ては政府主催の内國勸業博覽會以來大正11年の平和博覽會に至る迄は出品場所料及館外場所使用料を徵收せず且つ入場料も第5回内國勸業博大人5錢（後20錢）大正博に於て大人15錢を徵したるに過ぎざりしを以て博覽會經營に於ける主要財源たる入場料及場所料を今日に於ける普通程度に徵收したりとせば充分缺損額を補塡し得たりと思料す。

我國參同せる海外博覽會一覽表

參同回數	開催年次	日本年號	開催國	名稱	開催地	會期	參同經費
							圓
第1回	1873年	明治 6年	墺太利	萬國博覽會	維納	180日	520.585
第2回	〃	〃	英吉西	〃	倫敦	90日	9.000

第 3回	1875年	8年	濠 太 利	〃	メルボルン	〃	2.230
第 4回	1876年	9年	北米合衆國	獨立100年祭萬國博覽會	ヒラデルフイア	180日	360.000
第 5回	1878年	11年	佛 蘭 西	萬 國 博 覽 會	巴 里	〃	213.242
第 6回	1879年	12年	濠 太 利	〃	シドニー	〃	30.000
第 7回	1880年	13年	〃	〃	メルボルン	〃	38.014
第 8回	〃	〃	獨 逸	萬國漁業博覽會	伯 林	90日	不 詳
第 9回	1881年	14年	〃	鑛泉學博覽會	ミュヘン フランクフルト	180日	1.500
第10回	〃	〃	北米合衆國	萬國綿業博覽會	アトランタ	〃	不 詳
第11回	1882年	15年	墺 太 利	內國工業博覽會	トリエスト	105日	416
第12回	1883年	16年	和 蘭	植民地產物一般輸出品博覽會	アムステルダム	180日	20.000
第13回	〃	〃	北米合衆國	技術工業博覽會	ボストン	90日	10.000
第14回	〃	〃	英 利 西	萬國漁業博覽會	倫 敦	180日	2.400
第15回	1884年	17年	〃	萬國衛生博覽會	〃	〃	24.071
第16回	〃	〃	露 西 亞	萬國園藝博覽會	聖彼得堡	15日	10.000
第17回	〃	〃	英 利 西	萬國森林博覽會	エヂンバラ	90日	19.365
第18回	〃	〃	北米合衆國	萬國工業博覽會	ニューオルノアンス	〃	15.500
第19回	1885年	18年	英 利 西	萬國發明品博覽會	倫 敦	180日	27.515
第20回	〃	〃	獨 逸	金工萬國博覽會	ニユールンベルグ	105日	33.000
第21回	1888年	21年	西 班 牙	萬 國 博 覽 會	バルセロナ	240日	23.000
第22回	1889年	23年	佛 蘭 西	〃	巴 里	180日	130.000
第23回	〃	〃	獨 逸	商 業 博 覽 會	ハンブルグ	80日	5.000
第24回	〃	〃	露 西 亞	萬國監獄博覽會	聖彼得堡	90日	5.314
第25回	1893年	26年	北米合衆國	コロンビアン萬國博覽會	シカゴ	180日	630.766
第26回	1900年	33年	佛 蘭 西	萬 國 博 覽 會	巴 里	300日	1.115.286
第27回	1901年	34年	英 利 西	〃	グラスゴー	180日	40.000
第28回	1902年	35年	印度支那	〃	河 內	56日	10.000
第29回	1904年	37年	北米合衆國	〃	セントルイス	285日	263.000
第30回	1905年	38年	〃	〃	ポートランド	137日	30.000
第31回	〃	〃	白 耳 義	〃	リエーヂ	185日	40.000
第32回	1906年	39年	伊 太 利	〃	ミラノ	250日	15.695
第33回	1907年	40年	北米合衆國	〃	ゼームスタウン	170日	15.000
第34回	1908年	41年	露 西 亞	萬國裝飾技術及家具博覽會	聖彼		30.000
第35回	1909年	42年	北米合衆國	アラスカユーコン太平洋博覽會	シアトル	130日	70.000
第36回	1910年	43年	英 利 西	日 英 博 覽 會	倫 敦	185日	2.080.000
第37回	1911年	44年	伊 太 利	建國50年記念萬國美術勸業博覽會	ロ ー マ	210日	152.500
第38回	〃	〃	獨 逸	萬 國 衛 生 博 覽 會	ドレスデン	180日	不 詳

第39回	1912年	大正元年	丁　　抹	萬國發動機博覽會	コペンハーゲン		260
第40回	1914年	3年	和　　蘭	南洋スマラン博覽會	スマラン	90日	40.000
第41回	1915年	4年	北米合衆國	巴奈馬太平洋萬國博覽會	サン・フランシスコ	285日	1.184.362
第42回	1923年	12年	伯剌爾亞	ブラジル博覽會	リオ・デヂヤネーロ	327日	400.000
第43回	1925年	14年	佛　蘭　西	萬國裝飾美術博覽會	巴　　里	159日	405.000
第44回	1926年	15年	北米合衆國	獨立150年記念萬國博覽會	ヒラデルフィア	185日	1.150.000
第45回	1930年	昭和 5年	白　耳　義	萬國科學工業海洋植民博覽會	リエーヂ	〃	500.000
第46回	1933年	8年	北米合衆國	進歩1世紀萬國博覽會	シカゴ	170日	870.000
計							10.442.021

備　考　本表に於ける參同經費は主として、政府及主要團體の經費にして、個人或は出品諸團體の經費を含まざるものとす。
德川幕府の參同せる1867年巴里萬國博覽會及明治 4年東京府商工業者の出品參加せる桑港工業博覽會は公式參同と云ふを得ざるにより除外せり。



1939年に開催される New York Worlds Fare. (The A. C. F. 1937 より)

日本萬國博覽會に於る二、三の問題に就て

本　多　次　郎

今回の博覽會の意義、目的、これが提唱から成立迄の經過及現在の組織等に就いては博覽會工營部長福田重義氏の御寄稿中に一通り觸れてをられる樣なので割愛し、また博覽會を通觀しての概論的の問題も興味が薄いと思ひ、やゝ問題は小さくなるが單に今回の博覽會の當面すべき諸問題中二、三に就きその概要を御紹介するにとゞめる。

博覽會を開催する以上立派にやりとげたい。殊に紀元二千六百年記念の官民共力事業たる今回の博覽會、そしてまた諸外國に日本の現代文化の粹を誇示すべき絶好の機會でありまかり間違へば醜體を曝す機會ともなり兼ねざるに於てをやである。

從來の博覽會の成功不成功の原因を調べてみるとその最も影響の多いと思はれるのは天候の如何であるが、これは何とも致方のない事でまづ運不運に歸するの外はない。たゞ內容の不十分からの不成功、つまり建築物其の他の諸設備、出品物の質及展示方法の十分ならざる事による不成功はその罪萬々博覽會當局が負はねばならない。一九二六年（大正十五年）米國獨立百五十年記念費府博の如きこの意味からの失敗の例であり、また目下開催中の巴里博の如きも共產黨政府の下に勞働者の怠業から會期中をば過ぎてまだ全館が揃はぬといふ不體裁を演じ、佛蘭西としては今迄にない味噌をつけた由の報告がある。今回の日本萬國博覽會は從來と異る特殊の目的と意義を有してゐる丈け從來と全く違つた心構への下に萬般の用意を整へてゆかねばならないが、これは却々口に云ふべくして實行の容易ならざるものであるかもしれない。この意味もあつて現に博覽會又は關係官公、廳、學界事業界等を通じ各方面の權威者を網羅して各種の委員會が設立され主要事項は之等のブレーントラストにかけ最善の方針を定め計畫を決定する建前となつてゐる。現在會場計畫、交通、出品調査、宣傳の四委員會が成立してをり各々數回に亘る會合が催されてをり正に日本官民總がかりの努力が拂はれてゐる。

扨以上からも大約推測がつくが開期昭和十五年三月十五日を目標としてあと二年半足らず、この間に形としてゆかなければならない問題の中主要なもの丈を拾つても交通計畫、會場計畫、宿泊施設計畫、出品計畫等々その何れもが仲々容易ならざる問題を含み簡單には結論をつかみ得ないが現狀に於て其の概要丈を御紹介する事とする。なほこれは單に博覽會の內容から丈でなく廣く東京の橫顏がボンヤリながら寫し出される意味で寧ろ興味があるかもしれない。

1. 交　通　計　畫

交通計畫が博覽會の重要成立要件たる事は云ふ迄もない。他の施設が如何に巧に申分なく出來てゐても會場へ往復する道筋が適當に選ばれてゐなかつたり、途中で混雜して歩いた方が早い事になつたりしては博覽會の興味も半減すべく更にまた多數の諸外國人に日本の首都の交通の不備亂雜を暴露する樣では切角の掛聲に對しても申譯ない事といはねばならない。

交通計畫は二つに分れる。その一つは會場外の交通即博覽會を見に來る人が會場に到達する迄の交通問題所謂場外交通であり、他は會場內に於ける連絡の爲の交通所謂場內交通である。

場外交通は先づ自然の地理的條件に左右される。然るに月島の會場は遺憾ながらこの點甚だ不利といはねばならない。即

1. 會場の位置が可成偏してゐる事
2. 從つて交通連絡が不完全で且將來の見込も少い事
3. 主要交通が都市中心地を橫斷しなければならない關係に在る事

會場は銀座築地方面に對し隅田川を隔て昭和14年中完成の豫定の勝鬨橋一本の外は直接の連絡がない。勿論十分にして適當な交通機關による連絡が可能であれば別段であるが元來月島は工業地帶の豫想の下に諸準備が進められてをり將來の利用を考へると莫大の費用を今日から投資しておくわけにゆかないといふのが事業官公署の意見の樣であり、この方針が變らぬ限り問題は却々難しくなると思はねばならない。この關係は嘗て四號地の一部が東京市廳舍の建築敷地として市會を通過した時囂々たる反對論が起つた事からも或る程度の推論は出來よう。

さてそれは兎も角この位置に會場が決定した今日に於ては交通問題を如何に考へてゆくべきか、之が主要點を摘記すると次の如き事とならう

1. 先づ入場者數の豫想が第一に必要である。
2. 次に交通形態の無理なき豫想を樹てる事並に交通の經路殊に主流を考察する事。
3. 入場者を運搬し得る交通機關の現狀及運轉量の推定
4. 運轉施設の考究

（1） 入場者がどの位あるかの豫測は却々難しく一概にきめ得られる筈もないが經費捻出の關係上割增金附前賣入場券を發行する事になつてをり、その枚數が大人券として4380萬枚である事から推定すると一定割引ある小人、軍人、團體等を從來の入場率から還元計算し之に無料入場者及從業員を含めると合計4780萬人となる。この數は一年前に開かれる紐育博覽會の5,000萬人、1900年巴里博の4,700萬人に拮抗し、同じく一年前の桑港博の2,000萬人、1933年の市俄古博の2.250萬人の何れもの約二倍に達する彪大な數字である。

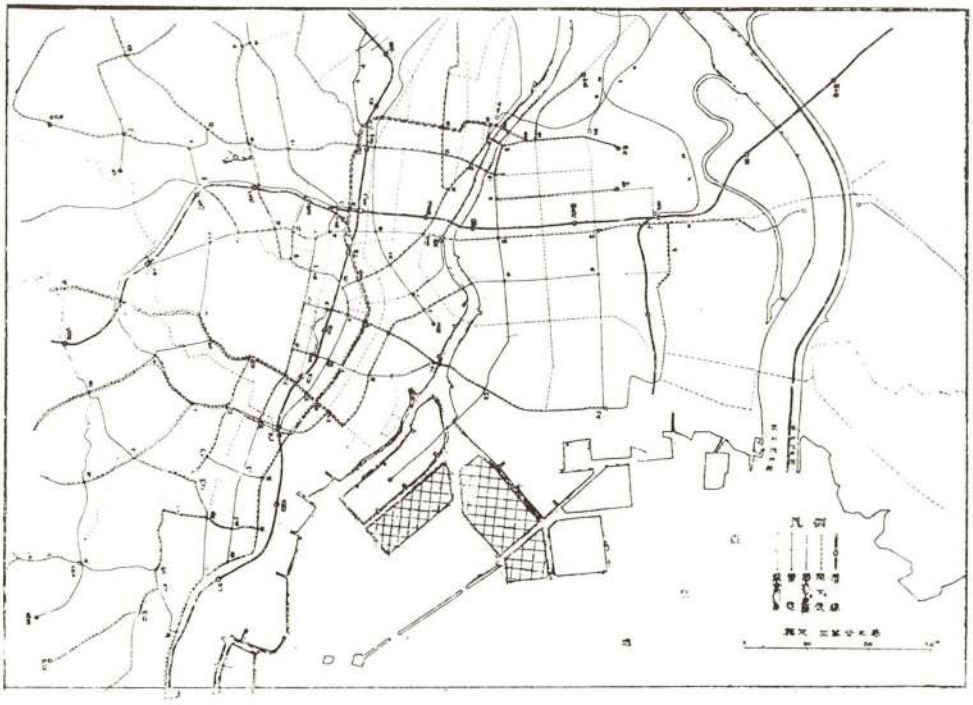
この4,780萬人が會期170日間に平均に分布するとすれば一日28,1萬人となるも季節、天候、休日、平日、催物の有無等に因り大差を生ずるは從來の事例に徵し容易に想像し得

らるゝところでその意味から一日最高入場者數70.25萬人、一時間最高入場者數15.46萬人と一應計算されるが實際上は幾分減少すべく明瞭な豫定數は得難いが大約毎時10萬人から11萬人位の入場者に對應する交通施設が準備されてゐれば足るものと思はれる。

（2） 然るにこの入場者數はどこからでも入場出來ればいゝといふ數字ではなく、居住者の居住關係と交通機關の利用狀況から判斷して京橋方面と本所、深川方面に分ち且京橋方面を主として考へなければならぬ現狀に在る事は簡單に圖面を見た丈でも了解されるところである。而して前記毎時入場者基準數から一應の計算をしてみると京橋日本橋方面毎時6.4萬人、本所深川方面4.3萬人となる。

なほまた之等の人は交通機關の利用狀況から自然一定の主要集合地點を形成し之等の集合地點より改めて博覽會場に連絡する事となるは想像に難くない。ざつと勘定したところでも省線利用者が市電バス利用者より少い事はなく然も省線利用者は自ら會場に對し近距離に在る諸驛例へば京橋方面に對しては新橋、有樂町、東京驛等、本所深川方面に對しては上野、兩國橋、錦糸町に合する事となるべく、從つて之等の驛からは是非會場直通のバスを運轉すべきで然も相當高級な、座席を主とする乘心地よきものでありたい。

（3） 次に現在豫想し得る許容交通量は幾何を期待し得ようか。之には先づ交通機關の容量と單位時間內許容交通量の豫測が必要であるが現在運轉中のものに付て見ると大體次の如き數が得られる。



會場附近交通機關配置圖

交通機關	一輛收容人員	一車總通過一時間可能車數(毎時)	一時間輸送人員	備考
電車	120	120	10.080	電車ボギー車の定員は94,86,64人。 一時間輸送人員は7割を見込み計出す
バス	36	360	9.070	
タクシー	3	780	1,640	
自轉車	1	1500	1,050	
徒歩			3,600	

上記の數中一時間輸送人員を七割に減じて考へたのは相當豫猶ある交通たらしむる趣意で殊に都市中心地を横切る交通としては相當の減率を考へてをく必要ある爲である。

以上により輸送能力を計算してみるのに前記の如く水面を隔てた位置に在る關係から結局橋の部分で首がしめられて橋の許容交通量が全交通能力となる。從つて京橋方面からは昭和十四年中竣成豫定の勝鬨橋一本、一部分迂回させるとすれば永代橋を使用する事はそれ程無理でないかもしれない。

深川方面は現在はこれといふ交通路がないが割合施設が簡易であるから北部からの三主要線を採り之を延長して會場に到達させるとすれば大量の交通運轉量が判明する。

橋名	全幅	幅員 車道	幅員 歩道	電車 車線數	電車 幅員	バスタクシー 車線數	バスタクシー 幅員	自轉車 車線數	自轉車 幅員	徒歩總數
勝鬨橋	22m	8.3m	2.7m	1	2.75m	1.5	4.55m	1	1m	3
永代橋	22m	8.3m	2.7m	1	2.75m	0.75		1	1m	—

備考　永代橋に就てはバスタクシーは半車線は使用不可能狀態に在る爲差引く

以上によりこの兩橋よりの許容交通量を計出してみると

勝鬨橋よりの交通量（毎時）

交通物	實際交通量	現在交通量より推算せし割引率	
電車	10,080	0.8	8,064
バス	6,804		6,804
タクシー	1,232		1,232
自轉車	1,060		1,050
徒歩	10,800		10,800
計			27,950

永代橋よりの交通量（毎時）

交通物	實際交通量	現在交通量より推算せし割引率	
電車	10,080	0.8	8,064
バス	6,804		6,804
自轉車	1,050		1,050
計			15.918

之等より許容交通量は43,870人となり前記必要交通量64,000人と對比すると毎時約2萬人の不足となる勘定である。

本所深川方面に付ては京橋日本橋方面より必要とする交通量も少く施設も容易であるから數字は省略し單に豫猶を以て入場し得る事丈を記するにとゞめる。

（4） 最後に運轉施設に就いて考へてみる。要點は前記の如く京橋日本橋方面で餘つた毎時2萬人の入場者か如何に處理するかの問題に歸する。之が解決策の一つは永代橋の上流清洲橋その他を迂回させて本所深川方面から入場させる方法、その二は新しく隅田川に何等かの施設を施す方法である。第一の方法は窮餘の一策で出來る限り避けたいものであり從つて第二の方法たる隅田川上流の施設、即省線の連絡、地下鐵の延長、新橋梁の架設等の方法による解決が最も希望されるものである。たゞ高速度交通機關は現在に於ては經費と時日上不可能の樣である。橋梁は川を航行する船の問題さへ片づけば假橋程度ならば出來ない事もない樣である。

なほ之等の根本問題の外に主要乘降地點に於る廣場其他の施設、駐車場の問題、交通混亂を惹起する虞ある地點の交通統制又は隅田川上の舟運による入場者の輸送、東京橫濱兩會場を連絡する豪華船の配備等擧げれば更に數多くの問題があるが現に交通委員會で考究中でもあり、以上の程度をもつてとゞめる事とする。

次に場內交通に付ては今のところ何も決定したものは無いが四號地から五號地迄延長三粁、日比谷の角から神田橋を經て水天宮にお詣りする丈の道のりがあり、各館內を一通り通り抜けて丈ゆく事にしても約15粁位にはなる。更に臺場公園迄往復するとすれば少くも20粁に達しこの間に場內のみを連絡する交通機關を設置する必要のある事は從來の諸外國の博覽會の例をひく迄もなく當然の事である。百人位を收容出來る二階附のバスを人混みに危險がない樣ゆつくり運轉したら一つの見物にさへなるのではないかと思ふのである。

2. 會 場 計 畫

會場計畫は博覽會の中心問題であり、會場の位置、形狀、面積、建築物其の他の諸施設の配置設計等總て博覽會の本質を形づくるものである。會場の面積は約60萬坪、形狀も前記の如く膨大なものであり之に約42,000坪の直營建築物が建築せられる筈、云ひ換へれば相當の大きさの一都市が建設されるものとも云ひ得べく建築物の樣式意匠の問題に到つては直ちに博覽會全體を評價する尺度ともなるものであるから、之が設計に付ては萬全の準備と細心の推考が必要である。また博覽會の建築物はその一部分を除き閉會後解除してしまうものである事からも建築家の夢を遠慮なく表現出來るものであり、從來の諸外國の博覽會の例を見ても博覽會建築物は常に當時の建築界に少なからざる影響を與へてをり、その時代の建築界をリードする役目を勤めてゐるかにさへ見える。今回の博覽會は殊に諸外國に對し吾國文化の粹を誇らうとする意圖あるものである意味からも建築物が御座なりのものであつてはならない。之が爲には會場計畫委員會の日本建築界を代表する方々の卓見に信賴すると共に一般建築界に於ても單に出來たものを批判する丈の役廻りをとらず進んで事前に具體的の御高見が伺ひたいものと期待してゐる次第である。なほ目下懸賞募集中の建國記念館の設計に付いて同館が今回の博覽會の主題建築物たる意味からも直ちに博覽

會建築の進む道を示す有力な指針ともなると同時に將來の吾國の建築界に及ぼす影響も多大なものとなるべく只管優秀なる應募圖案の數多く集る事を期待してゐるものである。

その他會場計畫としては道路、橋梁、電氣瓦斯、上下水等々の各施設を含み之等表面に表はれない諸施設の巧な處理なくしては滿足な會場計畫と云ひ得ざる事當然である。更に會場の綠化施設、各種裝飾的施設、休養慰樂的施設等會場計畫に含まるゝ範圍は誠に廣く然も建築物は前記樣式意匠の問題と別個に强度保持、防火、避難等の諸要件を備へてゐなければならず、今後二年あまりの時日內に課せられた仕事の量は蓋し驚くべきものであり一面市場にも色々の意味で影響を及ぼす事と想像される。

3. 宿 泊 施 設

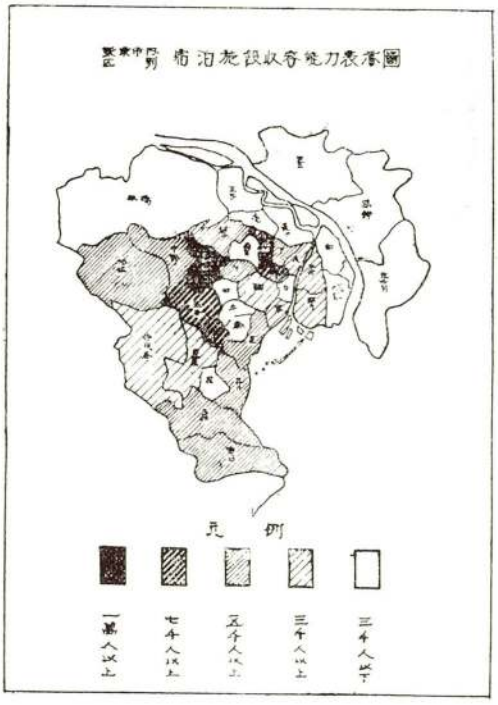
元來博覽會入場者は東京市內居住者及一日以內に往復出來る範圍內居住者を除き何れも一應東京に足をとめる事となる。この中親類、知人宅に泊る者も相當數見込まれるが何と云つても旅館その他の宿泊施設を主體として考へなければならない。即現在の宿泊施設及之が收容能力を調達し不足の場合には適當の對策を講じなければならない。

現在東京市內に於ける宿泊施設關係の數字は次表の如くである。

	宿泊施設數	同 室 數	同收容能力數
ホ テ ル	10	1,060	1,721
旅 館	1,117	12,379	27,034
下 宿	1,956	24,695	43,430
アパート	2,426	52,654	73,831
簡易ホテル	33	569	1,082
其 の 他	15	453	1,284
計	5,559	91,810	148,382

この中最も需要の多いのは旅館であらう。數から見ると下谷、本鄕、品川、神田、京橋の順となり收容能力から云ふと神田、下谷、本鄕、日本橋、京橋といふ順序となつてゐるその他ホテルはもとよりであるが下宿アパート等の相當數は旅館兼業を爲すべく之等が博覽會入場者を宿泊せしむる主要なものとなる。

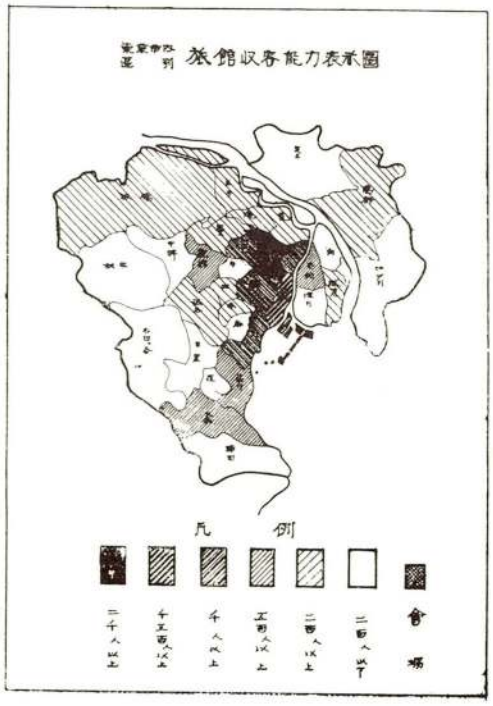
然るに之等は何れも日常營業してゐるもので時期に依り多少はあるが常に或る程度は塞がつてをり臨時に多數の人の出京する場合には相當の割引率を考へねばならない。一般に旅館の最も混むのは4月5月の花時、遊覽時期でこの際は殆んど滿員と見なければならぬ下宿に就ても通常の營業狀態では休暇中を除き6割は塞がつてゐる現狀である。今假に下宿、アパートの半數が旅館營業を兼營する事となるものとして4月5月頃の最も混む時期の餘裕收容能力を計算してみるとホテルを含めて約3萬人强にしかならず（旅館2割、下宿アパート4割と見て）然も地方入場者は總計累數2,000萬人を豫想せらるゝ故之より知人親類宅等に宿泊するもの最大限1,000萬人を減じても殘り1,000萬人に對する宿泊施設



は是が非でも必要となつてくる（東京市内世帶數100萬の半數が宿泊可能とし一世帶當り二家族宿泊すれば500萬人。その他下宿に同居する者、寺院等に泊る者迄を含めて）

この1,000萬人が會期170日に分布するものとしても5.9萬人、平均二泊としても11.8萬人、即前記の宿泊可能數と對比して餘りに桁が違ひ過ぎるを認めざるを得ない。

なほ從來地方からの出京者に就ては殆んど問題にされてゐない反面外國人の來遊に對する設備の不足不備に就ては切りに新聞雜誌にあらはれ又識者の口にのぼつてゐた樣である。今大體の豫想をつけてみると前記ホテルの外に目下計畫中のホテル新築1、增築2、其の收容能力約1,425人之等を合計すると收容能力,3146人となる。この外普通旅館で外國人に對する宿泊施設を有するものは鐵道省國際觀光局の調査によれば、館數15、洋室22、和室399、收容能力1,322人があり、之等を總計すれば收容能力4,468人。この中內國人により使用せらるゝもの約3割を控除すれば約3,130人となる。然るに外國人の來遊者は昭和11年中42,568人であるが、これ丈の人數が博覽會會期中に集中するものとし、之に博覽會見物及用務の爲來遊する者約10,000人、各種會議に出席の爲來遊する者25,000人とし總てを合計すれば大約80,000人となる。而して之等の人が會期170日間に平均に分布されるとすれば一日470人平均7日滯在するものとして3,290人となり目下の計畫が順調に進んでゐる限り寧ろ心配の要なきものゝ如くである。



要するに一番大切な問題は吾國地方居住者の宿泊施設を如何に考へてゆくかにある様である。之が爲には旅館の增設又は增築等が考へられるが之は博覽會終了後の經營難を考へると多くを期待出來さうもない。別に將來他の目的に使用する建物を一時旅館に流用する案及博覽會場內に從來も再々例のあつた假設旅館を經營する如きは割合實際に即した案と思はれる。

また旅館及之等の宿泊施設の配置と宿泊者の誘導、或は宿泊施設の集中地點より會場迄の交通連絡の如き相當眞劍に考へなければならぬ問題が多い事と思はれる。

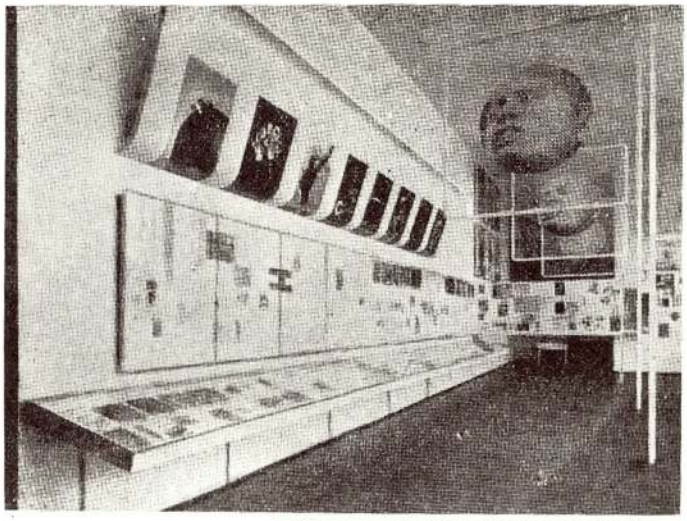
4. 出 品 計 畫

出品物の內容が精選されてゐるか否か、その性質意匠が啓蒙的な時代に先んじたものであるか否かにより其の博覽會の意義が非常に異つてくる事は申す迄もない。

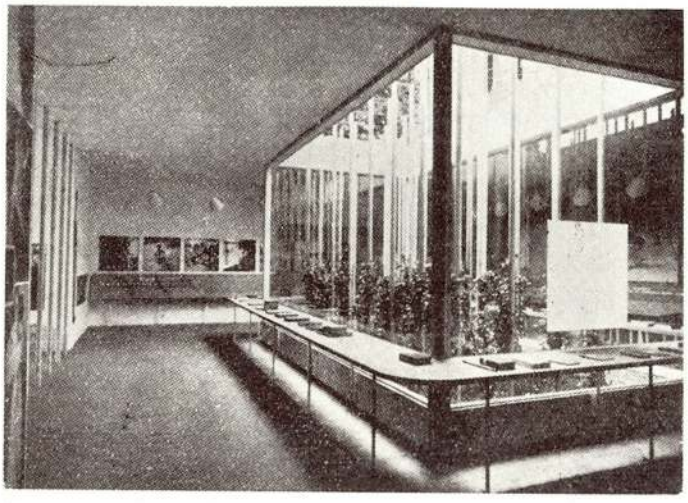
出品物關係の準備としては部別の選定、各部門に於ける出品物の撰擇、出品者の詮衡、出品物の展示方法等各種の問題があり叙上の各種計畫と平行して進めてゆかなくてはならない。

この中部別の選定に就ては出品部別編纂委員會で審議の結果既に決定を見目下は全委員會の後身と見られる出品調査委員會が設立され今後の問題の審議に當る事となつてゐる。出品物の種類は從來の博覽會と趣を變へ、直營出品（博覽會自身の出品）官廳出品、指定出品の三種に分ち從來の府縣特設館の如きは可成之を避け各部門各々最も生彩あるものたらしめる豫定で進められてゐる。直營出品官廳出品は暫く措き民間出品は博覽會の意圖とするところを博覽會規則中に詳細定めるの外一般に之が趣旨の徹底をはかり一般出品者からの調査申込を待ち前記出品調査委員會に於て出品物の種類、展示方法の如何を判斷して後改めて博覽會より指定をしこゝに始めて出品が許容される事となる。この意味で指定出品と名づけてゐるわけである。もつともこの場合出品人の希望により私設陳列館の建築を認める事は豫期してゐる。

以上現在考へられてゐる大體の方針を羅列したのであるが要は出品物の質を選ぶ事及之が展示方法を工夫して觀覽效果を十分に達せしむる事の二に落附く。殊に從來優れた出品物があつても見させる工夫が拙なかつた爲觀覽者の注意を惹かなかつた憾があるが最近の博覽會に於ては生產物の生產過程を展示する所謂動的出品方法を採用し展示效果をあげてゐる事に鑑みなるべくこの動的展示に依る方針とし時には之が製作費の補助等に就いても併せ考へてゐる様である。之等の工夫は現在開催中の巴里博に學ぶところも相當あるべく更に一年前開かれる紐育及桑港の二博覽會にも數多くの新機軸が見出される事と思はれるが、日本としては別個に新工夫をこらし觀覽者をして徒らに疲勞させる事なく愉快に興味を持つて觀覽出來る出品方法、館內設備を整へる事はまた今後に課せられた重要な問題である。



グラフィック美術室



書籍類陳列室
縦覧の自由さは勿論容易に手に取つて見得る様になつてゐる。

× × ×

以上で極めて概略ながら今回の日本萬國博覽會に於て考慮すべき主要問題に對するあらましの輪廓を御紹介した心算りである。もとより之等以外にも會場内外の美化統制とか萬國諸會議の招聘とか色々の問題は殘されてゐるが之等に付ては暫く措く事とする。

たゞこゝに考へなければならないのは博覽會の仕事は決して以上摘記の諸問題が獨立に解決せられる性質を持つてゐるものでなく、其の一々に付て十分の考究が必要であると同時に之等は相互に密接な關聯を持つてゐて全體を綜合した計畫の一部分として遂行される時に始めて其の内容を爲す一つ一つの仕事が生きてくるのである。然もその一つ一つが從來に例を見ない大がかりなものであり新しい研究問題を包藏してゐるもので忌憚なく云へば今後に殘された二年半の時日は短きに過ぎて十分所期の目的を達成する事が出來るかを懼れる次第であるが國民各層の援助と優秀な博覽會當事者の努力によつて世界各國に對し内容外觀共恥しからぬ立派な博覽會を仕上る事を切に希望してこの稿を終る事とする。

以　上

防　空　の　統　制

小　林　隆　德

東亞の一角に起つた銃聲は今や、世界的動亂の口火たらんとしてゐる。

北支に南支に空襲の爆音は、秋爽の天を裂き、皇軍荒鷲の一過する處都邑聚落の別なく荒涼たる廢墟と化し、昔日の堅城堡壘も尖銳なる近代兵器の前には、一たまりもなく、其の戰術的價値を失つてゐる。

そして完全に敵國の制空權を確たるものこそ、近代戰の勝利者であることを、吾人は眼前に經驗しつゝあるのである。

航空兵器の發達こそは、完全に戰爭の形態と、其の戰術を變革したものと云ふことが出來る。

事變の渦中にある我帝國は、今や其國土を擧げて、現前の空襲の危險に曝されつゝある。現に今次事變に於て、敵機の未だ我國土を侵さざるは、決して、敵機に其の能力がないのではない、唯その意志を有たないに過ぎぬ。將來の第二次戰或は第三次戰に對しての準備を必要とする緊迫せる今日の情勢に於て、國民は、國土防衛の爲め、防空軍を組織し擧國一致以て之に當るの覺悟がなくてはならぬ。

とまれ時局の重大化は、國民をして、防空問題が、從來の机上の空論や、防護團委せの防空演習的概念を離れた國民各自の生命の安危と、一國の興亡とを賭けたる切實且つ重大な問題であることを自覺認識せしむるに至つたのである。

これ乃ち防空の統制——國家の統制力に依る防空の組織化、體系化が必要になつた所以である。

政府に於ても、防空方策の確立が、我國現下の情勢に照し極めて緊要なりとして、防空法を本春の第70回帝國議會に提出し、議會の協賛を經て、昭和12年4月15日法律第47號を以てこれを公布した。其後支那事變を轉機として、局面の重大化に鑑み、當初の豫定を繰上げ先月即ち同年10月1日より全國に之が施行を見ることゝなつたのである。

我國の防空も法令の完備と、防空計畫の著々たる實施と、人的訓練の徹底とにより、歩一歩其の完成に進むことゝなつたことは、邦家の爲め洵に慶びに堪えぬ所である。

防　空　の　意　義

防空とは、之を廣義に解すれば、敵國空軍の襲來に對し、國土を防衛し、國家の活動力を保安する方策の意義であり、その管掌分野に依り、之を軍防空と民間防空に別つことが

出來る。軍防空にも、積極的防空、消極的防空の二手段があつて、前者は、味方空軍を以て敵空軍の根據地を擊滅し、空襲を未前に禦ぐものであり、後者は、主として軍部の擔任する國土内に於ける、敵機擊攘等の用兵器防衞を指すものである。

狹義の防空とは、一般國民の擔任する民間防空を指稱するもので、消極的防空の分野に屬すべきものである。

防空法に謂ふ防空とは、此の狹義防空の意義であり、同法第一條には

「本法ニ於テ防空ト稱スルハ、戰時又ハ事變ニ際シ航空機ノ來襲ニ因リ生ズベキ危害ヲ防止シ、又ハ之ニ因ル被害ヲ輕減スル爲メ陸海軍ノ行フ防衞ニ則應シテ陸海軍以外ノ者ノ行フ燈火管制、消防防毒、避難及救護並ニ此等ニ關シ必要ナル監視、通信及警報ヲ謂フ」

と防空の目的手段等に付瞭に規定されてゐる。

而して防空の目的を完全に達成する爲めには、先づ周密なる防空計畫の確立が必要である。而して周密なる防空計畫を設定するためには第一に敵情觀察、即ち敵國空軍の現況、戰闘法、空襲法、空襲用兵器、其他の實情を知悉し置くこと。第二には、敵空襲の目標となるべき我が方の防空要地（道府縣所在地等の樞要都市、軍要地、重要港灣、重要工業又は鑛業地等）又は重要構築物に對する實情の調査研究が緊要である。

敵を識り、己を識つて始めて空襲の想定なり、防空諸般の計畫方針が確立するのである。

國土防衞の第一戰に立つものは、軍である。國防第二軍たる國民防空軍が防空の實施に當り軍部の行ふ防衞に則應すべき所以も其處に在るのであるが、防空の第一目的たる、空襲に因る危害の防禦に關しては、國法の定むる所に則り國民も常に最大の努力を以て、之が對策の研究に當るべき覺悟が緊要である。

防空法令の整備

防空法制定の理由。

防空法は前述の如く本年10月1日より施行せられることになつたのであるが、政府は、本法制定の必要ある理由として次の三點を擧げてゐる。

1) 空襲の危害を防止輕減せんが爲めには、軍以外の一般國民に於ても平素より一定計畫の下に豫め空襲に備ふる準備を必要とし、我國都市に於ける建築物其他の狀況より判斷して防空準備の必要特に緊切なること

2) 數年來各地に於て、防空演習を行ひつゝあるも、右は何等法令の根據なく、單に隨時官民の申合せに依り、之を行ふに過ぎざるを以て、演習の內容も區々に分れ、統制を缺き、屢々紛議を生じ、基本的計畫なくして一時的演習を行ふのみでは、有事の際、諸般の設備の整備上、困難且效果少きこと

3) 一定の防空計畫に基き平素統制ある訓練を行ふと共に、必要なる設備資材等の整備を行ひ且つ其の費用を負擔すべき者を定め、又は國民に對し或種の義務を命ずるの必要あること

以上が本法制定の理由である。而して、尙本法の内容に關しては、各方面に相當の批判及意見あるに鑑み、次に本法制定に至るまでの經過の大要を述べて置く。

防空法制定の經過大要。

昭和7年第64議會に於て防空施設促進に關する建議案が衆議院に於て議決せられた。昭和8年半頃より陸軍省に於て本法案の立案に着手し、其間數次關係各省の意見を求め、全文83條に亘る膨大なる草案を得た。其間幾度か議會に提出せんとしたが、遂に實現に至らず、其後勅令以下に讓るべきもの、並に、他の法令の適用、若くは官公署の協議又は指導に依り目的を達成し得る事項を削除し、次で內務省地方局に於ても昭和10年12月全文19條よりなる法案を立案した。昭和12年2月關係者協議の上內務、陸軍、海軍三省共管にて立案、全文22條よりなる現行法の成案を得て議會提出に至つたのである。

以上が經過の大要であるが、經過中にも記述しある如く、防空の完全なる目的達成のためには、本法の運用のみでは不完全であつて、恒久且普遍的効果を期待する爲めには、關係他法令例へば、都市計畫法、市街地建築物法、水道條令、鐵道法、軌道法、其他航空法等の適正なる運用、又は官公署の協議、又は指導奬勵等に待つべき事項が多いのである。

防空法令の要綱

防空法關係の法令で既に公布せられたものは、本法並に防空法施行令、官廳防空令等である。尙今後燈火管制規則及警報規則等が發布される豫定であり、別に、防空委員會に關する勅令が制定せらるゝことになつてゐる。

防空法の要綱は、

第一、防空及防空計畫の內容を明にし、防空計畫設定者の義務に關する規定を設けたること

（イ） 防空トハ陸海軍ノ行フ防衞ニ則應シテ陸海軍以外ノ者ノ行フ燈火管制、消防、防毒、避難及救護並ニ此等ニ關シ必要ナル監視、通信及警報ヲ、防空計畫トハ防空ノ實施及之ニ關シ必要ナル設備又ハ資材ノ整備ニ關スル計畫ヲ謂フモノナルコト

（ロ） 防空計畫ハ原則トシテ地方長官又ハ地方長官ノ指定スル市町村長、例外トシテハ防空上重要ナル地位ニ在ル法人又ハ個人ヲシテ之ヲ設定セシムルコト

（ハ） 防空計畫ノ設定者ハ防空ヲ實施シ必要ナル設備又ハ資材ヲ整備シ防空ノ訓練ヲ行フベキコト

第二、防空上の必要に基き義務を命ずる範圍を明にすると共に、給與其他に關する規定を設けたること

（イ） 工場、事業場其ノ他ノ特殊施設管理者、又ハ所有者ハ地方長官ノ命ズル所ニ從ヒ必要ナル設備若ハ資材ヲ整備シ又ハ之ヲ供用スベキコト

（ロ） 醫師、藥劑師其他ノ特殊技能ヲ有スル者ハ地方長官ノ命ズル所ニ從ヒ防毒、救護其ノ他ノ防空ノ實施ニ從事スベキコト

（ハ） 防空上重要ナル地位ニ在ル法人又ハ個人ニシテ防空計畫ヲ設定スル者ノ從業者ハ防空ノ實施

ニ從事スベキコト

（ニ） 燈火管制ヲ實施スル場合ニ於テハ光ヲ發スル設備又ハ裝置ノ管理者又ハ之ニ準ズベキ者ハ其ノ光ヲ秘匿スベキコト

（ホ） 防空ノ實施ニ際シ緊急ノ必要アルトキハ、地方長官又ハ市町村長ハ土地、家屋ヲ使用シ、物件ヲ收用若ハ使用シ、又ハ防空ノ實施區域内ニ在ル者ニ對シ防空ノ實施ノ從事ヲ命ジ得ルコト

（ヘ） 防空ニ關シ調査ノ爲メ必要アルトキハ、主務大臣、地方長官又ハ市町村長ハ資料ノ提出ヲ命ジ又ハ官吏吏員ヲシテ立入リ檢査ヲ爲サシムルコトヲ得ルコト

（ト） 防空ノ實施ニ從事スル者ガ、之ガ爲傷痍ヲ受ケ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル場合ハ療養、葬祭ニ要スル費用ヲ給スルコト

（チ）（ホ）ニヨリ土地、家屋、物件ヲ收用、使用スル場合ハ損失ヲ補償スルコト

（リ）（ロ）（ハ）ニ依リ防空ノ實施ニ從事スル者ニハ實費ヲ辨償シ得ルコト

第三、防空の訓練に關する規定を設けたること

（イ） 主務大臣ハ防空計畫ノ設定者ニ對シ防空計畫ノ全部又ハ一部ニ基キ防空ノ訓練ヲ命ズルコト

（ロ） 防空ノ訓練ニ際シテハ第二（ハ）（ニ）ト同樣ニ訓練ニ從事シ又ハ光ヲ秘匿スベキコト但シ光ノ秘匿ノ程度ハ訓練ニ適當ナルモノトスルコト

第四、費用の負擔及國庫補助に關し必要なる規定を設けたること

（イ） 防空ニ關シ必要ナル費用ハ道府縣市町村又ハ防空計畫ヲ設定シ若ハ特殊施設ヲ管理、又ハ所有スル法人又ハ個人ニ於テ負擔スルコト

（ロ） 前項ノ費用ニ付テハ國庫補助ヲ與フルコト

第五、防空委員會罰則其の他の事項に關し必要なる規定を設けたること

等である。防空法施行令は全文17條よりなり、勅令委任事項を具體的に規定したものであり、官廳防空令は、國に於て管理する施設に關する防空並に防空計畫に關し規定したものであるが、說明は便宜省略することゝする。

行政機構の充實

防空法の實施と共に、之が執行機關の充實の必要あるに鑑み、中央に於ては、內務省に計畫局を新設し、之に都市計畫課、防空課、庶務課の三課を配し、地方に於ても主要廳、府縣に防空課を設け、必要なる人員を配備して本法施行に遺憾なきを期してゐる。

本年度は、臨時議會に於て補助豫算を含み約86萬圓の追加豫算を認められ、來年度に於ては、目下大藏省に對し約400萬圓の豫算を要求中である。

防空法實施に當りては、其の主管部課を何れの行政系統に置くべきやが論議の中心になつたのである。內務省に於ても、當初法案の立案は之を地方局に於て行ひ、大臣官房に一課を設け防空事務を主管せしめんとする案もあつたのであるが、防空計畫に於ける物的設備資材の整備計畫が防空の基本的事項たるに鑑み、都市計畫に密接なる關係あるものとして、新たに計畫局を設置し、局內に都市計畫と防空の二課が並置せられることゝなつた。

然るに、地方に於ては本省の事情と異り都市計畫に關聯ある事項か、或は、都市計畫地方委員會に、土木部に、或は、建築に關しては、警察部の所管に屬する等各方面に分散されある實情である。然るに防空事務の內容が、物的計畫事項並に人的事項の二方面に分れ然も常に統制ある人的訓練の指導監督を必要とする關係上、地方に於ては、之を警察部の主管とする事になつたのである。而して、防空に關する事務は、其の關係する處甚だ廣汎であるから、關係各方面との緊密なる連絡協調を圖ることが、最も緊要と思はれる。

防空計畫の設定

防空計畫は、防空の根幹をなすものである。即ち防空の目的を達成する爲めには、先以て各方面に亘り周到綿密なる研究に基き防空計畫を設定することが必要である。之を基本として、始めて防空上必要なる設備資材の整備と、統制ある訓練を行ひ、以て一朝有事の際、國民擧つて秩序ある行動に出て、國土防衞の保全を期し得るのである。

防空計畫の內容は、防空法要綱に述べたる如く燈火管制、消防、防毒、避難及救護並に此等に關し必要なる監視、通信及警報に關する具體的實施計畫並に之に關し必要なる設備又は資材の整備計畫であつて頗る多岐廣汎に亘るものである。

今茲に計畫內容並に防空計畫に基き整備すべき設備資材の範圍等を提示して、詳細の說明を加へたいのであるが、目下講究中に屬する事項も多いので、之は他日に讓ることにする。而して、防空計畫は、各種想定の異動に依り變更すべきものであるから毎年度更新するを原則とするものである。防空計畫の設定義務者に關しては、前述したから之を省略する。官廳防空令は、內閣總理大臣又は各省大臣（陸海軍大臣を除く）に、其の管理する施設又は其の監督に屬する行政官廳に付、防空計畫の設定義務を規定したものである。

尙防空計畫設定の諮問機關としては、道、府、縣、市、町、村、夫々の防空委員會が設置されることになつてゐるが、防空計畫方針其他の防空上の重要事項に關する諮問機關としては、內務大臣の監督に屬する中央防空委員會が設置せらるゝ豫定である。

人的訓練の徹底

防空法制定の目的の一半は、國民の防空的訓練の徹底に在りと思はれる。故に本法使命の達成を期する爲めには、國民に防空思想の普及徹底を計ると共に、常に統制ある演習、訓練を行ふことが緊要である。防空法に於ても、右趣旨に依り、主務大臣が防空計畫設定者に防空訓練を命じ得ることになつてゐる。

人的防空の要訣は

（イ）精神（心の構へ）　（ロ）組　織

（ハ）技　術　（ニ）訓　練

に盡きるのであるから、防空思想の宣傳も、演習訓練も、此の一線に沿ふて行はれねばな

らぬ。

都市に於ては市民全部が、防空軍の一員たるの覺悟を要するを以て、從來の防護團の如きは、今後其の機能と組織とを根本的に改變して、家庭防火群の如き、市民各戸を細胞組織中に包含せる體系ある市民防護團の再組織が必要であると思ふ。

防空と建築

建築物は、國民の生活容器であり、都市の重要構成分子であるから、空襲に因る危害の防禦には、重大且廣汎なる役割を持つものである。

我國の如き木造都市の空襲に際しては、敵機は主として、燒夷彈又は毒瓦斯彈を以て都市全區域に亘り、目標を定めず襲撃するであらうし、又破壞彈を以て、重要構築物を覘撃ちするであらう。

故に災害局限の爲めには、一般建築物には簡易なる防火構造及防護室等の考慮が必要であり、重要構築物には、耐火耐爆的構造の考慮が必要である。尙被害局限の防護方針より街廓單位の都市計畫的防護計畫の樹立が最も緊要である。

其他防空各般の事項に亘り、建築の關與すべき領域は甚だ廣いのであるから、將來防空建築の研究は、甚だ重要な事項であつて、建築技術者の責務の愈々重大なるを感ずるものである。

尙防空法は、前述の如く決して完全なるものではなく、建築の分野のみに於ても、本法のみに依つては、充分なる防空的効果を期待し得ない事項も多いのであるから、他法規の整備、運用其他の適切なる方法に依り、漸を逐ふて、全國土の防空的施設の整備立案を期待するものである。

終に一言、內務本省に於ても、目下建築に關し防空上緊急を要する事項に付、關係法令の改正を考究中なることを附記して本稿を終りたいと思ふ。

都市防空の建築技術

加藤得三郎

建築技術者に空襲警報

都市に空襲警報が出る前に都市を築き上げた我等建築技術者に空襲警報が出た。

今は確かに建築家の非常時だ。

明日の空襲に備へる既存建物の防空施設は如何にすべきか。

空襲に對して安全なる建築を欲する依頼者に、如何にして滿足なる設計を提案すべきか。

この二つの質問に對し、どうにかして返答しなければならぬ、そして我等本來の使命を果さなければならぬ破目にたち至つた。

曾つて大震火災が襲來し暴威を奮ひ我等の建築を慘々に倒壞し、灰燼に歸せしめた時には、我等は敢然たつて耐震耐火につき耐策をめぐらし、耐震耐火建築の完成に努力し、立派な成績をあげた。

今防空建築についても研究室、事務所、現場總がかりで進めば立派な對策を見出し、その成果を納め得ない筈はないであらう。

防空建築の豫備知識

さて茲に考へなければならない事は、航空機の性能と空襲に關する知識の餘りに貧弱なことである。又爆藥の威力については、これ迄餘りに無關心に過ごして來たことである。併しこれはむしろ航空機の進歩が餘りに急速であつたと言つた方がよいかも知れぬ。

耐震建築を研究するには、誰も皆地震力について一通りの理論を習つた、又耐火建築については火事、耐風建築については風力につき悉さに研究して始めてこれに對する安全なる建築法が生れたのである。

同樣に防空建築を研究するには、豫め航空機の性能、空襲方法並びに爆藥、燒夷劑、毒瓦斯等の性質をひとわたり知らねばならぬ。

ところが目下建築技術者の殆んど全部は、これ等について、ほんの通俗的の知識を持つて居るに過ぎない。その爲に前述の二つの質問に對する滿足な返事の出來ないのは當然のことで、誠に御恥かしいことである。かくいふ筆者も御多分に洩れないことは勿論である

こゝ一二年の間に防空建築に關する講演會や研究會が各方面に於て催され、又雜誌にもこれに關する文獻が多く出て居るが、その內容は殆んど皆同じである。それもその筈であ

る、その出所を探ると皆同じところから出て、それを順次轉載されて居るに過ぎないから而してその原文なるものは、ある特殊の條件の下に行はれた實驗結果が、研究報告であるから、今我等の求めるものと合致しないもの多く、これをそのまゝ應用することが出來ない。耐震建築等に關するもののやうに適確なる理論と實驗とによる確固たる根據あるものとは全く異なるものである。

併しこれは、唯に建築技術者ばかりでなく道路、鐵道、地下鐵道、上下水道、河川港灣に關する技術者達も防空に對する研究はこれからで、建築家と何等異なるところはない。從つて非常時に處する對策は常識的のもの以外は誰も提案することが出來ない。よし名案があつたにしても、これを實施することになると經濟上不可能に近いものばかりで、結極猫の首に鈴をつけるといふ鼠の相談に同じやうなものである。

投下されたる二三の問題

既存建物に對する應急策は、新築建物に對する方針に準ずべきものであるから、今新築建物に對して、建築家として、その何れを取るべきかヂレンマに陷つて居る二三の問題と防空建築は是非かくあらねばならないであらうと思ふ一二の問題を下にあげて私見を述べて見やう。

塔・外裝・窓——屋上に高く聳え立つ高塔は公會堂にも、縣廳舍にも、又百貨店にも必要缺くべからざるものとし、その上に旗が翩翻と飜つて居る。これは建物の威容を備へ、景氣をつける上に必要なものであらうが、空襲の時には、これが襲撃の唯一の誘導目標となる。故に防空建築には監視塔以外は、塔はすべて有害にして無益である。威容を備へる外見をとるか、自衞安全の實をとるか、將來の建築に對して斷然高塔を設計圖上で消し去ることは出來るにしても、既存建物の尖塔を剪除するだけの勇氣はあるであらうか。

次に建物の外裝は最近に、白い明かるい色になつて來た。明かるい建物、明快なる都市は、その中に住む人を陽氣にし、すべてのものに活氣を呈させるであらう。住宅も窓の大きな明かるい色の家が多くなつた。かういふ家は衞生的で、しかも見るからに清々するであらう。併し白やクリームの明かるい色は、上空から見ると最も目立つ最悪の色である。都市僞裝上からいへば、建物の外裝は其の地域の色に擬するのが良い。地域色とは上空から見下ろした時のごく大體の附近の色で、住宅地帶では綠、工場地帶では黑味がかつた灰色といつたものである。從つて外裝を地域色に合せるといふことになると、建物が褐色になつたり、灰色になつたり、黑味がかつた灰色になつたり一體に陰氣なものとなり、不愉快な街の出現を見るであらう。

明暗何れを採るか、自衞の爲に保護色を有する動物に倣ひ環境に順應して行くか、それとも環境を征服して行くか。

顧れば建築家は古來隨分思ひ切つて建築樣式の轉換を敢行して來た、此際心氣一轉して

塔其の他の無用物を一切削除し、暗色をあしらつて外裝し、安全な建物の出現を企劃することは、出來ない事は無いであらう。

建物の窓は次第に大きく開放的になつて來た。甚だしいものになると、外壁が殆んど全部窓になつて、外部から見ると柱と窓だけのやうな建物がある。ところでかういつた建物は爆發の空氣の衝動波に對しては極めて脆弱である。その附近で爆彈が炸裂せば、窓硝子は全部破壞するであらう。又かゝる窓の多い建物に防毒の應急手當を施すことが困難である。建物內に設ける防護室は、出來るだけ窓の無い室を良化する爲に普通は地下室に設けられる。又コンクリートの建物で、唯に地下室だけで無く、上階まで避難所に當てやうとする場合には、窓は常時その室の使用に差支無き限り最少限度に制限することを必要とする。獨逸では最近この方針を取つて居るやうである。

所謂建康住宅と稱する窓面積の多い硝子障子一重の建物は、爆發衝動波に弱く、燈火管制にも、防毒にも不利である。從つてこれ等に對する特別の防護策無き限りは安全な住宅とは言へなくなつた。

防空上から言へば外部に面する窓は氣密構造で、外側に鐵のシヤターを附し、硝子は防彈硝子を用ひるのが理想である。

平面計劃——各建物內の居住者は、その建物內で避難することを本體とするから、各建物內に必らず防護室を取らねばならぬ。その位置は地下一階で出入口に便利なところが最も良いと思ふ。防護室には出入口を二箇所設け、各々に前室を附屬し、窓は應急防護に困難なるが故に設けざるを原則とす。換氣設備はその室內に設け得るために附屬室の必要無く便所も置便器を用ふることにすれば必ずしも附屬するを要しない。その他の細かい事は他の文獻に讓りこゝには省略する。

建物が上へ上へと延びる時代は既に過ぎ去り、最近には下へ下へと潛り込んで行く傾向になつて來た。これは空襲に備へる爲に蘇聯から初まり世界各國に廣まつた。我が國でも地下四階まで出來たが、今設計中のものには六階のものもあるといふことである。

耐震建築では大きな建物の平面圖に口字形又は田字形を推奬して居るが、この形式のものは、その中庭に爆彈が投下され炸裂した場合には、周圍に及ぼす爆壓作用甚大となり危險である。これに反してコ字形又はエ字形は、一方の口が開いて居るから爆壓作用を柔らげ、前者に比して安全な平面圖であるといふことになつた。

材料試驗と構造計算——防空建築の破壞力は爆彈の侵徹か、爆發による空氣の衝擊波が主である。從つて鐵筋コンクリート其の他の建築材料及び構造體の試驗は、これ等に對する抵抗力を試驗する必要を生じて來た。從來の試驗機は衝擊を直接に試驗することが出來ないから、これを測るに便宜な機械又は裝置が、新らしく工夫されなければならないであらう。

版床、梁、柱其の他架構はすべて衝擊應力を用ひて計算するか、或はこれにより檢算を

試みる必要があるであらう。

さて爆彈の侵徹力や爆藥の爆破力は、これ迄全く建築技術者の領域外で、危險物として遠ざけられて居るが、防空建築の研究には、どうしてもこれ等に關する豫備知識無しに手を下すことが出來ないことは明瞭である。

壁體に對しては、爆壓力が外部より來るか內部より來るかによつて、全く反對の取扱ひとなる。即ち爆彈が室內で炸裂した場合に、壁體が容易に飛散する事により爆壓力を緩和して、建物の骨組の爆破を免れるやうに考へた所謂安全瓣壁と、爆壓力が屋外より來た場合に、建物全體の安全を計る爲に爆壓に耐へるやうに堅固に作つた耐爆壓壁（防護壁）と二つの取扱ひがあり、その強さが全く反對である。爆彈が建物の內部で炸裂した場合には對策無なしとすれば、建物の附近で炸裂した場合のみを考へ、堅固なる防護壁の方法によるべきであらう。

設備——建物の平面計劃と構造が防空的に出來て居れば、防毒その他の設備は、さして面倒なことは無い。即ち平面計劃に於て、前室のついた防護室があり、階段、エレベーター等も防火、避難及び防毒に都合よく仕切ることが出來るやうになつて居り、外部に面する窓には全部シヤターが付いて居り、又骨組、床、壁等の構造も丈夫に出來て居れば、これを防毒的にするには、窓入口其の他の開口部を氣密にし、空氣漏過器を通して空氣を供給すればよい。設備の詳細は他の文獻にゆづり茲には省略する。唯こゝに附記して置くのは電氣、瓦斯、上水、下水等の特別配線其の他防護室內の設備を要する爲に設備費豫算はこれ迄の建物に比して何割か增加することである。

建物內に設ける防護室の構造設備について參考になるのは本年の五月に獨逸で公布された空襲避難所の設置に關する規定で、その本文は "Dis Sirene" Nummer 11, Drittes Maihaft 1937. 及び "Zentral Blattder Sauverwaltung" Heft 21, 1937. 其の他の獨逸雜誌に出て居り、小宮賢一氏の邦譯文は雜誌都市公論八月號に揭載されて居る。

都市計劃其の他——從來衞生學的及び經濟學的見地から導かれた都市の分散計劃を同時に防空的に導く必要を生じて來た。防空に關する建築技術的研究中避難所又は防護室建築の研究、燒夷彈防禦の研究等は常に地方計劃問題と重要なる關係あるものである。

都心を有する放射狀の都市は空襲の目標を與へる最も危險な都市となつた。碁盤式、蜂窩式、磨臼式の都市乃至は無秩序に擴大された都市はすべて防空的に不利な舊都市となつた。而してこゝに新らしく生れ出た防空都市の形態は帶狀都市である。

帶狀都市は地域の廣汎なる分散によつて防空的の目的を達し、同時に大交通帶に、何列もの小交通帶が交り、時間的接近によつて大都市文化を享有し得る、防空的唯一の都市態形である、とされて居る。なほ帶狀都市の防空的の得點をあげれば

1、 一點を中心として密集して居ないから襲擊の目標が判然しないこと。

2、 各種の空襲に危險な地域が分離されて居ること。

3、 從つて各々に積極的防禦を行ふことが出來、又各々に相當した防空的技術の發展をなし得ること。

4、 帶狀を横斷した各區域が自給自足を本體とするから、都市の重要部分が破壞されても持久力を失はないこと。

5、 帶狀のものは襲撃に困難なること。

等である。

さてこの帶狀都市は將來の防空的理想都市の形態で、我が國の都市を今俄かに改造して帶狀にしやうといふことは、現在の都市の破壞を意味するもので、不可能事なるは勿論である。併し「新らしい都市形への防空的希望は破壞でなく、計劃的な廢止であり、再建である、專ら防空に協力せんとする全國民の準備次第で、防空的理想都市が得られる」。 と Vauthier, Wolf, Bünz 其の他の人々は舊都市改造に對する色々な提案を試みて居る。其の項目は略々似寄つたもので、一般建物及び重要建物の分散に關する事項、交通に關する事項避難所に關する事項、實施法制及び財源に關する事項の詳細に亙るものである。

我が國の都市に於て建築技術者が差し當り檢討を要するであらうと思ふことは次の二項である。

1、 建物階數の檢討

一般には低建築が適當に分散されて居れば空襲に比較的安全である。併し舊都市の分散的應急手段の一つとして建物の立體的集合をなすことであるが、その區域の建築面積及び人口の密度により低建築が二階になるか三階になるか。

一定面積の土地に種々の異なつた階數の建物が建てられるとして、何階建が最も防空的であるか。

その建築費及び防護上の設備費如何といつたことにつき研究すれば、耐震上より定められた高さ限度の外に防空上安全にして、しかも經濟的な建物の目安が、立つであらうと思ふ。

2、 地域制の檢討

現在各大都市に實施されて居る地域制について防空的檢討を要することは何人も認めるところである。ことに重要工場の分散及び工場建物の防空的配置については大いに研究を要するものである。

結言——都市防空の建築技術は、急速に進歩しつゝある攻撃武器に追從し、否むしろ先んじて進み、これに對策を講じなければならないのだから、多數の建築技術者が個々別々に研究し、或は役所にのみ委せて成果をあげることは困難である。各自がその立場から研究問題や、研究成績を持ち寄り、しかもそれが輿論に基いて修正され、實施されて始めて成果を納めるのである。この意味に於て、つまらない筆者の管見も、善惡は別として、御一讀の榮を得、又御示教を得れば幸甚である。

防空上の避難防護施設

熊井安義

1. 防空と建築

現今の飛行機の高性能、都市空襲の可能性、防空の必要に就ては今更贅言を要しない。若しも我國が國土防衛の危機に直面すれば、國民の精神的團結に依つて必ずや各般の防空行動を採ることは出來るであらうが、併し防空は人的訓練と物的整備によつて準備されるもので、その何れを缺くとも防空は不完全なものになるであらう。茲に於て國家として一定の防空計畫を樹立して、それに基いて平素より統制ある訓練を行ふと共に、所要の設備資材等を整へ、又防護費用負擔者の決定、國民に對して命ずる何分の義務等に就て規定する爲に防空法令が昭和12年10月1日より施行せられたのである。

故に建築に從事する者としては、防空の物的整備に盡力す可き責務が有る。

即ち空襲に對して國民の生命を守り、その意志を沮喪せしめぬ樣に消極的防禦施設の完備といふ方面に邁進す可きである。

本文に述べんとする防空上の避難防護施設とは、防空關係施設の中、空襲時の避難とそれに關係ある防護施設であつて、僞裝燈火管制並に防空的都市計畫等に就ては觸れないことにする。即ち空襲警報が發せられて、街路に商店に學校に役所に工場に在る者が總て安全なる箇所へ避難して、空襲時爆彈燒夷彈毒瓦斯等の攻擊から防禦すべき施設に就て諸外國の實例を引用して說明することゝする。尙ほ參考文獻は東京工業大學防空建築研究室所藏のものである。(昭12.9.30.記)

2. 各種建築構造と防空効果

都市空襲に使用される爆彈・燒夷彈・毒瓦斯・細菌・宣傳ビラ等の中、建築物として一般に考ふ可きは前揭三者であらう。併し大爆彈の直接作用たる侵徹及び爆破に對しては、高層建築と雖も到底抵抗することは不可能で、一般の建築物は爆彈の二次的作用としての衝動波、彈片、崩壞物、振動、放火の諸作用に對して、更に燒夷彈の侵徹及び燒夷作用、毒瓦斯の侵入等に就て出來る限り安全を計る可きである。各種建築構造に就て防護方針を決定するには先づ、以上の三外力に對する抵抗能力を知らねばならない(第1表、各種建築構造と防空効果 參照)

即ち第1表を見るに耐火構造以外のものは三外力の內、一或は二外力のみに對して抵抗

を有するのみで、此の點は建築手段以外に、平時よりの防火防毒等の訓練によつて空襲時その缺陷を補はねばならない。

第1表　各種建築構造と防空効果

構造	爆彈の二次的作用	燒夷彈	毒瓦斯
耐火構造（鐵筋コンクリート）	安全	安全	比較的簡單に室を氣密に爲し得る
木造	抵抗し得ず	屋根は侵徹されるが、準耐火造或はそれに類するものは延燒防止をなす。	綿密なる注意を以て目貼りを爲し、防毒蚊帳を用ふれば防毒は爲し得る。
防空壕	安全	被覆せる土或はその他のものにより燒夷彈の侵徹を免れ得ることもある。	防毒面を携帶して防空壕へ入る可きである。

3. 避難

空襲警報が發せられてから行ふ避難は、敵機が自己の頭上に來る迄の僅かな時間に完了せねばならぬ故、平時から各街路に就て避難動線とも云ふべき巡路並に一定時間内に避難し得る距離を單位とした避難ブロツクを構成して、各ブロツク毎に住民の避難するに必要な防護室の大さ、位置、配置等を決定しておく可きである。

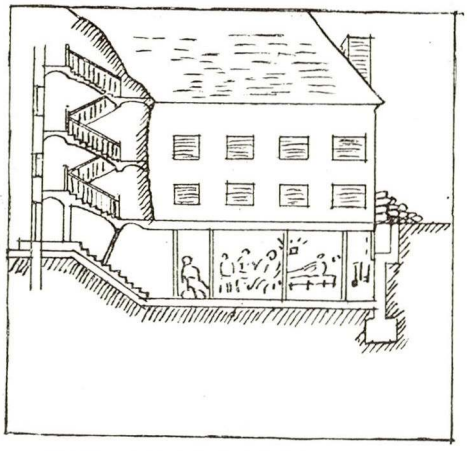
此の如き避難に就て建築物自體として考ふ可きことは、主として避難階段非常口及び通路等で、之らは防災施設として内務省令第31號特殊建築物規則（昭11.9.11.）に詳しく示されて居るが、高層建築或は大規模な建築物の火災に依る避難は上層から1階迄降りて戸外へ出るのが常法であり、防空上は上層から直ちにその地下或は1階中央部等の安全なる箇所（防護室）へ入らねばならないので、その點が從來の避難施設とは少々趣きを異にする所が有る。殊に空襲時の先きを爭つて避難せんとする群衆心理が働いた時の混亂を、聊かでも建築的に解決すべきであり、防護施設と共に充分考へねばならない。

偖て避難に就ては、空襲警報があつた時と、空襲時防護室内に在室し得ぬ狀態に立ち至つた時の二つの場合が考へられる。

空襲警報があつた時の避難

高層建築物内各層より各階段に分れて地下室へ降り、豫め設けられてある防護室へ避難する故、階段及通路等は避難及び防空活動に便なる様に計畫す可きである（第1圖參照）

建物外へ出て他の建物内の防護室へ避難するには、防火・防毒・警護・警報等諸般の防空活動を阻害せぬ爲、幹線道路を横切ることなく、成るべく幹線道路を以て圍まれた街廓

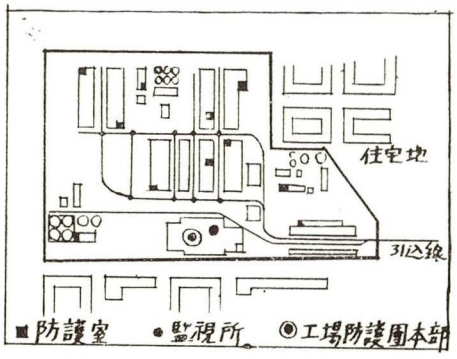


第1圖・上階より地下防護室へ避難せる圖（獨乙防空漫畫より）

ち至つた時の避難

例へば防護室の一部が爆彈によつて破壞せられて其處を脫出する時、或は木造家屋が燒夷彈に依つて火災に罹り、防毒室に在室し得ぬ時の避難等が考へられるが、之が爲には防護室には非常出口を入口と反對側に設け、外部へ通ずる階段或は通路等の考慮は一般防災避難施設と同斷である（防護室の非常出口は次節に述べる）

次に郊外へ、地方へ交通機關を利用して行ふ避難は建築それ自身よりも、むしろ都市計畫的に交通統制、道路開發等の問題に關するものである。歐洲大戰の實例に徵すれば、倫敦市民が空襲を恐れて同市近郊に避難した所が、倫敦市防空が完備した大戰後半期には、獨乙機は市の上空に活躍すること困難となり爲に郊外に投彈するものが多くあつたと。此の點のみから考へると都市を遠く離れた地方へ避難するならばいざ知らず、積極防空のある都市から積極防空の無い近郊へ避難することは餘り感心したものではない。

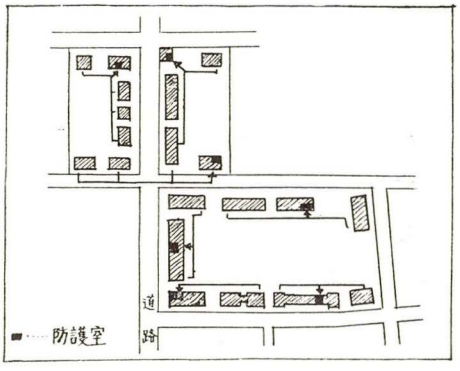


第3圖・工場に於ける防護室の配置*

內に於て避難し得る様に、又僅小時間に到達し得て、被害を局限せしめる意味から分散的に配置す可きである（第2圖參照）又此の幹線道路に沿ふて諸所に通行人用公共防護室を設け暗夜でも判る様な一定の標識を揭げておく可きである。

工場の如く一構內に多數の建築物が分立する所では、各職場の近くに夫々小規模な防護室を設けて遠方へ空襲ある毎に避難することなく、作業能率の低下を防がねばならない（第3圖參照）

空襲中、防護室內に在室し得ぬ狀態に立



第2圖・住宅街に於ける避難*

* Die Sirene　1936年24號（11月）　647頁

* Ritter u. Pfaundler ; Ziviler Luftschutz（Ⅲ. B. 3. 20圖）

空襲警報時避難の參考として獨逸ケルン市の防空演習* に於ける避難狀況を示さう。同市はライン川左岸の工業都市で人口74萬、世界大戰の際空襲の經驗があり、防空には市民一同非常に熱心である。1936年10月9日の朝、小雨模樣の中を市民は通勤通學し、主婦は市場に買出しに行き、交通機關も平常通り運轉してゐた所が、午前9時に突如（豫告無しに）「サイレン」によつて空襲警報が發せられ、家にあるものは地下防護室に入り、通行人は附近の集團防護室に入り、電車、自動車は勿論停車して乘客も運轉手も共に附近の集團防護室に逃れた（電車は「ポール」を下して電流を斷つ）斯くして僅か5分後にはケルンは死の街に一變し、傳令が時折走つて行く丈けであつた。各防空勤務員は警報と同時に各部署について活動した。約30分後飛行機去るとの報が傳はり、交通開始、店は戸を開き、學校も授業を始め、再び町は平常通りの活動狀態に立ち戻つたといふことである。

4. 防　護　室

前揭の如く防護室は耐火構造內に設けるのが最もよいが、それが叶はぬ時は木造建築物內或は戰壕式防護室としての防空壕を作らねばならない。

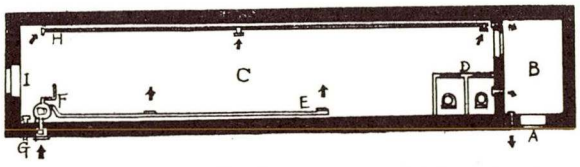
先づ耐火構造地下室に防護室を設ける時の方針*を示さう。

位置及び入口　防護室は地下室或は第1階の中廊下に設け、汽灌又は爆發引火性物資料を貯藏する室は避けること。

建築物各部より短時間に防護室に到達し得る樣に、防護室の入口は各階へ通ずる階段附近に設けること。

防護室關係各室　一般に前室、防護室、便所等に大別されるが、大規模なものには工具室、監視人室、衞生室等を設ける。（第4圖及第5圖參照）

各室の大さ　前室の大さは5m²以上とし、20名以下を收容するものでは3m²にても可。前室の幅員は成るべく1.5m 以上と爲すこと。數箇の防護室があるときは前室を供用してもよい。



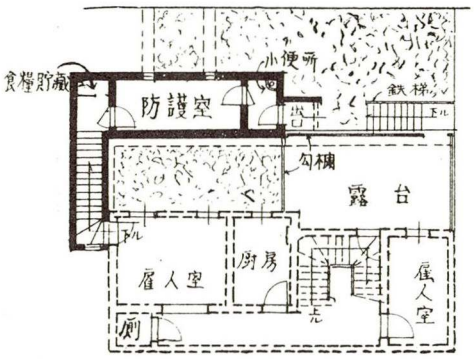
A. 入　口　D. 便　所　G. 氣壓計
B. 前　室　E. 通氣管　H. 排氣管
C. 防護室　F. 空氣濾過器　I. 非常出口

第4圖・簡單なる防護室平面圖

防護室は一般に50名以內がよい。收容人員1人當3m³以上の空氣容量を有せしめ、人工換氣を用ふる時は1人當1m³以上と爲すこと。但し床面積は、1人當0.6m³以下にしてはならない。

* Die Sirene　1937年 1號（1月） 4～6頁

* 獨逸防護室第3規定に依る　Die Sirene 1937年 11號（5月） 293～296頁



第5圖・中華民國廣州市住宅防護室平面圖

便器は防護室の收容人員20名毎に1箇を設けること。但し大防護室は30名毎に1箇と爲し得る。便所の前部には成るべく小前室を設けた方がよい。

工具室、休息室、衞生室等の入口は成るべく防護室及び前室に開口すること。

壁體開口部の配置及び大さ　出入口の開口部には閾を取付け、その高さを約10cmと爲し、扉は總て外開きにすること。窓その他の開口部は開放して速かに換氣するに必要な大さに止めて置くこと。出入口の反對側に非常出口を設け、前室・防護室の扉及び非常出口の扉は一直線になる様な配置をせぬこと。

天井　防護室の天井は固定荷重、積載荷重の外に建築物上層の崩壞物荷重を考へ、1,000kg\m²の等價崩壞物荷重を用ひる。鐵筋コンクリート構造の天井には特別の補強は要しないであらう。

壁體　壁厚は下の如く爲すこと。

壁　　厚	壁が地盤面上 1m 以内にある時	地盤面より 1m 以上突出する時	間仕切壁
鐵筋コンクリート	30cm	40cm	15cm
無筋コンクリート	40	50	30

防毒扉　出入口、窓、非常口等には彈片防護を兼ねた氣密になし得る防毒扉を設けること。(第6圖參照)

換氣及び其他の設備　在室者1人當3m³以下の空氣量の防護室には人工換氣裝置を設けること（第7圖參照）又、20人以上を收容し、1人3m³以上の空氣量のある防護室も、將來の人員增加に備へる爲人工換氣裝置に必要な配管を取付けておく可きである。

防護室は有毒外氣の隙間からの侵入に備へて濾過裝置によつて幾分內部を過壓にしておく可きである。

外氣は防護室外の適當なる箇所（地上3—5m）より導入し、その際煙突或は煖爐の通氣孔を以て之に充ててはならない。

防護室の換氣は空襲時その在室者の活動狀態により、1人1分間毎に少くとも下記の空氣量を要する。即ち

a. 防護室內に於て靜坐する時、1人 20—30*l*\min

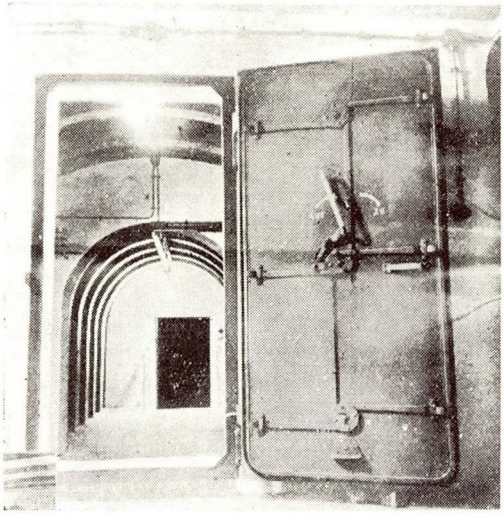
b. 防護室內に於て作業を爲す場合、仕事の種類その他により、1人 100*l*\min

* 鄭祖眞：防空建築（1937）3頁より

尙ほ此の際、必要過壓（水柱2—5mm）にする爲に、少くとも1時間に1回は室內空氣を轉換せしめること。

所要空氣量1,200l\minl以內に於ては沪過裝置には電動機を使用せず、人力（手或は脚）を以て運轉せしめること。電動機を有する大規模なものには非常用發電裝置を設けること

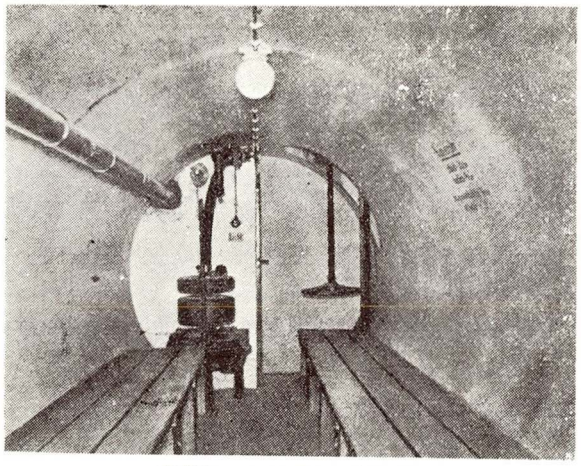
新鮮な空氣の導入及び室內汚氣の排出には、室內過壓限界なる水柱7—10mmになれば、自動的に作用する過壓瓣を取付けること。防護室內排氣は應急便所及び前室へ送り出し、次で外部へ排除するやうに計畫すること。



第6圖・ブレーメンにある防護室入口*

更に防護室內には給水栓以外の配管には成るべく設けず、排水が逆流せぬ樣に逆止弁を設け、照明には電燈、懷中電燈等を用ひ酸素を消費する蠟燭の如きものを用ひてはならない。その他の設備品に就ては第8圖を參照され度い。

揭示　防護室入口には許容收容人員を記載した、讀み易く耐久的な揭示板を揭げ、暗夜にても讀み得るやうにする（例へば夜光塗料を用ひる）



第7圖・獨乙圓筒形防護室*

平時の利用　防空下令と同時に短時間內に本來の用途（防護室用）に戻し得る樣なものであれば、平時他の用途に供しても差支へはない。

木造建築物にコンクリートの地窖或は鐵筋コンクリート倉庫等が有る場合は前述防護室の設備方針に從つて防護手段を採ればよいが、全然木造のみの建築に在つては、防毒室を作つて毒瓦斯の防禦を爲すのみで、燒夷彈に對しては强度の人的訓練が要求される。即ち木造に於ては建築手段としては燃え難くせしめて、次に人力を以て消火或は防火に盡す可きである。

---

* Die Sirene　1937年 6號（3月）　146頁

* Die Sirene　1937年 6號（3月）　147頁

木造建築物を燃え難くするには　建築法規には準耐火造があるも、防空上急速に之を實施することも困難で、準耐火構造の程度の低いもので我慢せねばならない。建築物各部に就て之を云へば、

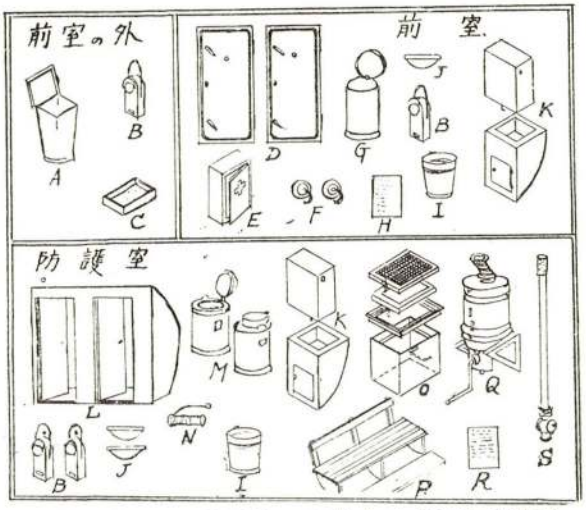
屋根　瓦、石綿スレート、トタン等を以て葺き、燒夷彈の侵徹に對する補强工作は行ふも徒勞である。

外壁　鐵網モルタル、トタン張とす。

軒先その他　軒、軒蛇腹、屋窓、裝飾塔の類は不燃材料で造るか、又は不燃材料を以て被覆する。

開口部　硝子戸のみでは防火にも燈火管制にも不利益で、是非とも雨戸が必要である。

防毒室　その位置は家屋の中央で2階部分のある所の階下の一室で、而も納戸の如く毎日餘り使用せぬ室を之に充てるがよい。



A.被毒着衣入　H.前室の注意書　O.非常出口裝置
B.手提ランプ　I.バケツ　P.腰掛
C.砂入(亂消毒用)　J.電燈　Q.空氣濾過器
D.防毒扉　K.水タンク及洗場　R.防護室の注意書
E.救急函　L.便所　S.塵除附給氣管
F.過壓瓣　M.置便器
G.着換へ入　N.開閉器

第8圖・圓筒形防護室設備品の一例*

防毒室の天井、壁と柱の隙間、鴨の下、障子、楓等すべて和紙、ハトロン紙、布テープ絆創膏等を以て目貼りして密閉に爲し、使用前に先づ線香或は松葉を燻らせて、煙が漏出するや否やを外部から點檢して防毒効果を確める可きである。防毒室の出入口は防水布、2枚重ねを2ケ所位造つておく。

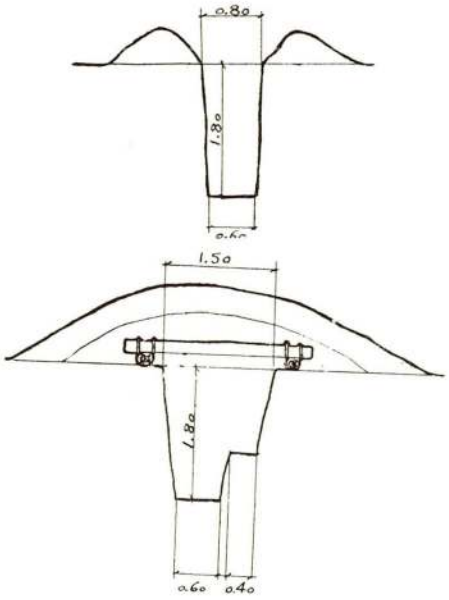
防毒室に在つて防毒蚊帳に入つて居る所へ燒夷彈が落下すれば、忽ち防毒の用を爲さない故、防毒室の上階の床で燒夷彈の侵徹を喰止めて、消火する樣に防火擔任者の訓練が必要である。消防施設に對しては火災に對する用意と同樣である。

防空壕　は燒夷彈に對しては安全であるが、防毒に對して無力である。併し中華防空研究家は「我國現今の經濟情況下に於て、簡易に短時日に構築し得て、少額の經費にて足り且多人數を收容し得るものは防空壕である」と云つて居る。併し之は建築物から相當離れた所へ構築し、爆彈が建築物へ命中して倒壞しても危險を及ぼさぬ樣に計畫す可きである

此種の防空壕は戰壕から考へついたもので、次に、之が構築に就ての2.3の注意を示さう。(第9圖參照)

---

* Bauwelt　1937年 17號（4月）　廣告欄より



第9圖・防　空　壕*

a. 防空壕と建築物との間隔は少くとも建築物の高さ以上離すこと。

b. 地質の堅固な所に設けること。

c. 特に排水に注意すること。從つて濕地に設けることは得策でない。

d. 壕內に必要なものは、懷中電燈、鶴嘴鋤等の修理工具等である。

尙ほ工場に於ても構內空地に防空壕を設けるか、或は出來得れば鐵管、コンクリート管、ヒューム管等を以て防護室を設けることが、獨逸に於ては奬勵されてゐる。

（第10圖及び第7, 8圖參照）

5. 防護室建築の財源

防護室は結局、耐火構造に設けるのが最もよい。此の點に關しては何人も疑ひを入れないが、その實行上の難點は主として經濟問題である。日本建築協會は昭和9年9月防火防空建築物の普及促進に關する建議を首相に提出し、又建築學會も耐火防空建築普及促進に關する建議を昭和8年4月に首相に提出しその內容は、

現行防火地區の完成並に擴大、

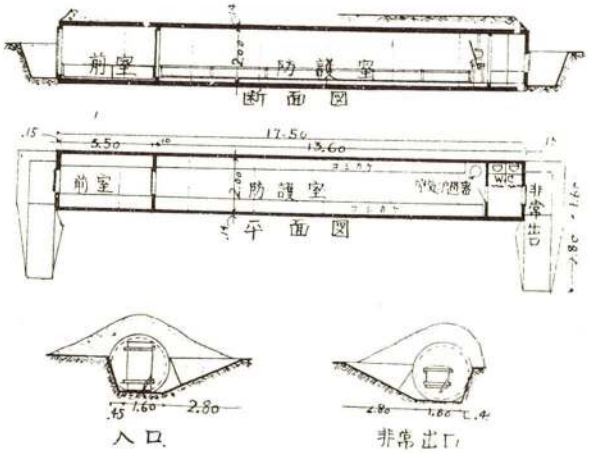
耐火建築補助金交付地區の擴張、

甲種防火地區內地下室建築に對する補助金の交付

耐火建築に對する低利資金の融通、

耐火建築に對する家屋稅その他の減免、

公共建築物の永久的構造化



第10圖・50人用ヒューム管防護室

* Die Sirene　1936年 14號（7月） 368頁

* Zentralblatt　56卷 15號（1936.4） 335頁

等で、鐵飢饉の折から今日ではその實行も困難であらうが、之に向つて邁進する心構へは無くてはならない。此の如き耐火構造の助成に對して何らかの方法を以て、實行可能な部分より進めて行かねばならぬが、防護室を設けるに都合のよい耐火構造の都市を持つ歐洲各國に於ては防護室財源或は補助を何によつて得てゐるかを示さう。

獨逸　に於ては個人アパートに防護室を設ける時は其費用の50%にして、且最高限 1,000マルク以內の補助を行ひ、工場に對しては、其工場收入より防護室建築費用を差引いたものに對して所得稅を課し、次年より6ケ年間建物に就て其の建築費の銀行利子となる可き額丈け控除したものに對して課稅し、又國立防空協會の防空建築相談所が各地に巡回して防護室その他防空建築施設一般の相談に與かつてゐる。

瑞西　に於ては、防護室建築に對しては聯盟が半額を負擔し、殘りの半分は州及び自治團體が負擔する。尙ほ防護室建築補助として 500 万瑞西フランを支出し、公共集團防護室に對しては20—30%の補助が爲され、空襲の危險性の多分に在る地方では個人防護室にも最高10%迄（全工費に對し）の補助が爲される。

伊太利　に於ては防護室の建築並に防護室內設備品の購入は伊國防空協會の手を經て行はれる、此の協會が獨占權を有し、直接國家の支持を受け、大量生產及び統一生產に依つて防護室費用の低下を圖り、それによつて全建築主に對して事實上一種の建築補助を爲してゐる。

佛蘭西　に於ては、防護室建築の財源捻出に關しては未だ確定したものはない。建築警察は防護室の建築に必要な建築材料を平時適當なる時期に保護する任務を持つてゐる。知事は重要工場に於て防護室の建築を企業主の費用を以て實施すべしとの命令權を有してゐる。

防空上より見たる都市建築行政

芦浦義雄

目次

Ⅰ 序
Ⅱ 都市防空手段と建築行政
Ⅲ 防空法の實施
Ⅲ 建築物法の改正
Ⅴ 防空上の要求に適する建築的手段に關する規則の制定
Ⅵ 結

Ⅰ 序

科學の進歩と共に今や戰術は一變して、戰線は間近く都市頭上に迄進展されるやうになつた。一朝事あらんか敵爆撃機は先づ直接都市を襲ひ、市民の戰意破壞を企つることは明白であり、近時都市防空の必要が叫ばれる所以の此處に存することは周知の事實である。

舊都市の改造も新興都市建設も、總て防空施設を考慮せずしては計畫出來ぬ時世となつた。從つて之等都市を構成する建築物等に對する行政手段たるや舊慣を踏襲することは許されず、速に防空的考慮が加へらるべきであらう。都市防空施設の急速なる達成を得んが爲には勿論各人の自發的實施を要望するものであるが、法規を以て其促進を策することは最も有効なる統制ある結果を齎し得るからである。

以下烏滸しくも之等に就て私見を述べやうと思ふ。

Ⅱ 都市防空手段と建築行政

防空施設に積極的防空施設と消極的防空施設とがあり、積極的防空施設は軍部の仕事に屬するが、消極的防空施設は總て非戰鬪國民の不斷の覺悟と努力とを必要とする事項であることは今更贅言を要せぬが、この消極防空の技術的事項の殆んど總てが都市計畫事項中に包含される。次に都市が必要とする消極防空事項を列擧すれば

1. 敵機をして都市發見を困難ならしむる爲

A、都市の僞裝

- 燈火管制
- 都市の全般的僞裝

B、要僞裝物の僞裝

- 工作物
- 水　面
- 建築物

C、燈管及び僞裝工作の訓練

2. 積極的防空に對する援助施設

A、軍用道路の開設

B、軍部の對空防備陣布設用空地保存

C、同建築物の配置

3. 爆彈に對する防禦

A、防彈的都市計畫

- 道路巾員、公園、廣場、綠地の擴大、建築物の分散或は集約、空地制限の擴張等による都市稠密度の緩和並びに爆彈命中率の低減。
- 地下道、地下鐵道の開鑿による交通路の確保。
- 通信機關の地下埋設による防護
- 主要建築物の分散的配置及び危險物貯藏所の掩護的配置
- 地下街の開發

B、建築物の耐彈化

- 建築物の防彈構造等による武裝
- 其の助成

C、避難所の設置

D、避難及び應急工作の訓練

4. 燒夷彈に對する防禦

A、防火的都市計畫

- 空地擴張等による都市分散
- 防火ブロツクの結成と之が爲に要する防火地區の擴大、及び各種消火帶の設置
- 防火ブロツク內細防火網の制定
- 防火、消火の諸施設

B、建築物の防火

- 建築物の耐火構造化
- 木造建築物の燒夷彈防火並びに延燒防止構造化

C、建築物の消化施設

- 消火用水利計畫
- 消火用器具の整備

D、避難所の設置

E、防火、消火並びに避難の訓練

5. 毒瓦斯に對する防禦

A、防毒的都市計畫

- 空地の擴張による毒瓦斯の逸散を計る
- 恒風方向、地形等による道路網計畫
- 道路の舗裝
- 貯水塲の設置

B、建築物の防毒

- 防毒建築化

C、消毒施設

- 瓦斯檢知所、瓦斯消毒所の配置

D、マスクの製造

- 個人防毒の完備

E、避難所、救護所の設置

F、防毒、避難、救護、檢知及び消毒の訓練

以上の如く各種對策が存するが、之等は總て都市計畫に關連する諸對策と並行して進められ、之に市民の適切なる組織と訓練とが伴つて始めて非常時に充分其の目的を達し得るものである。

都市計畫法、市街地建築物法を始め道路法、軌道法、水道條例、運河法、河川法等の諸法規が現在の都市計畫に與つて最も深い關係にあるが、之等は必然的に防空的改正を必要とする。

就中市街地建築物法は上記防空諸對策と密接なる關係にあり、其の一部の改正並びに新規定の追加は、積極防空の助長と消極防空の充實を期する爲に速に斷行して、防空都市完成の絆となすべきであらう。

又防空法實施による規則の出現を見るであらうが、之を待たずに建築物法と別個に地方廳令を以て防空施設に關する規則を設くることも出來やう。

防空法の活用、建築物法の改正、地方廳令の制定の三者の何れが最も有効か、又之が法制上の良否に就ては不肖著者は之を判斷し兼ねる次第であるが、次にこの三者に就て規定さるべきであらうと思はれる事項を略記することにする。

Ⅲ　防空法の實施

歐洲諸國即ち、獨逸、佛蘭西、伊太利、瑞西等に於ては既に防空法が布かれており、その骨子となるべき事項は大體次の如くである。

A、國民に防空義務並びに秘密保持を負はしめ、その範圍を定む。

B、防空最高機關を設置し、諸種の權限を賦與す。

C、防空準備事項並びに實施方法の決定。

D、防空關係費用出所の決定。

E、防空準備及實施の爲に要する諸補助。

F、諸罰則の制定。

此等諸國は既にこの法の活用により、斯設に演習に擔當の實を擧げてをるやうである。

我國に於ても識者の間に於て近年その必要が叫ばれてゐたが、遂に容れられ去る第70議會に於て政府により提出された防空法は兩院を通過し、來年4月1日を以て施行せられる段取に迄漕ぎ附けられた。

然るに去る7月7日盧溝橋事件に端を發した支那事變は8月下旬より遂に全面的に擴大し、某國との國際關係も亦發火點に達せる今日之が定施の一日も速かなるべきを妥當なりとする理由の下に本年10月1日を期して施行繰上げを見るに至つた。

我が防空法は昭和12年4月5日付官報に、同施行令は昭和12年9月29日付官報に掲載されてゐる如くであるが、其内容は、防空計畫、機關とその權限、施設及資材等の物的整備從事員等の人的整備並びに訓練、費用の補償、辨償、負擔、違反者の懲罰等に關し、夫々22箇條及17箇條に分つて規定してゐる。このうち建築技術に關するものは主として施設及資材の整備であり、例へば法第5條

地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ防空計畫ニ基キ特殊施設ノ管理者又ハ所有者ヲシテ防空ノ實施ニ關シ必要ナル設備若ハ資材ノ整備ヲ爲サシメ、又ハ防空ノ實施ニ際シ必要ナル設備若ハ資材ヲ供用セシムルコトヲ得

施行令第3條

防空法第5條ノ規定ニ依リ整備ヲ爲サシムルコトヲ得ベキ設備又ハ資材ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

1. 電氣工作物、工場、鑛山、鐵道、軌道、診療所ノ類ニ付テハ燈火管制ニ關シ必要ナルモノ
2. 水道、下水道、瓦斯工作物、石油タンク、工場、鑛山ノ類ニ付テハ消防ニ關シ必要ナルモノ
3. 劇場、診療所、百貨店、地下ニ敷設シタル鐵道又ハ軌道、地下室ヲ有スル建築物ノ類ニ付テハ防毒避難又ハ救護ニ關シ必要ナルモノ

防空法第5條ノ規定ニ依リ供用セシムルコトヲ得ベキ設備又ハ資材ハ左ノ各號ニ掲クルモノトス

1. 高層建築ノ類ニ付テハ監視ニ關シ必要ナルモノ
2. 號報器ヲ有スル施設ニ付テハ警報ニ關シ必要ナルモノ
3. 學校、集會場、劇場、診療所、百貨店、地下ニ敷設シタル鐵道又ハ軌道、地下室ヲ有スル建築物、避難上有効ナル空地ヲ有スル工場其ノ他ノ建築物、運動場ノ類ニ付

テハ防毒、避難又ハ救護ニ關シ必要ナルモノ

の一部に出てくるが、上記の如き條文により建築技術部門に對し防空上の要求に適する建築的手段に關する施行規則が設けられるのであらう。その條文になるべき事項としては後に述べる所の地方廳令として單獨に制定さるゝ規則となるべき事項の全部を望むのであるが、我が防空法の定むる範圍に於て其條文の解譯によつてはその一部のみしか規定し得ぬと思はれるのであるが、ものたらぬ樣な氣がする。何れにしても目下立案中であると云はれる防空法施行規則の一日も早く制定公布されんことを望む次第である。

Ⅳ　建築物法の改正

建築物行政ばかりでなく多くの行政手段は時代の要求、進歩に從つて漸次改正さるべき性質のものである。建築物法は主として保安、衞生、交通等に重きをおき、都市人共存共榮を目的として制定せられたものであるが、時世の要求として小は一都市人の生命財産の擁護上、大は國土防護上から、防空的考慮を拂はねばならなくなつた。防空的考慮と云つても勿論實施可能なもので、而も我國土人士に適合せるものであらねばならぬ。

試みに建築物法を防空的に改正するとすれば如何なる事項に就て行ふべきか、その要點を次に列擧して見る。

1. 用途地域に關し
   A、防空的都市計畫上新地域指定の必要を生じることあり、之に對する規定の入用
2. 建築物の高に關し
   A、防空上建築物の高の指定を行ふ必要ある地區に關する規定。
   B、現行法規にて制限されたる高さ以上に建築を行ふ必要を生じたる場合に對する除外規定。
   C、建築物、工作物等の型體に就ての制限規定の入用。
3. 建築敷地內空地に關し
   A、防空上特に空地制限を嚴にする必要のある地區に對する空地割合及び建築物の隣地との境界よりの距離を一定以上に保たしむる規定の入用。
   B、又絕對空地として存置せしむる必要ある地區に對する建築行爲の禁止其他の規定の必要。
4. 一般構造設備に關し
   A、燈火管制に對する施設に關し。
   B、建築物外壁仕上材料に關し。
   C、一般建築物構造は爆彈により受くる被害を可及的最小限にする工夫をなさしむる
   D、消火、消毒に關する施設。
   E、地下避難所として防護室を設けしめ必要なる構造設備をなさしむる。
   F、之に伴ふ採光換氣の規定の改正の必要あり。

5. 防火地區に關し

A、防空上防火地區の擴張の必要あると共に耐火構造規定の緩和の必要あり。

B、燒夷彈に對する處置として木造建築物の燒夷彈防火構造の如きものを丙種防火地區として規定する必要あり。

6. 一般の場合に關し

A、防空上必要と認められたる時適當なる命令を發し得るが如き條文の加入の必要。

B、必要とあらば既存物に對しても諸種の命令をなし得るが如く規定する。

7. 行政上の救濟及び罰則に關し

A、上記事項中救濟、補償、補助等を要するものに對する諸規定の追加。

B、違反者に對する罰則の設定の必要あり。

以上の諸事項を現行建築物法、同施行規則等に織込みたる私案を有するが、都合上記述を消略する。

防空法による諸規則の出來を待たずに建築物法を防空的に改正することもよいのであるが、もし之に改正を加へずにおくとも、防空法によつて諸事項が規定された曉は、建築物法と相容れざるものも生じてくるであらうから、その時に至つて建築物法中當然改正せねばならない事項が歷然としてくると思ふ。

V 防空上の要求に適する建築的手段に關する規則の制定

建築物法中に防空上必要なる規定をなすことを得ると云ふ一文を入れるか、或は防空法を基として、地方廳令として單獨に防空上の要求に適する建築的手段に關する規則を設けることが出來るであらうが、これは省令の發布があつた場合は自然不必要になるべき運命にある。然しこの種地方廳令は拙速を必要とする場合は最も有効なる手段であらう。

防空施設に關する新規則を別個に設けるとすれば、如何なる事項に關してなすべきかを前記事項と重複する部分もあるが、總則以下9項に分つて述べると

1. 總則として規定すべき內容

都市建築物並びに工作物等は都市空襲を未然に防ぐ爲に、敵機よりの發見を困難ならしむる手段を講ずる必要あると共に、又一旦侵入せる敵機を防禦し、或は之に依つて受くるであらう被害を最小限に留めむが爲に、積極防空に對する援助的施設をなし、或は爆彈、燒夷彈、毒瓦斯等に對する防禦、避難施設をなすを要すると云ふことに就て規定する。

2. 敵機をして都市發見を困難ならしむる爲に設ける規定事項

A、燈火管制に便なる電氣配線をなし、消滅不可の光線に對しては適當なる遮蔽方法を講ぜしむる。

B、廣面積を有する建築物の外部仕上は無光澤暗色の材料を使用せしむる。

C、都市僞裝の大局より考へ、敷地內の樹木を濫りに伐採するを禁ぜしむる。

D、周圍の狀態より見て著しく敵機の目標となる虞ある建築物、工作物等は適當にその型體を制限し、已むを得ざるものに對しては僞裝手段を講じ、そのために必要器材を整備せしむる。

E、必要なる場合は地區を定めて建築物の高さを指定し得る如くにする。

3. 積極防空に對する援助的施設に關する規定事項

A、軍事上重要なる道路、空地を指定し、之が有効なる保有をなさしむる。

B、軍事上必要なる建築物に對しては必要なる處置を命ずる。

4. 被害低減上必要なる共通事項

A、爆彈、燒夷彈、毒瓦斯彈の命中率低減及び防火、瓦斯逸散上必要と認むる地域に對して新たなる空地制限を設くるか或は建築行爲の禁止を命ずる。

B、建築物の隣地境界線との距離は防火、防毒、避難上地域により一定巾員以上を保たしむる。

5. 破壞爆彈に對する施設に關する規定事項

A、絶對重要と認められる建築物又は建築物の一部を可及的完全なる耐爆構造たらしむる。

B、一般建築物は爆彈が命中した場合、その被害を可及的に小ならしめ、且つ復舊に容易なる構造とする。

C、危險物貯藏所の設備地域の制限と其掩護構造に關して必要に應じ別に命令する。

6. 燒夷彈に對する施設に關する規定事項

A、防火ブロツクの制定上防火地區を擴大し、各種消火帶の有効なる保有をなさしむる爲に要する諸種命令をなし得る如く規定する。

B、木造建築物は燒夷彈防火構造となさしむる。

C、木造建築物は延燒防止構造となさしむる。

D、建築物に適當な消火施設を施さしむる。

7. 毒瓦斯に對する施設に關する規定事項

A、建築物の開口部を可及的氣密となさしむる。

B、建築物に消毒施設をなさしむる。

C、建築物の外部仕上材料は毒瓦斯に耐え、且つ消毒容易なるものを使用せしむる。

8. 避難施設に關する規定事項

A、建築物には其用途及び床面積に從つて別に定むるが如く防護室或は救護所を設置せしむる。

B、建築物の配置は避難通路を考慮に入れしめ、避難誘導標識を設備せしむる。

9. 其他の規定事項

A、防空上必要なる場合に適當なる手段を適宜命じ得る如き規定の必要。

B、新築建築物のみならず必要と認むる場合は既存物に對しても前記事項を命じ得る如く規定する。

C、救濟、補償、補助及び罰則の制定を必要に應じて行ふ。

等であるが、之が具體的事項等に關しては都合上記述を省略する。

Ⅵ　結

防空上より見て都市建築行政は如何なる手段を講ずべきかに就て私見を述べたが、この防空の要求に適せる建築的手段たるや未だ研究日猶淺く、之に加ふるにその一部の眞價なるものは我國に於ては未實驗の狀態におかれて居るのであるから、之等に關してまでも云々することは冒險であるかも知れず、まして之等を法の力を以て强制して行かうと云ふのは或は無謀の誹りを受けぬとも限らぬことであらう。

然し今や時局は都市諸施設に對して防空的施設の完備を要求し、其の必要は目睫の間に迫つてゐる。此秋に臨んで建築行政の立場にあるものとしては、徒らに之が實施を遷延する折ではないのであるから、現在迄によりよい手段であると解つた範圍內に於て、例へそれが不完全なものであつても實施に移すことが拙速を必要とする今日の情勢から判斷して緊要なる手段であると思ふ。規定事項中之に優る手段が發見され次第率直に逐次補足を加ふるも已むを得ず、之が爲に朝令暮改の嘲りを受くるものとは信ぜられぬ。

建築物法のみならず都市計畫法、其他の關係取締規則等も亦同じ運命におかれて居るのであるが、之等が一日も速に改正されて統制ある消極防空の完備さるゝ日の近からんことを望む次第である。(昭和12年10月5日)

時局と技術者

新名種夫

× ×

我國の經濟界に於て土木建築事業が如何なる地位に於て如何なる役目を演じてゐるか、今日程判然と我々の認識を深めたことは嘗てない所であらう。

土木建築業を中心として、設計家、請負業者、材料業者及びその各關係勞働者等が我國の經濟界産業界に於て何んな役割を受持つてゐるか、大にしてはその受持つ仕事が國家と如何なる關係にあるかを、夫々の立場に於て今日程はつきりと認識したことは嘗てないであらう。

この認識は、一は勿論現在の時局の重壓に依るものであるが、その直接原因は支那事變に對して軍需資材を確保する爲に、特別議會で決定實施せられた、臨時資金調整法及びそれに聯關して設定せられた鐵鋼工作物築造許可規則の公布であるが、それに加ふるに、臨時輸入措置法、內務省の不急不要事業に對する地方債許可制の强化等が、それ等法規の効果を一層大ならしむる補助的作用を演じつゝ、土木建築界に未曾有の抑壓的統制が行はれるに至つたからである。

× ×

資金調整法の目的とする所は、今次の時局に對して不急不要と認められる事業に對して新設、擴張、改良等の固定資金を投ずることを抑制し、專ら軍需關係事業へこれを振り向けることを目的とし、住宅建築、商業建築、非軍需品工場等の建築中少しく規模の大なるものはその爲に殆んど抑壓せられる結果となるものである。

× ×

內務省の地方起債の抑制は、資金調整法と呼應して資金及物資の調整をはかるのを目的とし、地方債の許可に際して土木事業に對しては、國庫の補助あるもの、國防上樞要なるもの、生産擴充上必要なるもの及び緊急差し置き難きものゝほかは原則として認めない方針が明示せられ、建築事業に於ても、新築は國庫の補助あるもの又は眞に已むを得ざるものゝほかは原則として認められず、改築は崩壞の虞れあるものゝほか認められなくなつた

× ×

以上の2つの統制方針だけでも土木建築事業に抑壓的効果を齎すこと頗る大なるものがある所へ、更にその効果を一層確實にすべく商工省よりは鐵鋼工作物築造許可規則が公布10月20日より實施せられ、土木建築界に及ぼす影響は豫想以上更に大なるものを豫期しな

ければならなくなつた。

この規則の定むる所は、臨時資金調整法に示された基準中、甲に屬する生産力擴充の爲に緊要なる工場、特に堅固な構造を必要とする工作物及び鐵鋼の使用量50瓲以下の工作物以外の大部分の建築物は總て許可を要するといふにあり、その目指す所を押し詰めて行けば、現在の戰時體制下に於ては軍需工場のほか鐵を必要とする建築物は建てない方がいゝといふことに歸着する。

× ×

尙それに加ふるに10月10日よりは臨時輸入措置法に依る木材輸入の許可制が公布實施せられ、紫檀、黑檀等の贅澤品はいゝとしても、米松その他の主要構造材にまでそれが適用されるに於て、これは結局に於て木造建築抑制となつて働くのである。

× ×

これ等の諸法規はたとへ時局終局後一箇年以內に廢止さるべきものであるとはいへ、鐵構造に加ふるに木造にまで抑壓的統制を受くるに於ては、土木建築界は如何に考ふるも萎縮よりほかないのではないだらうか。

先日この問題に關して建築協會主催の座談會が催された席上一業者の話に、資金調整法基準中の乙（ロ）から丙までの種目に含まれる建築が全體の60パーセント乃至70パーセントあり、更にその中の少くとも30パーセント乃至40パーセントは鐵鋼工作物築造許可規則に觸れるから、これ等の臨時法規施行中の建築は、種々なる條件を斟酌して考ふるも、少くとも平時の50パーセントに減少するものと覺悟しなければならないとの事であつたが、若し然りとして、業界新聞の報ずる如く土木建築關係の從業者總數を 5,000,000人と假定すれば、少くとも 2,000,000人の失業者を出すことゝなり正に重大なる社會問題である。

× ×

我國現下の非常時局に際して、擧國一致國策に順應することは、土木建築に從事するものも亦國家の一員として當然なすべき義務であり、上述の戰時諸法に對しても政府の方針に順應すべきこと勿論であるが、技術者として今回の時局に直面し、この戰時諸立法設定の必要の依つて來る所を認識する時、國家の將來の爲にいさゝか考ふる所なきを得ないものがあるのである。

× ×

歐洲大戰の末期には、獨逸では街頭に一片の鐵も見出されなかつたといはれる。

戰爭の永續が國內物資の缺乏を來し、就中鐵材の不足を第一に招來することは何れの國如何なる場合も例外はない。

從つて戰時體制の下に何よりも第一に統制されるものが鐵であることは言ふ迄もないが我等の顧みていさゝか心細く感じざるを得ないことは、今次の事變が始まるか始まらないかに、既に軍需資料の增產の爲に平和的事業に强度の統制を行はねばならなくなり、中で

も鐵に對しては小規模の鐵材使用まで制限する如き法規を出さねばならない様な狀態になつたことを考へる時、今次の事變がその規模に於て日露戰爭を遙かに凌駕するものであるとしても、軍事的には安心しながらも尙經濟的に心細き感なきを得ないのである。

國際聯盟の脫退以來、非常時の聲は我々の精神を鼓舞し、今回の支那事變には實に驚嘆すべき精神的擧國一致の實を擧げてゐることは吾人の以て意を强ふするところであるが、それと竝行して平和時に於ける物質的方面の準備が伴はなかつたのに非ずやとの感なきを得ないのである。

× ×

鐵材の問題だけを執りあげて考へても、八幡製鐵所を日本製鐵株式會社に組織變更したことすら逆行的な感なきを得ないものがあつたが、久しい非常時の前兆に對して原料の仕入、工場の擴張等に就いて豫め時局的企圖を計つておかなかつたことは正に大なる手抜かりであつたといふべきである。

非常時局に直面すれば外國貿易は何んな狀態になり、何れだけの鐵が我國に於て自給自足しなければならないかは、技術的に決して豫想不可能なことではない。にも關らず時局の切迫に依る鐵材の不足に遭つて始めて遽に工場の擴張を開始する如きは、泥繩といふ諺があるが、盜人を捕へて稻を植えるに類することではないであらうか。

× ×

今回の非常時局に對して、陸海軍では既に數年前より着々と軍需資料を整備しつゝあつた。

それにも關らず一方平和的事業の當事者は單に精神的、敎化的の立場に於て非常時を稱へるのみで、非常時の經濟上、產業上のそれに對應する準備は行つて居なかつた感があるのである。これが今日の結果を招來した原因ではないか。

技術者が國政遂行の要機に參劃し得ない現制度の弊はこうした所に結果となつて現はれるのである。生產の實狀と將來とを數字的に知悉し、その趨勢を切實に感得してゐるものは實際その道にある技術者であるからである。

× ×

九月二十七日より施行せられた資金調整法の施行細則が、10月13日には既にその一部の改正が公布せられたり、又、鐵鋼工作物許可規則が發表せられて間もなく、土木建築關係業者の代表と商工省當局者との會談に於て、その附則第二項中の「既に基礎工事を終了したるもの」の解釋に關し、複雜なる大建築物の基礎の完了を何を標準として認定すべきかに就いて、業者側が種々なる場合を擧げて說明したるに對し、商工當事者は、「そんなに複雜なものですか」と驚いてゐたといはれ、又、同法第七條の「50㎡以下」の制限に對し、各方面よりの質問に遭つて初めて「30㎡以上50㎡以下」と範圍を示すなど、直接土木建築の技術方面全般に大影響を持つ所のこうした法規の設定にも、技術者の與るところ少なか

つたことを示すものであり、寧ろ不思議にさへ思はれるのである。

× ×

市街地建築物法その他永久的諸法の規定と臨時的戰時立法との矛盾撞着は、臨時法の性質上已むを得ない所であることは吾人もことを認むるものであるが、それにも關らず技術的立場より尙釋然たらざるものが感ぜられるのは、時局緊迫の故を以て1箇月繰上げて10月1日より施行せられた防空法と、この戰時統制法との關係である。

防空法は未だその施行令、施行細則の發令を見ないから、詳しいことは不明であるが、建築が市街地建築物法以外に、更に防空法に依る規定の適用を受けることになり、而も建築物法が主として增改築、新築等の場合にのみ適用されるのに對し、防空法は既設の建築物にも或設備を施工せしめ得る場合が想像せられるから、防空法の强制力は市街地建築物法のそれよりも更に大なるものがあるのではないかと想像せられる。

防空法の終局の目的は、都市をして空襲の慘害より安全ならしむるにあるものであるから、法の精神の徹底は、小にしては大建築物に於ける防護室、住宅に於ける防毒室の設置燈火管制用遮蔽裝置の取設け等から、大にしては都市計畫法に依る地域制の再檢討、防火地區の擴大から、市街地建築物法に於ける建築細部構造の再吟味等にまで及ぶ必要があるべく、而もこれ等は何れも大量の鐵材を使用し、鐵骨又は鐵筋コンクリートの耐火構造を以てしてはじめて達成せられることのみである。

平時に於て補助金を支出して奬勵してゐる防火地區の耐火的構造を、その最も緊要を痛感する時局に於て極度に制限する如き法令を、而も都市を不燃燒化さないでは到底その効果の徹底を期し得ない防空法と相前後して公布せねばならない狀態は、大部分當事者の今までの無準備に歸せねばならない。

× ×

我陸海軍の優秀なるは我國固有の忠君愛國の思想に負ふこと勿論であるが、亦戰術に於いて、武器の製作に於いて世界に誇るべきものを持つてゐるにも依ることは、吾人の均しく認める所である。

これは陸海軍軍人が全て「戰術」を中心とした技術者であり、上下一貫、1つの目的に向つて研究精進する技術者に統括されてゐる點に原因があると言はれる。

朝に產業を扱ひ、夕に教育に携はる。昨日まで社會關係に長たりし人が今日は保健方面の長となる。自他共に許す浮草稼業の事務官に依つて、机上で行はれてゐる總ての平和的事業が思ひ附の程度以上に出ないのは寧ろ當然といふべきである。

非常時の聲既に久しきに關らず、今日に當面して泰然としてそれに處して行くものが唯陸海軍だけであるのは、その由つて來る所實にこの點に存するのである。

國政遂行の最高機關に技術者をも參加せしめよ。

技術立國といひ、技術報國といふも、技術者をしてその技術的蘊蓄を國家の大計の中に

織り込み得るの地位に立たしめてこそはじめて國家に寄與する所大なるものがあるのである。

× ×

今般發表せられた企劃院主腦部の顔振を見るに、陸海軍人が軍事方面を代表して入つてゐるほかは何れも相も變らぬ事務官の羅列ではないか。

平和的施設に於ける企劃院の働きは爲さずして既に豫想せられるものがある様に思はれるのである。

× ×

企劃院のことは姑措き、手近な防空法施行に伴つて内務省内に新しく設けられた計畫局にしても各府縣廳や大都市に既に設けられ、或は設けられんとしてゐる防空課、防護課にしても、その組織の主流は依然として事務官であるらしく、技術官は單にその補助的機關に過ぎない傾向が見られるのは防空法設定の終局の目的達成の爲に、否、國防百年の大計の爲に誠に遺憾とする所である。

戰時經濟體制を中心として

——本協會例會に於ける講演——

武內文彬

二つの問題を捉へて

先達て、このお集りに講演を致すやうにといふお話がありまして、ゆるゆるお話し申上げたいと思つてをつたのでありますが、これは辯解のやうになつて甚だ恐縮でありますが、實は十三日の晩に急に社用で東京に參りまして、昨晩こちらに歸つて參つたやうな譯でありまして、戰時經濟立法につきまして、內容的に非常に筋道立つた詳しいお話を申上げて、皆樣に御滿足を與へるといふことは到底困難ぢやないかと思ふんであります。只私が上京しまして軍部の方面、大藏省方面、日本銀行方面又現役では居られないが、非常に注目されてゐる某陸軍大將とか、松岡滿鐵總裁であるとか、さういふ各方面の方々に直接お會ひ致しまして、色々戰局時局の見透しだとか、大體今の日支事變を如何樣に觀測すべきであるかといふやうな點について聞いて參りましたから、一應戰時經濟立法に觸れると同時にこの事變の見透し關係、どの邊まで事變が續くであらうか、又それが日本の財政經濟に如何なる影響をもち、又如何なる外交政策を必要とするであらうかといふやうな點につきまして、お話を申上げたいと思ひます。

愈戰時經濟體制へ

只今松本副會長がお話になりましたやうに、七月七日の七夕樣の日に蘆溝橋の日支衝突事件が起りまして以來、初めは局地的解決、不擴大方針を可能とするかの如くに見えたのでありますが、支那側の對日挑戰的態度によりまして、遂に日支兩國の全面的衝突となつて參つたのであります。殆ど全支に亘つて戰火を見えざるを得ない狀態に突進んでゐるのが現在の實情であります。この支那事變の發端を成した蘆溝橋事件の起ります直前までは、我國では何だか準戰時體制であるとか、或は非常時經濟體制だとか、斯樣な言葉を使ひまするといふと、動ともすると過激なる一派の如くに受取られて居つたのでありますが、蘆溝橋事件を一區劃と致しまして、日本の經濟は愈々準戰時體制を飛出して戰時經濟體制に一路躍進するといふのが經濟の進路となつて參つたのであります。勿論深く考へるものから申しますると、滿洲事變は昭和六年九月十八日に勃發致しましたが、彼の滿洲事變の爲に既に今日の戰時經濟體制化の必然化を見透して居られた方も相當おありだらうと思はれるのであります。でありますが、大體に於て、日本の準戰時體制、乃至準戰時經濟

體制より、戰時體制への移行を決定した直接の原因と申しまするとそれは矢張り二・二六事件だといつていゝのぢやないかと思ふのであります。即ち二・二六事件が起りました直後に所謂廣田內閣が出來まして、その大藏大臣に馬場鍈一さんがおなりになつた、即ち今の內務大臣の馬場さんが大藏大臣におなりになつて、所謂有名な例の財經宣言と申しますか、日本の劃期的非常時財政經濟政策の聲明を爲さつて財界に非常なショツクを與へられたことはあまりにも有名過ぎる周知の事實でありますが、私はこの聲明に於て明かに今日の戰時經濟體制への移行の發展を見透してをられると斯樣に解釋していゝのぢやないかと思ふのであります。

今日から顧すれば正にその通りであつたが、併し一般の認識は必ずしもそこまで進んでゐなかつた。日本を包む各種の狀況、殊に本年の五月十五日ムソリーニなどは例のローマのカピトールの組合會議に於て非常に強い演說を致して居ります。その演說を見まするといふと、今や世界を擧げてこれ武裝の狀態ではないか、現在武器を棄て、自足經濟を棄てるならば如何なる結果を生ずるかといふことを考へて見ろ、その武裝をしないといふ結果は、戰爭をしかけるのに必要な一切の要具を整備してゐる國々に對して祖國を賣つて、その爲すがまゝに委せるのと同斷ではないか、とかう強く軍擴の絕對必要性を强調して居ります。それで次に國際非常時に當つて、持たぬ國々は自足經濟を實踐する以外に祖國を擁護する途はないのである、と自足經濟の絕對性を高調しました。

惟ふにこの國防非常時に當つて持たない國、——持つ國は別であるが、——イタリーとか日本とか持たない國は自給自足經濟を實踐する以外にこの難局を打開し、祖國を擁護する途はないのである。『イタリー國民は平和を熱望して已まない、併乍ら自足經濟こそ平和に對する唯一の保障である』と呼びかけて、所謂イタリーは軍備大擴張、軍擴と並行して自給自足を目標とする尨大なる產業計畫を遂行する以外にイタリー保全の途はないのだ。イタリーは軍備を擴張すると同時に自給自足經濟の擴充を圖ることに依つてのみ平和を保持することが出來るんだと、かやうに申して居りますが、原料資源に於て、又人口の過剩性に於て、種々なる關係に於て類似點を持つ日本は、このムソリーニの言つたその言葉が、その儘日本に適用されるのではないかと思ふ程切實なる同一性を私共はムソリーニの言葉の中に發見するのであります。

幸とでも申しますか、希望すると希望せざるとに拘らず、日支兩國の局面は段々展開して參りまして、先程申しましたやうにすでに全面的衝突にまで展開した。その結果がどうなるであらうかといふことを考へて見まするとと、滿洲事變が今日までの日支關係はまるで星雲狀態であつたと、かやうに考へていゝと思ふのでありますが、今度の衝突を一區劃と致しまして、一轉機と致しまして、結局明朗なる日支新關係が生れる、否是非共、さうした成果を齎すやうに誘導しなければならないものと、考ふべきではないかと信ずるのであります。

その意味に於きましても、今度の支那事變が日本の重大な大陸政策に明暗の岐路を成すであらう點から申しましても、極めて重要な事變であるのであります。これから愈々東亞の安定勢力としての立場と重責を益々見事に果して行かなければならない日本の使命が、今次の事變によつてこの大使命の確立に深く足を踏込んだ。これを土臺として愈々東亞民族を解放するといふ方向に向つて進軍を開始したやうに考へられるのであります。かういふ前提の下に、かういふことを前提として初めて私は今度の戰時經濟立法の意義が明かに判るのではないかと思ふのであります。後に至りまして、財政の關係、貿易の關係、公債の關係とかさういふものをお話申上げて、非常時經濟の本質といふものを數字を交へながら御說明申上げて見たいと思ふのでありますが、その前に表題に擧げて居りまする所謂戰時經濟立法に就て極くその中心となるべき問題をお話して見たいと思ふのであります。

重大な戰時經濟立法

九月三日に召集されて八日に終了致しました第七十二臨時議會に置きましては、非常に重要なる法案が提出されたのであります。提出された法案の數は十一であつたのでありますが、その一つとして重要ならざるはなかつたのであります。尤も我々がその中で最も重要と感じまするものは、臨時資金調整法案、又外國爲替管理法中改正法律案、輸出入等に關する臨時措置に關する法律案、支那事變に關する臨時軍事費支辨の爲の公債支辨に關する法律案、かやうなものが最も重要なる法案であつたと思ふのであります。でありますがこの臨時經濟立法を理解するには、矢張り臨時資金調整法案の內容を探るのが、一番私は便宜だらうと思ひますので、先づ臨時資金調整法案に就て、その要點を申上げたいと思ひます。

臨時資金調整の內容

臨時資金調整法案といふのは、どういふ目的で出來てゐるかと申しまするといふに、第一條の條文に依りますと、

『本法は支那事變に關聯し、物資及び資金の需給の適合に資する爲、國內資金の使用を調整するを目的とす』

かやうに書いてあります。即ち支那事變に關聯致しまして、物資と資金の需給の適合を圖らなければならぬ、物資の過不足、或は資金の過不足、この物資資金の需要供給を適合せしむる爲に國內資金の使用を調整する。即ち一種の資金統制であります。國內にある資金を上手に調整して行つて、躍進日本の國防を完成すると同時に、戰時經濟體制の確立、財政の圓滑なる運行等をはからうといふのが目的なものであります。

この國內資金の調整を目當とする臨時資金調整法といふものが、如何なる內容をもつてゐるかといふのが次に起る疑問でありますが、即ち大體第一にこの法案が目的として居るものは、金融機關又は證券業者が、事業會社の設備を新設する、擴張する、改良する、こ

の事業會社の設備の新設、擴張、改良に要する資金の貸付をするとか、有價證券の應募引受若は應募の取扱をするとかいふ場合には政府の許可を要するといふのであります。この事を規定せる第二條の全文を次に揭げませう。

『銀行、信託會社、保險會社、產業組合中央金庫、商工組合中央金庫及北海道府縣を區域とする信用組合聯合會（以下金融機關と稱す）は事業に屬する設備の新設、擴張若は改良に關する資金の貸付を爲し又は有價證券の應募、引受若は募集の取扱を爲さんとするときは命令の定むる所に依り政府の許可を受くべし金融機關に非ずして有價證券の引受又は募集の取扱を業とする者（以下之を證券業者と稱す）有價證券の應募、引受又は募集の取扱を爲さんとするとき亦同じ』

諄いやうでありますが、銀行だとか、信託會社であるとか、保險會社であるとか、或は中央金庫であるとかいふやうな各種の金融機關があります。又證券引受業者があります。その金融業者、證券業者が或事業の擴張、新設、改良、かういふ方面に資金を融通する場合、又その爲に有價證券を引受けたり、應募したり、募集の取扱ひをしたりする場合には政府の許可を要するといふのであります。

この結果どうなるかと申しますると、政府がこの事業は擴張を要しない、この事業は改良を要しない、この事業は新設を許す可からざるものだ、斯様に考へた限りに於て、假りに金融業者が或は證券業者が金を貸さうとし、有價證券の引受をやらうとしても政府は之を許可しないから結局出來ないことになるのでありますから、政府の意のまゝにその方に資金を廻す、又廻してはいかぬといふ決定を爲し得る譯で完全に資金の統制が行はれることになるのであります。從つて、自己資本であるからといつて、漫然自分勝手に自分の預金であるから勝手に引出して、それを自分の思ふ事業に投ずるといふやうなことは出來なくなるのであります。だから非常に資金の統制が强化されたといひ得るのであります。

但しこの臨時資金調整法案の第三條を見ますと、

『金融機關又は證券引受業者前條の貸付又は有價證券の應募、引受若は募集の取扱に關し本法の目的に從ひ政府の適當と認むる方法に依り自治的に調整を爲すものなるときは之に對し命令の定むる所に依り前條の規定を適用せざることを得』

とあります。

即ち金融機關又は證券引受業者が以上のやうな行爲を爲さうとする場合に（イ）臨時資金調整法の目的に從ひ（ロ）政府の適當と認むる方法によつて（ハ）自治的に調整を爲すものなるときは（ニ）命令の定むる所に從ひ前條の許可規定を適用せざることを得るといふ許可制度の例外を規定してゐるのであります。第二條には金融業者、證券引受業者が所定の行動をとらうとする場合には一切政府の許可を要するといふことになつてゐるのでありますが、併し第三條所定の條件を具備する場合は政府の許可を得なくてもよいことになし得るのです。

即ち法律は二段構へになつてゐるのであります。茲に可なりデリケートな大藏省方面と申しますか、政府と申しまするか、財界の援助を得るためと申しまするか、深きタクトが

多分にこゝに織込まれてゐることを感じます。だから資金は許可制によつて必ずしも全部取締らうといふのぢやなく、自治的調整も許すといふのですが、實際上にはドンな程度に自治の成果を庶幾し得るでありませうか？心許なく存ぜられます。

この間大藏省の首腦部に私がお會ひ致しました時分に、「色々世間でいはれて居りますが、どちらが主だとお考へですか」と申しましたら、「皮肉なことをいはれるが、まあ法律に書いてある通りだ」といふやうなお答へで、「それで大體意味は分りました」といふ話をして居つたやうな次第でありました。餘程巧妙に考案された第二條と第三條であると思ふのであります。第三條は例外の如くに見えても必ずしも例外ではない、又例外でない如く見えるが例外であるといふやうなことを、興味深く條文を見ながら泌々感ずるのであります。

さうしてこの資金の關係で、以上申上げたのは事業會社の關係でありますが、この命令に定むる會社の種類は、命令を以て公式に決定されることになつてをります。

次に命令の定むる特殊の會社を設立する場合があります。この場合には政府の認可を得なければ會社設立の効力を發生しないことになりました。かゝる會社を設立する場合には政府の認可がない限りに於ては効力を發生しない。さらにまたこの命令の定めた特殊の會社即ち特權會社はその會社の資本の增加、合併目的の變更を行ふ、この三つの場合には矢張り政府の認可を要することになつたのであります。その他命令の定むる會社は、第二回後の株金の拂込を徵收する場合に於ては、或は命令を超える擴張、新設、改良といふやうなものをやる場合には政府の許可を要するといふ規定もあるのでありまして、如何にも重要なる制限が加へられて居るのです。

そこで以上申述べました認可許可といふものをそれぢや誰が取扱ふかといふのでありますが、それは全部日本銀行が取扱ふことになりました。從つて日本銀行の經費に於て、又日本銀行のこれに携る行員は公務員としての資格を有つことになつて居りまして、全部日本銀行がこれを取扱ふことになつて居るのであります。

併しながら政府は飽く迄自由の立場から、又實際民間のエキスパートの意見を十分に容れて、これが運用上なるべく摩擦を少くしやう、スムースに資金調整法を運用し、資金の調整を行ひたいといふ事を考へられた結果、資金調整に關する重要なる事項は、別に『臨時資金調整委員會』といふ委員會を新設して資金調整に關する重要なる事項を審議せしめることになつてゐます。また上述の認可、許可に關する重要なる事項は、別に新設されまする臨時資金審査委員會が決定することになつて居ります。問題とされますのは、それでは許可をされる事業とか許可をされない事業とかいふ風なものは、一體どういふ事業であらうかといふ問題でありますが、その點はまだ明かになつて居りませぬが、政府の方では大體この許可をする原則として（イ）原則として許可をする事業と（ロ）原則として許可しない事業と（ハ）各種の事情を考へて、個別的に許可不許可、認可不認可を決定すべき

事業、この三つのカテゴリーに大別して、大體一定の事業を例示して置いて、その線に沿つてゐるや否やを一般の人が判斷しても判斷が出來る程度にしたいといふ希望を以て居られるやうに私は感じて參つたのであります。

それから『命令の定むる會社』の設立、資本の增加、合併又は目的變更は政府の認可を受くるに非ざれば其の効力を生ぜざることになりました（第四條）。またかゝる會社は、この外（イ）第二回以後の株金拂込（ロ）株金の拂込社債の募集又は金融機關よりの借入に依らずして命令の定むる限度を超ゆる事業設備の新設、擴張又は改良（ハ）他人をして引受又は募集の取扱を爲さしめずして社債を募集せんとする場合にも各政府の認可を受けなければなりません。然るに『命令の定むる時局に緊要なる事業を營む會社』即ちかゝる特殊會社は株金の全額拂前と雖も增資が出來るとか、或は社債を商法の第二百條に依らないで、拂込資本の二倍（普通は株金拂込額の限度です）まで社債を發行し得るとかいふ特權を與へられることになつて居ります。少しく之を詳記いたしますると、『命令の定むる時局に緊要なる事業を營む會社』は（イ）命令の定むる所に依り（ロ）政府の認可を受け（ハ）其の事業の設備の費用に充つるため（ニ）商法第二百條の規定による社債發行限度に關する制限を超え拂込株金額の二倍迄社債を發行する特權が附與されることになりました（第九條）。またこの特權會社は（イ）事業擴張の場合に於て（ロ）命令の定むる所に依り（ハ）政府の認可を受け（ニ）其の事業に屬する設備の費用に充つる爲め（ニ）株金の全額拂込前と雖も增資を行ひ得る特權を授けられたのであります。この株金全額拂込前の增資といひ、また前記の株金拂込額の二倍迄に社債發行權といひ共に軍事工業その他時局に緊要なる事業の急速なる發展に資せんとするものであつて、何れも商法の原則に對する一大例外を成す特別規定であつて文字通りの戰時經濟立法であるのであります。而してかゝる事項の決定は、さきに述べた臨時資金審査委員會の決議に依つて決定されるといふことになるのであります。

興業債券發行限度の五億圓擴大

資金の統制に關する直接の重要規定は以上の二點でありますが、資金調整法案には、なほ二つの大きな重要事項が規定されて居ります。その一つは、日本興業銀行の發行する興業債券の發行限度五億圓擴大に關する規定であります、（第六條）。今度の資金調整法に依りますと、日本興業銀行は現在五億までの興業債券を發行し得るといふことになつて居るのでありますが、更に興業債券の發行限度を五億圓增加して十億圓まで發行し得るといふことに改正されたのであります。

興行銀行の興業債券發行限度は、今回の臨時資金調整法の出る直前までは五億圓であつて、その內約半分の二億五千萬圓位が未發行となつて殘つて居ります。從つて今回さらに五億圓の興業債券を發行し得るといふ新たなる制度が出來ましたから、今後興業銀行の發

行し得る興業債券の額は約七億五千萬圓の巨額に上るのであります。だから事業資金の總元締たる興業銀行の産業投資資金は益々潤澤となり、これが段々各方面に分散されゝば相當の産業資金が供給されるといふ大勢が、こゝに出來上つたのであります。尨大なる豫算を繼續する一方、産業五ケ年計畫を飽くまで遂行しなければならずとするのが政府の方針であり、又國防の充實と經濟力の急激なる向上とを併有することによつてのみ躍進日本の實を完うし得るといふ現實の事實が儼存する限りに於て、これは極めて適切なる措置であると思ふのであります。

次にこの五億圓の興業債券に對しましては、特殊の優遇法が設けられることを注意しなければならぬ。然らばどんな優遇法を講じて居るかと申しますると、今度の臨時資金調整法によりまして發行される興業債券五億圓に對しては、政府は命令の定むる所に從ひ、その元本の償還および利息の支拂を保證し得るといふのであります。結局特殊銀行たる興業銀行が興業債券を發行し、政府はその興業債券の元本利子の支拂を保證するといふのでありますから、いはば政府が借りて政府が元利の支拂を保證するといふ關係になるのでありますから、この興業債券は一種の準公債といふ言葉が當ると思ひます。準公債的の意義をこれが持つことになります。殊に日本銀行の正貨準備金の評價替によつて舊平價（一弗五圓）の約三倍に値段を引上げられ、その際その評價益の一部を以て金特別會計といふのが出來ましたが、第七條によりますとその金特別會計の特別資金を以て、この興業債券を買つてよいことになつたのであります。だから民間の資金を以て興行債券に應募しきれない場合には、この金資金特別會計の資金を以て興業債券を買ひ得るといふ優遇法が設けられました。かくて資金の增大並に融通性が更らに擴張されることになつた譯であります。

これは興業銀行の場合でありますが、興業銀行關係では當初は五億圓といふやうな形にしないで、もつと變つた形で行かうといふ議がありました。即ち資本金を現在の五千萬圓より一億圓に增加すると同時に、興業債券發行限度を現在資本金の十倍とあるを十五倍に擴張し、これによつて一擧に十億圓の興業債券發行餘力を生み出さうといふ議があつたのでありますが、今回はそこまで飛躍政策を採らずして、將來更らに一段の躍進を示す餘地は殘してあるといふことを記憶して置いて頂きたいと思ひます。興業銀行の關係はその通りでありますが、次は日本勸業銀行の關係であります。

勸銀の貯蓄債券增發

日本勸業銀行は收入金が二億圓になるまで貯蓄債券を發行することが出來るといふ規定が臨時資金調整法によつて設けられました。その發行は收入金二億圓迄で、債券は無記名額面金額を貳拾圓以下とし、賣出價格の百五十倍以內の割增金を附與し得ることになつてをります。それはとにかくこの勸業銀行が二億圓までの貯蓄債券を發行し得るといふ規定を特に設けられた理由が面白いです。それは何故かを申上げませう。大藏大臣が、色々と

お話になつた方針によりますと、第七十二臨時議會を通過した支那事變費は二十二億二千二百萬圓に上るが、これは全部公債により、且つ日本銀行をして引受けしめる方針になつてをります。

それに關聯して賀屋藏相の話でありますが、二十億圓位の公債を消化することは何にも大したことぢやない。――前の第七十一特別議會で決められた五億圓の支那事變費といふものを加へても二十五億圓位である（內一億圓は公募、一億百五十萬圓は臨時增稅によることに決定濟）――これは全部公債で賄ふ方針だが、その消化方法は一般の公募に附せず、一應日本銀行の引受にしたいと思ふ、といふ話でした。日本銀行がこの事變公債を引受けるといふことになりますと、日本銀行では紙幣を增發してこの公債を買受けることになるのであります。だから紙幣發行額はドンドン膨脹する。現在（九月十八日）日銀の紙幣發行高は十四億六千七百萬圓であるが、今後、日銀の公債引受額がドンドン激增すれば、紙幣の値段は安くなり、物價は騰貴し、一般の生活を脅かし、經濟界に激變を與へる――所謂インフレより惡性インフレへの危險を伴ふ處れが多分に包藏されてゐるのである。この惡性インフレ化の傾向を大藏大臣はどんな風にお考へですか、と訊ねますと大臣は二十億圓支那事變費は全部日本銀行をして一應引受けしめるといふことになつてゐる。さうして紙幣の增發されることは、日本銀行引受になる限りに於ては、これも已を得ないが、而も我々はそこに自ら限度を持たせたいと思ふ。その限度は所謂惡性インフレにならない程度にといふ意味のやうに感ぜられました。

その說明によれば紙幣が增發されて、資金が民間にだぶつくといふ狀態になつたら、さきにのべた日本勸業銀行の貯蓄債券などを發行するとか、日本銀行をしてその引受けた手持公債を賣出さしめるとかなどに依つて、民間の資金を吸收して金融を引締めるといつたやうな方策を進めたい。一應資金をばら撒いて置いて、これが少し行過ぎたと思はれる狀態が生すれば、その際にまた民間資金を掬ひ上げるといふやり方を、交互に行つて行く積りだと諒解して間違ひあるまいと存じます。

各國の戰時財政關係を顧みますると、戰時中といふものは隨分色々無理な對策を講じ、無理な公債政策を行つて居りますが、それがみんな戰時中一向行詰らないで行つてゐるのであります。この實際の狀況から稽べ、また反面資金環流の速度が非常に早くなつて行くといふ關係並び、賀屋方針などを併せ考へますと、さう極端なインフレにならずに濟むだらうといふことは一應考へられるやうですが、問題は戰爭終了後に在るものと警戒を要します。

現在を以て推せば相當程度の通貨膨脹は免れないものと見なければならぬ。大藏大臣のいはれる所によりますと、通貨は相當の極度膨脹しても、それが國際貸借や國際收支を崩さない程度であれば、その限度の通貨の膨脹はいゝぢやないか、とかういふ意見です。從つて政府は對英一志二片の、換言すれば現在の日本の對外爲替のベイスを爲してゐる對英

一志二片、對米二十九弗といふこの基準を飽く迄維持したい考で、或方面の方は、對英一志二片は維持出來まい、寧ろこの際平價再切下げを行つた方が便宜ぢやないかといふことを考へる人もあるやうでありますが、現在の國際環境、現經濟事情の下に日本を繞る貿易關係は、この前に高橋是清さんがやつた、昭和六年の平價切下當時の日本を周る貿易關係とは本質を異にし、從つて平價切下の効果を期待し難いばかりでなく、寧ろ害惡を伴はすやとの懸念さへあるのであります。その當時は平價を切下げて物が安ければどんどん海外に新市場開拓が可能であつたのでありますが、今日ではバーター制、割當制度、保護關稅制等々色々貿易に關する制限が各國に行はれて、その結果假に平價を切下げて圓爲替を下げた所で、その割合に貿易を增進する可能性は出て來ない。かうした關係だとか、また國際信用を維持する上からいつても、我國としては現在の爲替水準を維持しつつ國內の建設產業五箇年計畫を遂行すると同時に貿易關係の方もなるべく妨げのないやうにして、外國を刺戟しないやうにして段々好轉せしめて行くといふことが、矢張り現在としては當を得た政策だと考へられるやうであります。又さう考へるのが至當ではないかと考へるのであります。

報告、檢查の新制度

話は餘談に入りましたが、臨時資金調整法の中でもう一つ御注意願ひたいのは報告、檢查の權限を政府に與へられた事であります。資本需給移動に關する關係、或は有價證券に關する關係、國際收支に關する關係、事業資金政策に關する關係、斯樣なものを調整する爲に、政府は會社に對して報告を要求し或は帳簿その他の檢查を行ふ權限を有つことになつたのであります。この點は相當に事業の內容などもハツ切り政府の方に判つて、所謂戰時產業動員といひますか、さういふ方に寄與する處も多いと思ひますが、同時に經營者からいへば相當煩瑣に堪へないといふこともあるだらうのみならず、その精神的壓迫感、從つてまたその効果性も見遁してはなりますまい。この資金調整法案の施行期間はいつまでゞあるかと申しますと、矢張り戰時經濟立法といふ、建前をとつて居ります關係上、『支那事變終了後一ケ年以內に之を廢止する』といふことになつて居ます。臨時議會に提出、通過しました多數の法律も大體同じやうな戰時經濟立法としての性質をもつて居ります關係上、その多くは臨時資金調整法同樣事變終了後一ケ年以內に之を廢止するといふことになつてゐる點も御注意願ひたい點であります。

爲替管理の再强化

その次に戰時經濟體制の强化と申しませうか、さういふ關係から注目さるべきものは外國爲替管理法の改正であります。御存じのやうに本年一月八日に輸入爲替許可の制度が布かれましたが、同法の施行には準備不足などのために非常な不便を經濟界に及ぼし、また尨大なる見越輸入等を促して、國際收支關係をまで惡化せしめたのでありますが、輸入爲

替の許可制實施によつて、爲替管理が一段と强化されたのでありました。然るに在外資金と外貨資金に對しては手を觸れなかつたのであります。これは臨時議會を通過した外國爲替管理法改正によつて制縛されることになりました。即ち同改正によつて在外資金も外貨資金も國庫の支配下に置かれることになつて參つたのであります。この點は爲替管理による爲替水準の維持、殊に國際收支のバランスを飽く迄維持しなければならないといふ立前から、この外國爲替管理法改正法律案が提出されたのでありました。

それではこれに依つて國際收支に寄與し得べき金額がどれだけに上るかといふに、大藏省の調査に依つて調べて見ますと、詳しいデテイルは申上げませぬが、融通し得る限度のものは、大體二十億圓位になると思ふんです。假にその半分を利用致しましても、十億圓の資金が利用され得るのでありますから、これが國際收支の平衡を失つた場合に、相當役立つことは勿論であります。從つてからいふ事變の時に、かういふ法律が出來たといふことは極めて自然であると考へられますが、又同時にかういふ在外資金、外貨資金といふものがインターナショナルの商賣の關係、その他各種の關係で日本が生きて行く上に必要だといふ本質を持つてをるものが相當巨額に上るといはれるのでありますから、これを使ひ果したならば非常な影響を來しはしまいか。從つて數字の上で二十億、或は半分使つても十億使流用出來るといふことにはなりますけれども、さう大して使はないやうにした方がよくはないかといふことを考へられるやうであります。

輸出入品等に關する臨時措置法

もう一つ戰時經濟立法で注意しなければならぬ法律は、輸出入品等の臨時措置に關する法律であります。詰り輸出入品に關する臨時措置法であります。これはどういふことを規定してをるかといふと、輸出入品の禁止制限を行ふ權限を政府に與へることにあるのであります。同法の條文に依りますと、

> 政府は支那事變に關聯し、國民經濟の運行を確保する爲、特に必要ありと認むる時は、命令の定むる所に依り物品を指定し、輸出又は輸入の制限又は禁止を爲すことを得（第一條）

といふのであります。要するに支那事變に關聯して國民經濟の運行を確保しなければならぬ。この爲に特に必要ありと認むる場合には、政府は命令の定むる所に依り、物品を指定して、即ち棉花なら棉花、綿糸なら綿糸、砂糖なら砂糖と、具體的に品名を指定して、その指定品の輸入又は輸出を禁止も出來れば制限も出來るといふ法律であつて、これは貿易業者關係業者に相當深い影響を持つ規定であります。これは又不急な事業は許さない、急ぐ事業を早く發展せしめなければならぬ、擴張せしめなければならぬといふ最初に申上げました許可、認可制度といふものに對して、本條項は輸出入品に關する規定で、どうしても輸入を急ぐ物がある。さういふ場合には贅澤品とか不用不急品とかの輸入を禁止する。その次に位すべきものは輸入制限をするとかいふやうにして、緊急必要な軍需品だとか生

産財などを國際バランスを悪くしない範圍内に於てどんどん輸入する餘地を與へる、といふ輸入に關する意圖が一つ。輸出品に就ても同樣のことが考へられます。即ち輸出品中軍事上國内保留を行ふ必要のあるものは、その程度に應じて輸出を制限又は禁止しなければなりません。また現實に軍需品製造に必要なものでありながらアメリカ當りに參つてゐるといふやうなものも禁止しなければならないものもありませう。かゝる措置を行はしめる爲に、輸出の制限禁止の權限を政府に與へたのであります。

而してこの規定も亦國際收支の關係の安全を主眼とした非常時經濟立法であると考へて差支ありません。

この輸出入品に關する臨時措置法の中にはもう一つ政府に新しき權限を附與する規程があります。即ち政府は輸入の制限其他の事由に因り需給關係の調整を必要とする物品につき

（第一）命令の定むる所に依り當該物品を原料とする製品の製造に關し必要なる事項を命じ又は制限すること

（第二）當該物品には之を原料とする製品の配給、讓渡、使用又は消費に關し必要なる命令を爲すこと

が出來る。されば君の會社はかういふ風に藥品を、あゝいふものをかう拵へよ、爆彈或は毒瓦斯を拵へなければならぬといふやうな命令を下すことが出來ますし、また當該物品又はこれを原料とする製品の配給、讓渡、使用、消費に關し必要なる命令を下すことが出來る。從つて政府が必要と考へた種類の物品に對しては、配給命令も出すことが出來れば、又讓渡してはいかぬとかいふやうな命令も出すことが出來る、使用、消費に關する命令も出し得るといふのでありますから、これに依つかなり廣汎な支配權を政府に與へたといふことになる。

所謂この戰時立法は、議會の協贊權を相當侵蝕してゐる。又人民の一般法律に依る自由にもかなり高度の制限を加へるといふ意味に於て、正に戰時立法たるの實を失はないのであります。

かやうに、臨時資金調整法、それから輸出入品に關する臨時措置法、爲替管理法の强化擴大といふ法律は、今の事業の關係から申しましても、亦かういふものに準ずるものに關係するやうな非常に廣汎な制限又は禁止の命令を發する權限を政府に與へられて居るのでありまして、正に戰時立法たるを失はないものであると同時に、此等の法律は十一法案の中で戰時經濟立法と稱せられる内でも、最も戰時經濟立法の實質を高度に具有するものであります。尤もその他に、肥料配給統制法案とか、臨時船舶管理法とか、米穀の應急措置に關する法律とかいふやうなものも矢張り事變關係の戰時立法でありまして、何れも日支事變終熄後一箇年以内にこれを廢止されることになつてゐる重要な法律であります。

日本を繞る戰時體制的客觀情勢

そこでお互に考へなければならぬ事は、一體この重要な戰時諸立法が、かくの如く廣汎なる權限を與へる法律が、而も僅か五日間の臨時議會に一瀉千里に無修正の儘通過したといふことは、それ自體日本が戰時體制確立を必要とする客觀的情勢下にあることの反映であると斷じて過ちないのであります。そこで日本が戰時體制確立を必要とする客觀的情勢とは何ぞやが日程に上つて參りますが、この客觀的情勢は巨大豫算、公債發行額の激增、貿易の惡化、國際收支の不安、等々に最も明かに現はれてをりますから、次にこの角度から具體的に日本を繞る戰時經濟體制的客觀情勢に觸れて見ることにいたします。

豫算の大膨脹

法律的な解釋丈ではぴんと參りませぬが、日本の豫算などが如何に膨脹をするかといふことを考へて見ますと、成る程戰時時代だといふ氣持が刺つ切りお互の頭に浮んで來るやうに感ずるのであります。

そこで豫算のことを申します。わが國の近年の豫算がどういふ風になつて居るかといふことを考へて見まするとと、昭和六年滿洲事變の起つた年には僅かに十四億七千九百萬圓、即ち十五億圓にも充たない僅少の額であつたのであります。然るに今度の臨時議會を通過しました二十億二千二百萬圓の支那事變公債を假に一般豫算に繰入れて考へて見ますと、昭和十二年度の豫算總額は實に五十四億三千萬圓といふ巨大豫算になるのであります。五十四億三千萬圓、之を昭和六年十五億圓足らずと比較いたしますと、氣も顚倒せんばかりに吃驚さゝれるのでありますが、之を去年、それから馬場さんの組んだ昭和十二年度の豫算、それから結城さんの場合に議會を通過した豫算、それから賀屋時代に出來た例の五億圓の事件費を伴ふ處の豫算とを列擧して見ますと大體次の通りで、全く今昔の感に堪えないものがあります。（單位百萬圓）

昭和十一年度豫算	2.305	昭和十二年度馬場豫算	3.038
同　結城豫算	2.870		
同 賀屋豫算（A）	3.409	同　賀屋豫算（B）	5.430

註　賀屋豫算（A）は第七十一特別議會迄を含む。
　　賀屋豫算（B）は第七十二臨時議會通過分を含む現在豫算。

即ち賀屋豫算は遂に前年の二倍以上に激增し、馬場豫算の倍にはならないが、結城豫算の二十八億七千萬圓の倍近くにも激增するといふ飛躍的增加を示してゐるのであります。これ丈でも日本は非常に財政的重大局面に直面してゐるといふことを考へられるのであります。

公債三十四億圓

更らにこの戰時相は公債の激增となつて現はれてをります。發行額は結城藏相時代には僅かに九億六千五百萬圓位であつたのであります。處が賀屋時代になりまして、最初は十

三億七千萬圓、今度の臨時議會を通過した二十億二千二百萬圓を加へると、三十三億九千二百萬圓の公債を發行しなければならぬといふことになつたのです。之を假りに昭和七年から昭和十一年に至る五箇年間の公債發行額三十八億圓と比較致して見ますと、本年度の公債發行額は三十四億圓ですから、五ケ年間の發行總額と僅かに四億圓ばかしゝか違はないのであります。こゝにも非常時相が明かに觀取され、公債政策の重要性といふものを發見せられるのであります。增稅關係に就ては別に申上げませんが、この間賀屋藏相に增稅關係はどうだらうかといふことをお尋ねしました所が、まあ增稅關係のことは餘りいはない方がいゝだらうといふことでありました。私はこの藏相の言葉を次のやうに解釋してます。即ち一國財政の原理と致しまして、經常費は經常收入で賄ふといふ原則を立てるのが本則でなければならぬ。これは個人の經濟に於ても國家經濟に於ても同樣で、これは健全財政學の原理であります。さうすると欠張り經常收入に依つて詰り經常費を賄ふといふことにしなければならぬ。例へば二十億なら二十億の公債を募集するといふことが決められますと、私共は欠張り二十億の公債に對するその利子だけでもせめて增稅によつて賄ふといふことが上記財政學の命ずる方針に合致するものだらうと、かやうに考へるのであります。從つて大體の方法としては極端に事變が擴大致しまして增加する場合にはこれは已むを得ませぬが、或る程度でとめ得るといふ見込が立ち、將來產業五箇年計畫を遂行するに當つても、公債の發行に對してその利子位は增稅で賄ふ、それだけの增稅を行ふといふやり方が大體これから實施される方針ではないか。賀屋藏相は出來るだけこの方策を採りたいと考へて居られるのではないかと思はれるのであります。皆樣も將來增稅はなからうといふやうな風に考へられないで、欠張り或程度の增稅は已むを得ないぢやないかといふ覺悟と、合理的方法によつて圓滿に、國家財政經濟の運行を圖つて行くといふことに協力するといふ道を選んで行かなければならないのぢやないかと思ふのであります。

貿易入超すでに八億圓

次に又貿易でありますが、本日發表された所によりますと、九月中旬までの日本の貿易の入超額は七億八千百萬圓、所が去年同期の入超額は二億四千二百萬圓といふことになつて居りますから、昨年に比し約三倍に上る大入超を示してゐます。我國の貿易は御存じのやうに上半期入超期と稱して輸入が多い時期、下半期は輸出超過期で段々輸出が殖えて上半期の入超を段々とりかへして行く時期なのであります。上半期には原料がドンドン入るが下半期にはこれが商品になつて輸出される。或は生糸が出るといふやうなことで、下半期に移りますと出超期に入るのであります。然るに今年は軍事的その他の色々の關係がありまして從來のやうに下半期になつて非常に大きな輸出が出來るといふことは期待出來ない。これに反して輸入の方は支那事變や產業計畫などの關係で相當巨額の輸入をしなければならない。

その結果本年は相當の入超額となるといふことが考へられる。だからこの國際貸借尻を決濟するために巨額の金がアメリカ方面に向つて現送される必要が起る。そこでまた産金が奬勵される。種々の産金奬勵政策が行はれる所以であります。一志二片の現爲替水準を維持するためには益その必要が痛感される譯です。そこで一寸産金額のことを申しますと、昨年の政府の金の買上高が大體一億二千萬圓位でありましたが、本年は金の買上値段が引上げられました結果と（金の買上値は五月十五日から一匁十二圓十二錢五厘を十四圓十三錢七厘五毛に引上げられました）、それから産金奬勵政策が順次徹底して參りました結果、本年は大體二億圓位の産金額があるものと期待されてをります。かやうな觀測を大藏省當局は下して居られるやうであります。更に日産方面に聞きました所に依りますと、もう少し金の買上値を引上げて貰へば、三年後には日滿鮮を通じて五億圓位の産金は確かに可能であらうといふことでありました。從來は金の買上値が安いもので金鑛を掘つても却々採算がとれなかつたから今度は金買上値を引上げることによつて着手してゐない金山を掘るやうにさせ産金を增さうといふ譯です。金山經營はなかなか面白いものださうでして、金の買上値が引上げられて從來放擲してあつた金山を掘つて見ると、意外に有望な鑛脈に思はぬ富鑛を發見することが屢々あるものださうです。かやうにペイしないと思つた山がペイするやうになる、段々産金コストが安くなる、産額は意外に殖えるといふことになるものださうです。そこで産金のコストですがこれは金を含む純分の關係だとか、交通運搬費用とか、勞銀とか各種のファクターが錯綜してゐて、必ずしもいくらといふ風にはいひにくいといふ話でした。然し下河邊日産專務の話によると金は採鑛から精鍊まで全部日本の機械で、日本人の力で出來、何ら外國に依存する所のない事業だから、相當金の買上値段を引上げてもいゝと思ふとのことでした。これは非常時相の一面として興味ある問題のやうに考へられます。

戰時經濟體制とは何ぞや

要するに日本の政策が愈々戰時經濟體制確立への段階に入つたことは疑ひなき事實であります。そこで戰時經濟體制とは何ぞやを考へなければなりません。それはどういふ點かと申しますると、ベルリン大學のヘツセ博士は戰時經濟研究の大家ですが、このヘツセ博士によれば世界の戰時經濟研究家は大體次の四階段に經濟の段階が分れてをることを指摘してゐます。即ち第一段階は平時に行はれる戰時經濟的準備、第二段階が經濟動員、即ち平時經濟の戰時經濟への轉換、第三段階は、純然たる戰時經濟の組織或は完成、第四段階は、戰爭が濟んで復員の時代、この四つの段階に大體分れるといつてをります。この說に從ひ時の現經濟段階が果してどの段階にあるかといふことを考へて見ますと、こゝに複雜なる事實をもつてゐるといふことが考へられます。わが國の現經濟段階は第一の平時に行はれる戰時經濟的準備時代でないこと間違ひない。また戰爭が濟んだ復員の時代でないこ

とも確かである。とすれば日本の現段階は第二の經濟動員時代即ち平時經濟の戰時經濟への轉換期か、さもなければ第三の純然たる戰時經濟の組織或は完成の段階かの何れかであらねばならない。が、私は日本經濟の現段階は第二と第三段階とをミツクス・アツプしたやうな時代に在ると思ひます。その結果日本の經濟はその形態に於て、またその方策に於て極めて複雜なる樣相を呈することを餘儀なくされてゐるのだと存じます。

惟ふについて此間までは、準戰時體制といふ言葉を使ふことすら遠慮するものが相當あつたやうな譯で、日本經濟は直ぐ樣純經濟體制への轉換を行ひ得るまでに準戰時經濟體制さへ充分整つてゐなかつた。斯樣に考へていゝのぢやないかと思ふ。ところが實際戰爭は始まつてゐる。だから此情勢に副ふべき應急的な色々のことをやらなければならぬ。その上日露戰爭當時とは違つて國際收支關係に不安があり、また日露戰爭の時のやうに十八億圓の軍費の半分を外債によつて賄ふといふやうなことの出來ない狀態にあるのである。剩さへ圓爲替の一志二片維持も必ずしも金城鐵壁だとはいへない不安がある。等々といふ譯で極めて複雜極まる事象を呈し、第二段階、第三段階といふやうにまだ十分純化されてゐない。換言されば第二と第三段階とのミツクス・アツプした狀態に置かれてゐるのであります。玆に徹底せざる所があると同時に或意味に於てゆとりのある點があるのだと思ひます。

一例を考へて見ませう。戰時經濟を制定して政府は廣汎たる權限を付與せんことを要求する。トコロが財界への氣兼ねからその法律の中に自治統制を認める規定を挿入しなければならないといふが如き類であります。愈々國家を擧げて戰はねばならない時代に入りますと、凡ゆるものを强度に統制して行く、或は一路計畫經濟化して行くといふことになるが今の日本にはまだ多少のゆとりがあるのでせうか。日本經濟が第二段階から第三段階に向つて事實進みつゝあるのではありますけれども、而も純第三段階的要素を完整しないといふやうな時期に今なほあるんではないかと思ふのであります。從つて將來それぢやどの方面がどうなるかといふやうな觀測を下すに當つて、從來の普通の時代、或は準戰時時代といふものと違つて見透しは困難なものであると思ふ。それが現在の狀態であると思ふ。

一體戰爭が何時まで續くかといふやうなことを考へる時に、お互が容易に斷言し難いといふやうな狀態ぢやないかと思ふ。でありますが、この日本の直面してゐる財政的關係、經濟的關係は、日本が、支那事變を中心として、更にソ聯の脅威が緊迫しつゝあり、且つ國際的軍擴競爭などなど各種の事情、環境の上に立つてをる限りに於て、矢張り戰時體制に躍進しなければならない必然的傾向を持つてゐると思ふのです。

そこで私思ひまするに日本經濟の當面の、さらにまた終局的の目標は國防と經濟との併行せる躍進といふ形で進まなければならないのです。即ち國防と經濟とが兩立しつゝ躍進するといふことでなければ、日本の國力は充實しないのです。今日は昔の武力のみの戰爭時代とは違つてゐる。今日は武力と同時に經濟力で戰爭をしなければならぬ狀態になつて

るのでありますから、武力萬能時代でなくどうしても經濟力を向上せしめなければならぬ。所が國力が充實する爲に經濟力が躍進するといふことは、然らば如何なる方法を取つたらいゝかといへば、結局計畫經濟、統制經濟といふことになりませう。一種の綜合的なプランを持つてさうして國防を充實すると同時に、經濟力をも躍進出來るといふ方策を講ずる以外に途はないのであります。これ即ち經濟力を躍進せしむるために確固たる產業計畫を樹立して一路躍進する以外に私は途はないと思ふ。それが現內閣が考へてゐる產業五箇年計畫であります。產業五箇年計畫は現近衞內閣の時代になつて初めて頭を擡げましたが、某方面ではすでに昨年この產業五箇年計畫が出來てゐたのであります。本計畫は彭大なる計畫で、さうして五箇年間に直接軍需關係に必要とするもの、即ち所謂計畫產業と稱せられる軍事產業も、非計畫產業と呼んでゐる計畫產業以外の產業といふものゝ二つに分けて計畫を樹て、さうして計畫產業は如何なるもので、これに對してはどれだけの資金を要する。これはどういふ方面には幾ら使ふ、第一年度はいくら、第二年度はいくら、第三年度はいくらといふ計畫を立てる。それに對して更に資金は公債で賄ふ分、滿洲國の分擔する分、日本の分擔する分といふやうな計畫も、資金の計畫、公債の計畫までも立てゝあります。非計畫產業の方にも矢張りちやんと年度別の計畫を立てゝ、第一年度、二年度、三年度はこれこれといふ大體五箇年の見透しもちやんとつけてゐて、それを目標にして進んで行くといふ狀態でありますが、これを斷然實行して行かなければいかぬと思ふ。またこれを完成するには各種の摩擦を出來るだけ避けなければならぬ。また統制力を强化して行くより以外に私はよい方法がないと思ふ。それが轟て戰時經濟立法を必要とした所以でもあります。

大きな綜合的な方針に依つて基本的計畫が樹てられ、その方面に從つてみんなが突進して行くといふことでなければいけない。自由主義的な資本主義經濟機構の下では十分に行へないといふやうな本質を持つてゐる關係上、矢張り戰時立法により統制して行くことはこの意味に於て已むを得ないのですから、これが將來永劫續くかどうかといふことは分りませぬが、兎に角今日前の必要、日支關係、殊に日ソ關係の緊迫化といふやうなものを考慮した時に、一層その感を深める。殊にソ聯の第三次五箇年計畫は來年から實施される。

最初ソ聯は貧弱な國であつたが、その第一次五ケ年計畫によつて先づ重工業をどんどん勃興せしめた。日本などは輕工業が先づ發達して重工業に進んだのですが、ソ聯はそれの逆を行つて重工業から始つて輕工業を 充實させて成功した。そこに計畫經濟の 妙味がある。ソ聯の第三次五箇年間計畫はイルクーツクを中心としてあそこに一大工業地帶を擁へる。その第三次五箇年計畫完成の曉は日本と開戰した場合、一物と雖も、兵器も彈藥も其他一切の物資を歐露から仰ぐ必要がなくなる。所謂極東自給自足計畫といふものを立てゝゐる。それに對抗する爲には日本も相當の對策と資金とをこゝに用意しなければならぬ。

私は別に共產黨の政策に全面的に贊成する譯ではありませぬけれども、ソ聯の昨年の工

業生産額が七億ルーブルのアメリカを凌ぐに至つたが、これが五箇年計畫——計畫經濟のお蔭であるといふ事實を無視する譯には參りません。或は數字的誇張があるかも知らぬが多くさういふことが外國新聞雜誌にいはれてゐる事實から見て、或程度までロシヤ經濟が充實してゐるといふことは疑ふべからざる事實であるのでありますから、かういふ方面に對して日本は最も參考になる部分を取入れて、日本化したる計畫經濟を實行することにしなければならぬのぢやないかと考へるのであります。

計畫產業と非計畫產業とを含む產業五箇年計畫は尨大なもので、所要資金は百億圓によるさうですが、而かも各種の工作によつて十分これを賄ふことが可能であるといふ結論に到達してをるさうです。私は疑問であつたものでありますから、その方面の方に、最近上京したのを機會に會つて、產業五箇年計畫はどうなるかといふことをきいて見ましたが、尨大な軍次費を目算に入れても、これと併行して十分產業五箇年計畫を遂行することが可能であるといふ確信を得てゐる、又資金捻出の途も十分に考慮してゐる、それで安心してほしいといふやうな相當強い確信を持つたお話があつたのであります。從つて產業計畫はどんどん進んで行くであらうと思ふのであります。

日露戰役との差異

さつき一寸日露戰爭の時の話をしましたが、日露戰爭の事變費と今度の事變費との關係でありますが、日露戰爭の時には十七億圓といふやうな戰費を使つたのでありますけれども、その內九億圓は外債によつて賄つたといふ特殊事情があり、また國際關係も非常によかつた。更にいゝことにはその時分は國際收支のことを心配しなくてもいゝ狀態であつたのでありました。尤も日露戰爭當時の日本の經濟力と、現在の經濟力とを比較しますと、月鼈の差も啻ならないので到底比較にならない。その當時の十七億は今の百億、二百億にも當るのである。それは特に檢討するまでもなく、目の子算用でもお互その激差を感する所まで日本の經濟力は躍進して居りますが、併し茲にこの激差を割引して考へなければならない事情があります。

それはその當時は事變費の相當の部分即ち九億圓を外債で賄ひ得たが今度は自己資金を以て全部賄はねばならない關係があり、また同時に今日は當時と違つて國際收支が先程から申して居りますやうに非常に不安な狀態にある、不利な狀態にあるといふことを考へた時に、日露戰爭の時のやうな考へ方では今度は考へられず、今度は是非共自個資金によつて賄ひ得るやう特別の工作を考へなければならぬ。單純に經濟力の比較感を以てのみ片附け難いものがある。こゝが政府の苦心の存する所のやうに考へられるのであります。

支那事變の重大性

最後の段階に入りまして、支那事變の關係を申上げます。支那事變は非常に複雜な關係

を持つてゐると思ふのであります。日本の政府の數次の聲明によりますと、日本は支那に對して領土的野心を持たないといつてゐる。所が蔣介石のいひ分はどうであるかといふと、日本は侵略しようとしてゐるんだ、戰ふも侵略され、戰はざるも侵略されるならば、已むを得ない戰ふといふやうなことをいふてをります。一種の悲鳴でありますけれども、そこに何らかのかう譯の分らぬ本質が日支關係に働いてゐるといふことを考へられると思ふのであります。それで蔣介石の聲明や汪兆銘の放送などを調べて見ますと、蔣介石は七月十九日の聲明に於て、（事變は七月七日に始まつたが、彼は七月十九日に聲明を發してをります）『弱體國家の人民として、我々は自己の力量程度を正當に評價しなければならぬ』即ち支那は弱い、その弱い弱體國家の人民として、我々支那の力量程度に評價しなければならぬと、かういつてをります。次いで蔣は『最後の關頭に立つに至らば、（即ち最後のどたん場に至れば）全國民の全力、最後の一滴までも傾倒して國家存立の爲に抗爭するのみである』かういつてをります。だから、弱體國家としての我々中華民國人民は、自分の力量を適當に評價しなければならぬ、とて先づそこに一種の國民に反省を求めてゐる。併し國民の手前、抗日を鼓吹して來た手前さういふことばかしいへないから、矢張り最後に强がりをいふて、對內政策もあるからして、最後のドタン場に立つては、全國民が一致し國民の血の最後の一滴までも抗爭するといつてゐるのであります。そこに自ら、蔣介石當時の心境がよく現はれてゐるやうに感じます。この聲明はその譯文が外務省から出てをりますが、それをお讀みになりますと、かなり複雜心理の興味といつたものを御味ひになれると思ひます。

更に汪兆銘は八月四日にラヂオ放送をして居りますが、その放送の外務省譯を見ますと『我が國民は自ら弱國たることを認め、强國との戰爭には多大の犧牲あることを認識し、且つ一度必死の覺悟を立てたる以上、敵をして刀を投げ成佛せしむる丈の覺悟なくば、却つて亡國たるを免れざるを知らざるべからず』と斯樣に云つて居ります。即ち支那國民は自ら弱國だといふことを知らなければならぬ。從つて强國との戰爭には多大の犧牲を拂はなければならぬことを認識しなければならぬ。併し一度必死の決意を以て起つ以上敵をして刀を投げ佛になる、成佛せしむる丈の覺悟がなければ却て亡國になる、國が亡ぶといふことをいつてゐるのであります。さうして見ると、蔣も汪も一面日本に働きかけ、一面支那國民に働きかけるといふ兩刀を使ひ二面的性質をもつた聲明放送をしてゐると解釋し得ないでせうか。ラヂオ放送でありますから、これをそのまゝ受入れることは出來ませぬから、何度も繰返して讀んで居りますと、汪兆銘の放送、蔣介石の聲明の眞意を或程度まで理解出來るやうに思ふのであります。たゞ戰はすでに始つた。全面的戰爭となつた今日に於ては矢張り最後まで戰ふといふことを覺悟して決戰する氣にゐるかと存ぜられます。上海方面には相當英國方面の支持がありますから、さういふ意味に於て北支那なんかまア片つ方の腕にすぎないかのやうにいひふらして上海に全力を集中する。上海で日本軍を擊退

しやうといふ作戰に出たらしい。又あそこはこの前の上海事變以來、（昭和七年一月二十八日勃發）六年間といふものは、今日まで相當の陣地を造り凡ゆる軍事設備を造つて日本兵は一兵と雖も上げないといふ態勢をとつてゐるといふやうな事情である。して見ますと日本は一大決心をもつて之にぶつかつて行かなければならぬといふことを考へられる。從つて、第一次の上海事變の時には楊子江沿岸の劉河といふ所がありますが、そこに日本軍が上りますと同時に蔡廷楷の十九路軍がなだれを打つて逃げた。それによつて上海事變は解決したのでありますが、今度は日本軍は劉河の一寸下流の所に上陸しましたけれども、支那軍はなかなか逃げない。尤もわが第一線の和知部隊は一擧に羅店鎭まで奇蹟的な躍進をしましたが、而も相當な肉彈戰を決行してをります。

不斷上陸作戰の演習をやつてゐる部隊はさうでもないが、さうでない部隊の上陸にはかなりの犧牲を餘儀なくされてをります。ドコの師團とハツキリ申上げられませんが例へば第十一師團なら十一師團といふやうな師團でありますと、その師團に始終上海の上陸作戰を演習してゐる。こんな部隊が岸に上つて參りますと、岸に上るや否や驀らに向ふの陣地まで突進して行く。さうして塹壕に飛込んで向ふの陣地をとるといふ工作をするさうですが、さういふ上陸の訓練のない部隊は陸に上るとやれやれと安心する、ほつとするさうです。そのゆるみに乘じて敵は機關銃で、それをバラバラツとやられるので自然犧牲もやむを得ないといふことです。兎に角支那の同方面に於ける防備といふものはかなり充實してゐるといふやうな狀態であります。從つてその死命を制する爲には相當の犧牲も已むを得なく、又相當の大部隊を出動せしむることによつて支那軍を全滅するといふ程度の決心と强行軍とを辭せないといふことでなければいかぬといふ事實もあるやうに思はれ、皇軍將士の勞苦には涙ぐましいものがあります。

そこで支那事件は結局どんな風に解決されるだらうかといふことが問題に上ります。これには色々考へられると思ひますが、大體事件解決の機會を作るものは何かと申しますと、これには三つ位あると思ひます。第一に考へられるのは、軍事行動です。戰爭がどう展開するか、その展開によつて南京政府の首つ玉が飛んでしまふといふ狀態まで進めば、そこに解決のチヤンスが出來ると思ふ。次は國際關係である。これは現在の關係に於ては餘り期待出來ず、日本としては芳しいことではありませんが、これも一つのフアクターと考へられる。第三は封鎖の關係です。海上が封鎖され、陸上の方には爆彈による鐵道、道路など交通機關の破壞によつて海陸運輸が杜絶することになれば、軍の士氣に關すること大であり、大混亂は必至でありますから、この經濟封鎖から來る影響如何は、また一つのチヤンスを與へるものと考へてよいと思ひます。大體この三つ位の原因によつて、事變解決、日支國交調整のチヤンスが齎されると考へられます。このチヤンスがこの三つのどれかから、即ち單獨の原因による場合もありませう、二つ乃至三つが競合して一緒になる場合もあるかも知らぬが、兎に角この三つが、重要な動因をなすもとゝして、それがどう轉

移するかを始終注意しなければならぬと思ひます。

解決のチヤンスは？

そこで問題は、然らばかくして日支問題解決のチヤンスが與へられた時に、ドンな者を相手として解決しなければならないだらうかを考へまするに、これにも三つ位の場合があると思ふ。第一は、蔣介石政權が依然として強力であつて、支那を代表し得るといふ立場を取る場合。第二の場合は、蔣介石政權がソ聯赤色政權によつて覆へされ、この赤色政權を交渉相手とならなければならぬといふやうな場合。第三は蔣介石政權でもない、赤色政權でもない、例へば白崇禧などの第三政權がとつて代り、これを相手に交渉を進める場合です。

要するに蔣介石政權を相手とする場合と、ソ聯系の赤色政權これを相手とする場合と、蔣介石政權でもなければ赤色政權でもない、第三政權が政權を取つて立つ場合の三つの場合を想定されやうかと思ふのであります。その交渉の相手方の何如、それからその日支交渉の解決端緒を與へる原因、その時期、交渉相手方の種類性質の如何によつて解決方法、內容は自ら變つて來ると思ふのです。從つて蔣介石が依然として勢力を占めてをれば、私は非常に愉快な展開を來す解決が出來るといふことがあるかも知らぬが、併し蔣介石政權が長期低抗といふ建前を取るだらうことも豫想して、それに對應する政策を取らなければならぬ。蔣介石政權なら百八十度の轉回をし得るといふ場合に、赤色政權であれば三十五度位の轉回、第三政權が出來ますといふ場合は、これは九十度の轉回、或は存外物分りがよくて、これも蔣介石政權を相手とする場合と同じやうに百八十度の轉回をするかも知らぬ。また交渉せんとするも支那政府の交渉回避その他によつて、交渉することなく日本獨自の觀點から單獨に解決策を決行しなければならぬ様な事態が起らぬとも限りますまい。

滿洲とは異る事情なきや

何れにしてもその時期、チヤンス、それから相手方の性質といふやうなものゝ相違によつて自ら解決方法も違ひませうが、原則的に考へますといふと、私は滿洲事變當時向ふに居りまして、可なり滿洲國建設當時を見聞し素人としては詳しく承知してゐる心算でありますが、あの滿洲事變の終結のやうなコースをとることは日本にとつて果して利益であるかどうか、又さういふことが可能であるか、乃至は利益であるかどうかといふことを私個人として考へざるを得ません。それは何故かと申しまするに、滿洲國の日本に對する關係は不可分なる獨立國となつてゐますが、日本はあの時滿洲國を取らうと思へばとれたのです。勿論滿洲國が不可分なる獨立國となつて日滿對立の舊關係を清算して了ひ、本然の親然狀態を結んでをります。尤も獨立國である以上多少摩擦は免れないこともありませうけれども兎に角非常に親密な親類同士になつて極東安定の礎石を投じてをります。併しこゝ

に注意すべきことがあります。それは滿洲國が獨立して日滿親善の上に貢獻せること極めて大でありますが、この筆法を北支に摘用することは必ずしも妥當且利益なりや否やといふ點であります。第一滿洲國は奉天、吉林、黑龍江、熱河の東北四省が一團となつて獨立したもので、その面積は日本の二倍半もありますが、併し滿洲國は支那の邊疆に位し且支那本土の大きさを考へた時にはまるで問題にならず、腕一本もぎとられた位のもののみならず國境線は長城を以て支那本部と劃然區分されてゐること、治安維持上の便否、生命線的關係の濃度の激差などから申しまして、北支と滿洲とはその本質を異にするといへませんでせうか。

少くとも兩者は種類に於て性質に於て異り、又長城線に於て區劃されるといつた國境の判然するとせざる關係、それに伴ふ思想交流の自由、それに伴ふ治安の關係、特にまた滿洲は支那の片腕にも値ひしないが、北支は生命線的な重要性を有つ地域なりと稱せられてゐることなどに徴し、滿洲に對する場合と北支に對する場合とには茲に自ら違つた政策が行はれなければならぬぢやないかと思ふんです。

極端な議論をする人はかういつて居ります。日本と支那とが本當に親善關係に移し得るといふことが立證され、さうして南京政府が180度の轉回をして、抗日排日侮日を絶滅する。これから日本に依存する180度以上の轉回をするといふことならば、日本は支那事變によつて一物を得なくてもいゝぢやないか。かういふ議論もあります。これも對支原則論としてはたしかに一つの見識であらうと思ふです。只それが果してその理想通りに行くか、假令支那が180度の轉換を條約上に於てした所が、それが果して實行出來るかといふ問題になりますと、必ずしもそれは信賴出來ないといふ考へ方が多くの人の頭に幾分でもありますならば、この理想論と現實的の解決の實體とは、その間に非常な開きが出來はしないでせうかとも考へられます。抗日侮日排日を徹底的に止めてしまふ、さうして日支本然の親善關係に歸つて來るといふことを支那の方でハツキリ認識し又實行するといふ確證が擧れば、私はまア暴支膺懲といふ日本の淨き目的に達せられるんぢやないか、少くともさういふ見方も一つの見方であると考へられはしないかと思ふのであります。併し現實の問題としてこれ丈時局が擴大し、これ丈の犧牲を拂つて居ります狀態と、兎角日本が信賴し得ない性質を多分に包藏してゐる支那から、これ丈の戰をし、この犧牲を拂つて居るにも拘らず、日本は領土的野心はないからといつて、さつさと引揚げてしまつて、向ふの體面を傷付けないで將來に望を囑するといふやうな平和的態度にこちらから出ても、支那がこの大義に就かず、却つてあれ丈の戰爭をして領土を一つもよう取らないから、今度はもう一度抗日態度を强化し、軍備を充實してかゝつたら日本は一たまりもなくやつつけ得るだらうといふやうな政策に出されたら、全く大變なことでありまして、今度こそ再び取り返しのつかない事態を釀すことゝなるかも知れません。

日本は支那に何を求むるか

要するに私は日本の大政治家と支那の大政治家が飛躍的の政策を行ふことによつて、日本と支那との關係をして親善の關係に置く以外に道がない。日本の求むる所は元來領土ではなくて、親善である、提携である。殊に新日本の躍進といひますか、大和民族の飛躍といふか、東亞民族解放のための、その淨き、聖なる戰ひに對して先づ提携を要する最も大なる友は支那である。さうして支那と日本とが手を握り提携して行くならば、イギリスが何といはふと、ソ聯が何といはふと、アメリカが何といはふと、そこに何等の懸念がないといふのが公平なる第三者の結論であるのであります。日支關係がこゝまでの飛躍的解決に到達いたしますかどうか、勿論まだ豫測の出來ない狀態にをりますが、私は偉大なる政治家が出で、玆に飛躍的な、革新的神人的な日支關係の打開を行はんことを切望して已まないのであります。

國際關係を覗く

そこで一寸國際關係のことを最後に附加へて申上げたいと思ひます。支那事變を繞る國際關係は目下どういふ風になつてゐるかといふ疑問は誰しも持つてをります。而して支那事變を繞る國際關係の樞軸は大體ソ聯の關係、イギリスの關係、フランスの關係、ソ英佛樞軸と、ドイツ、イタリー、日本との關係、それから第三者であるアメリカとの關係といふ風に分けることが出來ます。ソ聯の關係は、現在の狀態に於きましては今すぐソ聯が對日開戰の擧に出て來るといふことは、どうもなささうだといふ觀測が多數を占めて居るやうに考へられます。併し戰ひが、日支戰爭が永びいて、支那大陸に日本が拔きさしならない狀態が發生するやうなことでもあれば、その機會にソ聯は出て來るといふのが常識のやうです。要するにブリユヘルの率ひるソ聯の極東軍は二十箇師團ばかしで、これが滿洲を取圍んでゐるといふ狀態ですから、これが出て來れば日本に勝てると信ずるやうな大勢を整へるとか、日本が支那で拔差しならないやうな破目に陷るとかいふ狀態が發生したものとソ聯が信じるやうな事態でも發生すれば、その時がソ聯の出て來る時期ぢやないかといふやうな觀測があるやうです。これも全く夢のやうな觀測で、ソ聯の國內統一の程度、軍內部の不統一等のために事情の全く判らないといふ現在の狀況から申しますと、存外國內動搖の懸念などから手の出せない事情があるかも知れません。多くの觀測はソ聯がすぐ出て來ることはなからうが、併し日本はソ聯が出て來るであらうことを豫見しつゝ、日支關係の調整などについても萬遺算なきを期さなければならぬと思ふのであります。これが今日消息に通ずるといはれる人々達の、一般的に觀測してゐるところだと云ひ得るかと思ひます。

それからイギリスとの關係でありますが、イギリスの方は恐英病者ともいふべき頑迷な一派中には往年の日英同盟を回顧しつゝ、更に又世界に於ける英國の勢力といふものを非常に買かぶつて考へて、苟も英國の御機嫌を損するやうなことは、しないがいゝといふや

うな思想を持つ方があるのでありますが、それ程恐れる必要はないんぢやないではないでせうか。極端な親英論日英關係の楔になつてゐる關係もありませうが、またそれ以上に日本の立場を悪くしてゐるといふやうな反面があり得るかともいはれてゐます。歐羅巴に於ける獨伊對ソ佛英の關係、殊にスペインなんかを繞る紛爭——各國はスペインに自國の正規軍や義勇軍を入れて戰ひあつてゐる。またドイツの飛行機とフランスの飛行機とがスペイン內でどんどんやり合つてゐるといふところまで行つて、一種の國際戰爭になつてゐるといふやうな狀況を呈して不安は去らない。日英通商關係は一時よりは大分緩和して參りました。通商關係に於てはさう大したことはないが、支那の關係に於てはイギリスは欠張り飽くまでソ聯を使つて日本の勢力增大を阻止しやうと考へてゐること丈は事實であります。又1842年の英支南京條約によつた香港を中心にして漢口、廣東間の粵漢鐵道を團匪賠償金を以て完成せしめてゐます。北伐當時、イギリスは漢口、九江の英租界を抛棄して對支新政策を樹てましたが、上海だけはその最後の牙城として飽迄堅持するの態度を採らんとし、强力支那を支持してゐる事實などから判斷しますと、英國と日本が今同盟的關係に入らうなんていふことは到底私はインポシブルだと思ふ。ですが、之れがポシブルだといふ說が欠張或一部にあるのであります。

それからドイツとイタリーでありますが、ドイツは御存じの日獨防共協定が出來て以來非常にいゝ、イタリーも將に日伊協定が出來やうとしてゐる。それはドイツと全く同じやうなものが出來て來るやうな狀況になつて參つた。さういふ關係から見て、いゝのみならずまた滿洲國とドイツとの間に所謂滿獨貿易協定といふものがありますが、それと同じやうなものが滿伊間に出來やうとする氣配があるのであります。殊にこのイタリーは日本に好意をもつてゐる。それを判斷する一つの資料になると思ふのでありますが、例の天津が手薄になつて支那軍が襲撃した時、日本は飛行機で向ふの根據地を爆撃することを餘儀なくされたことがあります。日本租界にゐる日本軍を天津東站といつて天津の東停車場や鐘紡工場が近くにある總站即ちセントラル・ステーション方面に出動せしむる必要に迫られました。然るにそれにはフランス租界を通り、その萬國橋を通過しなければそこに行けない。ところがこれなども一つのエピソードでフランスの對日態度を知る一つの事例になりますが、あの支那軍の天津襲撃事件の起る二日前にフランスの天津總領事が日本の香月司令官を訪問した。その時に、フランス租界は若し事變が起つた場合には日本軍、支那軍を問はず武裝兵は一切通過せしめないことにしたい、それでよろしいかといふ駄目を押して來た。司令官はこれに對してよろしいといふ返事をした。然るにそれから二日後にあの事變が起つたのです。フランスと支那との間には相當諒解があつて、あの事件を見越していつて來たに違ひない。かういふ事實がある。それでさういふ事情でありますから、日本軍は萬國橋を通れないので東停車場に行かうと思つても行けない。仕方がないのでイタリーの方に交涉した。所がイタリーの方は租界に軍橋を架けることを直ちに承知して呉れて、

そこに軍橋をかけて、そこを通つて行つて支那軍をやつつけたといふ事實がある。それ程イタリーは日本に好意を示した。またこれも公然の秘密といつていゝでせうが、支那事變が起りますと、支那に傭はれて居つたイタリーとかドイツ人の顧問は全部香港に引揚げた。さうして支那から注文を受けた飛行機武器は一切兩國ではまだ完成しないといふことで積出しませぬ。それ程の好意を示してくれてゐるのであります。だから日獨伊の三國關係といふものは非常に圓滑に行つてゐると同時に、相互依存の關係にまで進まうとしてゐる狀態で、非常に氣持のいゝ狀態で進んでゐる。これと英佛ソとの關係がどういふやうに展開して行くでありませうか。そこで私は考へるのでありますが、獨伊はトテモいゝ。ソ聯とは戰はなければならぬかも知れない。フランスはどうかといふとフランスはソ聯に對する氣兼ねといふ樣なことから、到底日本に好意を持つといふやうなことは考へられない。イギリスはどうかといふことになると、敢てヒユーゲツセンの例を引くまでもなく、相當强力に支那を支援し、南京政府に相當の支持を與へてゐるといふ事實が傳へられてゐる。その程度は判つ切りしませぬが、併し支那を繞る列强は何れにしてもなかなか一致し難いといふ狀況であります。

見直せアメリカの態度

さうすると、それでは日本の國際地位を飛躍的に改善する方法はないかを考へて見ませう。私はその最高且つ最も理想的な相手國としてのアメリカが最も利用價値があるんぢやないかと考へるのであります。アメリカは所謂中立法を實施するとかせぬとかいふ問題もありますが、ルーズヴエルト政權、ハル國務長官になつた瞬間から從來滿洲國否認主義、極東容喙主義を以て鳴らしたスチムソン・ドクトリンは打捨てゝ了つて、極東のことには成るべく干渉しないといふ方針を採りまして、寧ろ汎アメリカ主義といふやうな政策を中心にして中南米を先づ固めて行くといふ政策をとつて來ました。英佛特にイギリスは頻りにアメリカを動かさうとしてゐるけれども、それに對しては大體客觀的態度をとり、滿洲事變當時の失敗を再び繰返すまいと只管戒心するが如き態度を持してゐる。

そこで、日本の對米工作如何によつては、經濟的にまた政治的にアメリカに働きかけ得るのではあるまいかと待望されてゐます。

日本の生產力擴充用のマジントウールなどが、——これは皆樣の方が專門家でいらつしやるので、貴方がたの方からお聞きしなければならぬことでありますが、兎に角その輸出餘力を持つ國は何處かといふと、ドイツも多少の餘力はあるでありませうが、ドイツは戰雲に捲込まれんとする歐羅巴の中位にある關係、さうさう日本の要求ばかし容れて居られないといふ事實もあるんぢやないかと思はれます。然るにアメリカを顧みますと、さういふ方面に相當の供給力をもつてゐる。これを何とかすればその効果は相當あるでせう。假にこんな經濟的提携でも出來れば、それが政治關係にも及ぼす影響も非常に大でありませ

うし、それ自體日本の國際關係を安定して英佛ソ樞軸の工作の手を封するといふことにもなりませうから、アメリカに働きかけることは措速を要すると存じます。とにかくわれわれはアメリカの態度を極めて重視してをります。といふやうな希望も見えてゐるぢやないかと思ふ。その方面に御關係の深い皆樣は、アメリカ人と御交際になる時さういふ氣持で交際して頂くと、そこに國民外交も出來、その上經濟使節も、外交使節も行くといふことになれば、それによつて更に最後の講龍點睛といふ好果を得るかも知れません。私はかういふ希望を抱き乍ら、又今の時局の重大性を顧み乍ら、而も前途の光明を認め乍ら、擧國一致この時局に對處して行くといふことに皆樣が政府當局の樣な事をいひますが、御協力下さると同時に、又何かさういふ點について言論機關方面に御注意がありました場合には、直に御注意下さいまして難局打開の爲に最善を盡したいと思ふのであります。

これを以てこの講演を終りたいと思ひます（拍手）。(9月20日夕)

本號執筆者紹介

（五十音順）

芦浦義雄	警視廳建築課
石原憲治	東京市建築課第二營繕係長・都市美協會理事
加藤得三郎	東京工業大學防空研究室
岸田日出刀	東京帝國大學教授・工學博士
熊井安義	警視廳保安部建築課
小林隆德	內務技師・計畫局都市計畫課
小林政一	東京工業大學教授・工學博士
小宮賢一	內務省都市計畫局
新名種夫	大阪市經理部營繕課設計係長・本協會常務
武內文彬	大阪朝日新聞社經濟部長
福田重義	東京市日本萬博工營部長・日大講師
堀口甚吉	大阪府立西野田職工學校建築科長・本協會常務
本多次郎	商工技師・商工省博覽會管理課
松澤一鶴	日本水上競技聯盟

11月號

日　本　の　防　空

フオン●アルブレヒト

此の記事は、最近オーストリヤ防空聯盟の機關雜誌『ルフトシユツツ』に揭載されたものである。外國人の我國の防空に對する見解——その當否は別として——を知る上に多少參考にならうかと思ふ。（譯者）

"Der Luftschutz. Juli-August, 1937.　日本は世界大戰に於いて歐洲の戰線に參加しなかつた爲に、歐洲各國の防空上の體驗を集めることが出來なかつたので、防空に就いては可成り立遲れの狀態にある日本では民間航空はあまり發達せす軍部が日本の航空界のイニシアチブをとつてゐる。

日本に於いて防空思想が今日漸く芽生えてきたといふことは、色々な理由から見て當然のことである。宛も大戰以前のイギリスがそうであつた如くに、島帝國日本は數千年來海に護られつゝ、敵襲の憂なき安全感を享受してゐた。この敵襲の到達圈外にあると云ふ地理的條件によつて、近年に到るまで日本國民は敵襲を受けるといふ樣なことは少しも考へなかつた。歐洲に見られる樣な國境といふものは、日本にはたゞ朝鮮にあるのみである。しかしながら此の樣な不侵略性の意識は舊來の攻擊武器に基礎を置いたものであつて、現在の日本は、近代航空機の躍進的な行動能力の增大によつて、既にその根據を失つたのである。

現在では或はソ領ウラジホストツクから大空襲を敢行することも出來るのであるから、日本は眞劍に此の可能性に就いて考へねばならない。日本の心臟部たる工業地帶までの數百粁の距離は、今日の爆擊機にとつては、確實に且復路をも考慮に入れて之を征服し得るのである。とにかく日本海及び日本列島に於ける極めて不眞なる氣象は日本にとつて有利な點ではある。又航空母艦を交へる艦隊より航空機を飛ばして日本の心臟部を衝かんとすることは、艦隊が極めて遠距離を遠征せねばならぬこと及び根據地が極めて遠いことかうして蓋然性に乏しい。しかし斯かる艦隊よりの空襲も、香港より臺灣に對して、又米領グワムより日本南洋諸島に對しては可能である。

日本は今日又敵の大爆擊編隊の襲來を眞面目に考へねばならぬ。日本は空襲に對して多くの弱點をもつてゐる。日本の重要軍需工場は少數の工場地帶に集在して居る。即ち阪神地方、京濱地方及び北九州地方は日本帝國の主要工業地帶であつて、日本の軍隊はこの地帶より生產される製品にたよるところが大きいのである。現在日本の指導下にある滿洲國の原料工業も又、敵爆擊機の行動半徑內に在る。

日本の都市の建築は、空襲に對して甚しく危險である。今日でも日本人は其の傳統的な木と紙の建築に住んでゐる。建築物の大部分は外觀は一見セメント又は石造の如くであつても實は木造でありたゞ大都市の商業中心のみに比較的少數の鐵筋コンクリート造の建築があるにすぎない。

日本の家屋は多く二階建以下であつて地下室はない。建物が低層であるために、數百萬の人口を有する、日本の大都市は非常に廣い面積に擴がつてゐる。

永年の間日本國民は數々の天災に遭つてきてゐる。繰返し繰返し襲來する破壞的な地震、颱風、津浪、大火——之は建築材料の可燃性なることによるのだが—— 等は日本では一種の日常行事であり、之が爲日本人は一方に於いて、運命論者的な、他方に於いてあきらめのよい建設に喜を感する國民性を持つに到つた。生命の喪失は日本人にとつては大したことではない。この慣ひ性となつた國民性は大災害時にも尙パニックの來襲を防ぎ、その活動力を災害後の再建設に向けしめるのである。しかし又一方日本人は、斯の如く人力を以つて如何とも爲し難い重壓をもつてのしかゝつてくる天災に對しては、非常に消極的になつてゐる。之が爲現在日本人には、空襲を避け難い災害と考へ、之が襲來した後の復興には喜んであたるが、之に對する積極的な防護にはあまり氣が進まないといふ樣な危險性が多分にある。之は日本人がまだ歐洲人のごとく自國に於ける空襲の慘禍を知らぬためであらう。

そこで日本の軍部は最近一般市民に空襲の危險を認識せしめ防空思想を涵養せしむべく努力してゐる。日本にまだ航空省のないことは注意すべきである。軍部の督促にも拘らず日本には未だ防空法もなく從つて中央防空最高機關もない。大規模の防空演習は地方廳及び軍部の共同指導の下に行はれてゐる。

日本の防空は今日まで、軍事航空關係の軍人の指揮する Platzbehörde（築城本部？）が之を組織すべく努めてきた。京濱及び阪神の大工業地帶は特別な防空司令部の下にある。この機關は元來軍防空を任務とするものであるが、今日まで民間防空の演習も指導してきてゐる。

軍部當局ではパンフレツトや講演などによつて一般市民に空襲の危險を知らしむべく努力してゐる。殊に學校では將校によつて屢々防空に關する講演が行はれてゐる。時々發行される軍部のパンフレツトには防空の重要なることが述べられてゐる。軍は又青年に防空思想を普及させることの重要さを認め、既に相當の効果を收めてゐる。しかしかう云つた努力は空襲の危險を認識せしめることに對する準備である。日本の市民を空襲に對して防護することの出來る方法を發見するといふ實際的な側の準備に付ては、日本の都市建築に對してはまだ問題が殘されてゐる。

前に述べた如く日本の家屋は地下室を持つてゐない。家屋は非常に輕易なもので、爆撃によつて容易に破壞される。地下室はたゞ商業市區内の大建築物、銀行、百貨店等に在るのみで極く少數の人々の避難所にしかならない。東京には 500萬の人口があるが地下室を有する家屋は例へば僅か 200戸しかないのである。地下鐵も極めて部分的で之又少數の人々を避難せしめ得るにすぎない。それ故に歐洲に於ける防空の主要問題である〝市民を爆彈に對して安全な室内に於いて 防護する〟といふことは今日の日本では殆ど不可能である。

日本に對する空襲の危險は主として火災である。木材、藁の床及び紙の壁が日本の家屋の主要構成部分であり、日本の都市は云はゞ可燃物の巨大なる集團であるから、大火は日本の生活では日常のことである。從つて大都市は良い消防隊の組織を持つてゐる。水道は郊外の最遠部にまで行とゞいてゐる。火災に對する監視網は全市内に張り廻らされてゐる。監視員は大抵高さ 10—20 米の鐵塔の上に居るが、夜間には規則的に街路を見廻つて火災を發見し通報するのである。大都市に職業的消防隊がないときは義勇消防隊がある。そしてその消防技術は何世紀もの經驗によつて非常な高度に達して居

る。恐らくこの消防力は空襲に對しても相當に期待していゝものであらう。

著者は數回に亘り日本に於ける大規模な防空演習を見た。防空演習は豫め細心に計畫された方針に從つて——日本に於けるすべての演習の危險は豫知し難きことの起つた際のことを充分考慮して居ないことにある——全市に準備の網がはられる。民間防空の訓練には青年團、少年團、在鄉軍人團、其の他男女の各種團體、義勇赤十字團等が出動する。醫者及び病院は夫々防空演習の日は色々と準備をする。民間團體の奉仕は無償であつて之は參加者の義務となつてゐる。數日にわたる演習に參加するものは市や府縣より給食を受け宿泊させてもらふ。市街各所に天幕が張られて、相互間並に司令部との間を電話で連絡をとつて居る。消毒班が貨物車に乘つてゐるかと思ふとそれから少し離た所に衞生天幕がある。演習を指導するのは多く退役の將軍達で、諸役所及び軍防空當局と密接な連絡をとりつゝ準備する。演習の經過及び空襲の警報はラヂオで放送され、一部にはメガホンで通報される。

大きなビルデイングには大抵警報用サイレンがとりつけてある。警報によつて燈火管制は極めて嚴格に行はれる。燈火管制は民間防空の主要なる任務となつてゐるのである。市内の或る高い建物の屋上から見て私は、まだ營業をつゞけてゐた環狀線電車を除けば大東京は完全に暗黑化されたことを確認し得た。大規模な照空燈操作演習が行はれ、屢々發煙彈が投下されて燒夷彈が投下されて燒夷彈の消火演習、瓦斯彈の防護演習をやり、又負傷者の運搬や街の交通遮斷をやる、特に重要なる市街地は煙幕で遮蔽される。極めて少數の地下室のみが市民用防護室として設備される。しかし一般市民は建物内に止るべきか、又は廣場等に出て居るべきか未だ一定のきまりはない樣である。いつも防空演習の際には電車や自動車の通行停止によつて人が道路にあふれる狀態である。消防補助員達はシルレルの“Glocke”に出てくる樣に、火災現場まで長蛇の列を作り、日本の浴室に備へある約2リツトル入の木桶に水を滿して手渡しをする、處によつてはガスマスクが用ひられる。すべてが技術的な演習のためといふよりは寧ろ宣傳である。

概して日本の防空演習から受ける印象は、消火手段の不充分なること、及び市民の認識が不充分で官の命令には忠實であるが、演習に對する自己の判斷力はまだ持つに到つてゐない樣に見えることである。之に反して燈火管制の成績は極めて良好である。日本の各地及び北九州工業地帶、南朝鮮、對馬水道等の重要地點の防空演習は、純軍事的には、燈火管制、高射砲及び照空燈の操作、戰鬪機による防護等のみである。そして民間防空の問題はたゞ燈火管制のみに限られてゐる。演習中工場の勞働者はその部署を離れずにゐる。しかし之は熟練せる特殊勞働者を有する二三の工場のみが、勞働者に對する防毒設備を設けることになるであらう。

それ故日本では防空の主要任務は敵機の積極的擊攘である。日本に於いては市民にとつて避難の可能性は殆どないので、このことが歐洲に於ける以上に重要性を有するのである。燈火管制、消防及び負傷者の救護以外には日本の民間防空の任務はない。それから先は官廳が非常に費用のかゝる廣大な防護室をつくつて、空襲の目標となる日本の工業都市の人口のすべてをその他の大都市ではその人口の一部を收容するといふ樣なことである。

之に關して興味のあるのは今回の議會に提出された法律のことである、之は官廳が從來の防空組織に缺陷のあることを認め防空の改善を決心したことを示すものである。この法案は內務、陸軍、海軍大藏、鐵道及び遞信の各省が協議の上內閣法制局に提出されたものである。

この法案によれば内務省は防空局の設置を委任され、且内務大臣はすべての民間防空方策を指導し公共建築物を必要に應じて避難所として、使用し、地下鐵に避難室の設置及びその現在多衆用としては狹すぎる入口の擴張を命じ、工場に瓦斯防護の資材の準備を命ずる等の職權を有することになる。勅令として出される筈の施行令中には左の點が考慮されてゐる。

1、民間防空は内務大臣の主管とする。内務大臣は府縣及び市町村に對して防空上必要なる要求を課することができる。

2、政府は防空費の一部を引受け、且防空資材の改良を一部負擔する。

3、國の用に對しては監師及藥劑師はその勞力及藥品を無償で提供する。

4、國は防空の爲に傷害を受けたものに對し給與する。

5、軍より派遣された專門家は防護團の組織を引受け、燈火管制法、負傷者の救護法及び建物及工場の防空を指導する。

6、空襲に關し流言飛語を擴めたるものは罰せられる。

この法案によつて、日本が今や從來の怠慢を取返し、民間防空を統一的指導下におくことに努力しつゝあることがうかゞはれるのである。（小宮賢一）



支那空軍の盲爆撃による南京路（上海）の慘狀、1、（寫眞は南京路新々公司の破壞の現狀）（昭和12年8月14日）

都市空襲の實例 (2)

註 1

Hamilton Fife

ツエツペリンの最後

世界大戰中に於ける一局面の物語、即ち獨逸航空船が英國を空襲した時の話で 1916 年の秋より開始され 1918 年 8 月 5 日迄 Zeppeline の空襲が繼續されたのだつた。

「都市空襲」の 381p～385p に記載せる空襲の後 Zeppelin は 1916 年の終即ち 9 月 25 日、10 月 1 日及び 11 月 27 日の 3 回に亘りて England に再び爆彈を投下した。優秀なる 2 臺の Zeppelin を失つてから 2 日後の 9 月 25 日の空襲では Sheffield 郊外を襲つて夥しい死骸が家々の間に轉つて實にひどいものだつた。即ち 28 人の人々が家と一緒に爆撃され命を失つた。然し幸にも兵器工場は何等被害を蒙らなかつた。この空襲では獨逸側は何等損害がなかつたが然し 2.3 日後の夜恐るべき Mathy が撃墜されたのだつたが夫れに對する一般の評論は「自業自得」であると述べてゐた。



第 1 圖・偉大なる指揮者
英國空襲の際最も殊勳を樹てた指揮者は Heinrich Mathy 大尉で彼の指揮せる飛行船は W. J. Tempest 中尉により 1916 年 10 月 1 日に撃墜され全乘組員が船と運命を共にした。

初秋の天候は靜穩だつた。風の吹くのを祈る人達は毎晩 100 萬人を超えたが風は依然として不幸にも吹かなかつた。London は不安と戰慄の交叉せる中に警戒されてゐたのだつた。10 月 1 日の夜 8 時と 9 時の間に Mathy が近づいて來た事が判つたが然し今度は彼の何時もの大膽なる決斷力を缺き何時もの如く攻撃の目標たる首都に一直線には進まずにあちこちを廻旋して地上よりの砲火を避け乍ら Hertfordshire の上空に飛んで來た。夜の 11 時と 12 時の間に於て如何に操縱してもサーチライトより脫出する事が出來ない困難な目に遭つた。若し暗黑の中に逃げ出せば無事だつたのだが事實はそれと反對だつた。

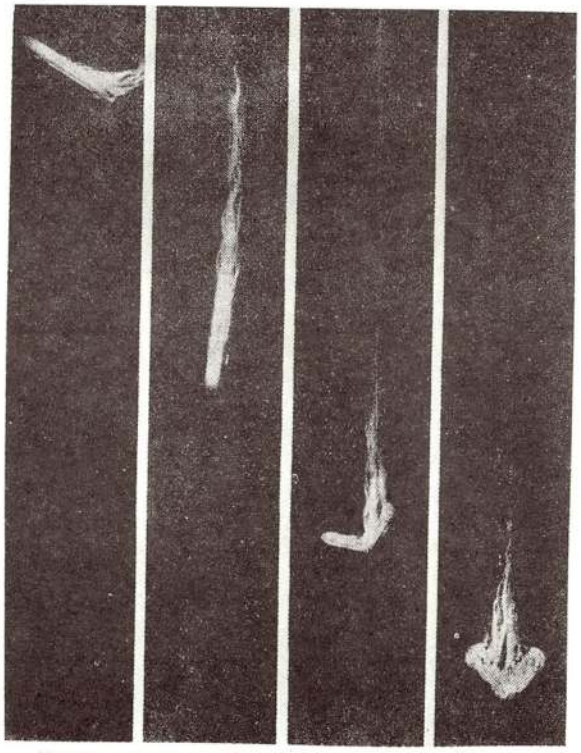
Mathy は Cheshunt の廻りに 30 個の重爆彈と 28 個の燒夷彈を投下した。そして數發は保養地に落ちたが何等被害を與へなかつたが一方では 300 戸以上の家と 6 エーカーのトマト栽培のガラスの家が損害を受けた。かくして身輕になつた飛行船は上昇して逃れんとした。然し 4 人の飛行家がそれを見つけて追跡する爲に既に出發してゐた事を知らなかつた。4 人の中の 1 人 W. J. Tempest 少尉は約 15000 呎の高度で London の南東より飛來した。良く晴れた夜で星が一面に輝いてゐてひどく寒い夜だつた。彼から約 15 哩離れた北東の方向に多數のサーチライトが一つの目標に集中さ

註 1 Hamilton Fyfe : Final Failure of the Zeppelin : War in the Air Part 14.

れてゐる事に氣が付いた。その目標はよく見たら Zeppelin だつた。今迄飛行船だと信じて雲を追撃した事もあつたが今や疑ひの餘地がなかつた。彼は Zeppelin と交戰するか兎角それを追拂はうといふ希望を抱いて London を横切つて飛行して來たのだ。

彼の活潑な冒險によつて所謂「極端な不愉快な時」が勃發した。多數の地上部隊の銃砲の火蓋は切られた。彼は砲彈の炸裂する地獄そのものともいふべき中を通り抜けて次第に Zeppelin に近づいて行つた。そして Mathy が最初に敵を見付けた時急いで爆彈を投下した。然し地上よりの砲火の中で飛行が困難なるにもかゝわらず頑強に近づいて來る追跡者を追拂ふ事が出來なかつた。

エンヂンに燃料を機械的に供給する壓縮ポンプが止つたので彼は手押ポンプを使用せねばならず從つて他の何事も片手でせねばならなかつた。幸にも地上部隊の砲火より逃れる事が出來たなと氣付いた時 Zeppelin が急いで逃れ去らんと上昇した。彼は Zeppelin 目掛けて眞直に體當をしてやらうと決心した。彼は近づいた時第一彈を放ち續いて下を通過した時にもう一彈を放つた。それから彼は機尾に坐り總ての燃料を供給した。そして全部供給し終らぬ裡に大きな支那提灯の樣に中が眞赤になつた氣囊を見た。その時焔は前面をなめつくして飛行船は200呎も吹飛ばされ火の塊となつて轉り落ち殆んど滅茶々々になつて了つた。彼は今にも焔に卷込まれはせぬかと思ひつゝ雖もみの狀態になり乍らもやつと危險範圍より脫する事が出來た。そして不時着してひどい苦痛と目まひとを感じ疲れ切つて了つた。然し彼の仕事は遂行されたのだつた。最早飛行船指揮者は一人も居なくなり Zeppelin による危險は殆んど解消された。

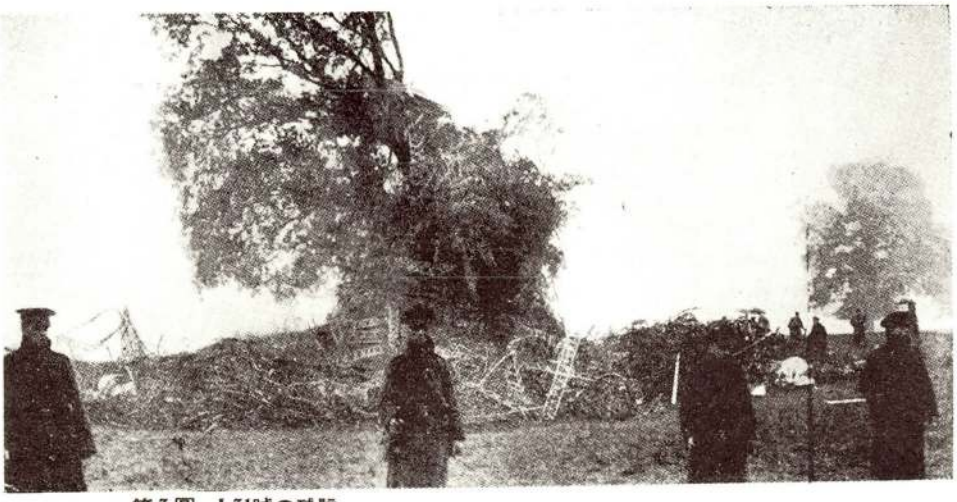


第2圖・Mathy の最後

Mathy 大尉指揮の L 31號が1916年10月1日に焔に包まれて落下した。この4つの連續せる寫眞は當時の目擊者（Marine Painter）が撮つたもので初めの寫眞は飛行船が裂け始めた處、2番目のは眞逆樣に急下せる處3番目は一部分が瞬間的に廻旋したもの、最後のは形なき骨組が地上に碎けてゐる處である。

2,3 の他の飛行船による空襲があつたが殆んど總て空襲者側の災害に終つた。1916年6月17日 Zeppelin L 48號は L. P. Watkins 中尉に Herwich の近くで射落されたがそれが火を發して落ち始めた時その乘組將校達は海に落ちると思つて急いで重い服を脫ぎ捨てたが然し地上に墜落したのでその衝激の爲2人の機關士と將校の1人だけが生殘つたのみだつた。そして他の乘組員の全部は殺された。

1917年10月19日に Zeppelin 飛行船隊にとつて更に歎しい事が起つた。即ち11臺の空襲船の內4臺は France で失



第3圖・L31號の殘骸

1916年10月2日の夜明 Potters Bar の野に絡み合つて碎けた骨組が横たわつてゐた。空に向つて痩せこけて立つてゐた木の上に落ちたのだつた。その遺骸は專門家の調査が濟むまで兵士によつて守られてゐた。

ひ他は中立國に於て破壞され6臺は獨逸へ歸つて行つた。

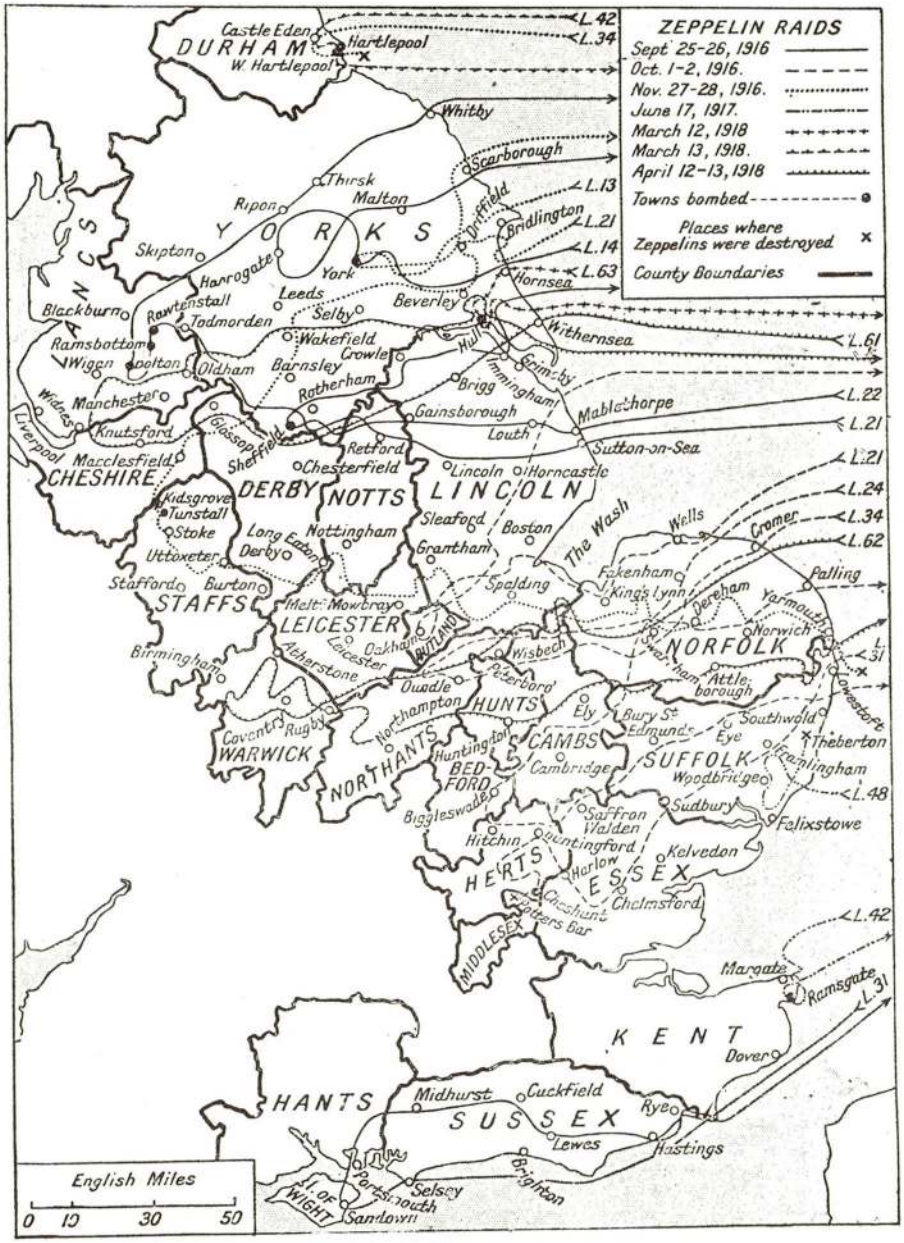
彼等は主として天候の條件が惡くて敗北したのだつた。北海上は比較的靜穩で10.000呎の高さでは唯輕い北西の微風が吹いてゐたのだつたが地上部隊の砲火を避ける爲には20.000呎の高さに上昇せねばならなかつた。然しその高さでは風は大風の樣な强さで吹いてゐた。

所謂「沈默」の空襲の間に Piccadilly, Camberwell Liwisham, Hither Green 等の London area に爆彈が投下された。空襲せる Zeppelin により引起された著しい災害は Chronological Sequence の296ページに說かれてゐるがその中には11臺の空襲飛行船の中で最も暴威を揮つたL45號の W. Kölle 大尉によつて破壞の詳細が述べられてゐる。

London, Piccadilly, Aicus の Swan 及 Edgars の吳服店の外部に落下された爆彈は夜の11時半に爆發した。その時間は劇場に行つた多數の人が歸宅する時間だつた。多くの悲慘事の中で代表的なものは若い兵士の身邊の出來事だつた。將校に任命されて喜んで家に歸り母と許婚者を連れて劇場に行つて昇進した事を祝福したのだつた。けれども幸福なるべき夕は全く悲劇に終つて了つた。3人共殺されその上少女の體は滅茶苦茶になり唯彼女の持つてゐた寶石で彼女である事が證據立てられた位だつた。

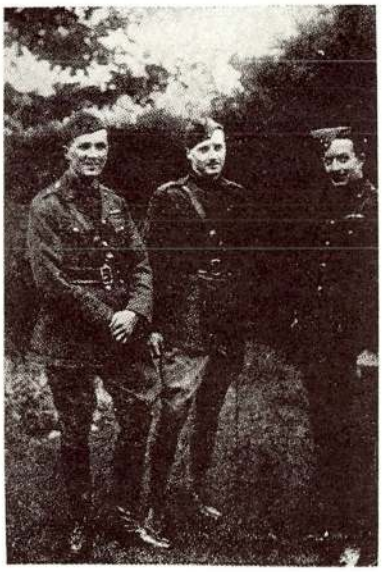
その時の空襲に於ける公衆避難所の配置が不充分であつたので London の南及西の地方では夫々幼稚な防護團を組織し避難所を設けた。Camberwell では White Mineral-Water 工場が貧しいごみごみした地方の多くの人々に對する空襲時の避難所の一つに當てられてゐた。又 Camberwell Albany Road の醫者は遠方の White 工場に避難出來ぬ近所の人々に自分の家を避難所として提供した。敎會の牧師も亦空襲に對する手配をせねばならなかつた。敎會や僧侶の家は夜でも晝でも開放して保姆や他の助手が防護につとめた。

Camberwell の人々は9月中には空襲がどんな恐しいものかといふ事を體驗した。市民を全く恐怖せしめた爲人々の多くは必要もないのにあはてふためいて避難所に逃れたりした。それ故に安眠も出來なかつた。Camberwell では空襲警報の制度を組織し戰線に行かぬ人達は夜通し警報係として配備され



第4圖・Zeppelin の最後の英國空襲

この地圖は1916年9月26日より1918年4月12～13日の空襲迄に英國の上空を飛んだ飛行船の進路を示したもので1918年8月5日最後の Zeppelin の空襲に於て Strasser が乘船したL70號が Norfolk で燃えて墜落した時には英國の海岸を横切つた飛行船は一つもなかつた。

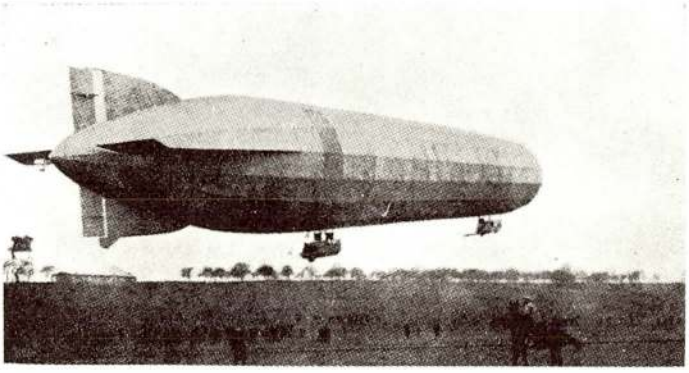


第5圖・三人の勝利者

是等の飛行家は大戰中英國上空で3臺の獨飛行船を射落した。左は F. Sowey 中尉で L 32號を1916年9月24日に射落した。中央は W. Leefe Robinson. V. C., で彼は S L 11號を1916年9月3日に射落した右は W. J. Tempest 中尉で彼は1916年10月10日 L 31號を射落した。

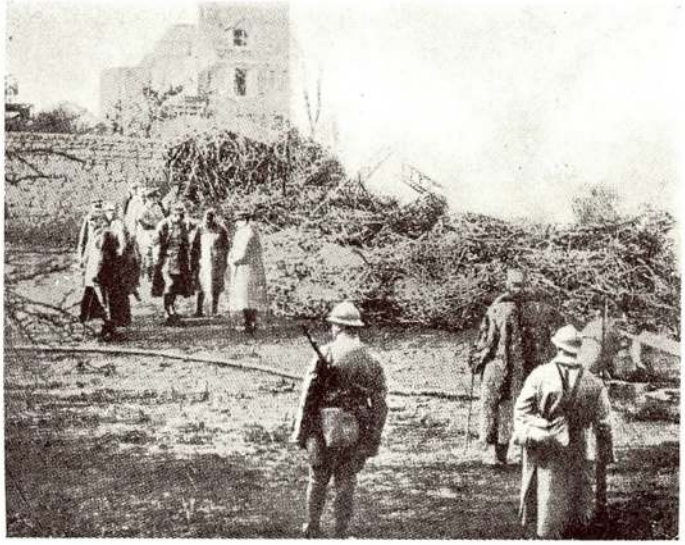
第6圖・最大のZeppelin

此處に飛んでゐる Zepp. L 39號は大戰中獨逸で作製された最後の最も大きい飛行船である。1917年4月16日の失敗せる襲撃に參加した5つの船隊中に參加したのだつたが不幸にも風に邪魔されて爆彈を海岸に投下したのみで何等物質的損害を與へる事が出來ずに本國に引返した。ほんの英國に到着して1時間半の後には海峽を横斷して歸還して了つたのだつた。



第7圖・巨大な遺骸

Kock 氏が L 39號に乘組んで海峽を横斷して後 Dieppe 上空にさしかゝつたが其後はむしろ不規則なコースを航行した。L 39號が、Compiègne 上空に到着した時10,000呎の高度で飛んでゐたがエンヂンを打拔かれやつとの事でコースを航行してゐたが France の地上部隊の砲火により撃落され焰となつて落下した。そして Koch や總ての他の乘組員は皆殺されて了つた。寫眞は撃墜された巨大なる遺骸である。



を見廻つた。

警察や街の監視者と連絡をとつてゐる教會の牧師によつて空襲警報が發せられた。間もなく敵飛行船が Reigate 迄近づいて來た。Cabury Road の牧師の家の上には空襲を報する爲に赤い灯が揚げられた牧師の家に赤い灯が揚げられると巡羅隊の者が避難する爲に人々を目醒した。

1917年10月19日の夜赤い灯が揚げられたので多くの人々が醫者の手術室に避難した。そこでは16名が收容されてゐたがその家に爆彈が落下し2名の子供は危篤になり子供を助けんとした母はひどい傷を受けた。魚のフライを賣つてゐた店も爆撃され主人は何時も避難所に行くのにその夜は戰地より歸つた友人のために宴會を催してゐた。そして8名が殺された。消防夫巡査その他の勞働者が破壞された建物より生存者を救出する作業を續けたが、仲々困難な事でその家の15歳になる息子は最もひどい死方で、深く埋められて了つたので崩壞物を取除ける事も出來なかつた。然し終に醫者や消防夫などによつて小さい開口を利用して作業を續けやつと子供を見付け出したが頭と腕が一本とが現れた。醫者は酸素とモルヒネを與へ、一方救助者が電燈を照しその明りで消防夫が土を掘つたが救助の仕事に時間がかゝり掘出されぬうちに死んで了つた。

White Factory に避難した人々の家はほとんど破壞された。人々が避難所を出て始めて、そのニュースを知つたが、1婦人は自分の燒けた家の前に來て金切聲をあげて歎き悲しんだ。1000名以上の人々が1時に家を失ひ食物や宿舍を都合せねばならなかつた。その夜今1度 HitherGreen Glenview Road のにL45號により爆彈が投下されたが6室より成る2個の住家が各々粉碎され即死12名と負傷者9名を出した。その中2名は重傷で短時間の中に死亡して了つた。

1918年の初め頃には獨逸飛行船の威嚇はその終に近づいた。1月5日4臺の Zeppelin と1臺の Sthütte-Lanz が突然格納庫内で破壞された。その突發的事件について某當局者は「獨逸飛行船の火葬」だと語つた。そして亦8臺の新しい飛行船が建造されたが失はれた力を補ふ事が出來なかつた。3月12日3臺の Zeppelin は Hull 及び Howden の上空を航行したが大した損害は受なかつた。次の夜 West Hartlepcol が空襲されて8名の死者と39名の負傷者を出した。

1918年4月12日5臺の飛行船が Strasser 自身が指揮して國の中央に襲撃した。1臺は Lancashire 迄も行つた。Birmingham や Lincoln が爆撃されたが Wigan 及その附近でも同樣の被害を受けた。そこでは2.3の小屋が破壞され殆んど 10t 近くの爆彈が投下され7人の死者と12人の負傷者を出した。

最後の Zeppeiln の空襲は1918年8月5日に開始された。5臺の飛行船は Strasser が再び指揮して出發し、英國海岸に着く迄に2隊に分れた。3臺の組は午後7時45分頃 Cromer 上空に現れた。Egbert Cadbury 少佐が彼等を攻撃する爲に Yarmouth より D. H. 4 に乘つて上昇した。彼は Strasser が乘つてゐたL70號の600呎以内迄上昇した。偵察者 R. Leckie 大尉が敵の船首を狙つて銃をはなした。大きな穴を船體に受けた不運な飛行船は Cromer を去る約8哩の海中に焰の塊となつて急降下した。Cadbury 少佐はその飛行船について「飛行船は約3分15秒で燒盡し大きな輕油タンクは骨組より分離し、約 7.000呎下の密雲の中に落下した樣に思はれた。仲間の運命を見て殘りの2臺の Zeppelin は速かに東に進路を變へ高速力で進んで行つた」と報告してゐる。

次いで Cadbury 少佐はL65號を攻撃したが成功しなかつた。その時は銃孔が塞つて銃を使用する事が出來なかつたと基地に歸つて報告した。

Zeppelin L70號の破壞は獨逸にとつて大なる損失だつた。それは海軍飛行船隊に最後に添加されたもので7月8日に任命された許りだつた。290馬力の Maybaoh エンヂンを有し最高級の强力な Zeppelin で大戰中作られたものだつた。それと同時に獨逸飛行船隊生え拔の天才 Strasser を共に失つた事も大なる損失だつた。

他の2臺の Zeppelin L56號と L63號は海岸の遙か南方を橫切つて、午後9時に Yarmourh の近くを飛んでゐた。彼等は Norf-folk 上空を航行し L50號は Lowestoft を通過したが指揮者はそれに氣付かず單に爆彈を海中に投下したのみだつた L63號は何等重要な役割を演じなかつた樣に思はれた

是が敵の Zeppelin が英國の上空に最後に現れたものだつた。平和が締結されて10年後 Graf Zeppelin が英國の島々を親善の目的で訪れたがそれを見た人々は恐怖よりはむしろ驚異の眼を以て眺められた。(森口清)



第8圖・再び空襲された Ramsgate
最後の Zeppelin の空襲は1917年6月17日に Ramsgate に行はれたがその時獨逸海軍飛行船の4臺の中の1つが朝の2時頃に海港に爆彈を投下した。その爆彈の1つは Albert Street に落下して2,3の家を破壞した。上はその跡で左はそれを「クローズアツプ」したものである。



第9圖・無情
この寫眞はAlbany Road Camberwell の被害を示してゐる。その時この章で述べた L45號が、Cricklewood, Piccadilly Cricus. Camberwlle 及び Lewisham 等に爆彈を投下した。これは300の爆彈による被害である

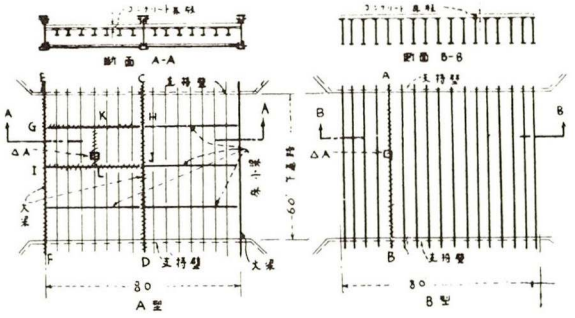
鐵骨梁の經濟的配置

緒言　本文は Engineering News-Record 1937 September 2. に George Booss 氏が「應力通路と經濟的床組 Stress Paths and Economical Framing」と題して述べられたもので、要するに鐵骨床組の梁配置を種々に變へて、應力が最も近い道を通つて支持物に達する方法を見出し、この床組の鐵骨重量を減じやうといふのである。

鐵骨造建物の床、或は鐵骨造橋梁の床を設計しやうとする時、梁配置の位置、方向といふものを常に第一に考へなければならぬ。そうして自然的に最も經濟的の配置といふものが望まれる。これを經濟的にするためには、支持物に荷重を傳達するに要する鐵の量を最も少くすればよいのである。しかし美觀上とか、床高さの制限とか、ウエツブ鈑の最小厚に對する仕樣書の制限とか種々の事がらを考へる場合は經濟的といふ事のみ考へる譯には行かぬ。床組の經濟的配置の研究には、「應力通路 Stress Path」が大變有效である。

第1圖に示したものは下が軌道或は通路になつてゐるスパン60呎、幅80呎の橋の鐵骨骨組である。床版は鐵筋コンクリート造とし、その下の鐵骨床組のAとBの二つ型の配置を考へてその良否を判斷しやう。今床面の單位面積に働く固定、積載荷重の和を△Aにて表はし、A型B型の二つの床組の同じ場所に△Aを働かしめて考へやう。

A型の構造に於ては△Aの荷重が根太KLに剪斷力、曲げモーメントを起し、これが小梁GH，IJに傳はり、これが又EF，CDの大梁に傳はつて、この大梁から漸く最後の支持壁に傳はるのである。B型に於ては應力の通路は直接であつて、曲げモーメント、剪斷力は大梁ABにのみ起るのである。



第1圖　二つの橋梁床組。B型の△Aに對する應力通路はA型のものより短い。應力通路は斜線を引いて示す。

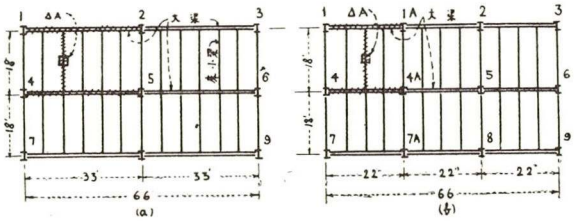
今若し吾々が、各々の場合に於て梁成を最も經濟的のものを定めると假定するならば、梁ABを經て支持壁に對して、曲げモーメントによつて荷重を傳達するに要する鋼の所要量は、梁EFとCDとが組合はさつて同じ荷重を傳達するに要する所要量に等しい事は明かである。然るにA型に於ては根太KL、小梁GH、IJが亦荷重の働きを受けてゐる。このA型に於て應力通路に付け加へられた根太小梁はA型の鋼の所要量の多き事を表はしてゐる。これによつてB型がより經濟的である事がわかる。

上の例題から吾々は一般に次の事が云へる。他の總ての事情が同一ならば、床組の型式は單位面積に働く荷重が、彼等の支持物に最も直接に傳はるものが最も經濟的であると云はれる。換言すれば最も經濟的な床組は應力通路の最も短かきものである。

この應力通路を最小にするといふ原理は、勿論常識であるが、筆者は今迄に印刷物の上でこの事を記載したのをまだ見た事がない。故にこの原理の重要さを理解して床組の聰明なる選擇をなし、かつて單なる判斷力によつたものに理論的基礎を與へ、技術家諸兄の幾分の手助けをなさんとするのである。

柱のある場合は如何　上述と同じ考へ方を第2（a）圖に示す如き柱列の用ひられてゐる床組に應用して見やう。單位面積の荷重△Aを第2(a)圖の任意の場所に働かしてみやう。その應力通路は圖に斜線を引いたものである。第2(b) 圖は床組の配置を變じ柱間を33呎から22呎に減じたものである。圖からわかるやうに曲げ作用を受ける小梁の長さは兩型共同一で、△Aを柱に傳達する大梁の長さは（b）の場合は⅔になつてゐる。故にその大梁の所要鋼材は(b)の方が少い。尙その上に柱斷面の許容最小形といふ事を考へに入れないならば、鉛直床荷重の總計が變じなければ、柱の數を增加しても、柱に要する鋼材の總量は少しも增加しないといふ事を知り得る。

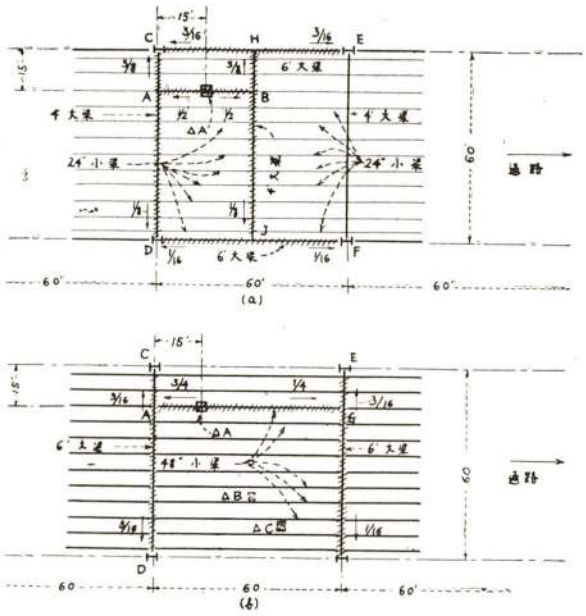
第2（b）圖に示す床組は△Aからの荷重を傳達するに大梁の長さを減じたのみでなく、スパンが小になる事によつて全體として曲げモーメントの量を減じ、それによつて大梁の單位長さに對する鋼材所要量をも減ずる。



第2圖　柱のある場合。（b）に示す方が應力通路は短い。（b）に於て柱の所要鋼材は增加せず、大梁の鋼材は減ずる故經濟的である。

應力通路の重さを考へた長さ　Weighted Length of Stress Path. 床組のより複雜なるものを考察する場合には單位面積に働く荷重△Aを、最後の支持物に達する迄、多くの部材上を移動せしめて考へなければならぬ。この場合には應力通路の重さを考へた長さ Weghted Length を考へる必要がある。この必要性は次の事からわかる。60呎のスパンの中央集中荷重を傳達するに要する梁の單位長さに要する鋼材は30呎スパンの同一中央集中荷重を傳達するに要するものより大である。同樣に梁の中央集中荷重はスパン¼點に同一集中荷重の働いたものより、それを支へるに要する單位長さの鋼材を多く要する。小梁、大梁の場合に於ては實用上總ての荷重のかゝり方に對し、中央曲げモーメントが斷面決定の係數になる。但しこれはその部材が剪斷力に對し充分强く、斷面決定がモーメントのみによる場合の話である。

小梁、大梁の斷面決定に於てフランヂ斷面積法（斷面二次モーメントを用ひぬもの $a=\frac{M}{fd}$ 式）を用ふるなれば、梁の任意斷面の抵抗モーメントはフランヂの斷面積と梁の有效丈に比例する事を知らう。故にフランヂの斷面積は大梁の重さを定めるに關係があり、抵抗モーメントは梁の單位長さの重量に比例する。吾々は上述の事から次の原理を導く事が來出る。即ち、應力通路の單位長さに就ての重量は梁の中央モーメントに正比例して導かれ、これは梁の丈に對しては反比例する。



第3圖　床組比較（b）は20％の鋼材を節約。

第3（a）圖は最近ニューヨーク市につくられた高架道の床組であり、第3（b）圖はこの變更設計である。第3（b）圖は柱に對する應力の傳達がより直接で、第3（a）圖の如く應力傳達に複雜さがない事から經濟的である事は一見してわかるが、更に應力通路の重さを考へてこれを證明してみやう。今△A、△B、△Cを單位面積に働く荷重としこれを（a）（b）圖の同じ場所に働かしてみやう。第3（a）圖に於て單位面積に働く單位荷重は種々の應力通路を經て最後の支持物柱に傳はるのであるが、この割合を圖に示してある。（即ちA、Bへ½、Cへ⅜等）、任意の梁のスパン中央のモーメントは兩端反力のうち小なるものにスパンの半分の長さを乘じて得られる事は明かである。この計算をしたのが次の表中の中央モーメント（Center Moment）の項である。

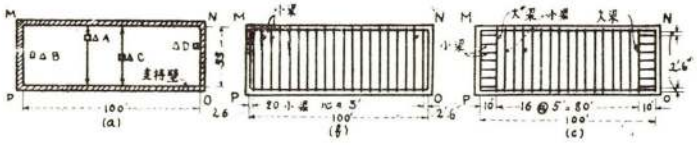
△Aに對する應力通路の重さを考へた長さを定める表

	部材 (1)	中央モーメント (2)	梁丈の逆數 (3)	關係重さ (2)×(3) (4)	部材長 (5)	部材の考へられた重さ(4)×(5) (6)
3A	AB	½×15	1/24″	0.313	30	9.39
	CD	⅛×30	1/48	0.078	60	4.68
	HJ	⅛×30	1/48	0.078	60	4.68
	CE	3/16×30	1/72	0.078	60	4.68
	DF	1/16×30	1/72	0.026	60	1.56
				計＝應力通路の重さを考へた長さ		＝24.99
3B	AG	¼×30	1/48	0.156	60	9.38
	CD	3/16×30	1/72	0.078	60	4.68
	EF	1/16×30	1/72	0.026	60	1.56
				計＝應力通路の重さを考へた長さ		＝15.62

上表には第3（b）圖の床組に於ける應力通路の重さを考へた長さが短いといふ事も下に示されてゐる。即ち表にて明かな如く（a）圖のもの24.99、（b）圖のもの15.62である。

同樣の計算を圖の△Bに就てなすとこの應力通路の重さを考へた長さは等しい。然し△Cについては第3（b）圖の方が應力通路の重さを考へた長さは短い。以上の事から、第3（b）圖に示したものは最も經濟的のものである事がわかる。第3圖の如く設計するなれば第3（a）圖の設計よりも實に20％も鋼材を節約し得るのである。故に吾々は第3（a）圖の如き床組は單に經濟といふ點以外に重要なる要素のある場合の外、採用すべきでない。

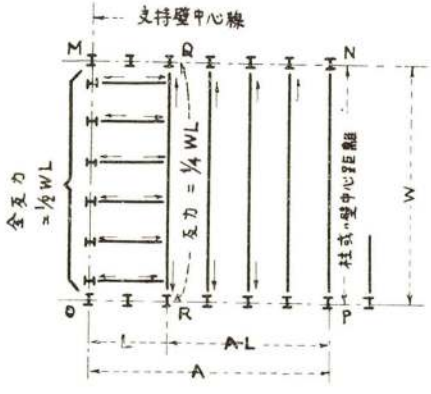
周圍に支壁を持ち中間柱なき床組　(Framing a Foundation Opening) 次の第4圖に示す如き支壁MNOPが35呎×100呎ある床組を例にとつて考へて見やう。



第4圖　(b)に示す床組の端の梁の方面を變じたものが(c)圖である。(c)は△B、△Dの應力通路が短い。

床はコンクリート床版とし、全荷重は200封度毎平方呎、中間には柱をたてないものとする。この條件に對し十中九人迄、(b)圖に示す如き梁配置をなすだらう。然し之に對しては、支持壁と多くの荷重面積との應力通路を考へる事によつて、(b)圖の床組の經濟的なりや否やに對しては疑義がある。(a)圖に示す如き△A、△Cの個所に單位床荷重を働かした場合は、第4(b)圖に示すものは最も短い應力通路を經て支持壁MN、POに傳はる。然し(a)圖に示す如き△B、△Dの如き個所に荷重が働く時、横の方向のみに荷重を傳達せしめるのは、NO、MPの支持壁をちよつとも役立たさぬ事となり不經濟の配置であるといふ事は明かである。この爲には第4(c)圖に示す如き配置になす方がよい。かくする事によつて所要鋼材を8%減じ得る。

第4(c)圖に於ては左右の支持壁から10呎だけは縦方向に小梁を配置した事に注目されたい。荷重を受けてゐる矩形の面積は周圍の連續壁或は柱に支へられるべきであるといふ事から、この床組の場合端の方の荷重を左右の壁に持たすやうに床梁を縦方向に配置した事は有利である。斯様な問題は實際の場合に多く表はれる、第5圖に於てLの幅Wに對する割合を最も經濟的に定めるといふ事は構造家建築家に對して大いに價値ある事である。



第5圖　總ての梁丈をスパンに比例するとせば鋼材の所要量最小は L=0.25W の時、若し總ての梁丈等しき時はL=0.41W

第5圖に於て面積A×Wの上に働く全荷重を支持物に傳達する事を考察する事によつて一般理論を導き出さう。この一般理論の式中にはW、A、Lの三つの項をふくむ。Lに對する微分を求める事によつて吾々は床組の最小重量に對するLの價を定める事が出來る。各々の梁の丈は未知であるが、吾々はその丈はその梁のスパンに比例し且つ常に型鋼梁(工形鋼)を所要斷面に極く近いものを用ひたものと假定する。縦方向の梁の丈は、横方向の梁の丈のL/Wである。

面積A×Wは自然的に二つの部分に分けられる。即ちMQROとQNPRの二つである。MQRO

の部分を先づ考へてみやう。吾々は全中心モーメント（Total Center Moment）$\frac{WL\times L}{8}$は縦方向の梁の決定、梁の重さを考へた長さを定めるに用ひられる事を見出す。吾々は重さを考へた長さを見出すには、上の價に長さLを乘じ、丈の逆數$\frac{W}{L}$をも乘する。かくして縦方向の梁の重さを考へた長さを得る。即ち

$$WL\times\frac{L}{8}\times L\times\frac{W}{L}=\frac{W^2L^2}{8}$$

端梁のQRは近似的に½WLの等分布荷重を受けるものと考へ得る。中央モーメントは

$$½WL\times\frac{W}{8}$$

丈比（Depth Ratio）を 1. 長さはWなる故、 QRの重さを考へた長さは（MQROの函數として）

$$½WL\times\frac{W}{8}\times 1\times W=\frac{W^3L}{16}$$

面積QNPRによつて横方向に起るモーメントは

$$W(A-L)\times\frac{W}{8}$$

丈比をこの場合も 1. 梁の長さはWであるから、 横方向の梁の重さを考へた長さは

$$W(A-L)\times\frac{W}{8}\times 1\times W=\frac{W^3}{8}\times(A-L)$$

面積A×Wに於ける鋼材の重量をYとすれば、 これは縦方向の重さを考へた長さに端梁QRの重さを考へた長さに横方向の梁の重さを考へた長さを加へ合せて求め得。

$$Y=\frac{W^2L^2}{8}+\frac{W^3L}{16}+\frac{W^3(A-L)}{8}=\frac{W^2L^2}{8}-\frac{W^3L}{16}+\frac{W^3A}{8}$$

Lに關して微分し、そしてこれを零に等しく置く、

$$\frac{dY}{dL}=\frac{2W^2L}{8}-\frac{W^3}{16}=0$$

Lに對して解けばYの重さの最小を得る。

$$L=0.25W$$

即ち縦方向の梁長さLを横方向梁長さのWの¼にするのが、 最も經濟的である事がわかる。この結論は、梁丈がその梁のスパンに比例するといふ事を假定して出したものである。 縦方向の梁と横方向の梁の丈を等しくするなれば、同樣に微分して求めれば L=0.41Wを得る。

實際計算として荷重强度を 400封度毎平方呎、W=50呎、A=125呎 とすれば、 梁丈をスパンに比例するとすれば L=12.5呎となる。梁はH形鋼を用ふるものとする。第4圖に示した如く單に横方向の梁のみ用ふるものに比し、鋼材 25.5%の節約をなし得る。（堀口甚吉）

大都市の保存地域に就て[註1]

（ウイスコンシンの“Greendale”を例に取り擧げ圖解的に論述されたもの）

ションエスランシル[註2 a)]

ジヤコブクレーン b)

1937年1月發行の American City によれば、國家資源委員會の副委員長及中央住宅委員會の委員長（Vice-chairman of the National Resource Committee and Chairman of the Central Housing Committee）なる Frederic A. Delans 氏は “To meet the Housing needs of the Lower Income Groups” なる論文に、住宅と都市改造（Housing and City rebuilding）に關し、土地問題は根本的に重大問題である事を指摘し、且市街並に郊外開發のための土地獲得に就て地方行政廳に對する Federal aid の要求に示唆を與へて、住宅地の建設は公共的、私的或は組合的の何れかの企業の統制によつてなし得るものであると云つて、歐洲に於ける先例を引用して、彼は次の如く言つてゐる。……即ち〝多くの場合、特に下町でスラムが惡狀態に稠密してゐる場合には、市外にある土地を獲得する事が有利であらう〟と。そこで、Lansill 及 Crane の兩氏による本論文の所謂大都市保存地域（Metropolitan land reserves）に對し郊外區劃整理計畫の利用（the role of the Suburban Resettlement Projects）と云ふ事を特別に參照すべく彼等の特別なる注意を惹いたので、彼等はその要點をば圖解的說明の實例としてMilwaukeeの郡計畫（Miwaukee Country Project.）としてのGreendaleを引用したのである。

郊外地の利用をよりよき方向へ

大都市と云ふものは何れを問はず、郊外の輪環の土地（A Suburban Ring of Land）の中心近くの數個の眞髓によつて構成されてないものはない。で、この郊外輪環は常に都市面積より更に廣大な地域を包含してゐるのが普通である。直徑5哩の都市を圍繞する幅10哩の郊外輪環の地域に、若し一建築敷地50呎×150呎大のものが建築されたとしたならば、その地域内に人口約6.000.000人を收容し得る。又シカゴを圍繞する郊外輪環内が若しかゝる大さの敷地を持つ建築を以て完全に埋め盡されたとしたならば、恐らくは20.000.000人の人口を收容し得るであらう。

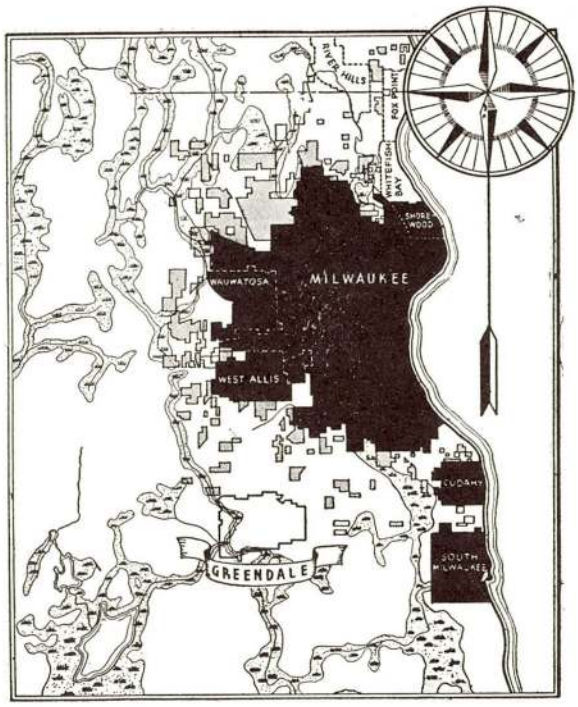
だが然し、かゝる尨大な人口と云ふものは想像し難いものである。現今より數10年後も經て現在の狀態を遙かに越えて郊外が市街化されたとしても、郊外地として占有さるべき總區域が、斯樣にまで建物が互に近接して建築されるものでなく、大部分の面積が空地として當然殘されるのは避くべから

註 1、John S. Lansill and Jacob Crane: Metropolitan Land Reserves, As Illustrated by Greendale, Wisconsin; American City, July, 1937, PP. 55—58

註 2、a）米國合衆國、農林省區劃整理管理局、郊外區劃整理部長、
b）計畫顧問官、
此の論文は著者の態度を示すもので區劃整理管理局（Resettlement Administration）の政策を意味するものでない。

ざる事實である。

約200.000英町もの面積を有するミルウオキーの郊外輪環地域に將來建築されたとしても、200.000家族乃至は人口 800.000人以上とは恐らくなるまいと想像されてゐる。即ち以上の總面積の內に敷地の平均の廣さ50'×150'として住宅が稠密して建築される面積の總計は大略40.000英町以下であらうとされてゐる。此の郊外輪環に關する土地利用に就て不動の論法 (inexorable logic) として主張されてゐるのは、此の地域の殆くとも¾の面積は住宅用地と云ふより寧ろ他の用途のために利用さるべく殘されるであらうと云ふ事である。土地用途の第二（商業型（タイプ）、工業道路及鐵道）として利用されるのは、全地域から比較して見ると極めて僅かな割合しか占むるに過ぎないのである。



第1圖・ミルウオキーの大都市地域——灰色で表はした多くの區劃整理地區は全く不合理に分布されてゐるのを示す。本地圖に示す黑い點のある地域は公園、公園道路及森林に關して大都市組織の彗星核である。

郊外の開發と云ふ事は、結局其性質上、全面積の大部分が田畑、公園、森林そして區劃整理不能地 (defunct subdivisions) であり且つ是等のため用地開發となるのは止むを得ざるものとされてゐる。

で、John Gullible氏は此の事實が一般に了解されるまでは區劃整理分讓地の早期賣出しに關する研究を繼續するであらうと謂はれてゐる。而もこの連續的な過剩區劃整理 (over-subdividing) の面白からざる關係で、關係者は常に莫大なる損失を續けさまに被るであらうとされてゐる。即ち……廣大な土地所有者 (the acreage owner)、多數の區劃整理者、分讓地購入者 (the lot purchrsers) 及殊に都市又は郡行政體は未納の稅金及不拂の改良評價金 (improvement assessments) 等の債務を負はされるのである。斯樣な區域に於ては、建築用途として必要な傾向を示してゐる處のみを、區劃整理を行ふべきである。そして建築用地として開發の許される面積は、全郊外地の僅か25% 內外が割り當てらるべきで、殘りの¾內外は公園、森林及農耕地として保存さるべきである。

是等の原則は、郊外地の開發に就ては合理的であり、經濟的であり且つ絕對的に缺くべからざるものでもあるのである。そして斯かる單純明瞭なる原則を採用する事によつてのみ、市民が懇望して止まなかつた郊外の適當な所に開放された綠の環境を獲得し得るのである。

此の Greendale は比較的小規模に於て此の原則を應用して建設したものなる事を 物語つてゐるのである。

これは、3.500英町の地域に人口 3.000 乃至 4.000を限定して計畫が進められたものである。而もこの土地の上にはそれ以上の家族を增加さす事は不必要であるとしてゐるのである。そこで、この 3.500 英町の土地に就て、建築用地として最適な土地は適當に選定され且つ建築敷地として利用されるか乃至は建築用地として利用し得る樣に保存されるかである。が然し、殘りの部分は公園、公園道路、森林及農耕地として永久に利用されるのである。斯くなす事によつて公私の經濟に對して非常に效果的な開發を誘導し得るのであり且つ開放された綠の環境を確保する事が出來るのである。

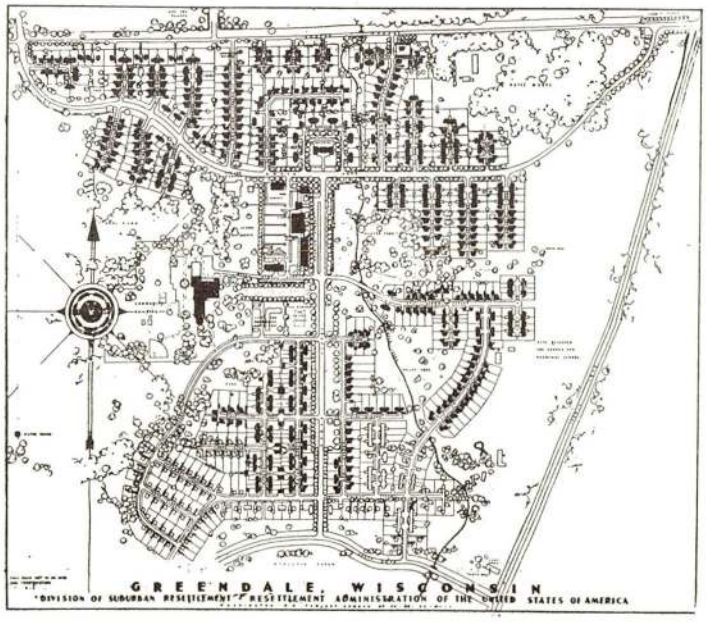
であるから、廣大地域を獲得するか乃至は統制すれば、斯樣な郊外計畫を容易ならしめるのである。而も大都市保存地域は Greendale の如く、尠なくとも是等の土地に對し、理論的に、濟經的にそして吾々の大都市地方 (Metropolitan Regions) に於て痛切なる要望に對し、滿足すべき郊外地計畫をなす事が出來るのである。

自由路と地方道路

大都市地方 (metropolitan region) に於ける幹線道路の計畫家は、幅員の不足してゐる狹隘な道路 (Right - of way) を、不便なる間接道路系統を、遲滯と危險とを釀する混雜さを、そして道路の兩側に於ける醜惡さ等を矯正すべくあがいてゐるのである。Milwaukee 郡は州及 Federal aid と協力して是等の諸問題解決に關し、大抵の部分を押越へて乘り出して來たのである。

Greendaleの範圍內では、一人所有の 3.500 英町地域によつて可能な、問題解決の計畫を作成するにあらずんば公費を莫大に要する計畫となる。

主要幹線道路の狹少な部分は、二重道路 (double roadway)、植樹帶及步道等を含むで、將來のあらゆる構築に對する申分のない樣に擴張されてある。Root River の公園道路はこの地域を通じて相當の貢獻をなして居り、主要幹線及公園道路に就ては、相接近して開發せしめない事は勿論なれども同時に互に妨害する事なく、自由に交通運輸の動きを助け合つてゐる。であるから是等の道路は自由交通路となつてゐるのである。地方道路は利便と安全のため、住宅用交通循環道路を避けて計畫が行はれてゐる。

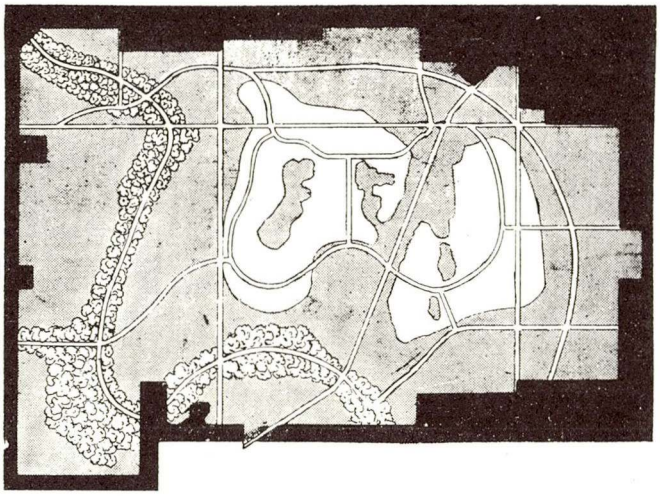


第2圖・ウイスコンシンの〝Greendale〟計畫案

學校、公園及遊戲運動場の敷地

大都市地方內の學校當

事者に對しては、要求した學校敷地が計畫され且つ屢々その上に建築さへも行はれてゐる事がよく發見されるのであるが、敷地だけに就て云へば最後に得た用地は概して小であり、高價であり、且つ屢々不適當なものである場合もあつた。學童への危險性と云ふ事は頗る痛切なる問題であるので、學校の環境と云ふものは特に見苦しくなく且つ明朗性を保たしむる事が必要である。が、實際は經費が高いと云ふ事情に左右されて不滿足な點が多くなり勝である。



第3圖・大都市保存地域として圖解されるGreendale、白で示した建築用地は最初の住宅…750戸から…1.200戸…のためとして200英町を含む且つ200英町は將來の住宅用地として留保する…1.300戸乃至2.000戸、地圖の570英町を占む州公園道路內の灰色の部分は公園、森林及公開綠地開發のための 2.400英町の保存地域を示す。

計畫された土地の用途と開發のために廣大な土地を利用し得るこの Greendale 計畫案は、 只一打で是等の困難を打消し得るのである。 專用するに好都合なる位置は進んで割り當てられ、そして廣大な美しい敷地をこの大都市保存地域の範圍內で、原價（一英町當りの値）で提供されるのである。

學校敷地の場合に就ては、大都市地方內の公共事務局（Public agencies）としては、慰樂休養としての目的のためには、それを最も必要と認めた場合には、 比較的貧弱な土地で且つ若干高價であつてもそれを買收する事が一般的な要求であるとされてゐる。 然しながら此の事は相當な困難も伴ふ事であり又經費のかさむ方法でもある。 郊外地で而も都市人が、慰樂休養のため容易に戶外へ出入する機會を享有する處では、 既計畫地域を又は既建築地を公園用地として 再度買收する 事は洵に 不合理な事である。

如何なる場合でも郊外地の¾內外は空地として殘されるであらう。と云ふのであるから、かゝる地域に於て計畫が行はれたり又は他の用途に割り當てられる事前に、慰樂休養地等の用地に對しては、敏感に且つ迅速に割り當てを行ひ得るのであるが、 此の事は Greendale の場合に於て圖解した如く、大都市保存地域によつてのみ可能であるとされてゐる。

慰樂休養施設に就ては、 10種に亘つて各々異つた型が製圖された計畫として準備されたのであつた而も是等總ての土地は最初から割り當てられ且つ永久に確定的にされてゐるのであるから、 是等に對する地價は、開發が開始される事によつて强制支拂の經費から比較すれば、 極めて少額にしてそれは原價（單位一英町當り）でしかないのである。

Greendale 村は廣濶なる綠の布を敷き詰めた田園地に接してゐる樣な感じを與へる處の、所謂開放された原野と、農耕地とそして森林とによつて圍繞されるであらう。 小路や細道路網（Path and trail）

はこの空地の間を纏ふてゐる。州公園道路は Root River へ接續する快適なドライヴコースと750英町公園とより構成されてゐる。而も都市公園のための土地は充分豫定されてあるのである。數個の外部に配置される公園用地はいづれも都市に接續して配置されてある。廣大な都市運動場並に慰樂休養公園は高等學校用地の近くの中心部に配置し、各階級の學校に對しては、景觀の美しい場所に位して充分なる廣さを持つた學校遊戲場が豫定されてある。又運動倶樂部及び社交倶樂部のための數個の建物は彼等の要求する適當な土地へ配置される事になつてゐる。

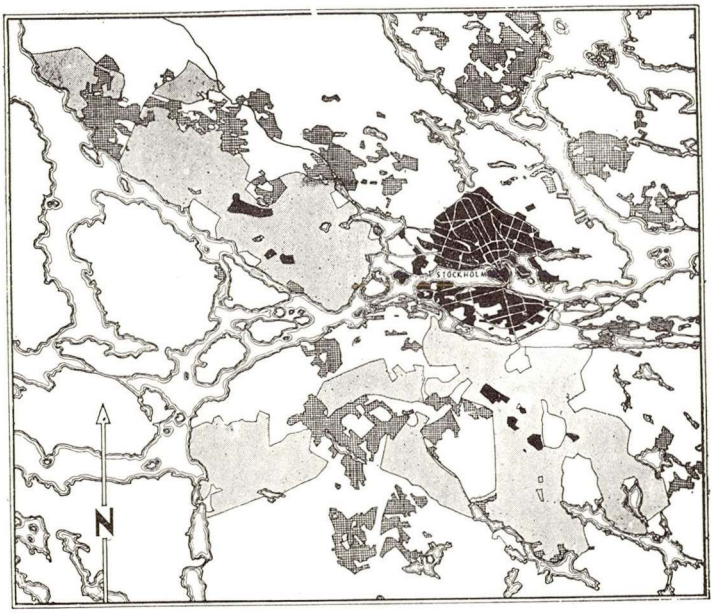
是等の慰樂休養施設に對する敷地への備へとしては、土地保留（land rererve）と云ふ事が第一に考へられるのであるが、既に創立を見た Greendale の如き大都市保存地域内では、比較的廣大な面積の範圍内であるので、極めて簡單にして經費もあんまり多額に昇らない事柄である。

大都市住宅問題

吾人の住む過大都市と云ふものは、人口が稠密し、不經濟で、騒音はげしく、塵埃だらけで尚且つ醜くとも或る部分は醜惡でさへある。そこで、現代では人口の郊外への逃避と云ふ傾向が相當の勢力を示して來たのである。田舍及外國からの移住者は都市へ流れ込むにも拘らず、而も是等の家族は彼等の能力に應じて適當にその地を見出し乍て郊外へ移動するのである。而してかゝる現象の絶間のない連續が彼の所謂 "blue-stocking" なる郊外都市を建設せしめるのである。

各大都市の周圍に吾々は中央都市に似た小規模の衞星的に分散する工業の集團都市を發見するのである。其處には多くの勞働者の家族が一種の郊外生活を營んでゐるのである。が然しそれは郊外の特徴である處の所謂廣々とした郊外で取り圍まれてゐる場合のあらゆる利益が缺除してゐるのである。

かゝる狀態より逃がれんとして、幾千に餘る薄給者の家族が大都市區域（Metropolitan area）の範圍に "Garden homesteads" や "Chicken farms" の建設を創めたのである。が然し計畫の下手さ、サーヴスの貧弱さ及地價家屋の高價な事等より是等の植民地は屢々郊外のスラムと化する傾向にあるのである。然してその結果今迄の處所謂 "blightead area" 乃至は不良地區となるべく運命付けられてゐる處の舊い貧弱な大市街（big city）に住まねばならぬ狀態になつてゐるのである。かゝる狀態



第4圖・ストツクホルムと大都市保存地域、灰色は保存地、黑は市、郊外地の開發地は交叉したハツチで示す。

は國家住宅問題として最も致命的な情勢である事を物語るものである。

田園生活を懇望し、且つそれが必要でもある薄給生活者へ、かゝる要求を可能ならしめそして彼等が郊外生活の利益を享有し得る様になすためには、地價を低くし且つ地價變動のない様にせねばならない。この意味に於て上述の如く大都市保存地域をこれに備へしむるのである。薄給者の家族が支拂ひ得る程度の家賃の範圍内で快適な住宅を持ち來たらしめるためには、將來數年間に建築費の市場價の引き下げを强制するか（未だ確然たる見透はないが）乃至は薄給者の收入を適當に增加を行ふか（これに對しても未だその兆候がないが）或は又比較的大量の助成を行はねばならないのである。如何なる規模に於てもそれを採用するのに比較的實行可能と思はれるものは、最後に擧げた方法を選ぶべきである様に思はれる。

Milwaukee 地方に於ける狀態を分解して論じ見るに、1937年……1950年間に、其處では比較的廉價の新住宅單位（new dwelling units）が、確實に20.000戶以上必要とされてゐる事は爭ふべからざる事實として示されてゐる。かゝる種類の住宅に關しては、建築者は助成されざれば實現不可能な事である。而も、この事を行ふのは業者の大きなマーケツトが必要である。が然し、業者のなし得る分量と云へば極めて僅少の容量でしかないのである。

Milwaukee區域に於ては、獨立式住宅に對する需要が非常に優勢を占めてゐるのである。1926年から1936年までの公式建築記錄（the offical building record）によれば、アパートンメトの 32%に比して獨立及二戶建住宅の合計建築率は68%にも達してゐる事が示されてゐるのである。此の傾向に對し建築者（builder）は彼等の要求を滿足せしめねばならぬ義務のある事が示されてゐる。更に現代的設計による集團住宅（Group house）が今やこの地域にも、Greendale 及 その他の地域にも 紹介され様としてゐる。そしてそれが可成りの增加率を示してゐるので薄給者の家族は、漸してこの型のものを選擇するであらうと想像され、而も若しもそれがより低い家賃を以てあがなはれるものとするならば、特に著しいであらうと想像されてゐる。けれども Milwaukee に於ける大抵の場合は、住民殊に郊外地に移住して來た人々は、例へなんであらうとも獨立住宅の方を選擇するか若しくはそれを希望する事が期待されねばならない。

何故なれば、都市中央部の範圍では地價とサーヴス費が高價なので、廉價の獨立住宅を用意する事が頗る困難であるからである。で、此の事はどの大都市に於ても眞である。1926年から1936年の間の Milwaukee 地方に於ては一家族型住宅の新築が非常に優勢である事によれば、中央都市の境界（the fringes of the central city）附近及郊外地域に住宅の建築される率は78%を算するのに市内の適當な土地に建築された率は僅か 22% を示すに過ぎない事が算定されてゐる。で、この偉大なる壓力（big push）は、この地方の範圍外へ向つて押し擴がつて行く傾向にあるのである。であるから、總ての大都市地方内に於ける、郊外地域に住む薄給者の家族が滿足し且つ經濟的でもある住宅政策樹立に關し吾々は是等の問題を討議せざるを得ないのである。

田園都市と田園郊外

是等の問題を解決するためには、新しい方法が提案されねばならない。而してかゝる問題の解決を助成すると云ふ事から二つの根本的な重要事項を次に擧げ得る。即ち、

(a) 土地は地代が低廉で且つ地域が郊外として環境を相應に占有し得るだけ充分廣大でなければならぬ事。他の區劃整理地區内で創められた貧困家族への區劃整理的開發は滿足な結果を誘致するものではない。

(b) 〝住宅地計畫〟と云ふものは、同時代の生活事情に對し經濟的にして、安全であり且つ便利にして滿足であるために設計された都市の連續として計畫さるべきものである事。根本的平面圖のなかに合理的で且つ充分なる便宜とを製圖した計畫されたる都市（The planned community）と云ふものは、滿足すべき郊外開發が長續きするが、同時にそれは經濟的でもある。

以上の外に附け加へたいのは、既存の郊外都市に就てゐある。……即ち都市に接してゐる〝近隣〟（Neighborhood）の事である。そこで次の數年間に多くの事情に鑑みてこの事を實行するのは賢明な事であらうとされてゐる。が然し、郊外都市の不確定なる擴張は結局吾人の都市に發見する様な所謂困難を惹起せしめるものである。理論的な計畫と云ふものは、如何なる都市にも押擴げ過ぎてはならないものである。が然し都市を新たに建設する場合には是等の理論的なものが必要である事は明白である。

廣大な郊外地に開始された新郊外都市と云ふものは、是等二つの一般型の何れによるも、最も滿足すべき開發を行ふ事が出來るのである。そこでその一つの型と云ふのは、郊外の工業ー住居（industrial -residential）の衞星都市……殊にレツチワス並にウエルウインの如き……として英國の經驗からその名稱が出て居り而もよく知られてゐる田園都市の如き型である。この型に於ては敷地は選定されそして住居地と同樣に工業用地にも土地が貸與され得るものとして土地選定が行はれるのである。滅してこの方法は地形的にも、鐵道運輸にも、充分なる動力と水の供給にもそして生地のまゝ材料産地と市場に接近し得るにも適してゐるのである。この事も亦……農耕地、森林地及公園地等の用地として開放的に利用し得る土地で、所謂〝内外なる稱號を許し得る廣大なる土地の保存を意味してゐるのである。この點に關して吾人の觸れねばならぬ最も重要な根本的な事は、都市の開發が始められる事前に、この廣大な保存地の利用（availability）が決定されねばならない事である。

新設郊外都市の第二型と云ふのは、吾人の所謂田園郊外である。そこで、田園郊外であるが、これは住宅建築並に地方的サーヴスに宛てらるべき極めて小規模な附帶的工業のために最初に開發された郊外都市である。田園郊外に生活してゐる家族の主要なる收入は、其處に住居する人々が、中心都市の工業に雇用されるか、或は又衞星的に散在してゐる商業に從事する事等から得てゐるのである。斯様な都市は、一家を養ふ主人が田園郊外から勞働の場所へ容易に達し得る様な好都合な所に位せねばならない。而も地勢上の條件もよく、その他のサーヴイスも利用し得て交通機關乃至は幹線道路との連絡も滿足な狀態であると云ふ事が最も肝要である。で、此處でもまた、開放された郊外と云ふ組織の範圍で、經濟的に滿足な結果を獲得するには、都市建設が着手される前にこの廣大なる土地が保留されねばならないのである。……此の〝の空地は、農耕地、公園用地そして森林地として割り當てらるべく適當に選定されねばならない。

田園都市並に田園郊外の條件下で、薄給者への大都市住宅問題（lower-income metropolitan housing）の解決は、大都市保存地域を創設する事によつて非常なる便宜を得るであらう。當局による買收又は統制の下で、かゝる廣大な保存地域を住宅問題解決にはたらきかけるならば、住宅及村の實際的構築は、

多數の方法からどの一つを選定して應用するも實行が可能なのである。土地の保留に就て共同的公共團體（Cooparative Societies）は土地利用を便宜化し得るのであり、そして協力的住宅政策を常に動搖させて居つた多くの最も痛切なる困難を除き得るのである。而も大都市保存地域内に於ける公共事務局（public agencies）は特に薄給家族のため住宅計畫を指導し得るのである。事務局のこの三つの型の總ては、その構築法に於ても、或は又一家の主人の收入に如何なる變化を來たそうとも、新しき經濟的の利益を獲ち得るのである。そしてこの三つの取り扱ひ方のどの一つによつてかゝる計畫が遂行されやうとも、その結果に對して二つの根本的要求が確保されるのである。即ちその一は郊外生活として缺くべからざる開放された綠の背景と云ふ事で他の一つと云ふのは郊外都市（suburban communities）に對し必要なるサーヴスと必要なる保護に就て、廣範なる計畫をなし得ると云ふのがそれである。

最初の田園郊外としての Greendale に於ては、所謂Greendale 地方と稱する大都市保存地域内に今や建設されつゝあるのである。

米國合衆國に於ける郊外區劃整理管理局（Resettlement Administration）の計畫による三つのGreenbelt は住宅政策の目的のため大都市保存地域創設に對する最初の而も偉大なる企てゞあり且つまた慰樂休養と農業のため郊外ー田園地の合理化に關する理論的なデモンストレーションであるとも看做し得るのである。是等の計畫に關する一般の非常なる興味（過去10ヶ月の間に是等の計畫地を訪問した人々は約10.000人以上である）並に第一村落に於ける住宅に對する需要は（各住宅毎に 5 人以上の候補者があつたのである）かゝる型の企業と云ふものは、American に於ては、それ自身既に非常な勢力を持つて流行するであらう事を指示してゐる樣に思へる。

歐洲に於ては、この原理によつて創立されたものが相當に多く、多數大都市の郊外地域*には既に多く實現してゐるのである。我が合衆國に於てこの原則の更に廣大なる應用は、大都市地方に於ける住宅問題、土地利用の問題、幹線道路の開發、慰樂休養施設、公私の財政及都市生活上のあらゆる問題解決への長路に向つて行進するであらう事は疑ひもない事である。（龜井幸次郎）

* 歐洲諸都市の大都市保存地域の例としては大略次の種類を引用し得る；即ち、ストツクホルム 20.000英町; Hilesingfors 13.000英町; ベルリン—市内5.500英町—市外47.000英町; フランクフルトアムマイン16.000英町；コペンハーゲン、建築用地としては市及郊外總面積の½をそして郊外では市の約2倍の面積を市が所有する；ヘーグ約4.400英町、市面積の約45%に相當する；マンチエスターの Wythenshaw, は住宅地開發として郊外に開放された土地 3.500 英町の市有保存地によつて構成されてゐる。

防空法關係法令

法律第四十七號

防空法

第一條　本法ニ於テ防空ト稱スルハ戰事又ハ事變ニ際シ航空機ノ來襲ニ因リ生ズベキ危害ヲ防止シ又ハ之ニ因ル被害ヲ輕減スル爲陸海軍ノ行フ防衞ニ則應シテ陸海軍以外ノ者ノ行フ燈火管制消防、防毒、避難及救護竝ニ此等ニ關シ必要ナル監視、通信及警報ヲ、防空計畫ト稱スルハ防空ノ實施及之ニ關シ必要ナル設備又ハ資材ノ整備ニ關スル計畫ヲ謂フ

第二條　防空計畫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム以下之ニ同ジ）又ハ地方長官ノ指定スル市町村長防空委員會ノ意見ヲ徵シ之ヲ設定シ主務大臣又ハ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第三條　主務大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ規模大ナル事業又ハ施設ニシテ防空上特ニ必要アルモノニ付行政廳ニ非ザル者ヲ指定シテ防空計畫ヲ設定セシムルコトヲ得

前項ノ防空計畫ハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第四條　防空計畫ノ設定者ハ其ノ防空計畫ニ基キ防空ヲ實施シ又ハ防空ノ實施ニ關シ必要ナル設備若ハ資材ノ整備ヲ爲スベシ

第五條　地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ防空計畫ニ基キ特殊施設ノ管理者又ハ所有者ヲシテ防空ノ實施ニ關シ必要ナル設備若ハ資材ノ整備ヲ爲サシメ又ハ防空ノ實施ニ際シ必要ナル設備若ハ資材ヲ供用セシムルコトヲ得

第六條　地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ特殊技能ヲ有スル者ヲシテ防毒、救護其ノ他防空ノ實施ニ從事セシムルコトヲ得

第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ハ其ノ從業者ヲシテ防空ノ實施ニ從事セシムルコトヲ得

第七條　防空ノ實施ノ開始及終止ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條　燈火管制ヲ實施スル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ實施區域內ニ於ケル光ヲ發スル設備又ハ裝置ノ管理者又ハ之ニ準ズベキ者ハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ其ノ光ヲ秘匿スベシ

第九條　防空ノ實施ニ際シ緊急ノ必要アルトキハ地方長官又ハ市町村長ハ他人ノ土地若ハ家屋ヲ一時使用シ物件ヲ收用若ハ使用シ又ハ防空ノ實施區域內ニ在ル者ヲシテ防空ノ實施ニ從事セシムルコトヲ得

行政執行法第五條及第六條ノ規定竝ニ之ニ基キテ發スル命令ハ前項ノ規定ニ基キテ爲ス處分ニ依リテ負フ義務ノ履行ヲ市町村長ガ强制スル場合ニ之ヲ準用ス

第十條　主務大臣ハ防空計畫ノ設定者ニ對シ防空計畫ノ全部又ハ一部ニ基キ防空ノ訓練ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ防空ノ訓練ヲ爲ス場合ニ於テハ第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ハ其ノ從業者ヲシテ防空ノ訓練ニ從事セシムルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ燈火管制ノ訓練ヲ爲ス場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ訓練區域內ニ於ケル光ヲ發スル設備又ハ裝置ノ管理者又ハ之ニ準ズベキ者ハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ其ノ光ヲ秘匿スベシ

第十一條　防空ニ關スル調査ノ爲必要アルトキハ主務大臣地方長官又ハ市町村長ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ關係者ニ對シ資料ノ提出ヲ命ジ又ハ官吏若ハ吏員ヲシテ關係アル場所ニ立入リ檢査ヲ爲サシムルコトヲ得但シ私人ノ邸宅竝ニ業務上ノ秘密ニ屬スル事項及設備ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依リ立入ル場合ニ於テハ其ノ旨豫メ其ノ場所ノ管理者ニ通知スベシ

當該官吏又ハ吏員第一項ノ規定ニ依リ關係アル場所ニ立入ル場合ハ其ノ證票ヲ携帶スベシ

第十二條　第六條又ハ第九條第一項ノ規定ニ依リ防空ノ實施ニ從事スル者之ガ爲傷痍ヲ受ケ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル場合ニ於テハ地方長官、市町村長又ハ第三條第一項ヲ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ本人又ハ其ノ葬祭ヲ行フ者ニ對シ療養又ハ葬祭ニ要スル費用ヲ給スベシ

第十三條　地方長官第五條ノ規定ニ依リ防空ノ實

施ニ際シ必要ナル設備若ハ資材ヲ供用セシメ又ハ地方長官若ハ市町村長第九條第一項ノ規定ニ依リ土地家屋物件ヲ收用若ハ使用スル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ損失ヲ補償スベシ

前項ノ規定ニ依リ補償ヲ受クベキ者補償ニ付不服アルトキハ其ノ金額ノ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ供用、收用又ハ使用ノ後六月ヲ經過シテ補償金額ノ決定ノ通知ヲ受ケザルトキハ其ノ期間經過シタル日ヨリ六月以內ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十四條　地方長官第六條第一項ノ規定ニ依リ特殊技能ヲ有スル者ヲシテ防空ノ實施ニ從事セシメ又ハ第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者第六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ從業者ヲシテ防空ノ實施ニ從事セシムル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ實費ヲ辨償スベシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ實費辨償ニ之ヲ準用ス

第十五條　防空計畫ノ設定、防空ノ實施、防空ノ實施ニ關シ必要ナル設備若ハ資材ノ整備、第十條第一項ノ規定ニ依ル防空ノ訓練又ハ第十二條ノ規定ニ依ル給與ヲ爲スニ要スル費用ハ地方長官之ヲ爲ス場合ニ於テハ北海道又ハ府縣、市町村長之ヲ爲ス場合ニ於テハ市町村、第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者之ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ者ノ負擔トス

特殊施設ノ管理者又ハ所有者第五條ノ規定ニ依リ設備又ハ資材ノ整備ヲ爲スニ要スル費用ハ其ノ者ノ負擔トス

第十六條　防空委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條　國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ左ノ諸費ニ對シ其ノ二分ノ一以內ヲ補助ス

一　第十五條第一項ノ規定ニ依リ北海道、府縣、市町村又ハ第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ノ負擔スル費用

二　第十五條第二項ノ規定ニ依リ特殊施設ノ管理者又ハ所有者ノ負擔スル費用

三　防空委員會ニ關シ北海道、府縣又ハ市町村ノ負擔スル費用

第十八條　特殊技能ヲ有スル者故ナク第六條第一項ノ規定ニ依ル地方長官ノ命令ニ從ハザルトキハ三月以下ノ徵役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條　第八條ノ規定ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金、拘留又ハ科料ニ處ス

故ナク第十一條第一項ノ規定ニ依ル資料ノ提出ヲ拒ミ若ハ虛僞ノ資料ヲ提出シ又ハ當該官吏若ハ吏員ノ立入檢查ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者亦前項ニ同ジ

第二十條　町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長ト看做ス

町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準ズベキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準ズベキ者ニ之ヲ適用ス

第二十一條　國ニ於テ管理スル施設ニ關スル防空ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第二十二條　本法ヲ朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ施行スル場合ニ於テ必要アルトキハ勅令ヲ以テ特別ノ定ヲ爲スコトヲ得

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

昭和十二年九月二十八日　勅令第五百四十八號

防空法ハ昭和十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年九月二十八日　勅令第五百四十九號

防空法施行令

第一條　地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム以下之ニ同ジ）ハ道府縣ノ全區域又ハ數市町村ノ區域ニ亘リ計畫スベキ事項其ノ他必要ト認ムル事項ニ關シ防空計畫ヲ設定スベシ

前項ノ防空計畫ハ道府縣防空委員會ノ意見ヲ徵シ之ヲ設定シ內務大臣ノ認可ヲ受クベシ

防空法第二條ノ規定ニ依リ指定セラレタル市町村長ハ市町村ノ區域內ニ於テ計畫スベキ事項其ノ他必要ト認ムル事項ニ關シ防空計畫ヲ設定スベシ

前項ノ防空計畫ハ市町村防空委員會ノ意見ヲ徵シ之ヲ設定シ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第二條　防空法第三條第一項ノ事業又ハ施設ハ工場、鑛山、鐵道、軌道、無線電信、無線電話又ハ電氣、瓦斯、海運若ハ航空ニ關スル事業若ハ施設トス

第三條　防空法第五條ノ規定ニ依リ整備ヲ爲サシ

ムルコトヲ得ベキ設備又ハ資材ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　電氣工作物、工場、鑛山、鐵道、軌道、診療所ノ類ニ付テハ燈火管制ニ關シ必要ナルモノ

二　水道、下水道、瓦斯工作物、石油タンク、工場、鑛山ノ類ニ付テハ消防ニ關シ必要ナルモノ

三　劇場、診療所、百貨店、地下ニ敷設シタル鐵道又ハ軌道、地下室ヲ有スル建築物ノ類ニ付テハ防毒、避難又ハ救護ニ關シ必要ナルモノ

防空法第五條ノ規定ニ依リ供用セシムルコトヲ得ベキ設備又ハ資材ハ左ノ各號ニ掲グモノトス

一　高層建築物ノ類ニ付テハ監視ニ關シ必要ナルモノ

二　號報器ヲ有スル施設ニ付テハ警報ニ關シ必要ナルモノ

三　學校、集會場、劇場、診療所、百貨店、地下ニ敷設シタル鐵道又ハ軌道、地下室ヲ有スル建築物、避難上有效ナル空地ヲ有スル工場其ノ他ノ建築物、運動場ノ類ニ付テハ防毒、避難又ハ救護ニ關シ必要ナルモノ

第四條　防空法第六條第一項ノ特殊技能ヲ有スル者ハ左ノ各號ニ掲グル者トス

一　醫師、齒科醫師、獸醫師、藥劑師及看護婦

二　防空ニ關スル技能ニ付特殊ノ教育訓練ヲ受ケタル者ニシテ內務大臣ノ認可ヲ受ケ地方長官ノ定ムルモノ

防空法第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ノ從業者ニシテ其ノ防空計畫ニ基キ防空ノ實施ニ從事スベキモノ其ノ他正當ノ事由アル者ハ同法第六條第一項ノ規定ニ依リ防空ノ實施ニ從事セシムルコトヲ得ズ

第五條　防空ノ實施ノ開始及終止ハ內務大臣之ヲ命ズ

前項ノ命令ハ關係アル地方長官及防空法第三條第一項ノ防空計畫ノ設定者ニ對シテハ內務大臣、關係アル市町村長ニ對シテハ內務大臣ノ通知ニ依リ地方長官之ヲ發ス

內務大臣第一項ノ命令ヲ爲スニ付テハ其ノ時期及區域ニ關シテハ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ通知ニ依ルベシ

第六條　前條ノ規定ニ依リ防空ノ實施ノ開始命令アリタルトキハ防空計畫ノ設定者ハ監視及之ニ伴フ通信ニ關シテハ直ニ之ヲ實施シ防空上必要ナル其ノ他ノ事項ニ關シテハ其ノ準備ヲ爲シ適宜之ヲ實施スベシ

監視及之ニ伴フ通信ハ前條ノ規定ニ依リ防空ノ實施ノ終止命令アル迄之ヲ繼續スベシ

第七條　防空ヲ實施スル場合ニ於テ航空機ノ來襲ニ關シテハ左ノ各號ノ區分ニ依リ防空警報ヲ發ス

一　警戒警報　航空機ノ來襲ノ虞アル場合

二　警戒警報解除　航空機ノ來襲ノ虞ナキニ至リタル場合

三　空襲警報　航空機ノ來襲ノ危險アル場合

四　空襲警報解除　航空機ノ來襲ノ危險ナキニ至リタル場合

當該區域ノ防衞ヲ擔任スル防衞司令官、師團長、要塞司令官、鎭守府司令長官若ハ要港部司令官（以下陸海軍司令官ト稱ス）又ハ其ノ指定スル者ノ發スル防空警報ヲ以テ前項ノ防空警報トス

第八條　防空法第十一條第一項ノ關係者ハ第二條ニ掲グル事業若ハ施設又ハ第三條ニ掲グル特殊施設ノ管理者又ハ所有者トシ關係アル場所ハ此等ノ者ノ管理又ハ所有スル土地及建物其ノ他ノ工作物トス

防空法第十一條第三項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

第九條　防空法第十二條ノ規定ニ依ル療養又ハ葬祭ニ要スル費用ハ防空ノ實施ニ從事セシメタル者ニ於テ之ヲ給スベシ

前項ノ費用ノ支給ニ關シ必要ナル事項ハ地方長官又ハ防空法第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ニ在リテハ內務大臣、市町村長ニ在リテハ地方長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムベシ

第十條　防空法第十三條ノ規定ニ依リ補償スベキ損失ハ通常生ズベキ損失ニ限ル

第十一條　防空法第十四條ノ規定ニ依ル實費辨償ニ關シ必要ナル事項ハ地方長官又ハ同法第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者內務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ム

第十二條　防空法第十七條ノ規定ニ依ル國庫補助ハ支出精算額ニ對シ之ヲ爲ス但シ寄附金其ノ他ノ收入アルトキハ之ヲ控除シタル額ニ對シ補助ス

前項ノ規定ニ依リ交付シタル國庫補助金ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ返還セシムルコトヲ得

一　設備又ハ資材ヲ廢棄又ハ變更シ當初ノ目的

（別記様式）表面　日本標準規格第九十二號B列八番（64mm×91mm）

第　號

年　月　日交付

防空法第十一條第三項ノ規定ニ依ル證票

主務省、廳府縣
又ハ市町村　印

官職
氏名

裏面

防空法摘要

第十一條　防空ニ關スル調査ノ爲必要アルトキハ主務大臣、地方長官又ハ市町村長ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ關係者ニ對シ資料ノ提出ヲ命ジ又ハ官吏若ハ吏員ヲシテ關係アル場所ニ立入リ檢査ヲ爲サシムルコトヲ得但シ私人ノ邸宅竝ニ業務上ノ秘密ニ屬スル事項及設備ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依リ立入ル場合ニ於テハ其ノ旨豫メ其ノ場所ノ管理者ニ通知スベシ

當該官吏又ハ吏員第一項ノ規定ニ依リ關係アル場所ニ立入ル場合ハ其ノ證票ヲ携帶スベシ

第十九條　第八條ノ規定ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金、拘留又ハ科料ニ處ス

故ナク第十一條第一項ノ規定ニ依ル資料ノ提出ヲ拒ミ若ハ虚僞ノ資料ヲ提出シ又ハ當該官吏若ハ吏員ノ立入檢査ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者亦前項ニ同ジ

防空法施行令摘要

第八條　防空法第十一條第一項ノ關係者ハ第二條ニ揭グル事業若ハ施設又ハ第三條ニ揭グル特殊施設ノ管理者又ハ所有者トシ關係アル場所ハ此等ノ者ノ管理又ハ所有スル土地及建物其ノ他ノ工作物トス

防空法第十一條第三項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

第十三條　防空法第三條及第十條ノ主務大臣ハ内務大臣、同法第十一條ノ主務大臣ハ内務大臣、陸軍大臣又ハ海軍大臣トス

ヲ達シ得ザルニ至リタルトキ

二　補助金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

第十三條　防空法第三條及第十條ノ主務大臣ハ内務大臣、同法第十一條ノ主務大臣ハ内務大臣、陸軍大臣又ハ海軍大臣トス

第十四條　陸海軍司令官ハ監視網構成ノ概要ニ付及陸海軍ノ行フ防衛ノ必要上使用ヲ禁止又ハ制限スルコトアルベキ土地建物ニ付防空計畫ノ設定上必要ナル事項ヲ防空計畫ノ設定者ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ之ニ準據シテ防空計畫ヲ設定スベシ

第十五條　防空計畫ノ認可ヲ爲ス場合ニ於テ陸海軍ノ行フ防衛ニ則應セシムル爲必要アル事項ニ關シテハ内務大臣ハ陸軍大臣及海軍大臣ニ、地方長官ハ陸海軍司令官ニ協議スベシ

第十六條　左ニ揭グル事項ニ關シテハ内務大臣ハ關係各大臣ニ、地方長官ハ關係地方官廳ニ協議スベシ

一　防空計畫ノ認可ヲ爲ス場合ニ於テ當該計畫中國ニ於テ管理スル土地家屋物件ノ使用ニ關スル事項

二　防空計畫ノ認可ヲ爲ス場合ニ於テ設備又ハ資材ノ整備又ハ供用ニシテ他ノ法令ニ依リ認可又ハ許可ヲ要スルモノニ關スル事項

三　防空法第三條第一項ノ規定ニ依ル指定及同條第二項ノ規定ニ依ル認可

四　設備又ハ資材ノ整備又ハ供用ニシテ他ノ法令ニ依リ認可又ハ許可ヲ要スルモノニ關スル防空法第五條ノ規定ニ依ル命令

五　防空法第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者ニ對スル同法第十條第一項ノ規定ニ依ル命令

第十七條　町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ本令ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長ト看做ス

町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ本令中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準ズベキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準ズベキ者ニ之ヲ適用ス

附　則

本令ハ防空法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年九月二十八日　勅令第五百五十號

官廳防空令

第一條　本令ニ於テ官廳防空計畫ト稱スルハ國ニ於テ管理スル施設ニ關スル防空ノ實施及之ニ關シ必要ナル設備又ハ資材ノ整備ニ關スル計畫ヲ謂フ

第二條　內閣總理大臣又ハ各省大臣（陸軍大臣及海軍大臣ヲ除ク以下之ニ同ジ）ハ自ラ官廳防空計畫ヲ設定シ又ハ其ノ監督ニ屬スル行政官廳ニシテ必要アリト認ムルモノヲ指定シ官廳防空計畫ヲ設定セシムベシ

內閣總理大臣又ハ各省大臣ノ設定スル官廳防空計畫ハ內務大臣、陸軍大臣及海軍大臣ニ、其ノ他ノ行政官廳ノ設定スル官廳防空計畫ハ地方長官及防空法施行令第七條ノ陸海軍司令官ニ協議スベシ

第三條　官廳防空計畫ノ設定者ハ其ノ防空計畫ニ基キ防空ヲ實施シ又ハ防空ノ實施ニ關シ必要ナル設備若ハ資材ノ整備ヲ爲スベシ

第四條　內務大臣ハ防空法施行令第五條ノ規定ニ依リ防空ノ實施ノ開始又ハ終止ヲ命ズルトキハ同時ニ內閣總理大臣及各省大臣ニ其ノ旨通知スベシ

內務大臣前項ノ通知ヲ爲シタルトキ又ハ內閣總理大臣及各省大臣前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ監督ニ屬スル關係アル官廳防空計畫ノ設定者ニ其ノ旨通知スベシ

前二項ノ通知アリタル場合ニ於テ防空ノ實施ノ開始及終止ニ關シテハ防空法施行令第六條ノ規定ヲ準用ス

第五條　國ニ於テ管理スル施設（陸海軍ノ官衙學校ヲ除ク）ニ關スル燈火管制ノ實施及訓練ニ關シテハ防空法第八條及第十條第三項ノ規定竝ニ之ニ基キテ發スル命令ノ規定ヲ準用ス但シ之ニ依リ難キ事項ニ關シテハ內閣總理大臣又ハ各省大臣ハ內務大臣、陸軍大臣及海軍大臣ニ協議シ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第六條　內閣總理大臣及各省大臣ハ其ノ監督ニ屬スル官廳防空計畫ノ設定者ニ對シ防空計畫ノ全部又ハ一部ニ基キ防空ノ訓練ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

附　則

本令ハ防空法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年九月三十日
勅令第五百六十號

內務省官制中左ノ通改正ス

第一條中「都市計畫」ヲ「都市計畫、防空」ニ改ム

第二條中「都市計畫及防空」ヲ削ル

第三條中「十五人」ヲ「十七人」ニ改ム

第四條中「五局」ヲ「六局」ニ改メ「衞生局」ノ次ニ「計畫局」ヲ加フ

第九條　計畫局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　都市計畫ニ關スル事項

二　防空ニ關スル事項

第十條中「專任內務事務官十八人」ヲ「專任內務事務官二十一人」ニ改ム

第十二條第一項中「專任技師十七人」ヲ「專任技師二十一人」ニ、同條第二項中「專任屬及專任技手通ジテ百九十六人」ヲ「專任屬及專任技手通ジテ二百十九人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參　照〕

明治三十一年十月二十二日公布勅令第二百五十九號內務省官制抄錄

第一條　內務大臣ハ神社、地方行政、議員選擧、警察、土木、衞生、都市計畫、地理、出版、著作權及拓殖ニ關スル事務ヲ管理シ警視總監、北海道廳長官及府縣知事ヲ監督ス

第二條　大臣官房ニ於テハ通則ニ揭グルモノノ外褒賞、都市計畫及防空ニ關スル事務ヲ掌ル

第三條　內務省專任書記官ハ十五人ヲ以テ定員トス

第四條　內務省ニ左ノ五局ヲ置ク（左記略ス）

第九條　削　除

昭和十二年九月三十日　勅令第五百六十一號

內務部內臨時職員設置制中左ノ通改正ス

第三條ノ四　削　除

第三條ノ五第一項中「內務事務官　專任十一人內一人ヲ勅任トス爲スコトヲ得」ヲ「內務書記官　專任一人、內務事務官　專任十二人內一人ヲ勅任トス爲スコトヲ得」ニ、「屬專任　四十一人」ヲ「屬專任　四十五人」ニ改メ「警務官　五人」ノ次ニ「內務理事官　專任一人」ヲ加フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參　照〕

大正九年九月十日公布勅令第三百六十九號
内務部内臨時職員設置制抄錄

第三條ノ四　防空ニ關スル事務ニ從事セシムル爲
内務省ニ左ノ職員ヲ置キ大臣官房ニ屬セシム

内務事務官	專任一人
屬	專任二人
技　手	專任二人

昭和十二年九月三十日　勅令第五百六十二號

警視廳官制中左ノ通改正ス

第一條第一項中「事務官　專任六人」ヲ「事務官　專任七人」ニ、「技師　專任十四人」ヲ「技師　專任十六人」ニ、「警部　專任百九十人」ヲ「警部　專任百九十二人」ニ、「屬　專任局七十一人ヲ「屬　專任百七十三人」ニ、「技手　專任四十一人」ヲ「技手　專任四十三人」ニ改ム

第十二條中警務部ノ部ニ左ノ一號ヲ加フ

二　防空ニ關スル事項

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參　照〕

大正二年六月十三日公布勅令第百四十九號
警視廳官制抄錄

第十二條　警視廳ニ部ヲ置キ事務ヲ分掌セシムルコト左ノ如シ

警務部

（左記略ス）

昭和十二年九月三十日　勅令第五百六十三號

北海道廳官制中左ノ通改正ス

第一條第一項中「屬　專任二百三十人」ヲ「屬　專任二百三十二人」ニ、「警部　專任八十六人」ヲ「警部　專任八十八人」ニ、「技手　專任九十九人」ヲ「技手　百人」ニ改ム

第十二條第六項第二號ヲ第三號トシ以下順次繰下ゲ同項第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

二　防空ニ關スル事項

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參　照〕

大正二年六月十三日公布勅令第百五十號
北海道廳官制抄錄

第十二條第六項

警察部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

（左記略ス）

昭和十二年九月三十日　勅令第五百六十四號

地方官官制中左ノ通改正ス

第一條第一項中「地方事務官　專任三百七十人」ヲ「地方事務官　專任三百七十七人」ニ、「地方警視　專任三百十五人」ヲ「地方警視　專任三百十六人」ニ、「地方技師　專任三百九人」ヲ「地方技師　專任三百十五人」ニ、「屬　專任二千八百五十人」ヲ「屬　專任二千八百八十一人」ニ、「警部　專任千四百十二人」ヲ「警部　專任千四百六十四人」ニ、「技手　專任千百十三人」ヲ「技手　專任千百二十五人」ニ改ム

第十五條第二項中「前項ノ外」ノ下ニ「防空及」ヲ加フ

第十六條中第二號ヲ第三號トシ以下順次繰下ゲ第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

二　防空ニ關スル事項

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參　照〕

大正二年六月十三日公布勅令第百四十七號
地方官官制抄錄

第十五條　學務部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

（左記略ス）

東京府ノ學務部ニ於テハ前項ノ外衞生ニ關スル事務ヲ掌ル

第十六條　警察部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

（左記略ス）

鐵鋼工作物築造許可規則

昭和十二年十月十一日商工省令第二十四號

第一條　鐵筋「コンクリート」造、鐵骨ヲ有スル鐵筋「コンクリート」造、鐵骨造又ハ鐵造ノ工作物（建築物ヲ含ム以下同ジ）ヲ築造セントスル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クベシ但シ商工大臣ノ指定スル工作物又ハ構造用トシテ使用スル鐵鋼ノ數量五十瓲以下ノ工作物ノ築造ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二條　前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ次ニ揭グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ地方長官ニ提出スベシ

一　工作物ノ位置
二　工作物ノ用途
三　築造ヲ必要トスル事由
四　構造ノ種別
五　設計及工事計畫ノ概要
六　建築物ナルトキハ其ノ高サ、階數及各階ノ面積
七　構造用トシテ使用スル鐵鋼ノ種類及數量
八　工事着手及竣工ノ豫定時期
九　請負人アルトキハ請負人ノ氏名名稱

第三條　前條第一號、第二號、第四號、第六號及第七號ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ地方長官ノ許可ヲ受クベシ

第四條　地方長官ハ第一條ノ許可ヲ爲ス場合ニ於テ構造用トシテ使用スル鐵鋼ノ數量ノ制限ヲ爲ス事ヲ得

第五條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ工事竣工シタルトキハ遲滯ナク之ヲ地方長官ニ届出ヅベシ

第六條　第一條但書ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル工作物ヲ築造シタル者（當該工作物ノ承繼人ヲ含ム）其ノ用途ヲ其ノ竣工後一年以内ニ同條ノ許可ヲ要スル工作物ノ用途ニ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ地方長官ノ許可ヲ受クベシ同條ノ許可ヲ受ケ工作物ヲ築造シタル者（當該工作物ノ承繼人ヲ含ム）其ノ用途ヲ其ノ竣工後一年以内ニ同條ノ許可ヲ要スル他ノ工作物ノ用途ニ變更セントスルトキ亦同ジ

第七條　構造用トシテ使用スル鐵鋼ノ數量五十瓲以下ノ工作物ヲ築造セントスル者ハ工事ノ着手前第二條各號ニ揭グル事項ヲ地方長官ニ届出ヅベシ

附　則

本則ハ昭和十二年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス

本則施行ノ際現ニ工事中ノ工作物ニシテ既ニ基礎工事ヲ終了シタルモノニハ本則ヲ適用セズ但シ本則施行ノ日ヨリ二週間以内ニ當該工作物ニ付第二條各號ニ揭グル事項ヲ地方長官ニ届出ヅル事ヲ要ス

本則施行ノ際現ニ工事中ノ第一條ノ許可ヲ受クベキ工作物ニシテ前項ノ規定ニ該當セザルモノニ付テハ本則施行後二週間以内ニ第二條ノ許可申請書ニ本則施行ノ際ニ於ケル工事進捗ノ程度ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ提出スベシ

商工省告示第百十號

鐵鋼工作物築造許可規則第一條但書ノ規定ニ依リ許可ヲ要セザル工作物ノ種類左ノ通指定ス

昭和十二年十月十一日　商工大臣　吉野　信次

左ニ揭ゲル事業ノ用ニ供スル製煉場、選鑛場、工場、鐵塔、柵道、岸壁、棧橋、起重機、タンク、倉庫、給水設備、排水設備其ノ他之ニ準ズル工作物

一　採鑛業並ニ金屬製煉業及製鐵業（普通鋼材製造業ニシテ製鋼又ハ壓延ノ設備ノミヲ以テ營ムモノヲ除ク）
二　明礬石、礬土頁岩、粘土（カーキサイトヲ含ム）、マグネサイト、ドロマイト、耐火粘土、硅石、蛍石又ハ酸性白土ノ採取業
三　輕合金又ハ可鍛鐵鑄物ノ製造業
四　蹄釘、錨鎖又ハドラム罐ノ製造業
五　自動車用瓦斯發生裝置、ガソリン機關、重油機關、電信電話機械器具（家庭用ラヂオ用具ヲ除ク）、採鑛機械器具、選鑛機械器具、製煉機械器具、化學工業用機械器具、氣體壓縮機、球軸受又ハ防毒具ノ製造業及工作機械器具（製材及木工機械ヲ除ク）、機關車、貨車、自動車、鋼船若ハ航空機又ハ同部分品若ハ同附屬品ノ製造業
六　兵器又ハ同部分品若ハ同附屬品ノ製造業
七　硫酸、硝酸、壓縮アンモニア瓦斯、石炭酸、メタノール、グリセリン、硝酸アンモン、人造クリオリツト、アセトン、染料中間物其ノ他ノ

コールタール分溜物誘導體、火藥、爆藥、導火索、人造石油（頁岩油ヲ含ム）、コークス（セミコークスヲ含ム）、コールタール分溜物、代用液體燃料、硫酸アンモニア、研磨材料、電氣用カーボン又ハ活性炭ノ製造業及石油精製業

八　光學ガラス、强化ガラス、安全カラス、船燈用着色ガラス又ハ耐火煉瓦ノ製造業

九　電氣供給事業（本告示ニ揭グル事業ニ必要ナル電力ヲ供給スルモノニ限ル）

十　石油輸入業

十一　海運業（沿岸航路ノモノヲ除ク）及航空業

鐵鋼工作物築造許可規則施行細則

昭和十二年十月二十日　**大阪府令第百一號**

第一條　本則ニ於テハ鐵鋼工作物築造許可規則ヲ規則、同則第一條但書ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル工作物ヲ甲種工作物、構造用トシテ使用スル鐵鋼ノ數量五十瓲以下ノ工作物ヲ乙種工作物ト稱ス

第二條　規則第一條ノ許可ニ關シテハ一築造計畫ヲ一單位トシテ取扱フ

第三條　規則第二條第七號ノ鐵鋼ノ種類ハ左ノ區別ニ依リ記載スベシ

一　棒鋼
二　形鋼
三　軌條
四　鋼矢板
五　鋼板
六　鐵鋼管筒
七　其ノ他ノ鐵鋼材

第四條　當該工作物ノ築造ニ關シ臨時資金調整法其ノ他ノ法令ニ依リ主務大臣ノ許可又ハ認可ヲ受ケタル者（金融機關又ハ證券引受業者ガ許可ヲ受ケタル塲合ヲ含ム）ハ之ヲ證スルニ足ル書類ヲ規則第一條若ハ規則第三條ノ許可申請書又ハ本則第七條若ハ本則第八條ノ届書ニ添附スベシ

第五條　規則第一條及規則第三條ノ許可申請書及規則第七條、規則附則第二項、本則第七條及本則第八條ノ届書ニハ工作物ノ配置圖、各階平面圖及主要機械設備ノ配置圖ヲ添附スベシ

第六條　規則第一條、規則第三條及規則附則第三項ノ許可申請書ハ正副二通ヲ提出スベシ

第七條　甲種工作物ヲ築造セントスル者ハ工事著手前規則第二條各號ニ揭グル事項ヲ届出ヅベシ

第八條　甲種工作物又ハ乙種工作物ニ付工事竣工前規則第二條第一號、第二號、第四號、第六號及第七號ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ之ヲ届出ヅベシ

第九條　甲種工作物又ハ乙種工作物ノ工事竣工シタルトキハ遲滯ナク之ヲ届出ヅベシ

第十條　規則第一條ノ許可ヲ受ケタル者又ハ規則第七條、規則附則第二項、本則第二條若ハ本則附則第三項ノ届出ヲ爲シタル者ニハ證票ヲ交付ス

當該官吏又ハ吏員工事現塲ニ於テ前項ノ證票ノ提示ヲ求メタルトキハ之ヲ提示スベシ

第十一條　監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏又ハ吏員ヲシテ工作物又ハ工事現塲ニ臨檢セシムルコトアルベシ

第十二條　左記各號ノ一ニ該當スル者ハ科料ニ處ス

一　第七條、第八條、第九條若ハ附則第三項ノ届出ヲ爲サズ又ハ虛僞ノ届出ヲ爲シタル者
二　第十一條ノ臨檢ヲ拒ミタル者

附　則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

規則施行ノ際現ニ工事中ニシテ既ニ基礎工事ヲ終了シタル甲種工作物及乙種工作物ニハ本則第八條及第九條ノ規定ヲ適用セズ

規則施行ノ際現ニ工事中ニシテ未ダ基礎工事ヲ終了セザル甲種工作物及乙種工作物ニ付テハ本則施行ノ日ヨリ二週間以内ニ規則第二條各號ニ揭グル事項、本則第五條ニ揭グル圖面及規則施行ノ際ニ於ケル工事進捗ノ程度ヲ届出ヅベシ

〔參照〕輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件

昭和十二年九月九日法律第九十二號

第一條　政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲ニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ物品ヲ指定シ輸出又ハ輸入ノ制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第二條　政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲ニ必要アリト認ムルトキハ輸入

ノ制限其ノ他ノ事由ニ因リ需給關係ノ調整ヲ必要トスル物品ニ付左ノ措置ヲ爲スコトヲ得

一　命令ノ定ムル所ニ依リ當該物品ヲ原料トスル製品ノ製造ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ制限ヲ爲スコト

二　當該物品又ハ之ヲ原料トスル製品ノ配給、讓渡、使用又ハ消費ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコト

第三條　政府ハ第一條ノ制限若ハ禁止又ハ前條ノ命令若ハ處分ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

第四條　第一條ノ規定ニ依リテ爲ス制限又ハ禁止ニ違反シテ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テハ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル物品ニシテ犯人ノ所有シ又ハ所持スルモノヲ沒收スルコトヲ得若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徵スルコトヲ得

第五條　第二條ノ規定ニ依ル命令若ハ處分又ハ其ノ命令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第六條　第三條ノ規定ニ違反シ報告ヲ爲サズ、虛僞ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ政府ニ提出スル許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虛僞ノ記載ヲ爲シタル者亦同ジ

第七條　法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ前三條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦前三條ノ罰金刑ヲ科ス

第八條　本法ノ罰則ハ本法施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ之ヲ適用ス本法施工地ニ住所ヲ有スル人又ハ其ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニ付亦同ジ

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ支那事變終了後一年內ニ之ヲ廢止スルモノトス

鐵鋼工作物築造許可規則運用ニ關スル商工省ヨリノ指示事項抄

○　第一條ノ構造用トシテ使用スル鐵鋼トハ主要構造部ニ使用スル鐵鋼ノ謂ニシテ釘、ブリキ、鐵製窓枠等ヲ含マザルコト

○　昭和十二年商工省告示第百十號ノ築造許可ヲ要セザル工作物ハ同告示各號ニ揭グル事業ノ用ニ供スル工作物ニシテ同告示本文ニ揭グル工場設備其ノ他ノ堅固ナル構造ヲ必要トスルモノニシテ同告示各號ノ事業ノ用ニ供スルモノト雖モ例ヘバ事務所營業所等鐵筋コンクリート造築ノ構造ヲ必要トセザルモノヲ含マザルコト

○　第七條ノ構造用トシテ使用スル鐵鋼ノ數量五十瓲以下ノ工作物ノ屆出規定ハ本條ノ立法趣旨ニ鑑ミ鋼材使用三十瓲以上ノモノニ付適用スルコト

鐵鋼工作物築造許可規則施行期間中ニ於ケル建築認可申請書類取扱

例規建第二九號

昭和十二年十月二十三日

本規則施行期間中ニ於ケル右該當建築物ヲ建築セントスルモノニ對シ市街地建築物法令又ハ建築取締規則ニヨル認可ニ際シ別紙注意書ヲ建築認可副本ノ表面ニ貼付ノ上交付シ以テ關係法令ノ圓滑ナル運行ヲ期スルト共ニ建築主ヲシテ過誤ナラシメントス

注　意

本建築物ハ鐵鋼工作物築造許可規則ノ許可ヲ受ケタル後ニ非ザレバ工事ニ着手スルコトヲ得ズ

若シ之ニ違反セル場合ハ昭和十二年九月九日法律第九十二號輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件第五條ニ依リ一年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處セラルルコトアルベシ

參考條文抜萃

鐵鋼工作作築造許可規則第一條、鐵筋「コンクリート」造、鐵骨ヲ有スル鐵筋コンクリート造鐵骨造又ハ鐵造ノ工作物（建築物ヲ含ム以下同ジ）ヲ築造セントスル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クベシ（以下省略）

大阪府ニ於ケル鐵鋼工作物築造許可規則ニ依ル許可申請書及届書雛形

規則第一條ニ依ル許可申請書雛形

鐵鋼工作物築造許可願

左記之通何々（工作物ノ種類）ノ何々（工事ノ種類）致度候間御許可相成度別紙添付此段相願候也

年　月　日

住所

願人氏名印

大阪府知事宛

記

一　工作物ノ位置　大阪府　郡　町　番地

工作物長距離ニ渉ル者ニ在リテハ位置ヲ明示シタル地圖ヲ以テ之ニ代フ

二　工作物ノ用途　銑鑄物ノ製造

三　築造ヲ必要トスル理由

四　構造ノ種別　鐵骨造

五　設計及工事計畫ノ概要

六　建築物ノ高サ　尺

……

……

……

七　構造用トシテ使用スル鐵鋼ノ種類及數量（鐵筋材料、鐵骨材料ヲ區別）

形鋼　疋

……

……

八　工事着手豫定時期　昭和　年　月　日

工事竣工豫定時期　昭和　年　月　日

九　請負人　何　某

備考　許可申請書ハ正副二通提出ノコト

別紙ハ細則第四條ノ書類及細則第五條ノ圖面

規則第七條及細則第七條ニ依ル届書雛形

鐵鋼工作物築造着手届

（鐵鋼工作物築造許可規則第七條ノ分又ハ鐵鋼工作物築造許可規則施行細則第七條ノ分）

左記ノ通何々（工作物ノ種類）ノ何々（工事ノ種類）可致候間別紙添付此段及御届候也

年　月　日

住所

届人氏名印

大阪府知事宛

記

一　工作物ノ位置

……

……

備考　別紙ハ細則第五條ノ圖面細則第七條ノ分ニハ其ノ外細則第四條ノ書類

規則第三條ニ依ル許可申請書雛形

鐵鋼工作物築造計畫變更願

何年何月何日附工第何號ヲ以テ何々（工作物ノ種類）ノ何々（工事ノ種類）ニ付御許可相受候處左記事項變更致度候間御許可相成度別紙添付此段相願候也

年　月　日

住所

願人氏名印

大阪府知事宛

記

一　變更セントスル事項

一　工作物ノ位置

舊　大阪府　郡　町　番　地

新　大阪府　郡　町　番　地

二　工作物ノ用途

舊　紡績機械ノ製造

新　金屬用工作機械ノ製造

四　構造ノ種別

舊　鐵筋「コンクリート」造

新　鐵骨造

六　建築物ノ高サ

舊　尺

新　尺

……

……

七　構造用トシテ使用スル鐵鋼ノ種類及數量

舊　鐵筋　疋

新　鐵骨　疋

鐵筋　疋

一　變更ノ事由

……

備考　許可申請書ハ正副二通提出ノコト

別紙ハ細則第四條ノ書類、規則第二條第六號ニ掲グル事項ヲ變更セントスル場合ハ細

則第五條ノ圖面

細則第八條ニ依ル届書雛形

鐵鋼工作物築造計畫變更届

（鐵鋼工作物築造許可規則施行細則第八條ノ分）

何年何月何日何々（工作物ノ種類）ノ何々（工事ノ種類）ニ付御届致候處左記事項變更致度候間別紙添付此段及御届候也

年　月　日

住所

届人氏名印

大阪府知事宛

記

一　工作物ノ位置

……

……

備考　別紙ハ細則第四條ノ書類及細則第五條ノ圖面

規則第六條ニ依ル許可申請書雛形

其ノ一

鐵鋼工作物用途變更許可願

何年何月何日附ヲ以テ何々（工作物ノ種類）ノ何々（工事ノ種類）ニ付及何年何月何日附ヲ以テ右工事竣工ニ付御届致候處左記ノ通用途變更致度候間御許可相成度此段相願候也

年　月　日

住所

願人氏名印

大阪府知事宛

記

一　用途

舊　可鍛鐵鑄物ノ製造

新　普通銑鑄物ノ製造

一　變更ノ事由

……

其ノ二

鐵鋼工作物用途變更届

何年何月何日附工第何號ヲ以テ何々（工作物ノ種類）ノ何々（工事ノ種類）ニ付御許可相受何年何月何日附ヲ以テ右工事竣工ニ付御届致候處左記ノ通用途變更致度候間御許可相成度此段相願候也

年　月　日

住所

願人氏名印

大阪府知事宛

記

一　用途

……

……

一　變更ノ事由

……

……

規則第五條ニ依ル届書雛形

鐵鋼工作物築造竣工届

何年何月何日附工第何號ヲ以テ何々（工作物種ノ類）ノ何々（工事ノ種類）ニ付御許可相受候處何年何月何日竣工致候間此段及御届候也

年　月　日

住所

届人氏名印

大阪府知事宛

細則第九條ニ依ル届書雛形

鐵鋼工作物築造竣工届

何年何月何日附ヲ以テ何々（工作物ノ種類）ノ何何（工事ノ種類）ニ付御届致候處何年何月何日工事竣工致候間此段及御届候也

年　月　日

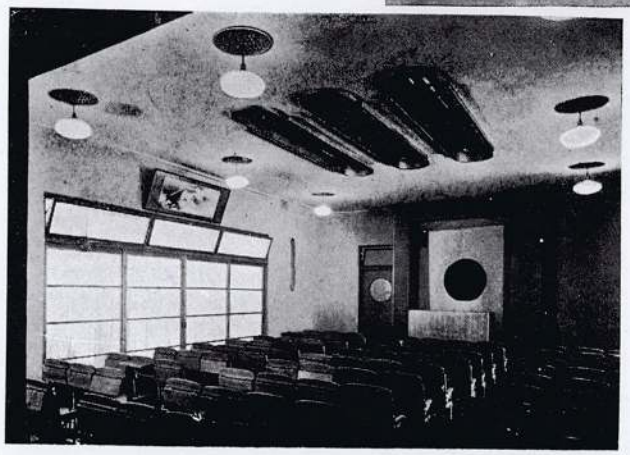
住所

届人氏名印

大阪府知事宛

外觀

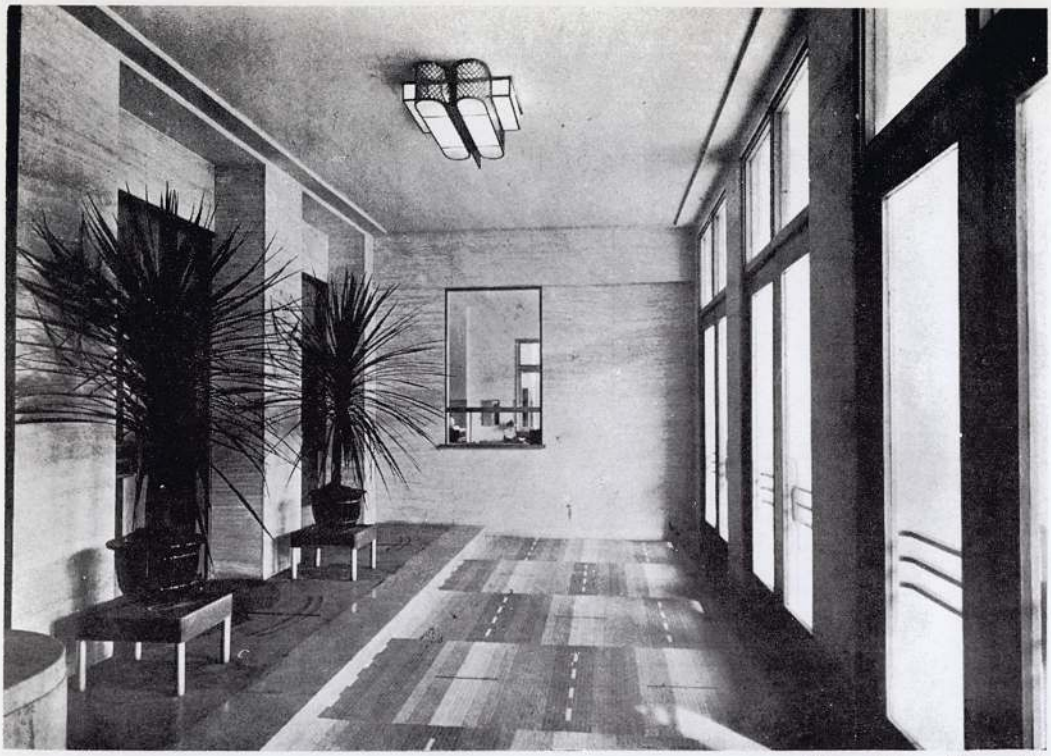




講堂

“大阪警察病院”

設計・木子七郎建築事務所・施工・安藤組



玄關內部



待合室

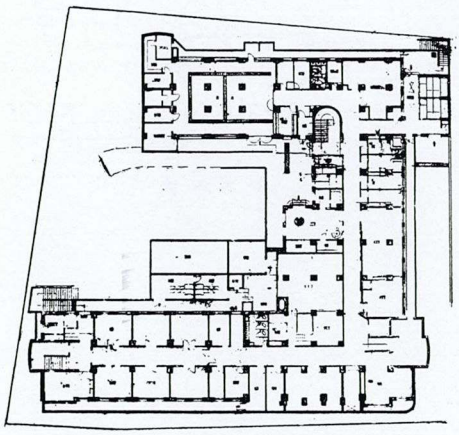


應　接　室

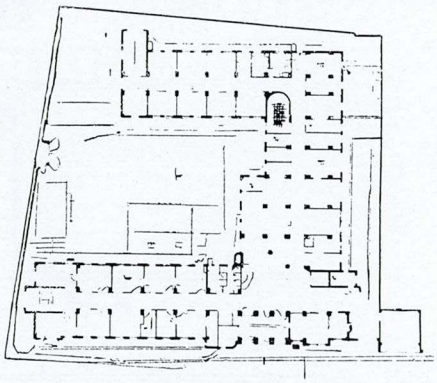
位　置　大阪市天王寺區小宮町 8番地
建　物

1. 構造並様式
本館は鐵筋コンクリート造地下一階地上五階建（一部六階建）にて素々「華を去り實を採る」を目標に專ら診療と患者の利便本位により設計したるもの

2. 敷地並建物坪數
敷　地＝1.083坪餘
本　館＝建坪453坪餘
延坪2.663坪餘
自動車々庫＝建坪14坪
動　物　舍＝建坪12坪



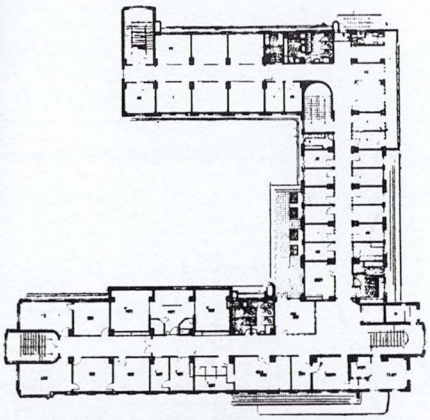
圖面平階地



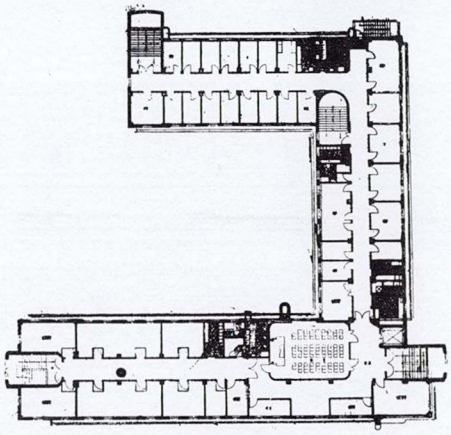
圖面平階一



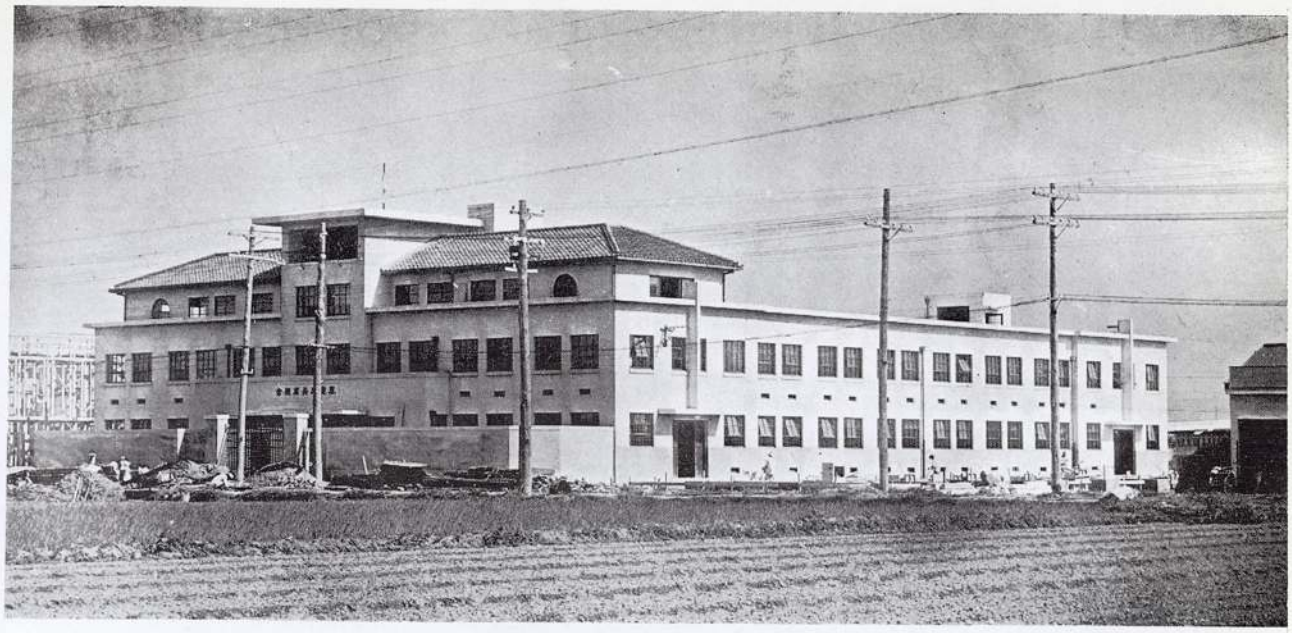
日　光　室



二階平面圖



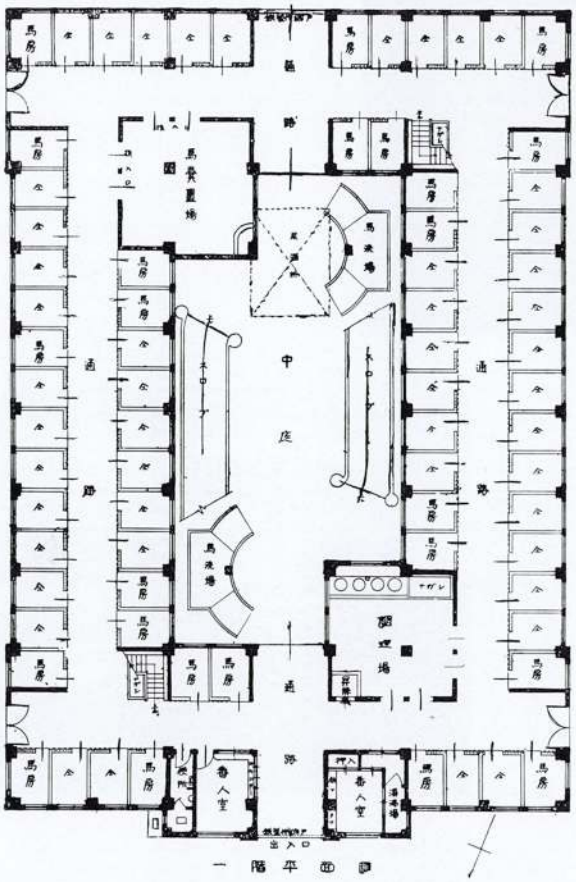
五階平面圖



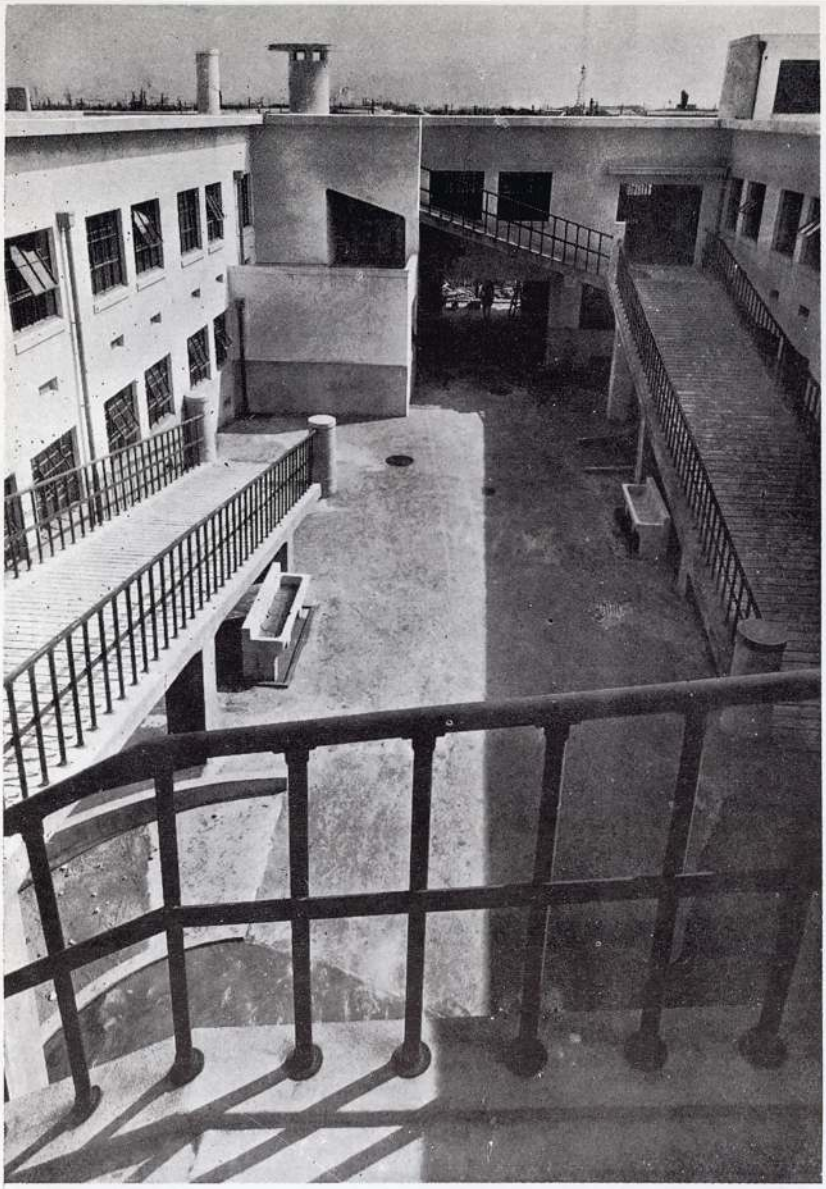
外　　觀

東淀川共同厩舍工事概要

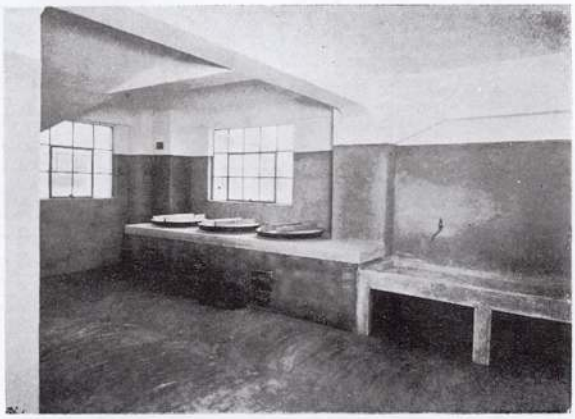
位　　置　大阪市東淀川區三津屋中通
敷地面積　1.749平方米
建築面積　1.103平方米
建物概要　鐵筋コンクリート二階建、一部三階建にして外部ガン仕上げ一階及二階に馬房152、事務室1番人室各階 1、調理室各階 、三階は監守人宿舍 1、其他馬糧置場にして「エレベーター」を以て昇下す
二階馬房の昇降は構内の緩スロープにてなす
經營者　大阪馬匹畜産組合
設計者　加藤善吉
施工者　竹中工務店



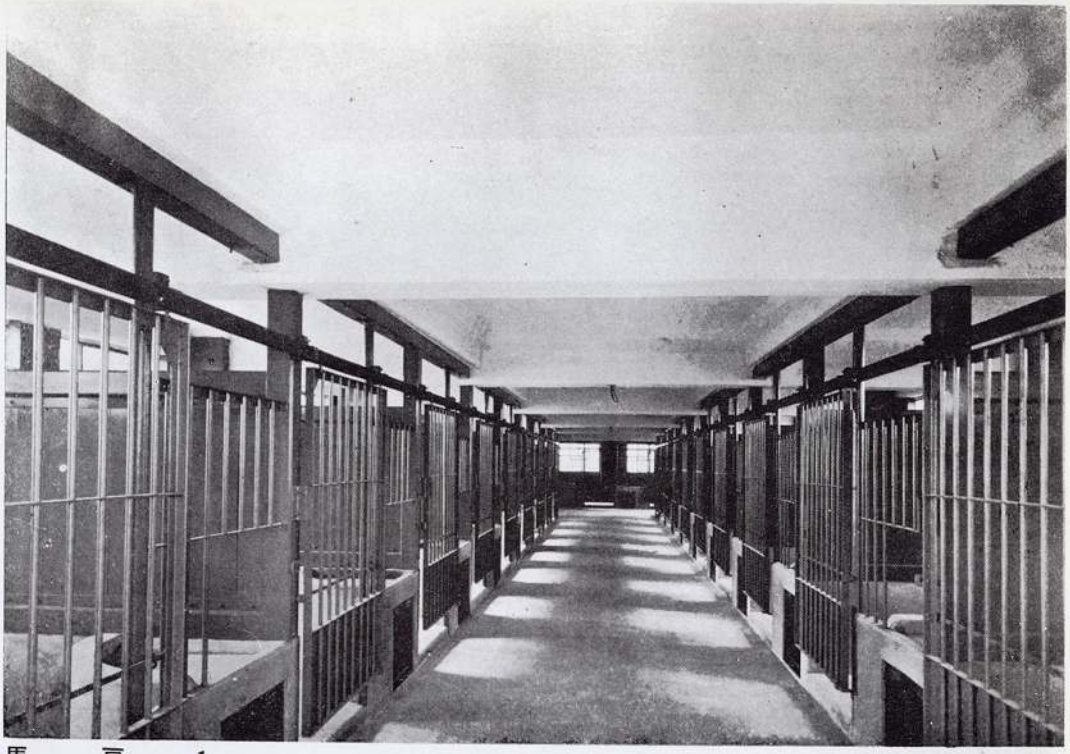
“東淀川共同厩舍”　　設計・加藤善吉・施工・竹中工務店　5 X1



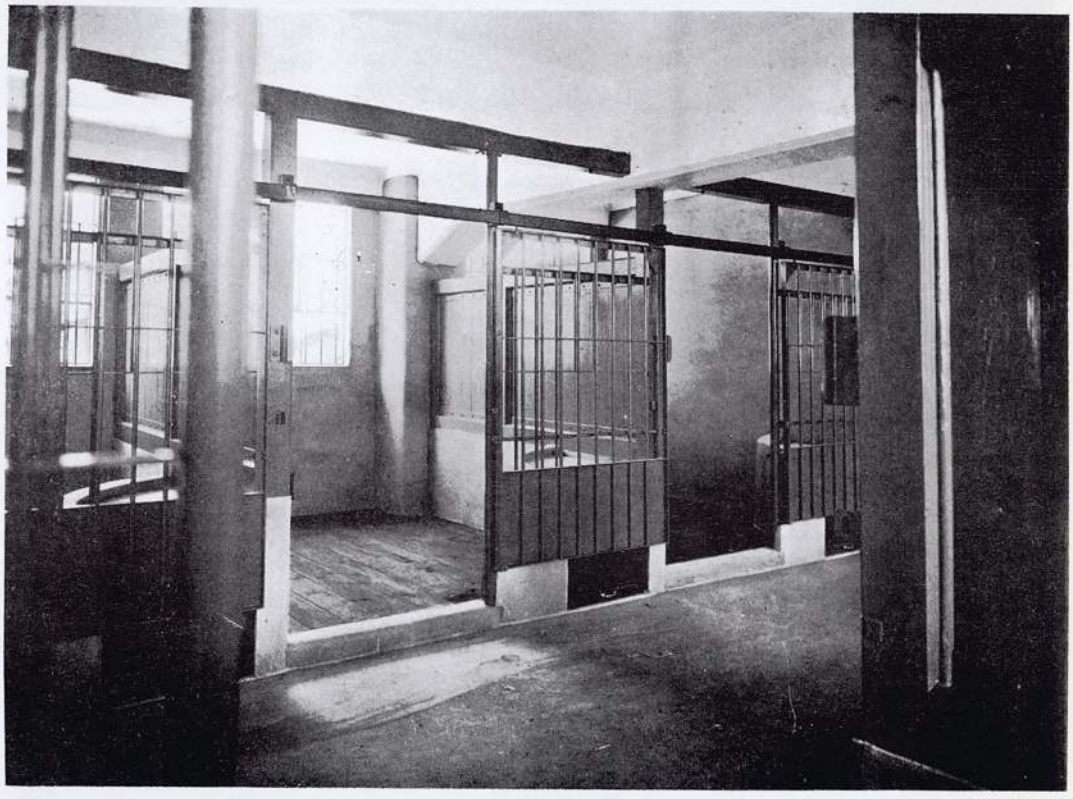
中　　庭



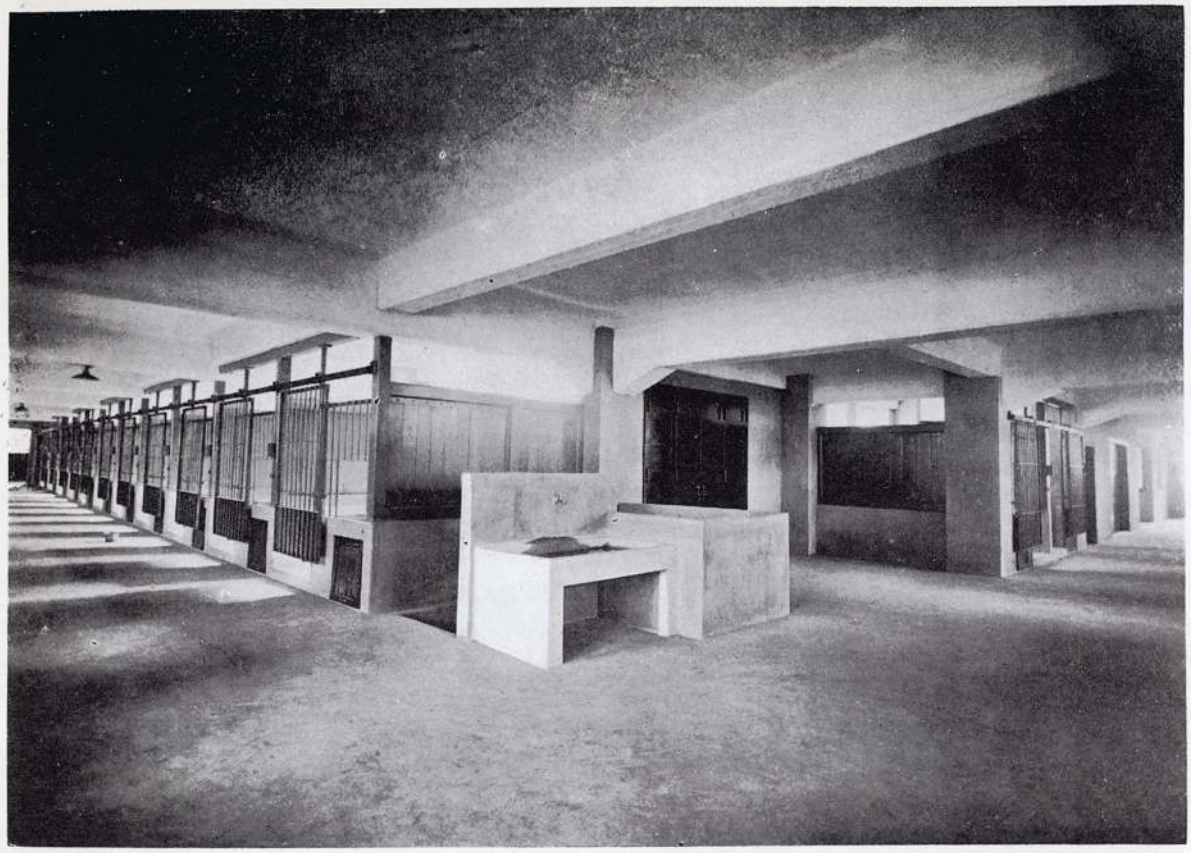
馬糧調理室



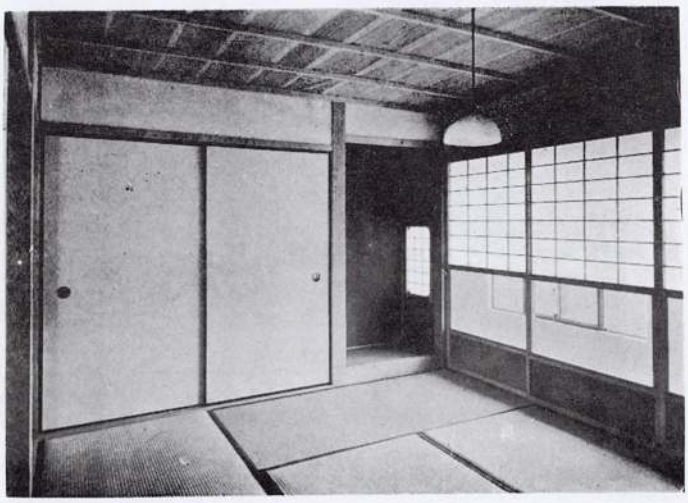
馬　　房　　1



馬　　房　　2

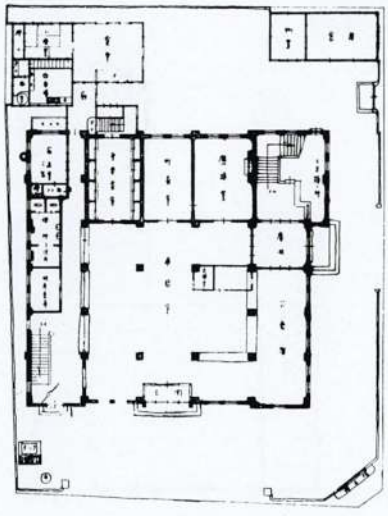


馬　房　3



監理人宿泊所

外　　觀

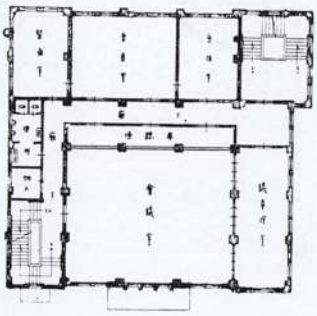


1 階 平 面 圖

“魚 崎 町 廳 舍”（兵庫縣）　設計・清水榮二建築事務所・施工・竹中工務店



町　長　室

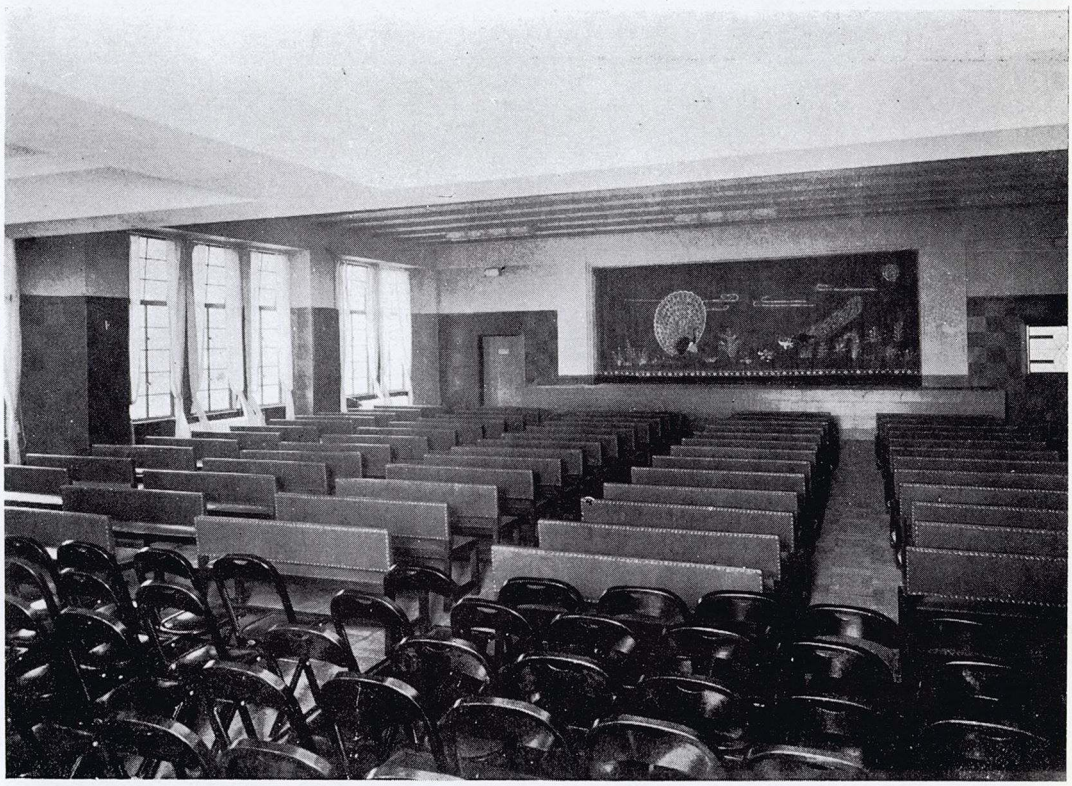


2階平面圖

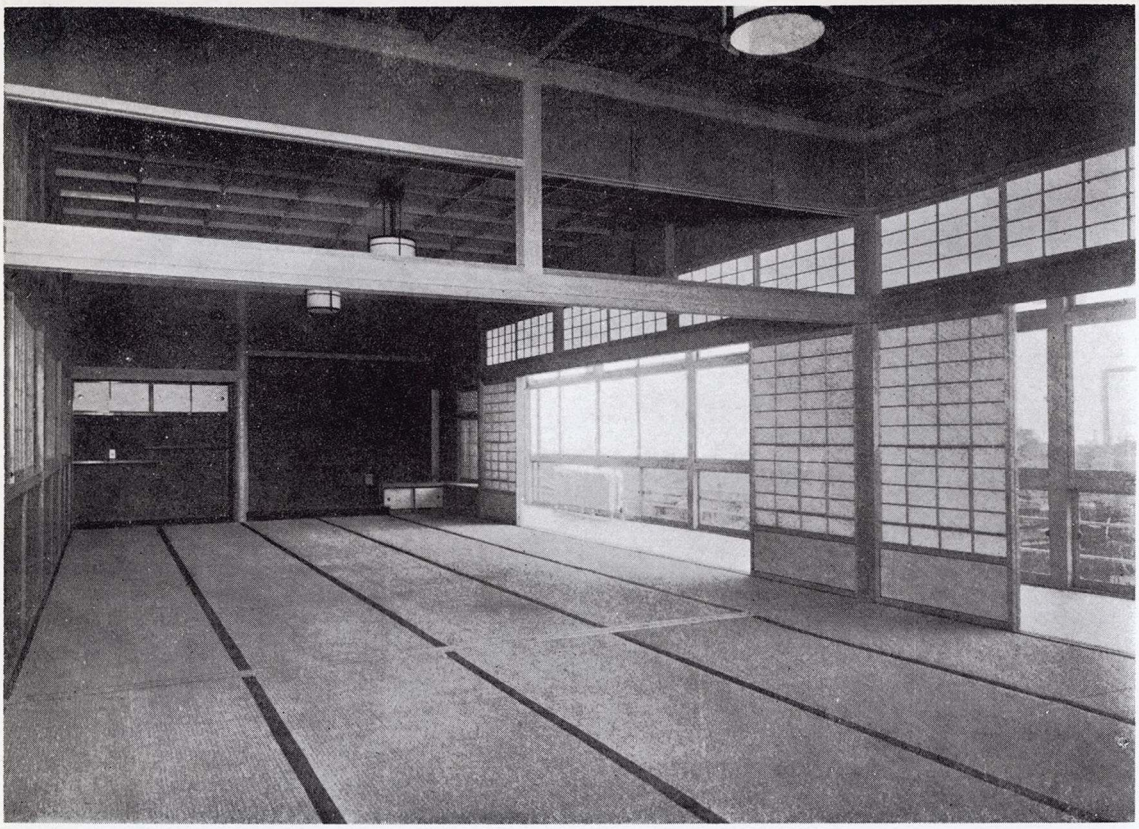
xi 10 “魚崎町廳舍”（兵庫縣）　設計・清水榮二建築事務所・施工・竹中工務店



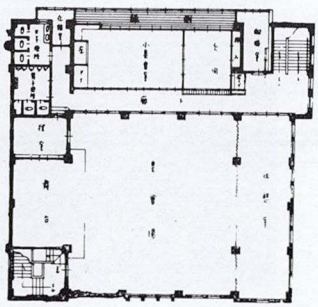
會　議　室



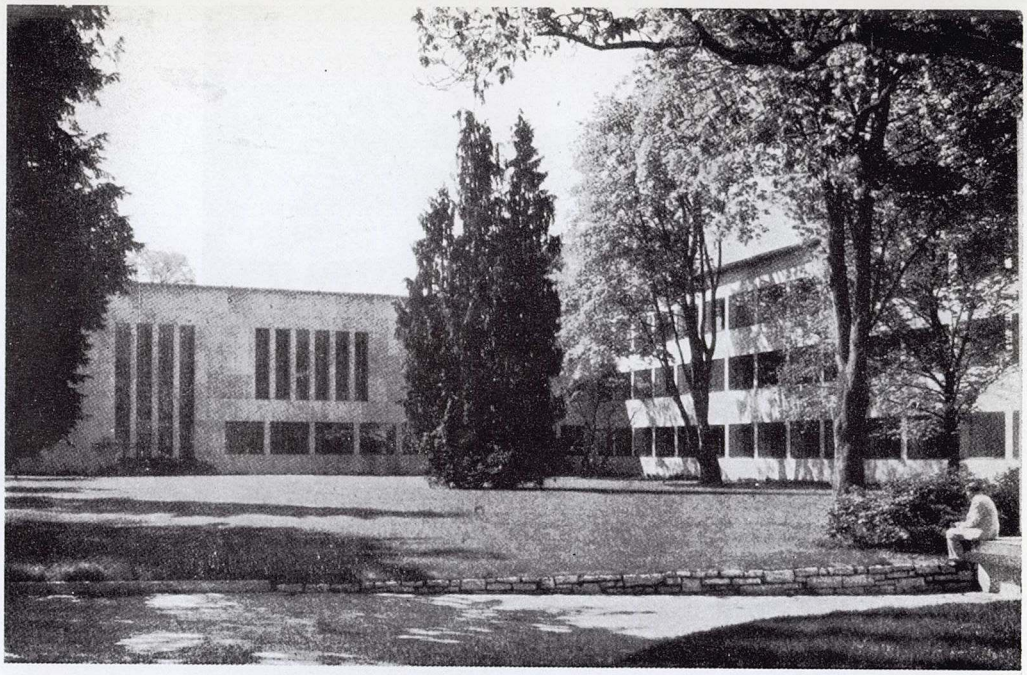
大　廣　間



和 式 集 會 室

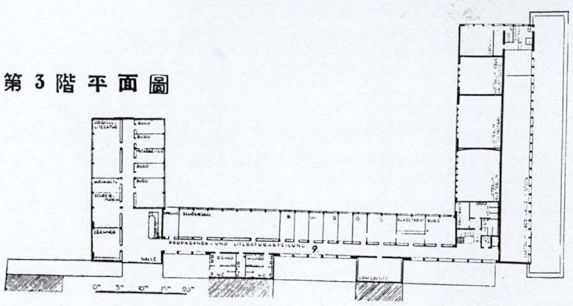


3 階 平 面 圖

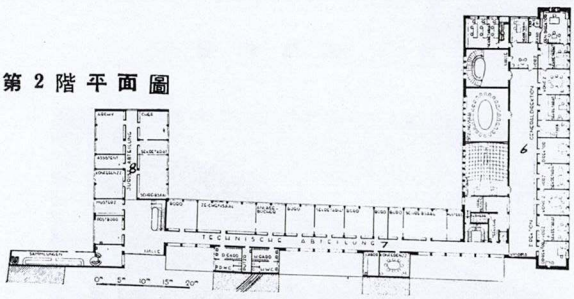


背　面　外　觀

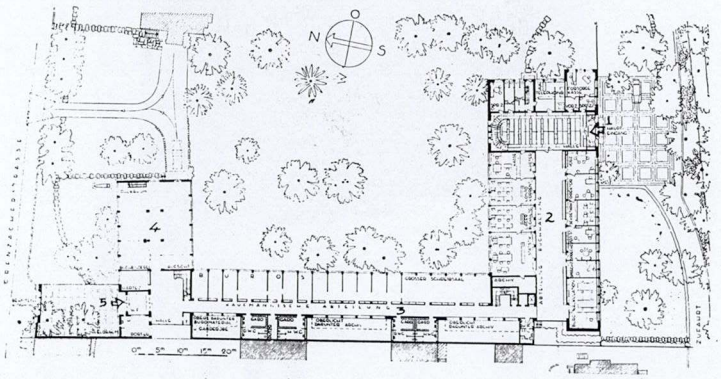
第 3 階 平 面 圖



第 2 階 平 面 圖



第 1 階 平 面 圖

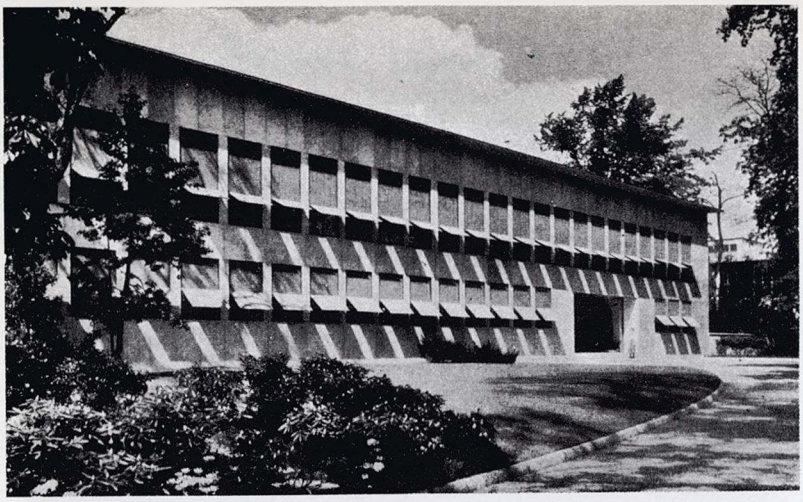


Basle のライン河畔に建築された新しい事務所建築である。既設建物には三ケ所の防火壁によつて接續しU型平面をなし庭園には古からの樹木が美しい叢並を湛へてゐる。

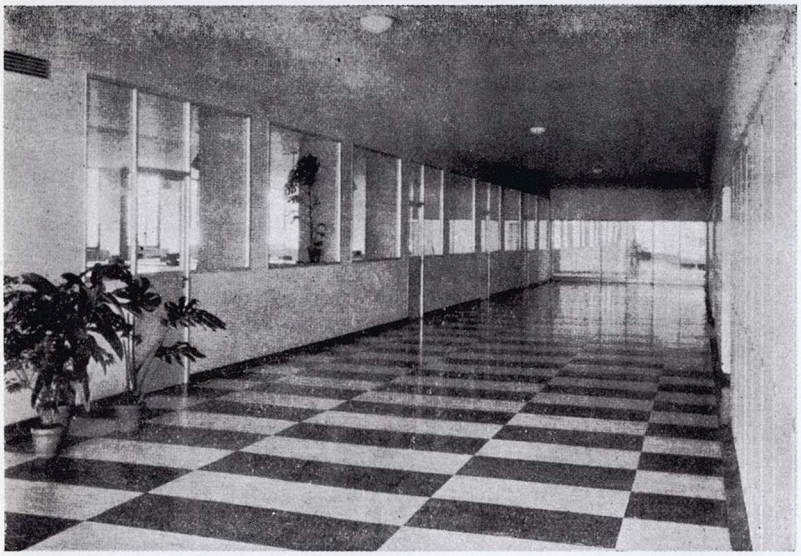
第一階には主として庶務部、營業部、發送部、第二階には幹部、技術部、法律事務部、第三階には宣傳並文書部の各室が配置されてゐる。

輕快な庇と窓、やゝ大きめに張り付けた石灰石（70cm×180 cm）の外壁面、ガラス・ブロツクの大きな採光面等庭の綠を背景とした美しいコンポジヨンはこの種建築としては相當買はれて良い。

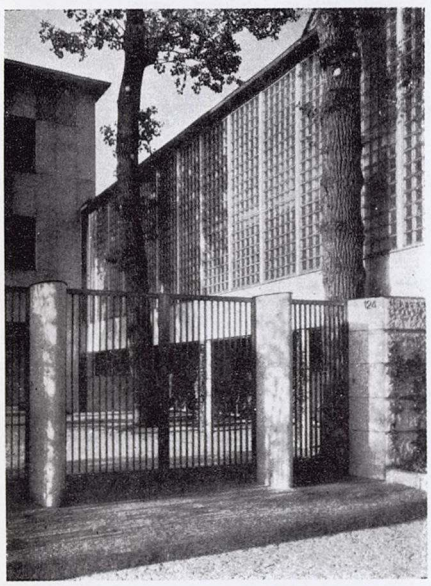
（Moderne Bauformen,
Sept., 1937より）



正面外觀



庶務部廊下

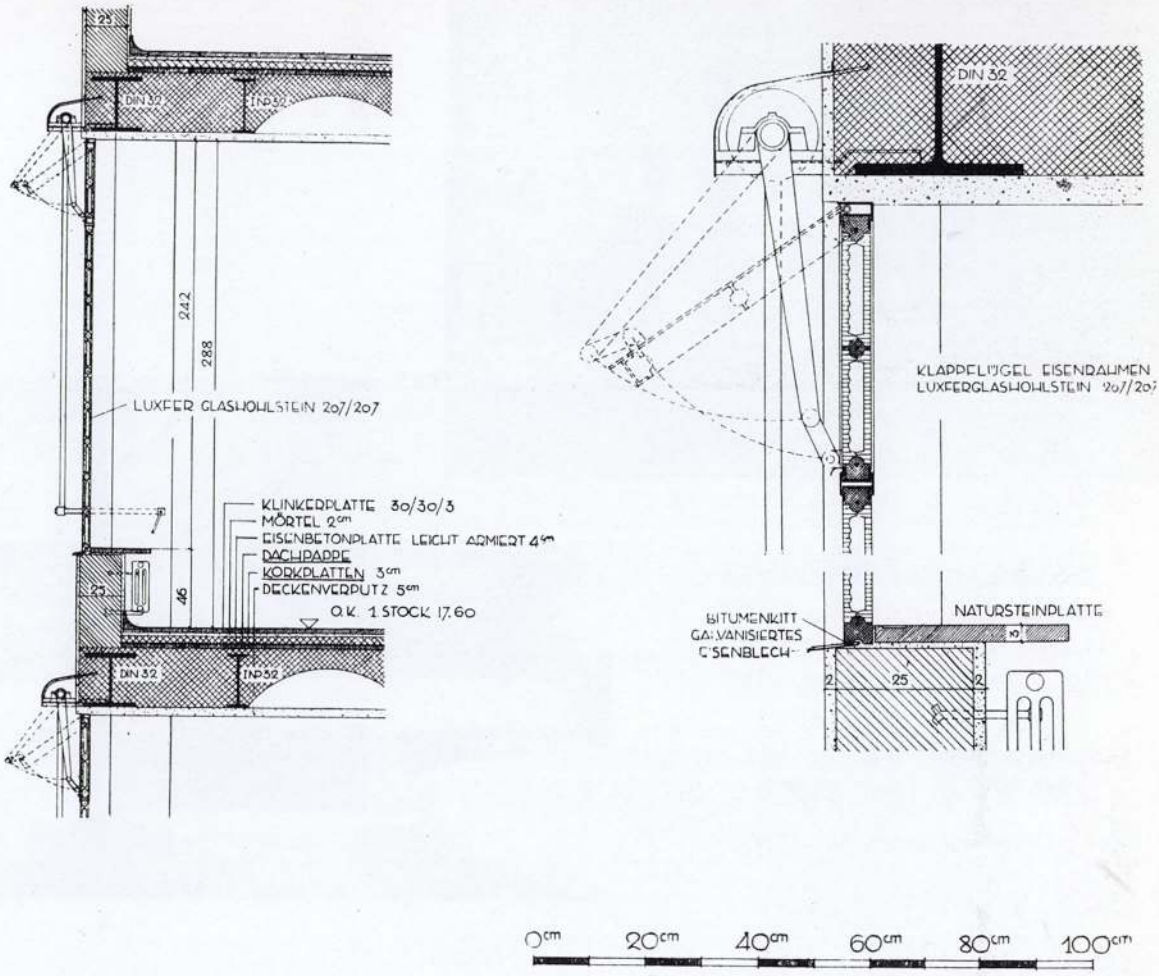


從業員室出入口

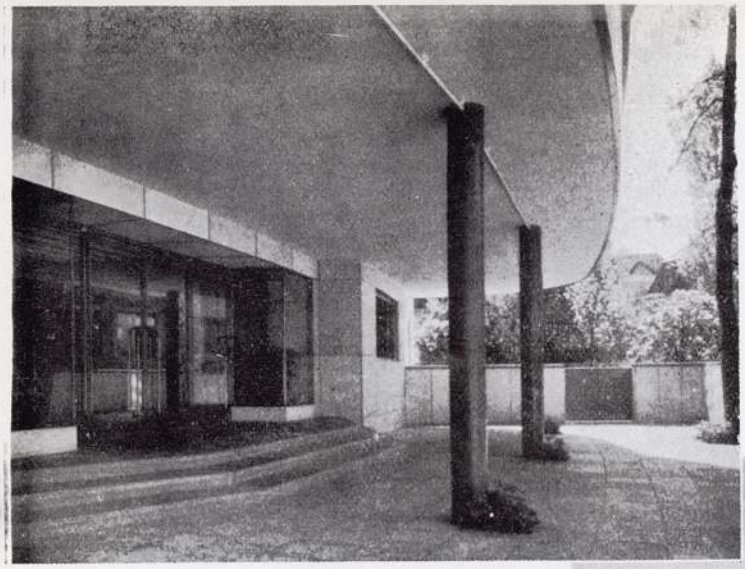


主要出入口

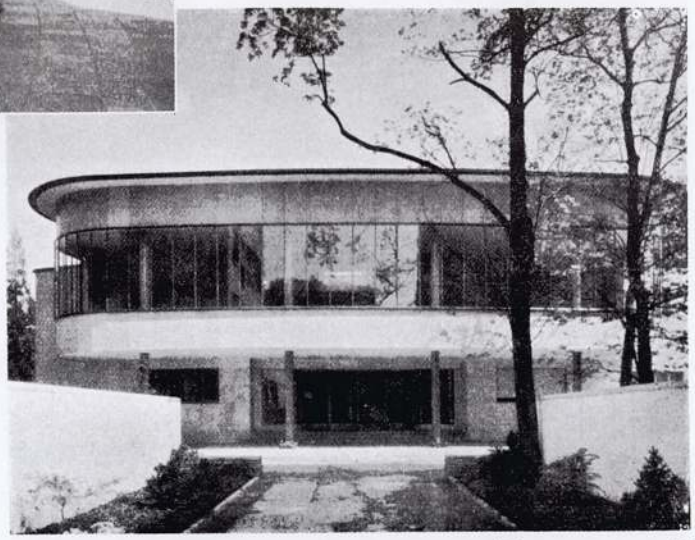
xi 14 （ドイツ）Hoffmann氏のLa Roche製藥會社事務所 建築家 Otto Rudolf Salisbery.



宣傳及文書部各室窓斷面詳細圖



玄關出入口

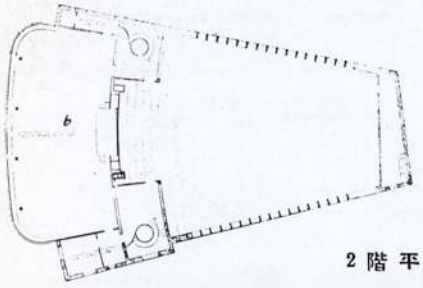


正面

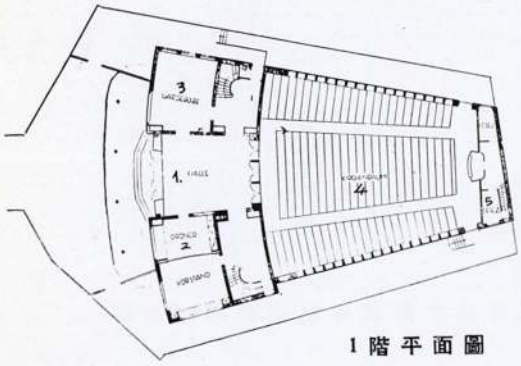
Baselに建築された基督教精神科學研究所の第一教會である。從來の教會風を脫して、外觀、內部共に新時代のもの、會堂の廣い側窓には相變らず色硝子を用ひてゐるが室の雰圍氣は明朗である。

①出入口、廣間　②事務所
③外套室、控室　④會堂
⑤讀書室　⑥日曜學校

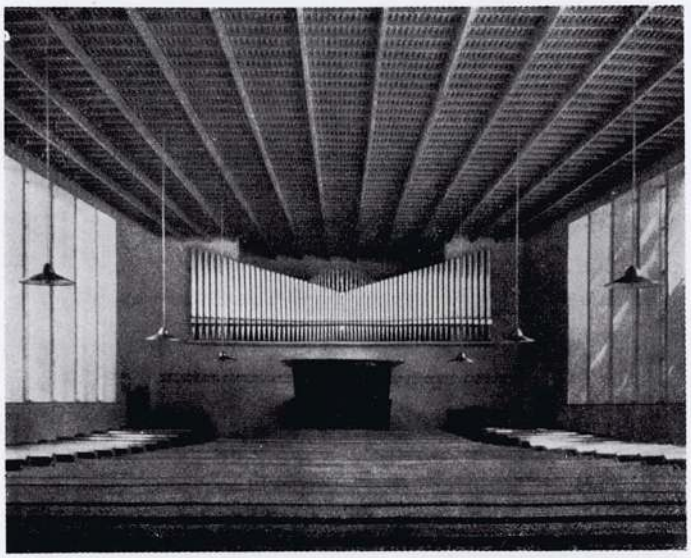
(Moderne Benformen, Sept., 1937より)



2階平面圖

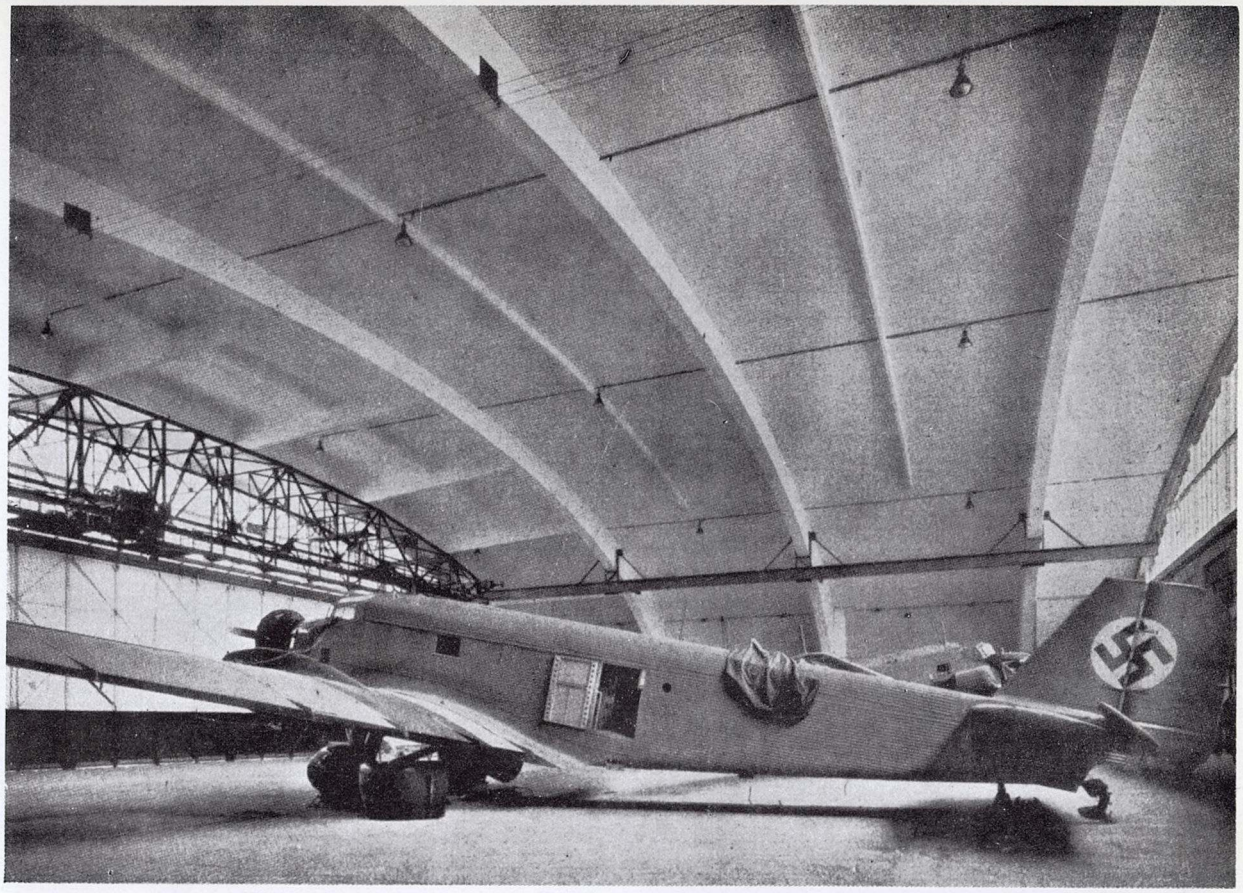


1階平面圖

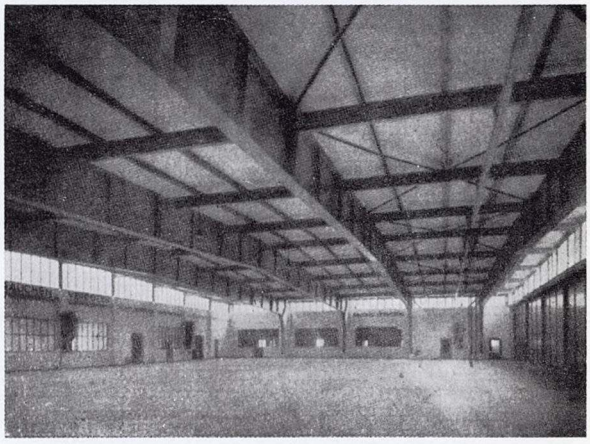


會堂內部

xi 16 (ドイツ) 教會堂　建築家 O. R. Salisbery, 協働 F. W. Bernadenberg.



内部鐵筋コンクリート・アーチ



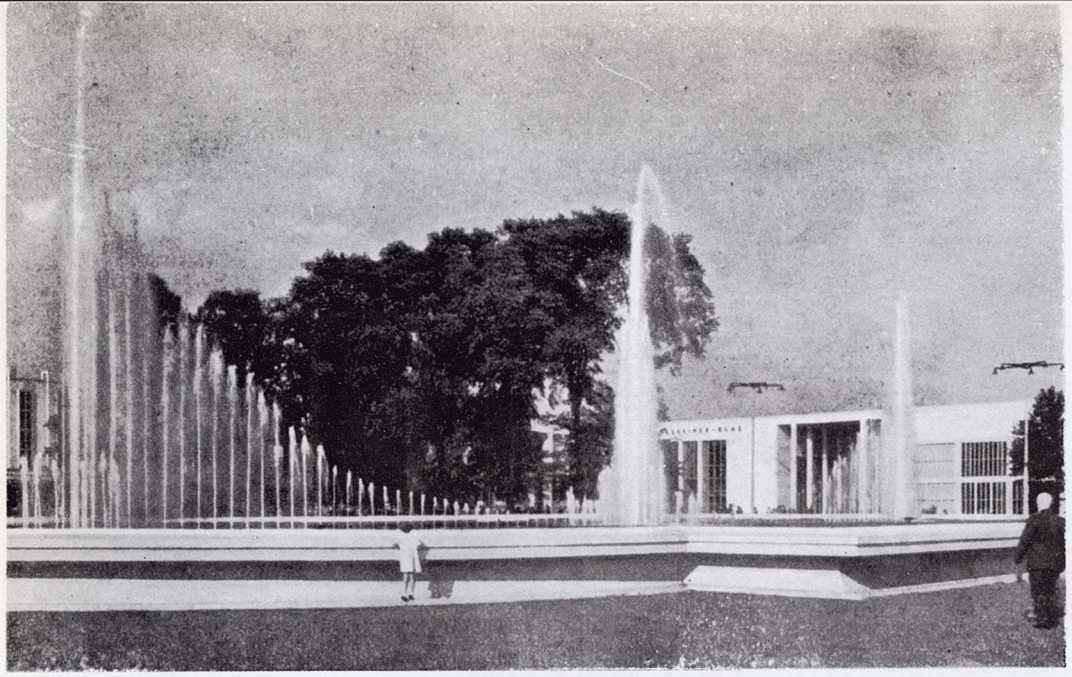
鐵 骨 ト ラ ス



鐵 骨 ト ラ ス

高さ16米 長さ100米の鐵筋コンクリート・アーチを 8つ並列して造つてある大きな格納庫である。

（Baumeister, Mai, 1937より）

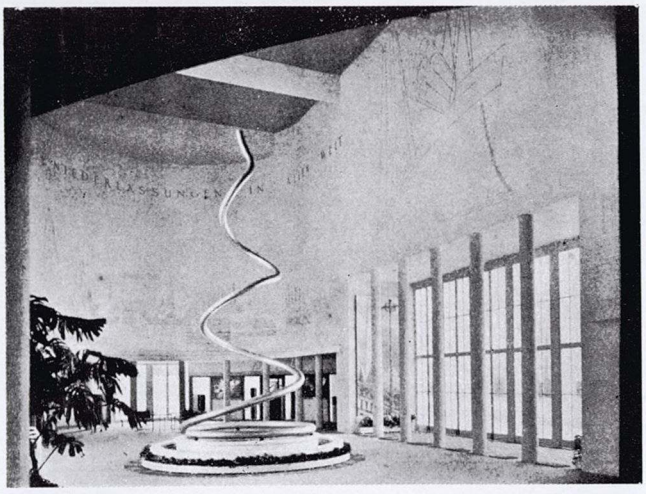


第 1 圖
廣場の噴水

1937年デュツセルドルフに開催されたる博覽會の建築物で、第1圖は廣場の噴水設備で　Waltervou Wecus 氏の設計になる。

第 3圖は大食堂に續く祭禮堂で Emil Fahrenkamp 教授の設計になる。

（Baumeister, Sept., 1937より）

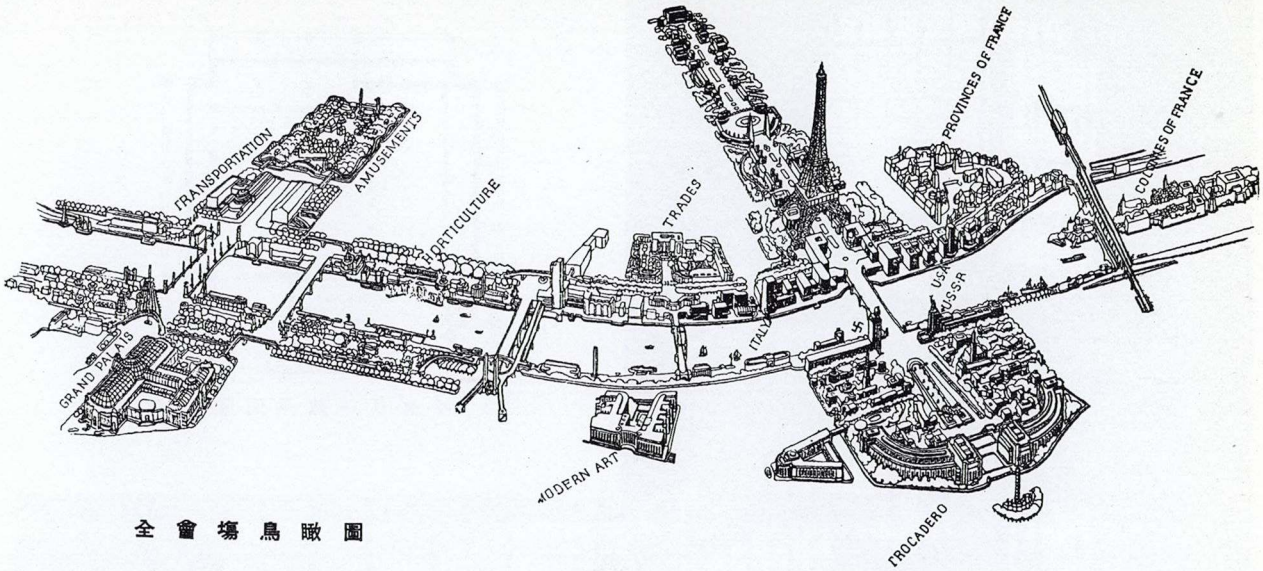


第 2 圖
大 廣 間



第 3 圖
祭 禮 堂

建築家 Emil Fahrenkamp, Walter von Wecus.

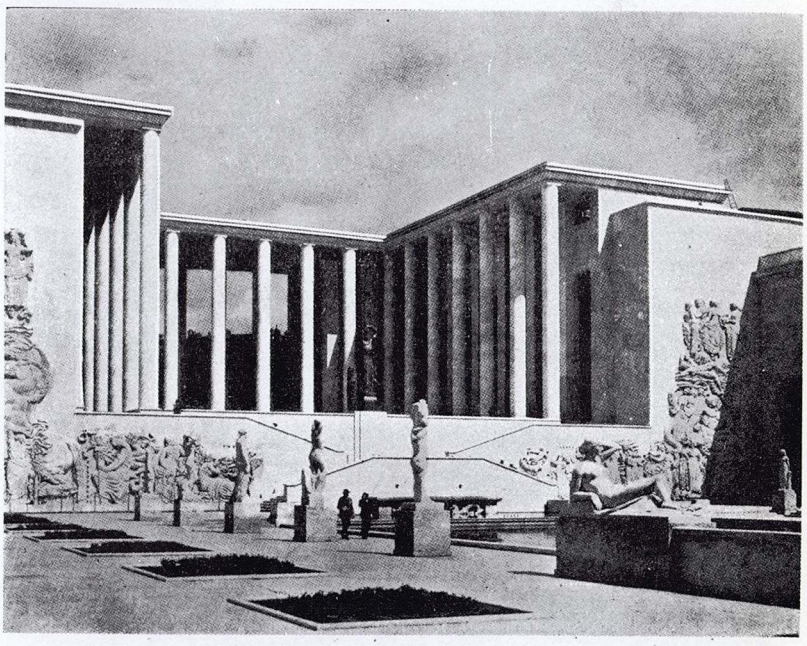


全會場鳥瞰圖

巴里の博覽會は 1855年の時以來、セーヌ河を横切つて陸軍士官學校へ通ずる Eiffel 塔のある大通と、 Gland Plais のある通との間に挟まれたセーヌ河の兩岸の廣場で開かれるが常である。

1937年のパリ博も亦慣例に從つてこの廣場で開催せられた。 博覽會の建物は一時的のものが多いが、 中には永久的のものもあり、 殊に會場廣場の周圍にはパリの有名な建物が多數ある。 以下何れもパリ博を中心とした建造物であるが、 この博覽會に出品した日本館は、 例の建築に於ける「日本精神」を中心として喧しい論議を捲き起した問題の建築である。 Architectural Forum 誌上揭載の各建築に對する批評は Henry-Russel Hitchcock氏（息子）のそれである。

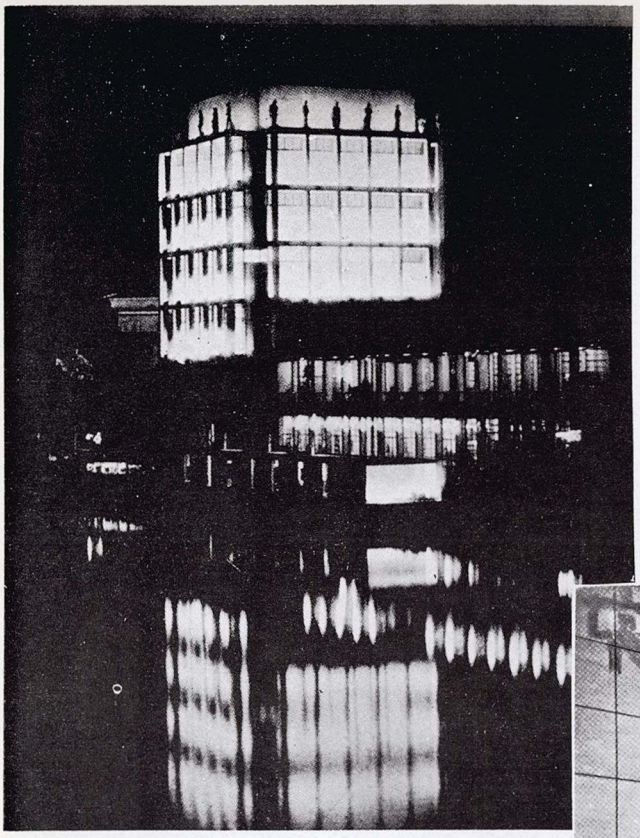
（Architectural Forum, Sept., 1937より）



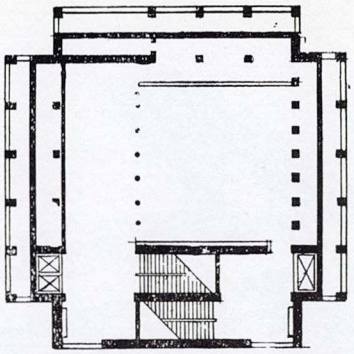
フランス近代美術館

パリ博に於ける永久的建造物中最も優秀なるものである。豊潤な彫刻を除いたとしても様式的な柱列によつて充分近代美術館としての面目を保つてゐる。

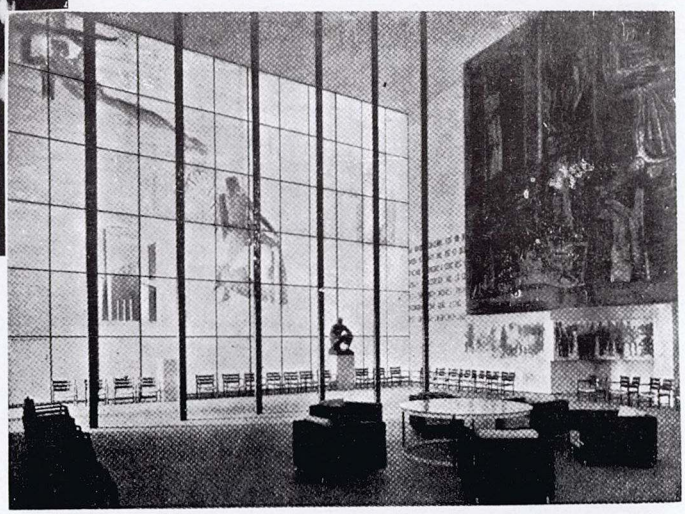
建築家 Dondel, Aubert, Viard 及 Dastugue 設計。



イタリー館夜景



イタリー館平面圖



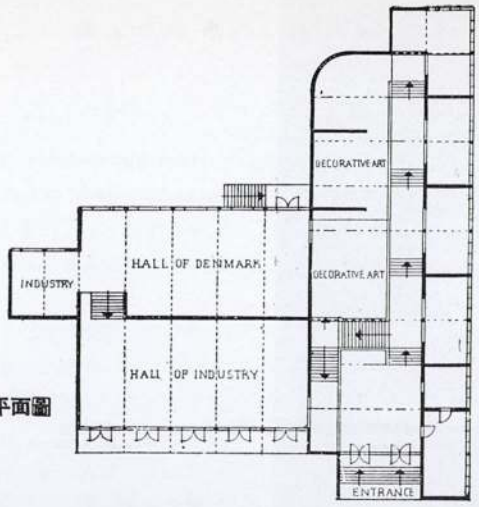
イタリー館內「光榮の廣間」

ファシスト建築家のMarcello Piacentini の設計ドイツ館、ソ聯邦館に次いで最も目立つ、そして金のかゝつた建物である。

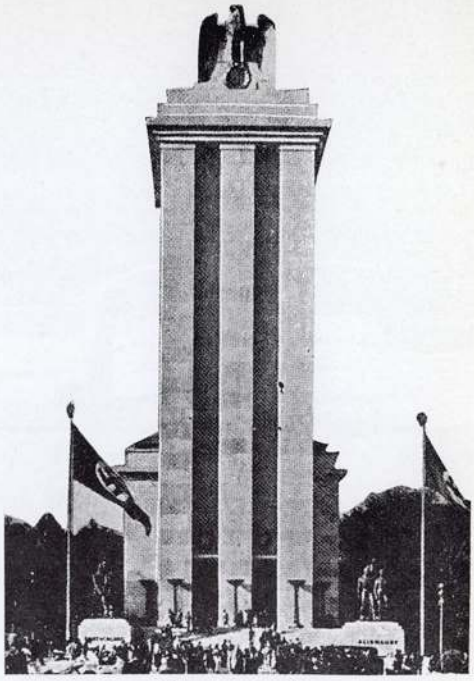
ドイツ館の向ふ側にあり、ライト風の横線と正面の蛋白色の大理石の塔と、その上の夜間効果を狙つた大彫刻とを以て特徴づけられてゐる Jofan 設計。



ソ聯邦館



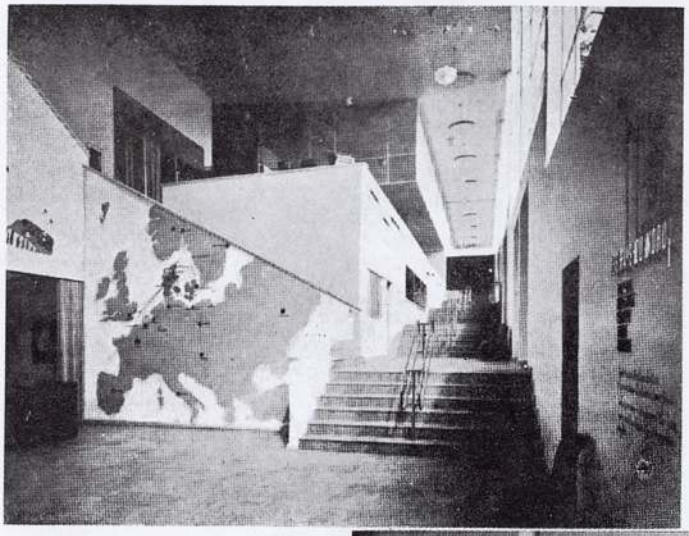
デンマーク館平面圖



ドイツ館

外觀の度外れのスケイルは何處から眺めてもこの博覽會中で目立つた存在ではある。だが、柱の取扱ひといひ、デイテイルの粗雜といひ、彫刻の用ひ方といひ、材料及色彩の貧困といひ、巴里中で最も悪い建築であると Architectural Forum 誌は評してゐる。

Tessenow の生徒 Speer の設計。



デンマーク館内部

ベルジウム館、イギリス館、アメリカ館等が今次のパリ博の建物中コンヴエンシヨナル・モダニズムの最も悪い例とすれば、デンマーク館とオーストリヤ館とは最もよい部類であらう。

2つの廣い陳列室と階段によつて次第に登つて行く數室の小陳列室とより成つてゐる。陳列室は何れも極度に採光が考へられてゐる

建築家 Hvass の設計。



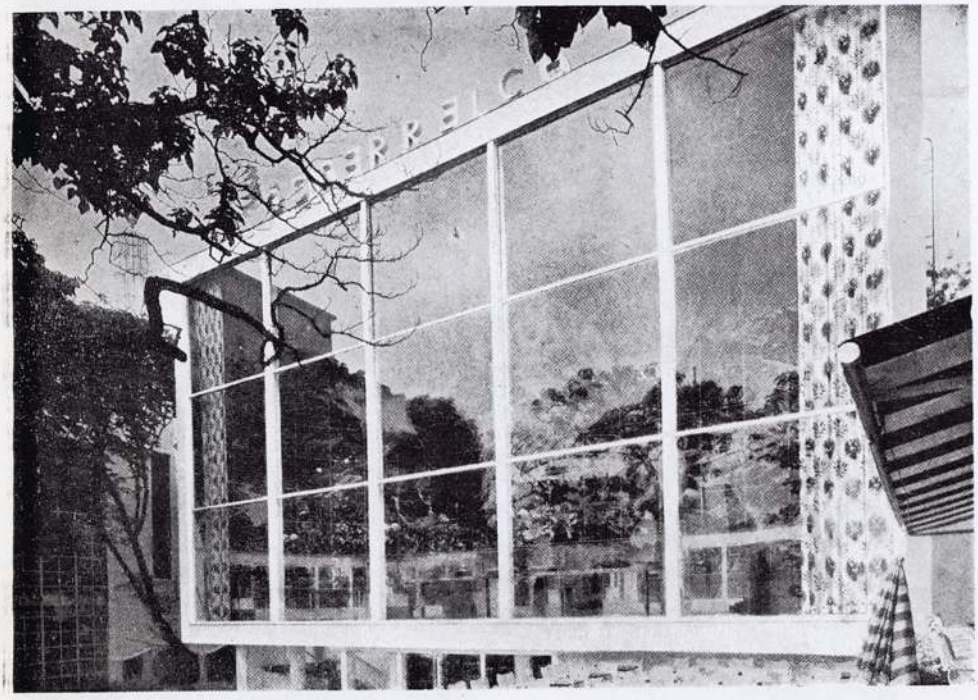
デンマーク館外觀



ベルジウム館

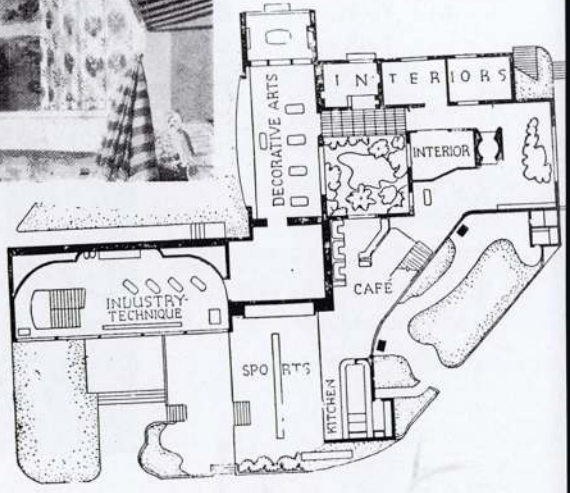
Henri Van de Velde の作であるが、Forum 誌の批評に依れば歐洲建築界の大家の作品としては寧ろ駄作である。彼の若い同志達を多分失望させた事であらう。

併し若し外部の赤いテラコツタが見えなければ、夜間は可成り効果的である筈であるが、輕い Eiffel 塔が激刺と傍に立つてゐる爲に、夜間も尙その赤い色が見えて古い他の世界のものゝ様な感じを與へる。



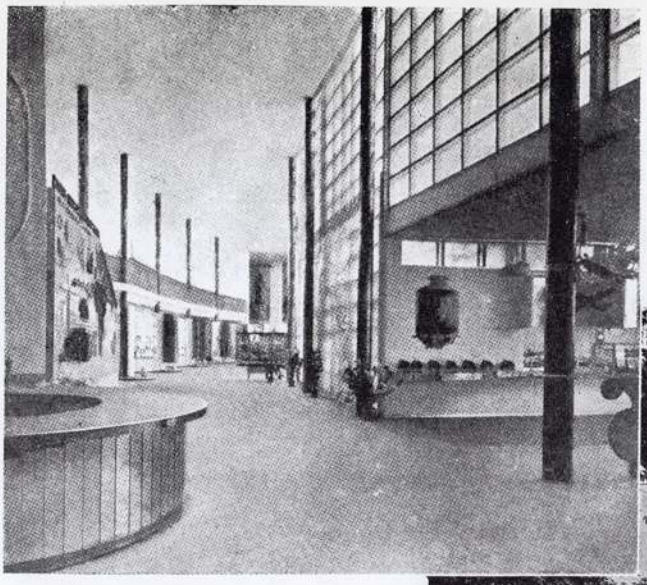
オーストリヤ館外觀

オーストリヤ館平面圖



デンマーク館よりもプランに於て更に優れてゐる。そして全體としてもより面白く出來てゐる、殊にカフエー・テラスがセーヌ河の眺望を恣にする様に取られてゐる點など。唯、地階の細かい銘刻で覆はれた壁を持つた「光榮の廣間」の外、陳列が不統一で亂雜である點は、Joseph Hoffmann以來のウイーン派の傳統を受け繼ぐものであるが感心しない。室内の壁面に空を青く色彩つたオーストリヤ・アルプスの巨大な寫眞のモンタージュを行つてあるのは前面の大窓を通して外部からも眺められ、晝よりも夜間非常に印象的である。

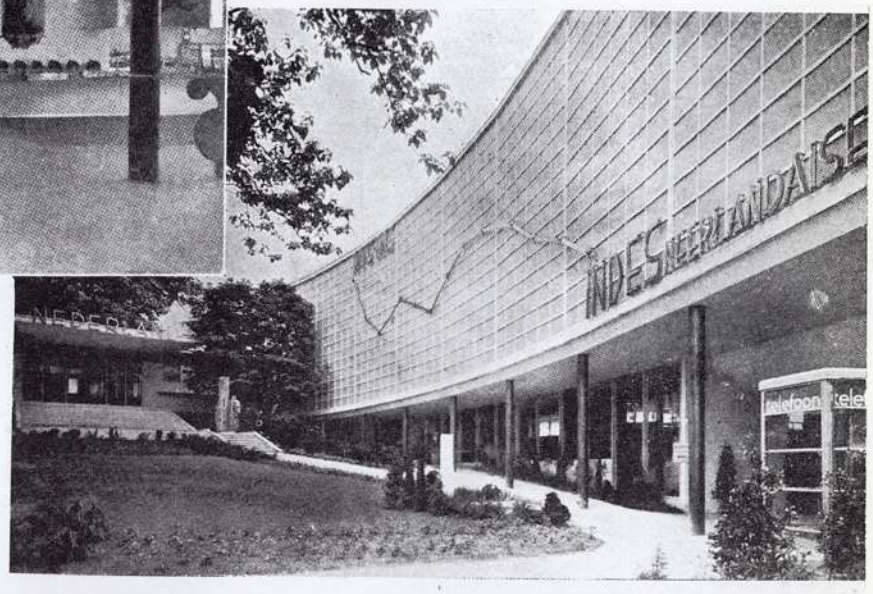
建築家 Haerdtl の設計。



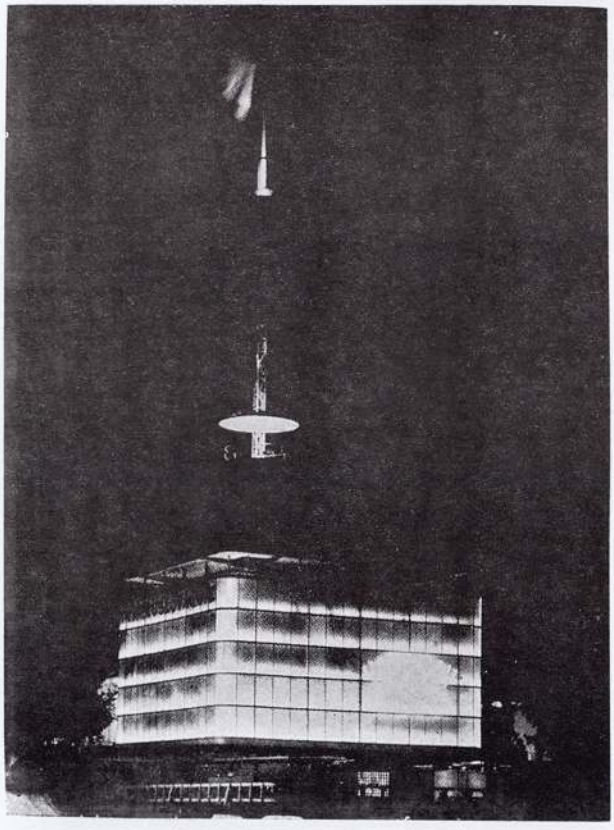
ニーザーランド館内部

設計者の Van deu Brock は博覽會設計の建築家として政府に傭はれてゐる人である。

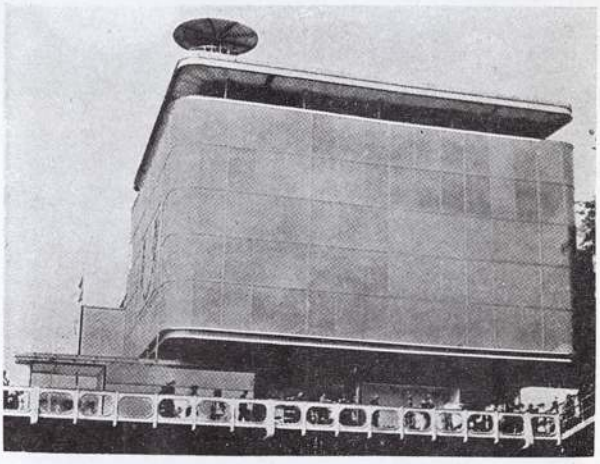
半透明の硝子の嵌められた長いカーブの附いた壁面を主調とする外觀を持つてゐる。その壁面の上にはニーザーランドから蘭領東印度までの旅行線がネオンで描き出され夜間の効果を發揮してゐる。



ニーザーランド館

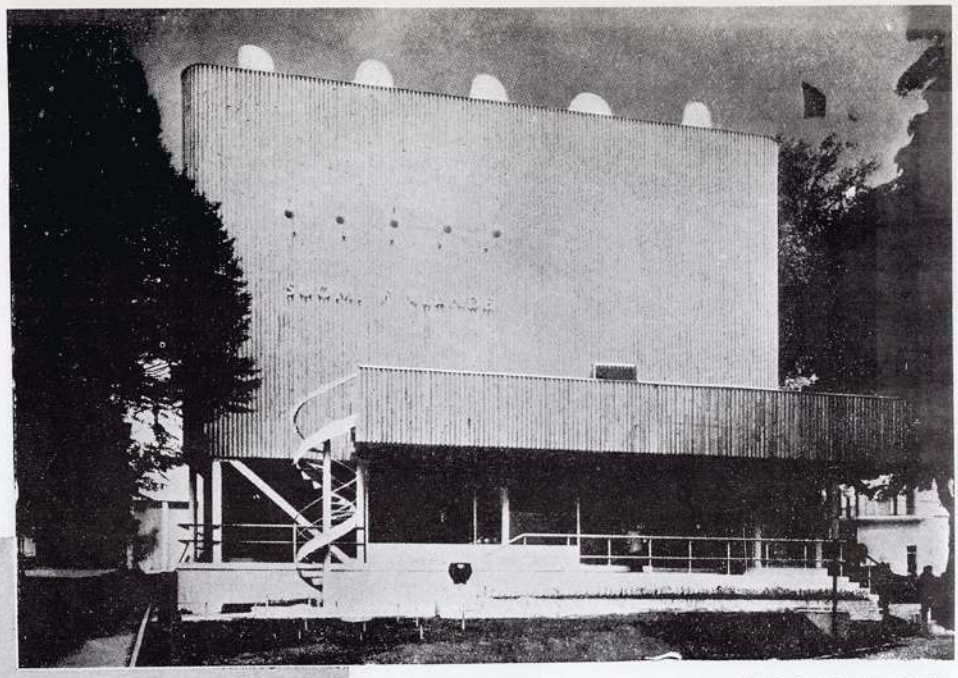


チエツコスロバキヤ館夜景



チエツコスロバキヤ館

一時的博覽會建築としてパリ博中最上のものであらう。技術及美觀の兩方から非常に洗練された設計である。壁體を構成する枠は鋼鐵、硝子は "Thermolux" と呼ばれる熱を吸收する硝子である。



フインランド館

フインランド館
陳列室内部

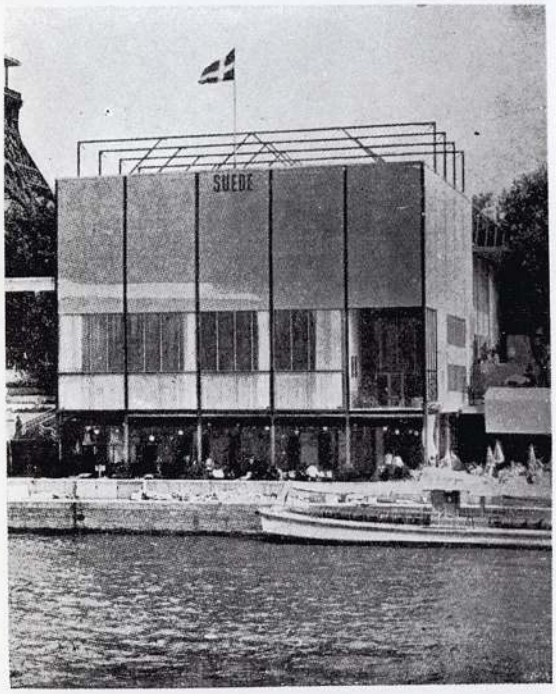


パリ博の建物中一流に屬するものであらう。フインランドの主要物産である樺を使つて合理的に設計せられたもの。外部に堅に張られた半割の樺材は所々皮が剥げてゐる爲、丁度竹の様な外觀を呈してゐる。

内部の簡明と廣々とした感じ、及び陳列戸棚を全然用ひてない事など注意すべき點であらう。

本、陶器、家具その他の製品を見ると同時に近づいて觸れる事が出來る。設計は建築家 Alvar Aalto。

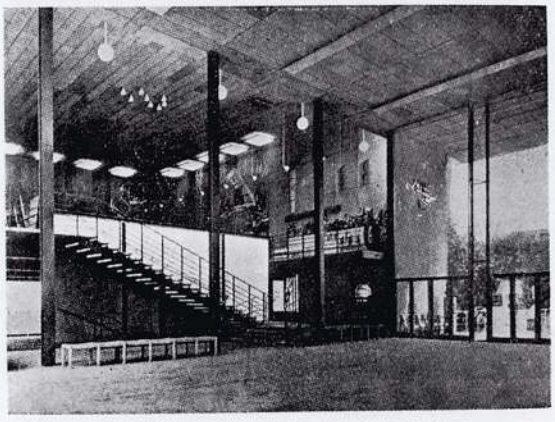
スウエーデン館

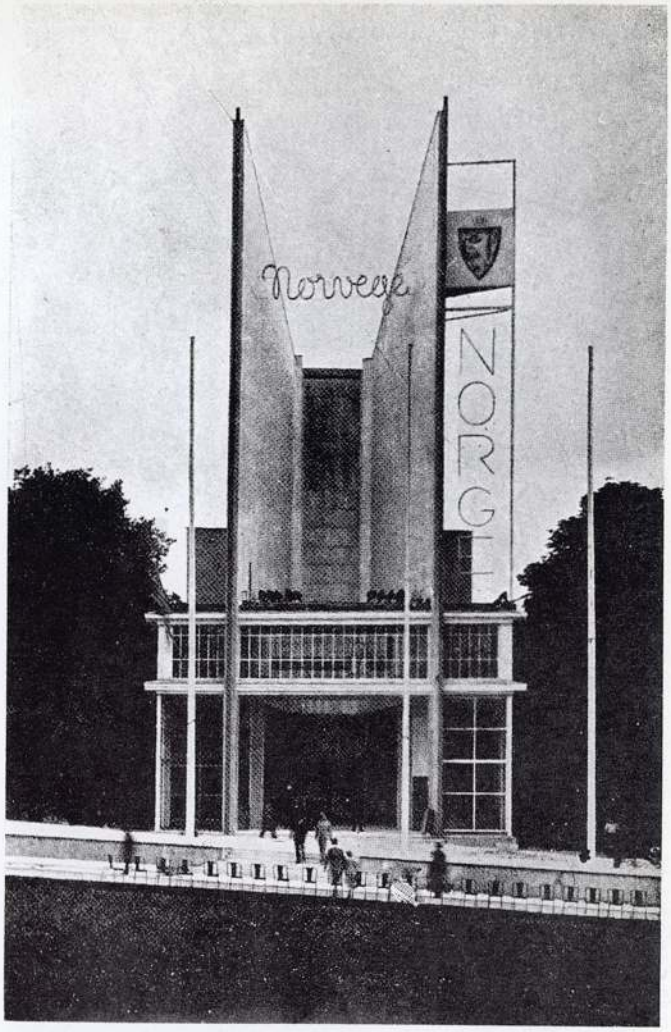


骨組として間に合せのケーブル・トラスを使用し、壁體、天井等に掻き取りのコンクリート・スラブを用ふるなど、外觀の貧弱さが、この建物を見劣りさせる原因である。内部にレベルの變化の多いのは、この館の唯一の長所であらう。

設計は Limd 氏であるが、1930年のストツクホルムの博覽會に於ける Asplund 設計の博覽會建築の標準に比べて 特に見劣りがする。

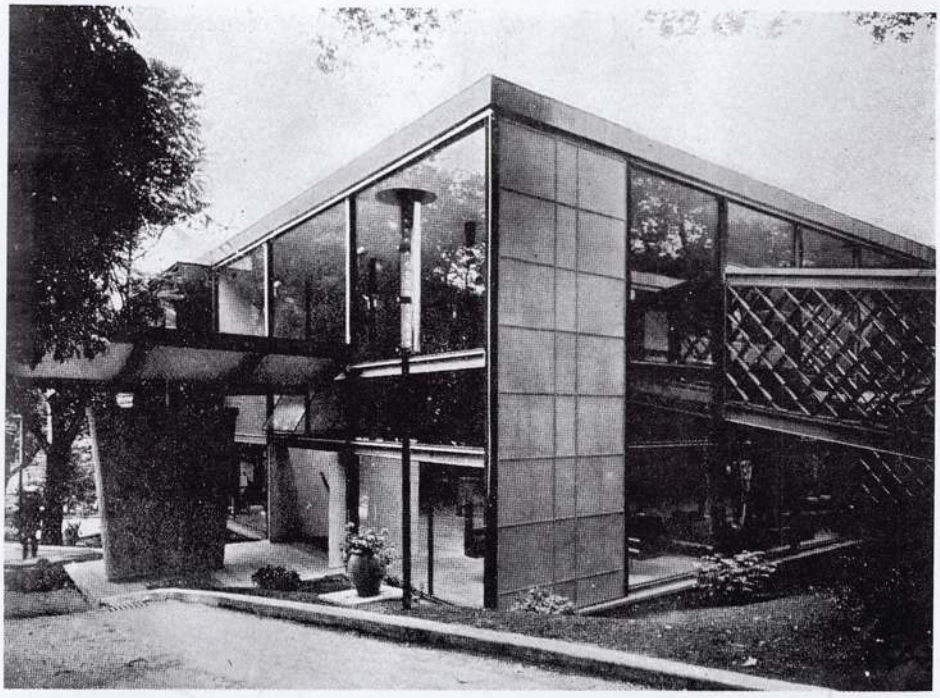
スウエーデン館内部





建築家 Schistad, Korsmo 及 Knutsen の設計。内部よりも外觀の表現的効果を狙つた點に特徴を持つ。安價な材料と進歩した構造思想とが、博覽會建築に如何に効果的であるかを示す一例である。

ノルウエー館

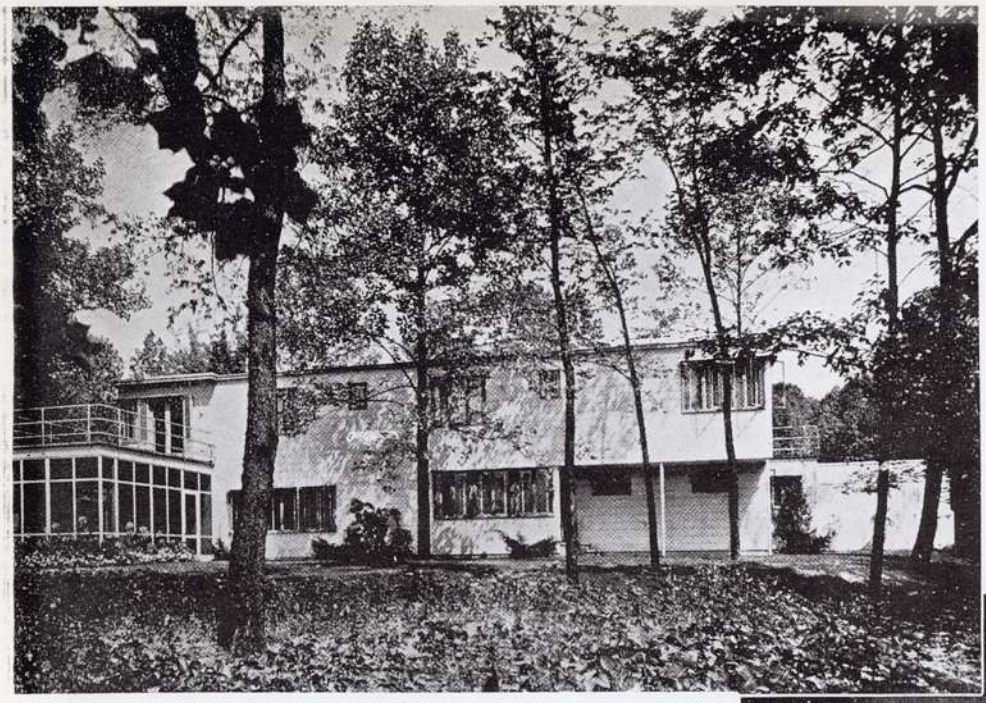


この建築については日本の各方面に可成り喧しい議論があつたが、Architectural Forum 誌は次の様に評してゐる。——

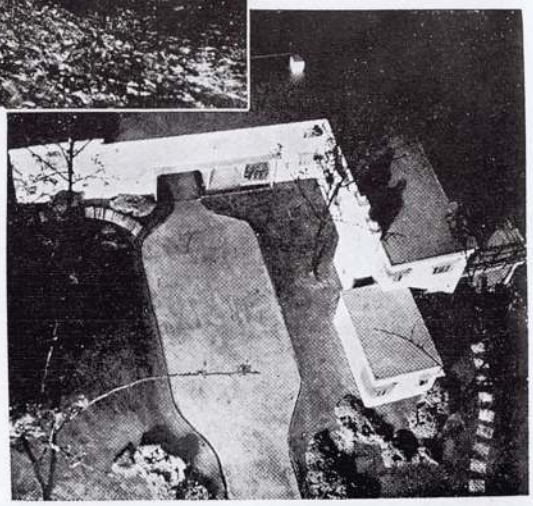
「日本館は最近のインターナショナルな様式と日本固有の形態とを融合調和せしめ様と意圖されたものであるが、その點について充分成功してゐる。

唯、陳列について一言するならば、その大部分が歐羅巴模倣の珍しくない安價な無趣味な機械ばかりである」と。

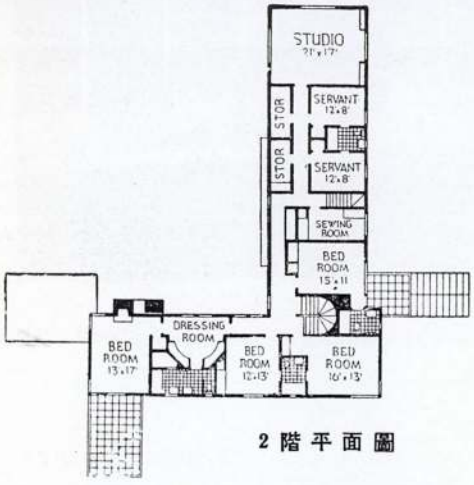
日　本　館



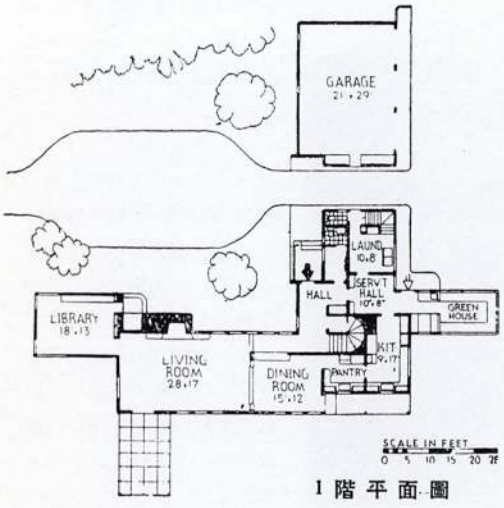
外　　觀



模　　型



2 階 平 面 圖



1 階 平 面 圖

少數の例外を除き、今日まで新樣式の住宅は主として小住宅に限られてゐた。その理由は、一つは大邸宅の持主は建物を合理的經濟的に考へる必要がない事であり、今一つは大きな邸宅は雨露を凌ぐ場所としてよりも、社會的地位を誇示する一つの道具として考へられてゐたからである。

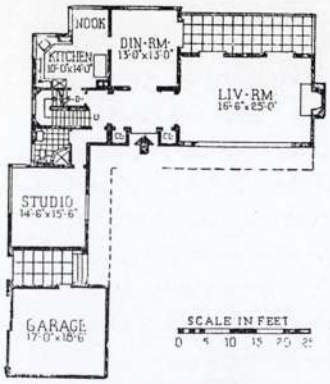
こゝに揭げる住宅はその少數の例外の一つであるが、この住宅の設計者達が指摘してゐる如く、非常に富裕なる人々はその邸宅を思索と理論とに基く一つの方針に從つて設計する事を是認する樣に變つて來た事も事實である。

この邸宅は17エイカーの廣い地面の上に眺望と風通しを恣にする樣に設計せられ、將來敷地の半分が處分せられても差支ない樣に考へられてゐる。

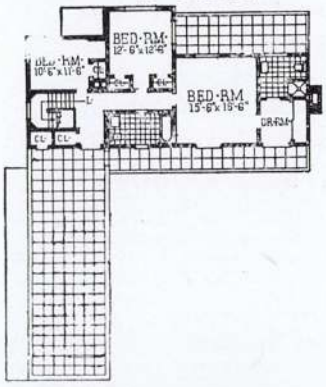
木造、タールと砂利仕上の陸屋根。

工費　27.167弗、1立方呎につき48セント。

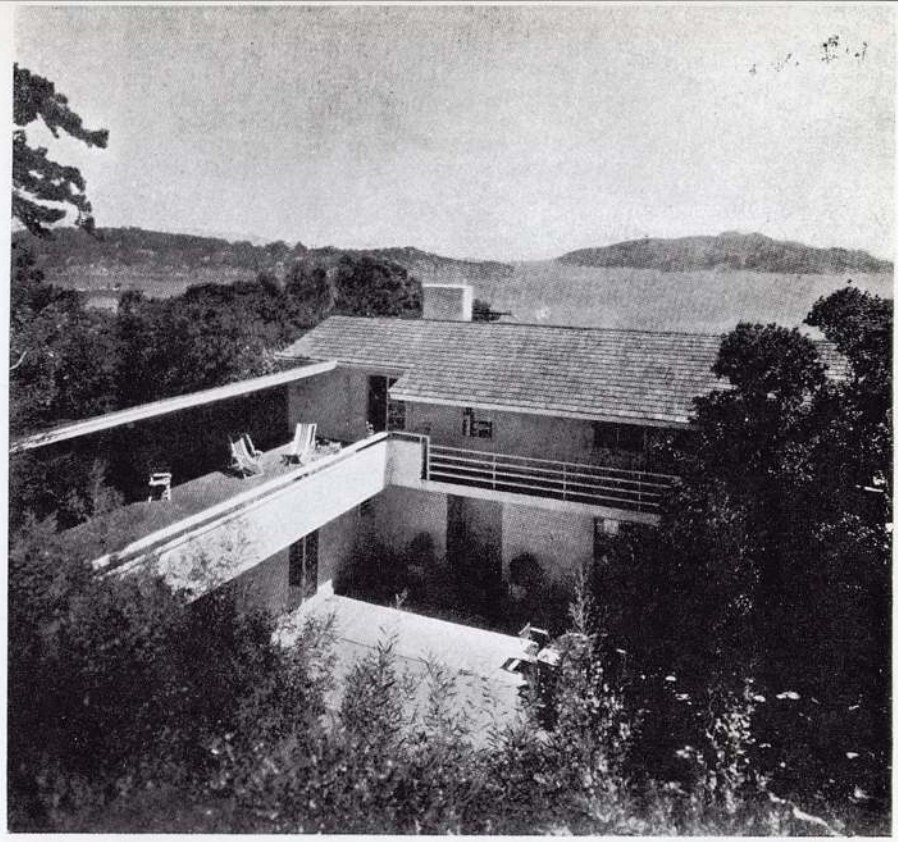
（Architectural Forum, Sept., 1937より）



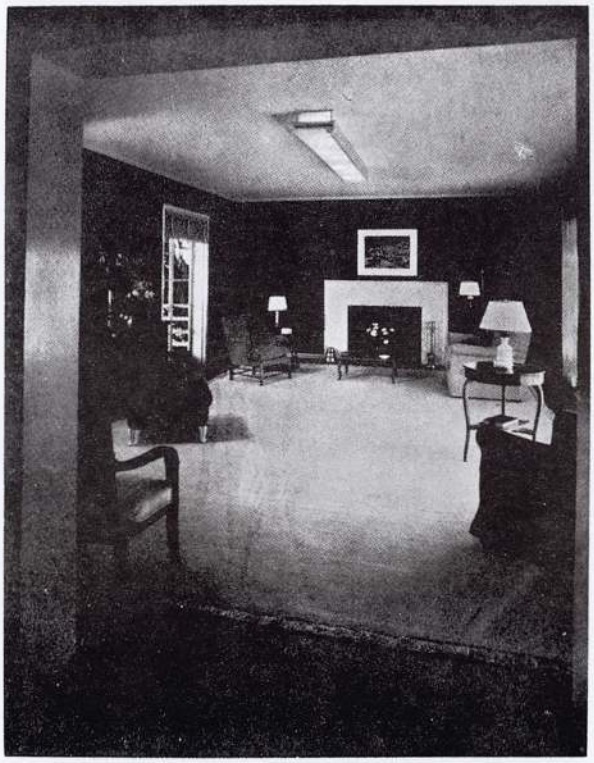
2階平面圖



1階平面圖



外　　觀



居　間　內　部

居間を中心とし居間への日光の射入が巧みに考慮せられた住宅。

屋上の露臺と階下のテラスとが居間の利用面積を倍加し、而もそれ等が三つの方面に向けられてゐるので常に必要に應じて日向の部分と蔭の部分とを使ひ分ける事が出來る。

階下テラスの上部は二階の露臺が突出してゐて雨覆となり、居間との間は硝子入の引戸で床まで一杯に開かれる樣になつてゐる。

プランは非常に簡明で、細部の取扱も亦外部と內部共極めて簡素である。

屋上露臺に手摺とソリツド・パラペツトとを使ひ分けたのは、廣い露臺の部分のみ見通を避ける要求から來てゐる。

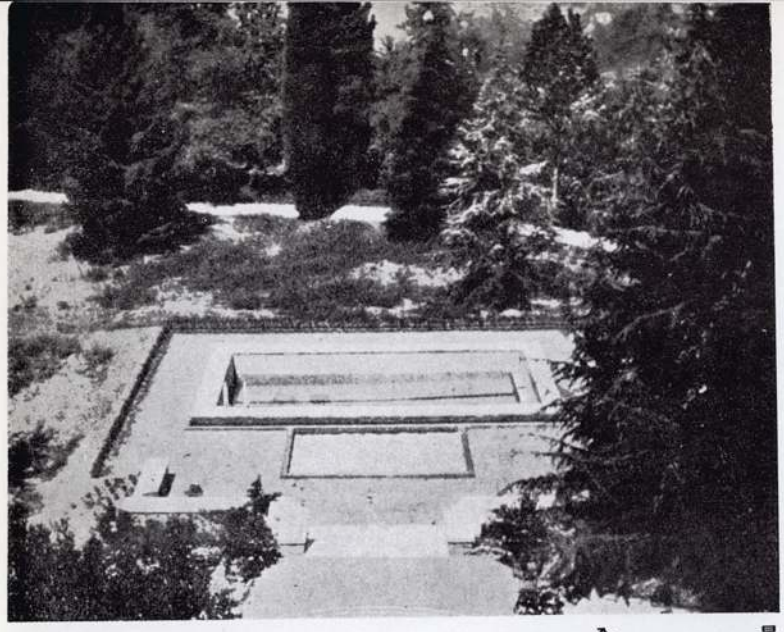
木造、屋根は手割のシダー板葺。室內壁はプラスター、壁紙、又はカンバス貼。床はオーク板張。

工費　12.500弗

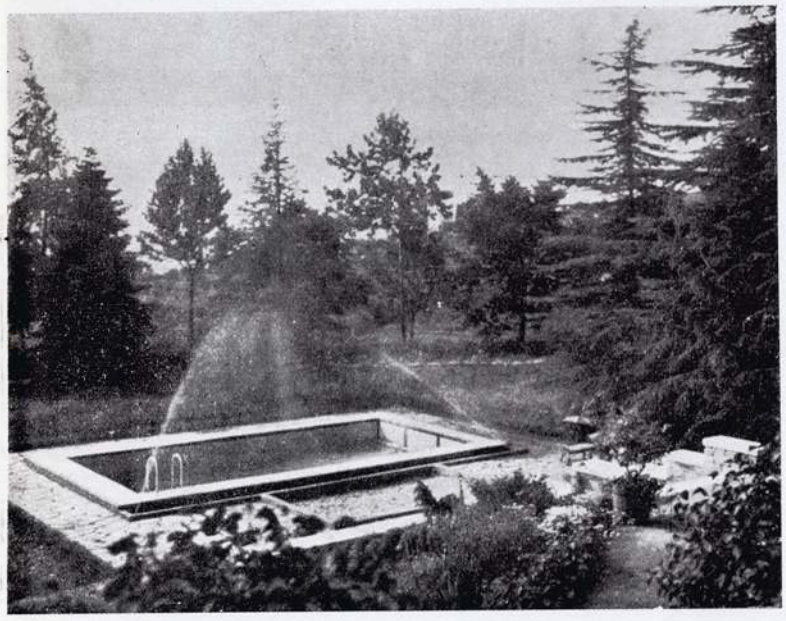
（Architectur l Forum, Sept., 1937より）

（アメリカ）カリフオルニヤの住宅

建築家 Frederich L. R. Confer.



全景



この小綺麗なプールは、トリーノの郊外の丘上に建つ別荘の庭園内にあり。設計は "ARCHITETTURA ITALIANA" 誌の主幹なる建築家 ARMANDO MELIS の手になるもの

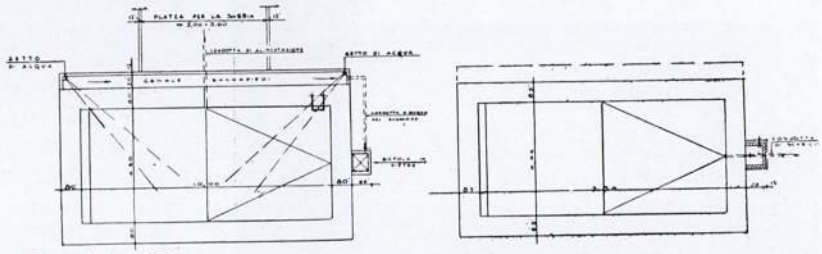
10m×4•m5（深さ1m～1.m5）のプール　5m×3m の砂浴場及これらの間にある巾 0.5mの細長い足洗ひ用の水溝の三者の配置はまことに結構な比例をなしてゐる。

プールの内外装として隅角部並コースラインのタイルには赤色を、他は明灰色を用ふ、これ等はアジュールの天空、エメラルドの緑木、ブランクの庭石にあひ對して素晴らしい階調をなすものと思はれる。

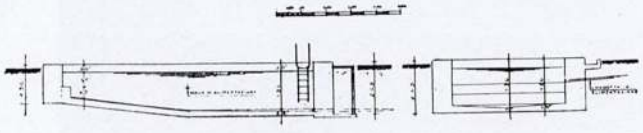
(Architettura Italiana, Ag., 1937より)

噴　水

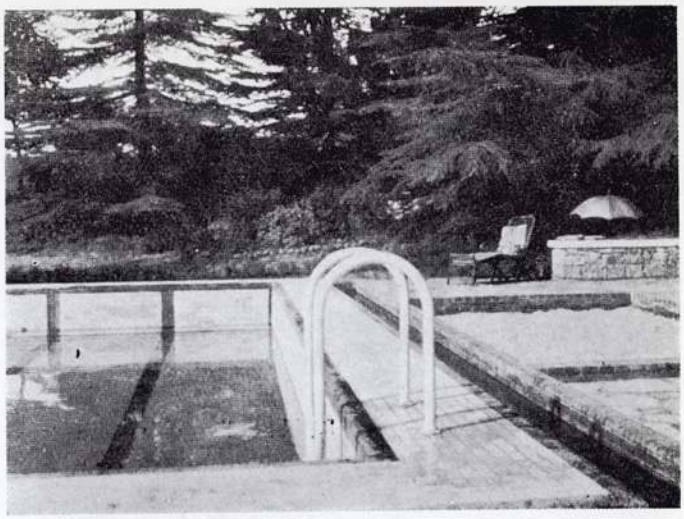
細長い水溝の兩端よりの噴水は砂浴後身體を洗ふために役立つと同時に美觀上のエフエクト大なり。



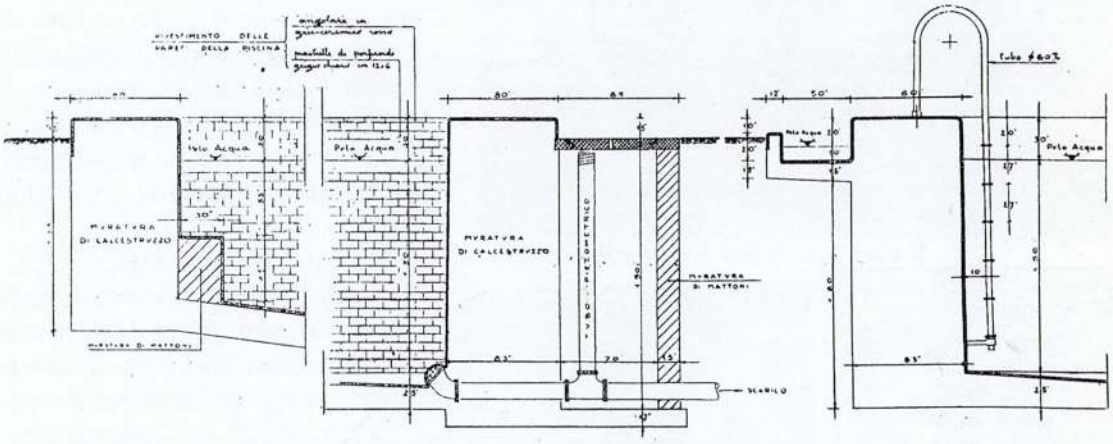
平面圖



斷面圖



プールの一部
足洗用水溝及
砂浴場を示す





詳　細　圖

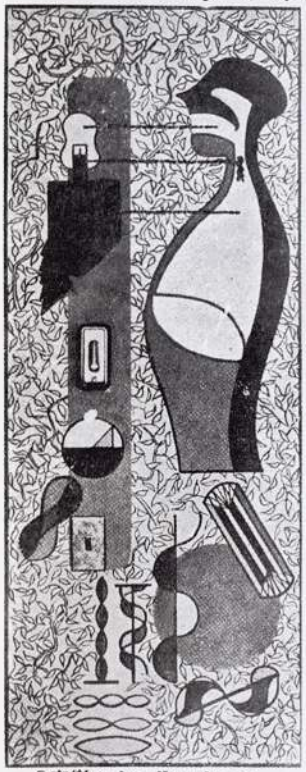
（イタリー）庭園内の小プール　　建築家 Armando Melis.



「旱魃」エドワード・マルミン

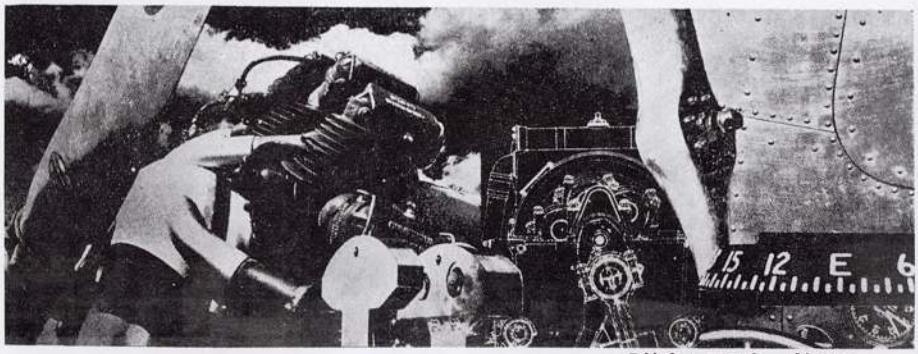


「リンカーンとアルゲルト」ミチエル・シボリン





「傀儡」マツクス・スピツバツグ



「航空」ワット・ダビス

「音樂」カール・ナース

壁畫は米國では18世紀ぐらひから行はれてゐた樣で大體今日南部地方に見られる樣な旅畫師と云ふ樣な手合ひが製作したものである。19世紀に入つて、その4分の3迄は有名な壁畫と云ふものは大がい歐洲の美術家の手になつたもので、このうち、ホワイト・ハウスのドームに描かれたものなどは、その好例である。その以後ジョンラ・フアルジエの活動期に入いつていつた。

1893年になつてワールズ・コロンビアン・エキスポジションを契機として、アメリカの美術家たちの間に壁畫の興味が湧上り、こゝで一先づこの時代の頂點を形づくつた。

勿論19世紀に於けるこの壁畫勃興時代の前衞にあるものはジョンラ・フアルジュその人であつた。後、全米に、普遍して現代壁畫の基礎をつくつた。しかし眞の現代壁畫運動はこゝ10年間のものである。

最近に於ける一般の壁畫復興の機運は 1920年代にメキシコ政府の後援のもとに端を發した壁畫藝術復興運動に於けるトーマス・ベントンなどの作品からくみとれるものであつて、米國での本運動の犬先鞭としてはジエゴビベラ等が推されるべきである。1930年代に入ると共に壁畫に對する一般の興味は著るしく高潮し1932年の5月に現代藝術博物館に蒐められた35畫家及び14寫眞家の作は藝術家には勿論一般民衆に壁畫藝術のテーマについて示唆する處尠しとしない。その翌年ハリーホツキンス先づC.W.Aの計畫のもとに、最初の官廳藝術として立案し、全米藝術家に壁畫藝術のためと大いに活動するの機會をあたへた。

壁畫は決して畫房に於ける藝術ではない。この藝術はむしろ社會的性質を有するものであると云ふ特質をもつてゐる。これが隆盛期に於ては、非常に社會的意味の表現、都市民の經驗、歷史、思想、信仰等の表現に關聯を有してゐた事によつても理解出來る事である。

さきに述べたC.W.Aによる官廳藝術運動の第一年に完成した壁畫は 434點をかぞへ、なほ制作中が54點で、その他スケツチに至つては、おびたゞしい數に上つてゐる。これらの壁畫は官公署の引受によつて經濟的な基礎を與へてゐた事は勿論である。

(Architectural Record, Sept., 1937より)



關口甚吉

〔1〕臺灣高砂族住家の研究　第1報。千々岩助太郎著　46倍版121頁　圖200　昭和12年6月版。臺灣建築會發行。本書の著者は臺北州立臺北工業學校の教諭である。氏が日本學術振興會の補助を得て臺灣原住民族たる高砂族の住家研究をなされしものゝ第1報である。高砂族の住家はその規模、構造は頗る幼稚であつても、我が國に於て全く特異のものであつて、古來の手法をそのまゝ繼承し、原始的建築乃至藝術の研究には、洵に貴重なものである。然しその居住地が、山間僻地峻嶺高峰のためと、又その調査には往々危險を伴ふので今迄正確なものがなかつた。氏はこれを慮してこの研究にあたられ、遂にその第1報を公にされたのである。

由來、民家の研究は吾々建築家にとつて甚だ大切で且つ興味のあるものに拘はらず、顧られる事は少かつた。今和次郎氏の「日本の民家」の單行本はこの意味に於て大いに價値ある先蹤であつた又、大正12年の7月の建築雜誌に載せられた今和次郎氏の「朝鮮の民家」は甚だ興味ある讀物であつたが、この文章は如何なる理由によるか後半の記載がとぎれて吾々の熱望を充たしてくれない。朝鮮總督府から、今氏の「パンフレツト」が出たとか聽いたが吾々は見る機會を得ない。

又石原憲治氏の地方「民家の研究」も東日本の分のみ建築雜誌に載せられたのみである事は惜しい。

之等の事を考へてゐる時、千々岩氏の「臺灣高砂族住家の研究」を得た事は吾々の甚だ喜びとする處である。本書は第1編總論に高砂族概說、建築特徵、各種族の建築概要が述べられ、第2編はパイワン族の建築について各地の實地調査の寫眞實測圖等が載せられてゐる。要するに本書は高砂族中のパイワン族建築論である。その記述は各社毎に沿革の概略を示し、主として各社の頭目の住宅の內外の寫眞、平、立、斷の實測圖を示されたものである。その方法は今氏の所謂、土俗學的、工藝學的でその住人の生活を彷彿たらしめてゐて見るものをして興味津々たらしめる。

記述中高砂族の頭骨棚はその野性に驚いたのであるが、偶然、澤田氏の「家屋雜考」を見てゐたら床の間の棚の條に「一書に、違棚は武士の高名したる首どもを載せ置く所なり。首には尊卑ある故二段にも三段にもするなり。袋棚は右の首どもを納め置く所にて、首桶の高さ一尺の定法なれば袋棚の高さは一尺一寸にするなり……」とあつて澤田氏はこれは妄說であると書かれてゐるが、違棚をかく考へ得るといふ事を考へると、大體屋外に頭骨棚をつくる高砂族よりも吾々の先祖は勇猛であつたらしい。

千々岩氏が第1報の次に第2、第3報を出されて、高砂族全體の住宅について報告を完成されん事を祈る。一つ希望を述べれば、寫眞が割合に暗く鮮明を缺くが、これは以前臺灣總督府から英文で高砂族のものを出された時の如く鮮明なものにして欲しい。

〔2〕山村生活の研究　柳田國男編、民間傳承の會版。昭和12年6月版、岩波書店發賣、1.9圓、菊判562頁。本書も日本學術振興會の補助を受けて柳田國男氏の指導の下に昭和9年5月より昭和12年4月に至る滿3ケ年、日本全國の各府縣1ケ所以上、互ひに若干の距離を有して隔離され且つ比較的交通機關に惠まれず、然も從來生活調査の未だ試みられざる山村、50餘箇所の鄕黨調査報告の綜合的な資料集である。

調査事項は第1項の村の起り、その言ひ傳へ、舊家より、第100項の幸福な家、仕合せよき人や家の話の、100項目を定め、調査の方法は調査地に1名の同人を派遣し、土地の傳承者を選擇して採集したものである。

直接吾々建築家に關係ある項目は

第8項　山小屋その建て方、そこでの食物。作法、禁忌。

第59項　圍爐裏の座席、その名稱、橫座を讓る客人、聟の座席。

第60項　間取り、デヰの使用法

等の數項にすぎぬが、吾々日本人の傳統の奥深さを知り、又日本民家の眞の味ひを知るためには全項目共熟讀に價するものである。吾々建築家の

民家研究、或は採集はともすると、單なるデイレツタントの餘技に墮する缺點がある。この意味に於て吾々は柳田氏一派の民俗學には大いに注目し又これに教へられる處がなければならぬ。又本書は所謂離村者、都市人口集中に對する社會問題の考察にあたつてもよき資料を與へてゐる。私は本書を讀んで、少年の日を想ひ出し、父母の生活を想ひ出した。

調査項目を集めた綜合報告である本文の「住居」の項は 1. 屋敷と家割り、2. 間取り、3. 圍爐裏の項にわけて、日本各地の調査が分類綜合的に記述されてゐる。又別に「家屋敷の出入口」の項があり、家屋敷に住む居住様式の型を知る事によつて經濟、宗教その他一般生活を明かにしてゐる。例へばこの中に「花嫁が婿家に入る時の入口」に 2 つの別があるとして述べられてあるのを見れば、「(イ)花嫁が勝手口より入るもの。栃木縣野上村ではトホーグチより入る。嫁がクグリを入る時兩親ある子供が松火をかざして尻を叩く眞似をする又若い男が1人、笠をかぶせる眞似をする。……(ロ)改まつた出入口より入るもの。富山縣上平村では花嫁はデキの口から入る。花嫁は婿家に入る時盃で水を飲む。この時嫁方の仲人が渡しましたと言ひ、聟方の仲人が受取りましたと言ふ……」

この調子で日本全國50餘箇所の例が記述されてゐる。たゞ讀むだけでも面白い本であり、將來は品薄になる本ではないかと思ふ。

〔3〕科學と社會　J・ハツクスレー著、日本學術振興會譯。菊判 288 頁、索引 9 頁、寫眞41頁。昭和12年 9 月版。帝國大學新聞社 2 圓。本書は英國の Julian Huxley 教授の "Scientific Resarch and Social Needs" を日本學術振興會より飜譯發行されたものである。著者が英國の學校、研究所、工場その他あらゆる研究施設を訪ひ、その研究目的、組織、經費、研究結果の實際應用をしらべて、科學研究が衣食住健康の如き國民生活、國防福祉等に對しどれ程行はれてゐるかを吟味し、次で國民の必要をどの程度迄滿足してゐるかを定め、今後に於ては、この世をなすものは人である故、人を主にする研究を進める事が必要であると述べたものである。内容は 1. 科學は味方か敵か 2. 生産の增加、3. 科學と食糧、4. 科學と建築、5. 科學と被服、6. 科學と健康、7. 科學と交通、8. 科學研究と工業、9. 科學と戰爭、10. 人類と戰爭、11. 純正科學、12. 科學と國際的必要、13. 結論摘錄の13項よりなる。記述は問答體のものをも交へ極めて平易に述べられてゐる。

由來、科學或は學問は人生の必要より生じたものであるが、これが進むにつれて、漸次實生活から遊離する傾向にあり、研究が進めば進む程、研究者はその研究が人生と如何なる關聯あるやを忘れる事が多い。この傾向をためなほさんとするのがこの著書である。氏によれば「科學は自然界の知識を得、また自然界を統制するための特殊な方法で、その形式と方向とは多く場所と時代と社會的及び經濟的必要によつて決定される」といふのである。又科學を 4 つの範疇に分けてゐる。それは 1. 背景的研究(原子物理學等) 2. 基礎的研究(土壤學、氣象學等) 3. 特殊研究(燈用のための放電管の研究) 4. 工業界に於ける實用化である。「科學と建築」の章に於ては最初に自動車工業と建築工業の奇妙な對照から述べられてゐる。歐洲大戰を境にして自動車は次第に改善せられ、その價格も一般に低廉となり、供給は需要に對して適宜良しきを得てゐるが、他方家屋は供給は需要に達せず、價格も一般に昂騰し、その特質と便宜は考量されず舊態の儘のものが多い。これは自動車が大量生産で熱烈な研究と發明があるに反し、家屋は舊來の傳統の方法そのものに安んじてゐる。といふ事から說き出して、大量生産の家、輕量鐵骨構造の家、慰安、便益、寒濕、騷擾、漆喰等あらゆる問題について、英國にて最近研究されてゐる概略を述べ、これに指針を與へてゐる。貧民窟問題をも 2 つの見方を述べ、住居の對照として、「貧民窟のこの人間生活」と「ロンドン動物園の近代的の立派な猿檻」の寫眞を出し、動物園のゴリラと吾々都市人類とのために設けられてゐる設備の矛盾を、今後50年もたつたら國家後援の建築研究機關が解決するだらうかと結んでゐる。

要するに本書は我國の科學研究の進むべき方向に大なる指示を與へ向上に資するの書である。

建築申請書及届書雛形

其の 3

法制委員會

大阪府の分

(1) 建築届書

建築届にありては、本例の如く輕易なる場合は設計書を省略する事を得。又届の場合は建物の主要斷面圖に代るに、建築物の高と前面道路との關係を示したる圖面を以てする事を得。又本例の如く長屋の場合は、各戸の用途、敷地面積、建築面積及び其の比を示す附屬調書を添へるを要す。

届書の圖書の内容を變更せんとする時は本例に準じ更に届書を提出するを要す。其の場合届書の「關係事項」欄には前提出の届書の、届濟受了の年月日及番號を記入の事。(認可申請の場合も同樣)

尙届書、認可申請書は所轄警察署を經由すること。起工届、上棟届、竣工届等は所轄警察署へ口頭を以てする事を得。

(2) 建築認可申請書(工場)

法、令、規則、特殊建築物耐火構造規則、特殊建築物規則又は細則に依り、許可、認可又は承認を受くる事項ある時は、別に其の申請書を提出するに代へ、届書、建築認可申請書の當該欄に併記する事を得。

道路敷の明示は大阪市役所に願ひ出ること。

尙建築届書、建築認可申請書の用紙は某所に於て販賣せられ居るも、普通の罫紙を用ひるも差支へ無し。

大阪府

建築届書（屋長）第一葉

昭和十二年十一月八日

大阪市東淀川区三津屋中通七丁目一番地

建築主　岩浪文吉　電話　局　番

建築工事管理者　　電話　局　番

大阪府知事　池田清　殿

建築届書

届出事項

市街地建築物法施行規則第百四十四條ニ依リ住家新築ノ届出ヲナスモノナリ

関係事項

特ニ許可認可又ハ承認ヲ受クルコトヲ要スル事項

敷地所有者　氏名　岩浪文吉　住所　大阪市東淀川区三津屋中通七丁目番地

敷地使用上故障ノ有無　未敷地ハ自己所有地ニ付使用上故障ナシ

摘要書

用途	地域地区	位置	敷地面積
住家	工業地域　非防火地区	大阪市東淀川区三津屋中通七丁目一番地	五四坪五合六勺 比〇・六四

大阪府

建築届書（屋長）第二葉

建築面積ノ合計	三五坪〇合八勺（現存 ナシ / 本願 三五坪〇八）
建築工事請負人	氏名 田中一太郎 住所 大阪市東淀川区十三西之町六丁目三番地 電話 局 番
建築工事設計者	氏名 宇野武 住所 大阪市東淀川区三津屋北通四丁目七番地 電話 局 番
建築工事監督者	氏名 / 住所 電話 局 番
竣功ノ予定期日	昭和十三年一月三十一日
道路敷其ノ他ノ明示又ハ建築線指定年月日	昭和六年十月二十日警建第一三七五号建築線指定済

建築物表

番号	名称	構造種別	建築面積	高	軒高	工事要旨
	住家	木造瓦葺二階建	三五・〇八	二五五	一六五	新築
	第一階		三五・〇八			
	第二階		二一・一五			
	床面積		五六・二三			
	附属書類					
	敷地面積ニ建築面積ノ比率					
①	住家		一八坪九二	一二坪六九三		〇・六二
②	仝		一六坪七二	一二坪六九三		〇・七〇
③	仝		一八坪九二	一二坪六九三		〇・六二
	計		五四坪五六	三五坪〇八		〇・六四

大阪府

建築認可申請書（工場）第一葉

昭和十二年十月二十五日

大阪市東淀川区木川西之町九八番地
建築主 村上健一 ㊞
電話 局 番

建築工事管理者
電話 局 番

大阪府知事 池田清 殿

建築認可申請書

市街地建築物法施行規則第百四十三條ニ依リ金属品工場新築ノ認可ヲ受ケントスルモノナリ

認可申請事項	市街地建築物法施行規則第百四十三條ニ依リ金属品工場新築ノ認可ヲ受ケントスルモノナリ
關係事項	
敷地所有者	氏名 南良造 住所 東淀川区田川通五丁目二番地
敷地使用上故障ノ有無	本敷地ハ借地權ヲ設定セルモノニシテ使用上故障ナシ
特ニ許可認可又ハ承認ヲ受クルコトヲ要スル事項	

摘要書

用途	金属品工場 製品 建築用ノ戸車 電動機一〇馬力 原料 鋳造戸車原形 作業状態 鋳造戸車原形ニ施盤、ミーリング、ボール盤等ニテ加工シ建築用戸車ヲ製造スルモノナリ
地域地區	工業地域 非防火地區
位置	大阪市東淀川区三津屋南通九一番地
敷地面積	二二九坪 四合 一勺 比〇・二八

大阪府

建築認可申請書（工場）第二表

建築面積ノ合計	六四坪一合五勺（現存ナシ 本願六四坪一五）
建築工事請負人	住所 東淀川区十三西之町十丁目一番地 電話 局 番 氏名 神崎與一
建築工事設計者	住所 東淀川区田川町七丁目八番地 電話 局 番 氏名 宇野武
建築工事監督者	住所 電話 局 番 氏名 /
竣功豫定期日	昭和十二年十二月二十日
道路敷其ノ他ノ明示又ハ建築線指定年月日	昭和十二年二月二十一日大阪市指令土第三四六号明示 昭和五年四月一日建第九六六九号建築線指定

建築物表

名称	構造種別	建築面積	高	軒高	工事要旨
金属品工場	木造石綿板スレート葺	三二坪〇〇	九尺〇寸	一二尺〇寸	新築
	第一階	三二坪〇〇			倉
	床面積	三二坪〇〇			
附属住家	木造瓦葺	三二坪一五	二四尺五寸	二〇尺〇寸	新築
	第一階 面積	三二坪一五			
	第二階	一三坪八四			
	床面積	四四坪九九			

大阪府

表三第（場工）書請申可認築建

設計書

敷地　道路面ヨリ高クナシ、雨水及汚水ハ適当ナル箇所ニ會所ヲ設ケ之ニ集中シ三寸上管ニテ公設下水路（連絡排水ニ便ヽ道路境界ニハ石材ニテ巾以法十八種ノ雨水溝ヲ設ケ溝底コンクリート造排水路連絡ス會所ハ煉瓦半枚積内面モルタル塗仕上　〃

溝渠類ハ防水材料ニテ構造ヽ百分ノ一ノ勾配ヲ附ケ尤モ金網張装置トス

建物前面犬走リハ防水材料ニテ築造、以側溝石ニ端ヘ百分ノ一ノ勾配付

建物内地盤ハ敷地面ヨリ二寸以上高クナシ、厚三寸以上ノコンクリート打トス

基礎　建物周囲並ニ屬ス通リ布堀ナシ、栗石ハ端立ニ並ベ調合セメント三、六ノ割合ニテ深サ一尺巾五寸ノ「フーチング」付ノコンクリート地形ヲナス。

アンカーボールトハ径四分ノモノヲ約九尺間ニ埋込ミ置ク。柱及束下玉石ハ横径各圖示記入寸法ノモノヲ鉤掲キ充分ニナル据付ケ

土台　檜一等品継手台持鎌継、下端防腐剤塗基礎ヘ緊結ノ事

隅ハ燕土台ボールト締トス

柱　通柱ハ檜四寸角管柱ハ杉三五角ヲ用ヒ上下枘差込栓打トス、工場ノ分ノ柱ハ米松四寸角便用、柱ト胴差ハ通柱ノ場合ハ斜大込短枘差トシ枘穴ハ柱心ニテ出合ハザル様上下左右ニ堀分トシ平鉄當テボールト締トナス、隅ノ通柱ノ場合ハ前同様ノ仕口トナシ之ヲボールト引締メ又ハ曲鉄便用トス　柱上下込栓打ヲナサザル所ハ短冊金物ヲ當テ逆目釘三本打トス。柱ト軒桁ハ桁長一間ニ付一ケ所ノ割合ニ羽子板ボールト使用ノ事

筋違　外壁ノ壁付部分ハ各階毎ニW字形又ハM字型ノ筋違（柱三ツ割）ヲ入レ両端柱又ハ横架材ニ傾斜付大釘二本打トス、尚足天ノ踏張リハ大体六尺以上トシ柱ト交叉スル部分ハ柱ヲ欠キ取リ筋違ヲ損ゼザルコト。間壁ニハ押入ノ内部又階段横等ノ見エ隠レノ部所ニ前記同様ノ筋違ヲ嵌入スルコト

大阪府

表四第（場工）書請申可認築建

方杖 桁行側胴差下ニテ傾斜四十五度大サ柱角ヨリ五分落長サ四尺ノ方杖ノ両端斜並栓ボールト締ニ取付ケ

胴差 松七寸乃至九寸使用継手ハ追掛大栓トス

敷桁 松六寸継手ハ追掛大栓トシ隅ハ相欠キ燃材ボールト締メトナン柱ト小羽子板ボールト締トス

尚各軸組部材ノ寸法ハ図面記入ノ通リトス

床構造 床高ハ一尺七寸トシ床下ニ通風孔及通当ニ掃除口ヲ設ケ、一階床ハ床束ヲ礎石上ニ据築ヨリ建テ水横燃横ニ大引根太堅固ニ組立テ、上階床ハ小梁ヲ三尺間ニ配シ之ニ板割ヲ疎間ナク大釘三本ニテ張リ立ツ端四隅ハ燃材ヲ使用スルノ外要所ニ厚二分巾二寸長サ六尺ノ平鉄ヲ梁ニ沈ミ入レ逆目釘木当リニ木打トス

小屋組 工場ノ分ハ真東小屋組トシ住家ノ分ハ京呂甲掛羽子板ボールト締トシ東ハ上下桁差シ鎌打火横差通シ組固ム。棟ハ寸八角使用尺五寸間ニ大釘脳天打、母屋ハ押ヘ角トス。野地板ハスレート葺ノ箇所ハ杉板割瓦葺ノ箇所ハ荒板使用

天井 天井板ハ杉四分板ハ寸巾使用重ネ充分トシ、廻縁米松一寸四分角竿縁母屋一寸角、釣木三尺向ニ配シ適当ナル掃除口及通風口ヲ設ケ。

階段 踊場共巾内法八〇糎蹴上二十三糎、踏面十六糎ニテ側板上下横物ニ取付ケ段板ハ厚一寸トシ側板ハ大入レ裏ハ杉四分板羽重ネ張リトス

屋根工事 工場ハ菱形石綿盤スレート釘打トシ住家ハ瓦葺亜鉛鍍金釘又ハ銅線ニ依ニテ野地ニ緊結ス。何レモ雨仕舞ヨリ覆葺ト雀口ハセメント漆喰ニテ塗塞ス

錺工事 軒樋ハ亜鉛引鉄板製半円型径三寸五分堅樋ハ円型径二寸五分各継手ハ小鋲止メ半田付トス。落口ハ漏斗形ニ造リ釣金物樋金物共四尺間内外ニ取付ケ

各種通風穴ハ銅網三分目張リトス

大　阪　府

建築認可申請書（工場）第五葉

左官工事ハ壁表ハ漆喰塗トシ小舞竹掻キ付ケ荒壁裏返シ中塗等ナシ充分乾燥セシメ鏝押ノ上仕上ヨナス。同セメントモルタル塗ノ場合ハ下地ラス三十八番張、外部焼杉張ハ杉四分板トス。凡テ雨掛リハ雨仕舞ニ充分注意ヲ拂ヒ事故ノ生ゼザル様施工ノコト

便所木部構造ハ圖面及前記各項ニ依ヒ体裁ヨク築造シ、糞尿槽及尿槽ハ不浸透質材料ニテ造リ壺ノ上口周囲ハ厚三寸ノコンクリートニテ滿半形上塗ハモルタル仕上、床下部分ハ煉瓦積ニテ他ノ部分ト遮断ス。汲取口ノ下端ハ地盤ヨリ十糎高クシ直接道路ニ面セシメズ

其ノ他炊事場流元井戸端、浴室其ノ他常ニ水ヲ使用放流スル場所ノ地盤、床面ハ防水材料ニテ構造シ之ヲ溝渠ニ接續スルコト

金属製煙突ニシテ木材其他燃質材ト五寸以上ノ間隔ヲ保有セザル時ハ石綿盤又ハ漆喰巻厚三寸ニテ被覆ス

各居室ハ直接外気ニ面シテ室面積ノ二割以上開放シ得ル構造トシ、各居室ニハ間仕切欄間及下地窓等ニヨリ換気孔ノ設備ヲナスコト

窓（一階ノ分）、出入口、門、木戸等ノ扉ハ開閉ノ際ト雖モ建築線ヨリ突出セザル事

以上

大阪府

表六第（場工）書請申可認築建

（寫）

大阪指令土第貳四六八號

大阪市東淀川区田川通五丁目二番地

南良造

昭和拾年貳月拾五日付願東淀川区三津屋南通九一番地

市道路敷

明示ノ件左ノ通了知セラルヘシ

昭和拾年貳月貳拾壹日

大阪市長　加々美武夫

一、道路敷明示区域別紙圖面ノ通トス

二、前項区域ヲ侵シ工作物ヲ設ケタルトキハ直ニ撤去セシムヘシ

三、工作物竣成ノ上ハ竣成後七日以内ニ本市ニ届出ラルヘシ

四、都市計畫路線明示ヲ要スルトキハ其ノ明示書ヲ受ケラルヘシ

會報

本協會員中軍務公用者氏名

10月號本欄にて發表後に於ける本協會員中の軍務公用者は下記の通りであります(届出順)

會員	大津敏夫君	地方會員	吉原侑三郎君
普通賛助員	水口貞一君	普通賛助員	小林清治君
會員	宇藤石夫君	同	村田義雄君
同	島崎政男君	會員	佐藤正二君
同	谷信太君	普通賛助員	谷口利常君
普通賛助員	權藤貢君	會員	楠正己君
同	正木由雄君	地方會員	進木義雄君
會員	堤多計士君	普通賛助員	高木利典君
同	小川光一君		

名譽の戰死者



普通賛助員
故 大内重夫氏

普通賛助員大内重夫氏今次の支那事變に於て名譽の戰死を遂げらる洵に哀悼に禁へす茲に照肖と略歷を掲げ恭しく弔意を表す。

1. 氏は明治43年 5月13日兵庫縣加古郡高砂町田町大内喜太郎氏の次男として生る。
1. 昭和 3年 3月兵庫縣立工業學校建築科を卒業。
1. 同年 4月大塚工務店に入店。
1. 同5年12月1日姫路歩兵第39聯隊に幹部候補生として入營。
1. 同6年12月1日退營。
1. 同10年10月21日當協會に入會せらる。
1. 同12年8月2日動員下令により應召沼田部隊に所屬出征す。
1. 同月27日北支四黨口の戰闘に於て名譽の戰死を遂げらる。

倘本會よりは靈前に香花を供へ表弔す。



終身賛助員

故 有山福重郎氏

終身賛助員有山福重郎氏昭和12年 9月20日逝去せらる、寔に哀悼に禁へす茲に照宵と略歴を掲げ謹みて弔意を表す。

有山氏は明治24年土木建築請負業を開始し大正7年12月本會終身賛助員として入會今日に至る

君は大正10年神津村會議員となり次で衆望の歸する處大正12年 9月大阪府會議員に當選し、四たび選ばれて今尚其職に在り其間大正14年 6月に大阪市會議員に當選し其任に在ること實に10有 2年の久しきに及び、大阪市政の爲めに貢献する處誠に尠なからす。殊に社會、經濟、教育、土木、産業、衞生各方面に關係して努力すること尠なしとせす又清龍街道、水道設備、小學校運動機具、火災警備、神社造營、警察署敷地、郵便局、青年訓練所職業紹介所等に對し、約五萬圓の資金を寄附して以て其事業の完成を促進したるが如き又以て君が志の存せし處を窺ひ知るに足る。

斯くして昭和 7年11年陸軍特別大演習に際し、自治功勞者として特別拜謁の光榮に浴し同 8年自治功勞者、同10年實業教育功勞者として府知事より表彰を受けらる。

然るに不幸慶の犯す所となり、昭和12年 9月20日午前零時藥石効なく66歳を一期とし、溘焉として長逝せらる誠に痛惜に禁へす

常　務　會（第20回）

時　10月4日午後5時—6時20分
所　建築材料陳列場別室
出席者　理　事　竹腰副會長
　常　務　井上主記、小川主記
　中澤主記、中西主記
　加田主計、伊藤編輯
　新名編輯、堀口編輯

議　事

1. 10月例會に關する件
2. 床板規格統一に關し材料委員會より再度答申の件
3. 昭和13年度會員名簿調製に關する件
4. 都市武裝促進委員會記錄一部寄贈の件
5. 應召會員留守宅宛書面の件
6. 昭和13年度豫算に關する件
7. 基礎研究會近畿支部事務所を併置願出の件
8. 支那事變空爆地へ派遣に關し都市計畫委員會より具申の件
9. 會員詮衡

報　告

1. 9月分會計報告
2. 9月例會終了報告
3. 片岡會長より圖書寄贈に關する件
4. 朝鮮建築會創立十五周年記念式擧行の件

法制委員會（第8回）

時　10月6日午後6時30分—9時
所　建築材料陳列場別室
出席者　幹　事　松井、山口
　委　員　板井、本田
　藤田、板倉

1. 質疑應答に關する件

住宅委員會（第11回）

時　10月8日午後6時30分—8時30分
所　協會倶樂部室
出席者　委員長　石川
　委　員　伊藤、小林
　新名、玉置

中　野

1. 住宅讀本原稿に關する件

災害强度委員會（第11回）

時　10月12日午後6時30分—9時

所　建築材料陳列場別室

出席者　幹　事　中　井

委　員　内　藤、堀　口

矢　田、山　田

横　田、西　島

平　野、菅

1. 地質調査圖作製の件
1. 風壓實驗見學の件
1. 型枠に關する研究完成の件

教化委員會（第8回）

時　10月14日午後6時20分—8時30分

所　協會倶樂部室

出席者　委員長　永　澤

幹　事　篠　原

委　員　坂　本、鈴　木

1. 大工業組合の代表者と意見交換の爲座談會を開催するの件

材料委員會（第17回）

時　10月14日午後7時30分—9時

所　建築材料陳列場別室

出席者　幹　事　松久保

委　員　秋　田、小　川

楠　瀬、道　田

1. 建築用諸材料研究に關する件

鐵鋼工作物築造許可規則ニ關スル懇談會

時　10月15日（金）午後2時25分—4時

所　新大阪ホテル

出席者　大林組　石田　信夫　　妹尾　一夫

竹中工務店

山脇友三郎　　土居熊次郎

清水組大阪支店

小笹　德藏　　鈴木　一幸

大塚　義威　　田中　壽夫

錢高組　藤坂捨次郎　　森生軍次郎

大倉土木株式會社大阪出張所

太田　浩藏　　保田虎太郎

松尾鐵骨橋梁株式會社

松尾　岩雄

日本橋梁株式會社

武田　富吉

日本建材協會

武田　五一　　欅田　藤郎

增田　熊一

日本建築協會

片岡　安　　竹腰　健造

松本　禹象　　冨士岡重一

渡部　圭吾　　井上　福藏

小川　陽吉　　中澤誠一郎

中西　六郎　　樋口辰太郎

加田　安彦　　伊藤　武文

新名　種夫　　堀口　甚吉

吉田　信武　　計31名

1. 午後2時25分片岡會長座長となり開會
1. 先づ片岡會長より今回鐵鋼工作物築造許可規則の發布されしに付急遽本日懇談會を開きたる理由並に本協會は其對策に關し指導的立場にあることを說明して愈々懇談に入る
1. 種々懇談の結果下記 2件に付委員會を設け之が意見書其他を起草して當局其他に至急發送することゝなる。

1. 政府並に當局に對し規則運用に付意見書の件
2. 運用に關し參考資料蒐集の件

1. 次で之が起草委員會を作ることゝなり下記諸氏に委員を依囑す

第1部委員會（運用に關する意見書作成）

大林組　竹中工務店　清水組

日本建築協會

竹腰副會長　　小川　主記

中西　主記

中澤誠一郎（オブザーバー）

第2部委員會（運用に關し參考資料蒐集）

大林組　竹中工務店　清水組

松尾鐵骨橋梁株式會社

日本橋梁株式會社

日本建築協會

竹腰副會長　　小川　主記

中西　主記

1. 右にて懇談會を閉し解散
1. 次で同會場に於て直に第1部第2部の委員會を開き大體の方針を定め次の通各部委員會を

開くことゝし散會したり時に午後5時

第 1部委員會は10月16日（土）正午、協會に於て開會

第 2部委員會は10月18日（月）正午、協會に於て開會

鐵鋼工作物築造許可規則實施に關する座談會

時　10月15日（金）午後6時—8時35分

所　協會倶樂部室

出席者　竹腰　健造　中澤誠一郎　中島　富造
中島　敏雄　三浦　茂　中西　六郎
小川　陽吉　宮田　秀穗　河津喜之介
矢野　藤一　吉田　信武　中村　國男
永井　三郎　鈴木　一幸　大塚　義威
山手　研吾　高田利一郎　平塚　鈴吉
吉村　寛造　高橋　慶夫　村島　彰
小河吉之助　瀧口　芳雄　杉浦　巴
松久保敬三　畑中　善造　福島　貫
劍持　剛　白鹿　政典　鬼武　信夫
住谷　慧秋　坪井　誠一　高阪信次郎
左雲勘治郎　白石　英夫　飯田　榮一
恒岡　俊行　中井新一郎　前阪　勝三
須賀藤五郎　塚本　猛次　森本　藤吉
中野　吉彌　前岡　幹夫　島田　眞藥
米田　貞一　鈴木　孫市　木村　寬一
芝田　知重　四方　靖郎　山田七太郎
小泉　昇　重松傳三郎　澁谷　經久
濱田　豊　青嶺　英次　竹中　景一
中野順次郎　長尾　清一　藪中　一眞
青島　務　井上　正男　日比　文雄
杉浦　重彦　田中　義博　小林　行雄
大隅　武夫　西島　勇

1. 午後6時20分竹腰副會長座長となり開會

竹腰副會長より本日急遽座談會を開催したる理由に付說明をなし次で中澤主記より鐵鋼工作物築造許可規則に付發表の出來得る範圍に於て其實間に應じ後本件に關し各自の希望及意見の交換ありて近來稀なる盛會裡に閉會したり時に午後 8時35分

鐵鋼工作物築造許可規則に關する
第 1 部 委 員 會

時　10月16日（土）正午—5時

所　建築材料陳列場別室

出席者　大　林　組　石田　信夫
竹中工務店　平塚　鈴吉　芝田　知重
清　水　組　清水揚之助　鈴木　一幸
大塚　義成
日本建築協會　竹腰副會長
小川　主記　中西　主記

1. 竹腰副會長座長となり開會
1. 昨15日開會の全委員會後本協會事務所に於て委員會合作成したる原稿を基礎として下記の通決定政府並に各地方長官等一八四名に親展速達便を以て發送す

昭和12年10月16日

社團法人日本建築協會會長

工學博士　片岡　安

宛（官職氏名）

鐵鋼工作物築造許可規則
運用に關する意見書

我國現下の非常時局に際し我協會二千の會員は素より凡そ建築の業務に從事する者の總てが之れに對する國策に順應し國民としての責務を果すべき充分の覺悟を有するは論を俟たざる所なり今回非常時局對策として發令せられたる昭和12年10月11日商工省令第24號鐵鋼工作物築造許可規則に對しても充分其意の存する所を認識し其精神を遵奉し國策遂行の一端に資せん事を期するものなりと雖も建築業務の階梯に通曉することなくして之が運用を誤る事あらむか社會に及ぼす影響の甚大にして且つ廣汎なるべきに鑑み左に建築業界實情の一端を叙述し實際に即したる法の運用に資せんとするものなり。

工作物の築造は通常注文者より請負業者へ其築造を請負はしめ請負業者は之と同時に各種材料及工事を夫々各種多樣なる專門業者へ注文手配するものにして着手の際には既に分業的に加工せられ居るを例とし一見築造開始と看らるゝ時に於てさへ既に相當進捗し居るの實情なり然るに一度之が中止を見んか注文者對請負業者間の問題は暫く措くも其下請たる多數專門業者及び之に從事する技術者及職工との關係並夫々の特殊製品及半製品の處置に關する問題は複雜なる紛糾事件となり然も加工濟の鐵鋼材に至りては他への流用も事實不可能にして全く腐朽に任かすに至るべし且つ一面工作物築造は人力使役に俟つこと大なるを以て失業者の激出により社會上經濟上に及ぼす影響は頗る廣範圍に亘るべし。

基礎工事の相當進捗せるものにありては前項の事情は特に顯著なるのみならず更に深甚の考慮を拂ふの要切なるものあるべし即ち其の工法に於て看るに建築の大小種類地質等態様極めて多種多様にして或は基礎の構築に長日月を要するものあり又中途に打切り難きものあり從つて基礎工事は完了せざるも寧ろ全工程としては非常の進捗をなせりと見らるべきものありて一言を以て律すべからず本法令は基礎工事完了せるものに對しては何等適用せざる規定なるも其完了を見ざるものに對しても基礎の種類及工事進捗の程度を充分に考慮參酌し運用の圓滑を期するの要あり一面基礎工事の中途に於て中止するときは保安上極めて重大なる危險を生ずる處あり特に市街地に於て然り之等に對しては保安維持の見地より特別の配慮を必要とするものあり。以上

十　月　例　會

日　時　10月17日（日曜日・神嘗祭）午前10時半
京阪天滿驛集合

目　的　石清水八幡宮、水無瀨宮新願
壽屋サントリー・ウヰスキー工場見學

出席者　47名下記の通り

猪瀨幸太郎	泉　量一	泉谷　四郎
岩尾　保衞	岩崎甚太郎	上田豐太郎
小川安一郎	小田　正二	奥村丈太郎
木村　長雄	久野鎭太郎	黑澤　研
佐々木一雄	酒井勇三郎	後川卯三郎
澁谷　經久	鈴木　一幸	鈴木　强
鈴木　孫市	高野新治郎	竹中　景一
武田　經一	島越　眞一	中村　國雄
中村　昌三	濱田　豐	平原　國雄
三好喜三郎	水口庄太郎	水知　忠清
和久　眞一		

京都方面及途中參加者

伊藤　康夫	池田總一郎	尾龜清四郎
大村榮太郎	左谷　陽亮	友淵　善信
永瀨　狂三	西村　信一	廣瀨源三郎
本田　長次	矢野　藤一	服部　保

役　員　井上　福藏　加田　安彦　中西　六郎
樋口辰太郎

1. 本日は內務省では官國幣社をはじめ全國11萬の府縣社、鄕社、村社に至るまで臨時中祭として一齊に祭典を行はしめ是又今次の事變に關し奉告祈念せしめ所謂全國一齊に神社デーであるので9千萬國民一齊に大御心を戴して神社に參拜新願する日である。
1. 昨日の雨に一夜を案じつゝ朝來終日晝天は幸であつた。
1. 京阪天滿驛、石清水八幡宮境內は至る所人を以て滿たされ吾等一行の八幡宮臨時祈禱殿前に集合したるは正午なり當日一行全員揃つて新願は出來ず本會より井上常務、鈴木一幸氏、小川安一郎氏、岩尾保衞氏、武田經一氏、酒井勇三郎氏總代となり新禱殿に上り皇軍の武運長久を新願し他の一行は拜禮して下山す。
1. 下山の途次中腹にある春の家茶店にて一同晝食休憩。
1. 次で八幡一橋本間を京阪電車により橋本渡に至り淀川を渡船して三島郡島本村廣瀨に鎭座ましますす水無瀨宮に至る時に午後3時。
1. 此所は八幡宮とは異なり 2.3參詣者あるも如何にも神々しく殊に禰宜田島守俊氏の親切なる斡旋により中西常務外會員一同皇軍の武運長久を新願し丁つて有名なる後水尾天皇の茶室を田島禰宜の鄭重なる說明により拜觀の上同宮を退出した。
1. 歸途數町の三島郡島本村山崎にある壽屋サントリーウヰスキー工場に立寄る同工場長谷井英彦氏以下職員の出迎へを受け特に設けられし幕內に案內され休憩
休憩中谷井工場長の挨拶及同工場の沿革並ウヰスキー製造の順序等の說明ありて一同を 2班に分ち工場內に案內され詳細なる說明を聞く
見學終了後再び幕內に入り製品試飮をなす。
中西常務は一同を代表して謝辭を述べ退出解散す時に午後 5時過

鐵鋼工作物築造許可規則に關する
第 2 部 委 員 會

時　昭和12年10月18日（月）正午ー午後 4時

所　建築材料陳列場別室

出席者　大　林　組　妹尾　一夫
竹中工務店　土居熊次郎
清　水　組　小笹　德藏　三井田清治
大塚　義威
松尾鐵骨橋梁株式會社　相谷　昌次
日本橋梁株式會社　武田　富吉

日本建築協會　竹腰副會長
小川　主記　　中西　主記

1. 參考資表を作成（省略）

常　務　會

時　10月18日午後5時40分—8時
所　建築材料陳列場別室
出席者　理　事　片岡　會長　竹腰副會長
常　務　小川　主記　中澤　主記
中西　主記　加田　主計
清水　主計　伊藤　編輯
新名　編輯　堀口　編輯
吉田　編輯

議　事
1. 昭和13年度收支豫算の件
2. 評議員會及通常總會開催日取決定の件
3. 會費滯納者處置に關する件
4. 京大建築會より物品貸與方申越しの件
5. 基礎研究會近畿支部發起人總代へ回答の件
6. 鐵鋼工作物築造許可規則運用に關する意見書の件
7. 鐵鋼工作物築造許可規則に關し在來の建築認可に付各地方長官へ希望書の件
8. 同上規則に關し鐵筋鐵骨使用數量調査に關する件
9. 會員詮衡

報　告
1. 10月例會終了報告
1. 和歌山縣建築協會創立挨拶の件

都市計畫委員會（第13回）

時　10月21日午後6時30分—7時30分
所　協會倶樂部室
出席者　委員長　鳥　井
幹　事　福　知
委　員　加　藤、龜　井、吉　田

1. 委員會報告原稿に關する件

會　員　動　靜

入　會　者

會　員

實崎　靖君　旭區森小路町649 松本方（大阪府建築課）
平川　武久君　旭區江野町 206（大阪府營繕課）
增田幸次郎君　西成區西萩町7 奈良方（大阪市教育部建設課）
山口　挺二君　兵庫縣武庫郡住吉村1442（竹中工務店）

特別贊助員

清水磁太郎君　兵庫縣武庫郡精道村芦屋濱（大阪製鎖造機株式會社）
森　博君　北區中之島5ノ30 佐藤合名會社内（同社）
加納　康夫君　北區兎我野町 123（日刊工業タイムス社）

普通贊助員

大西饒多郎君　港區九條南通2ノ157（竹中工務店）
清家　政晴君　神戸市葺合區琴緒町2ノ51 辻堂方（兵庫縣營繕課）
西原　重喜君　豊中市櫻塚1126吉本方（村上工務店）
佐々木善四郎君　東淀川區長柄西通 2ノ35（大阪市營繕課）
佐藤　馨君　此花區吉野町3ノ22（第4師團經理部經營科）
藤江　道造君　北區野崎町55（第4師團經理部）

退　會　者

會　員

河野　武君　高木　太作君　大越　進君
河合　幾次君　鴻坂　光夫君　島野　七郎君
末岡　好松君　山之内正一君　弓達　修君

地方會員

上枝　卓君

特別贊助員

井上　民治君　眞宮　義輔君

普通贊助員

竹中幾太郎君　古田　敬德君　小林　達治君

轉　居　轉　勤

會　員

青島　務君　堺市南三國丘町1ノ12 田淵方
大澤　一郎君　愛媛縣新居濱惣開住友化學窒素工場增築場大林組出張所
吉田　正彦君　兵庫縣川邊郡伊丹町春日通 275

平嶺　四男君　朝鮮總督府會計課 第2營繕係
竹內佐平治君　京都市左京區一乘寺門口町 2
野田　進君　住吉區田邊東之町 5ノ20
榎本　淳一君　大連市千草町2 澤アパート2ノ2
垣內　泰雄君　神戶市須磨區下中島町2ノ6
鳥越　貞一君　西淀川區塚本町502 小森方
二宮　太平君　大連市初音町 141ノ12
會津　松藏君　西宮市今津字曙 8
石川禎一郎君　西區北堀江御池通 1丁目
石原　達偉君　住吉區桑津町309ノ1
宇津木　潔君　兵庫縣伊丹町伊丹
大野　順君　京都市右京區嵯峨梅ノ木町 3
加納　眞一君　兵庫縣川邊郡稻野村南野 601
岸　好雄君　府下濱寺町下石津1243
栗岡　忠夫君　東淀川區豐里町1758淀の水ハウス
黑澤　董允君　（勤務先）南海土地建物株式會社
住野　一義君　住吉區阪南町東3ノ7
關原　猛夫君　住吉區北田邊町 170
武部　秀治君　府下枚方町伊加賀 780
佃　十俊君　府下中河內郡矢田村照ヶ丘 893
中野順次郎君　北區都島本通 7ノ69
野田　清三君　神戶市須磨區須磨浦通 6丁目
濱田　正雄君　府下池田町本町上田工務店內
平田　正男君　兵庫縣武庫郡五木村下新田出井綠寮
平山　琴治君　府下千里山312
福田　政治君　住吉區墨江町東 8ノ46
松森　修太君　旭區北清水町1118
三浦　耕一君　府下豐能郡豐津村垂水 113
三上　巖君　府下北河內郡三鄉町 113
村田重太郎君　京都市左京區南禪寺福地町眞乘院內
山中　茂一君　堺市南三國丘町3ノ120
和田　友吉君　松江市母衣町154（山陰貯蓄銀行）
板垣精治郎君　兵庫縣武庫郡精道村芦屋藤ヶ谷1423ノ1
村山　三郎君　朝鮮江原道三陟郡北三面北坪里26（三陟開發株式會社 石灰窒素工場建設事務所）

地方會員

坪井　善勝君　福岡市外箱崎町九大建築課（九大工學部講師）
元吉勇太郎君　京城府明倫町3ノ110
小栗　治平君　名古屋市千種區小松町 5ノ19
城下　政登君　奉天加茂町16　大林組奉天出張所
澤野　謙君　東京市豐島區西巢鴨 2ノ2401（文部省宗教局國寶保存課）
井戶田國松君　名古屋市東區葵町22
石橋三四二君　東京市豐島區長崎南町 3ノ4126
大山　昇君　府下北河內郡南鄉村諸福 119
小林市太郎君　大牟田市本町 4ノ94
園部　泰文君　東京市豐島區長崎南町 1ノ1893
辻本　三郎君　奈良市三條池町606 榊原方
德田　嘉作君　八幡市竹下町6ノ939
森野　和夫君　京城府青葉町1ノ100

特別贊助員

上田豐太郎君　旭區今市町50
岡田　昌二君　阪急沿線園田住宅14號
小早川彥一君　兵庫縣川邊郡園田村阪急經營地
高戶　紳爾君　住吉區住吉町1637
細江　和足君　港區八幡屋中通3ノ100
森田　政彌君　旭區放出町 222

普通贊助員

池田　晃也君　宮崎縣都城市中町1丁目 都城郵便局大倉土木株式會社作業所
大倉　荒吉君　小倉市城野町85
大鳥居　正君　京都市下京區大宮通四條南
田村　忠雄君　奈良縣生駒郡法隆寺村並松（法隆寺國寶保存工事事務所）
伴仲　信次君　西淀川區野里町 738
增田卯之吉君　西成區小濱本町 3ノ10
田中　慶三君　東區內本町2丁目 大阪府營繕課出張所
早川　健次君　京都市左京區淨土寺南田町 111
森村　茂樹君　東京市淀橋區柏木4ノ911
吉澤　千吉君　東京市城東區大島町6ノ50 東京鋼材株式會社建築場竹中工務店出張所
和中　直一君　尾道市土堂町 902
佐伯　和男君　米子市道笑町 1丁目　住田方
關口鐵太郎君　京都市左京區松ヶ崎柳井田町10ノ2
中西　甚一君　兵庫縣明石郡垂水町西垂水70
福田　峯雄君　住吉區北加賀屋町41
馬庭　省吾君　府下吹田町 1272ノ1
松本　秀雄君　神戶市中山手通7ノ406斗里由次郎方

森　歡之助君　千葉縣松戸町小山 312
山本　森義君　神戸市北長狹通1丁目 阪急改造工事建築壽竹中工務店出張所
井奥　進君　名古屋市東區大幸町沖中三菱重工業建築壽竹中工務店出張所
清原　勝君　鹿兒島縣大島郡知名村芦清良

改　姓　名

會　員

伴　潔君（舊姓　宇津木）
畠中　眞君（舊姓　高　橋）
近藤泰次郎君（舊名　鯛次郎）

死　亡

名譽贊助員

伊藤　眞雄君（昭和12年10月8日逝去）

終身贊助員

豐島　停雲君（昭和12年8月14日逝去）

普通贊助員

大內　重夫君（昭和12年8月27日逝去）

（謹んで哀悼の意を表す）



本協會十月例會淀川渡船風景

編輯後記

★日支事變を眼前にして、國内の資源節約と統制の波は、鋼鐵の大節約を必要とした今日、〝オリムピック東京大會は何處へ行く〟〝皇紀2600年を記念する事業の可能性は？〟そして最後に本年十月より施行を見た〝防空法の行衛は〟と云ふ樣な疑問を現代の空氣を呼吸して非常時日本で生活してゐる者で持たない者は一人も居らなからう。ところで、これ等の諸問題を取り擧げて諸大家に御執筆を願つて得た玉稿は、以上の疑問を解き得る有力なる資料の一であると信ずる。

★岸田先生の血を吐く樣な東京オリムピック施設への熱望と謂ひN・S・R（日本水上競技聯盟）を代表する松澤氏の主張と謂ひ共に、實現するであらう處のオリムピック東京大會に對して忘るゝ事の出來ない貴重な記錄であると信ずる。又、小宮氏のオリムピック村に對する試案の中に盛られてゐる要望は、勤勞者への廉價住宅の供給としての試案とも看做し得て興味頗る大なるものがある。小林政一先生の外苑の改造に關する玉稿は、外苑競技場の育ての親として執筆者自身に感慨の深いものがありませうが又讀者としても聖德繪畫館を中心とした外苑の運動競技施設が改造されるものとするならば惜別の感なきにしもあらずであらう。藝術競技も石原氏の說の如くまことに淋しい感がしないではない然し吾々は更に自各の氣持をエンカレーヂさせ來るべき競技に備へたいと思ふ。

★福田先生及本多次郎氏の〝日本萬博〟への玉稿は、現代日本がなし得る萬博の規模內容を窺知し得る處の興味ある資料であり、又小林隆德氏の〝防空法〟制定までの經過報告と謂ひ、加藤得三郎氏以下熊井安義氏、芦浦義雄氏等の防空研究に關するエキスパート達による御報告は共に現代社會を流るゝ重要トピックスの一として貴重な資料たるを疑はぬ。又時報欄に於ける「日本の防空」、「都市空襲の實例」、或は又「鐵骨の經濟的配置」等の海外記事はいづれも時機を得たニュースである。

★最後に新名氏による〝時局と技術者〟及び竹內文彬氏の〝戰時經濟體制を中心として〟はいづれも時局ものとして我々の一讀に興する興味ある論述である。

★以上の如く豫期以上の玉章を集め得たのは、いづれも時局重大の折りから、執筆者諸大家が『建築と社會』の持つ社會的使命の重大さを御認識下さつて、御多忙のところ玉章を賜つたものと信じ頗る意を强うしてゐる次第である。尙ほ本號は中野順次郎氏協力による編輯である事をお斷り致します。（龜井記）

建築と社會

第20輯　第11號

毎月1回1日發行　定價　1冊　50錢（郵稅3錢）　12冊　6圓（〃　36錢）

昭和12年10月25日印刷　昭和12年11月1日發行

發行・編輯　印刷人　小板常男　大阪市北區朝日ビル日本建築協會內

印刷所　プラトン印刷社　大阪市西區江戸堀南通2丁目13番地

發行所　財團法人　日本建築協會　大阪市北區中之島3ノ3朝日ビル　電話長北濱(23)4501番(9)　振替口座大阪39975番

特約販賣店　柳々堂書店　大阪市西區京町堀羽子板橋西　電話土佐堀2440番　振替口座大阪2084番

禁轉載

本號に掲載せるものは、一切これを無斷にて轉載し又は單行本に上梓その他の複製行爲をなすことを禁ず。

廣告掲載料金

普通	1頁	1回	15,00
普通	½頁	1回	8,00
普通（前附第1頁）	i頁	1回	45,00
普通（前附第2頁）	1頁	1回	40,00
普通（後附第1及最終頁）	1頁	1回	25,00
アート（中挿）	½頁	1回	20,00
表紙2	1頁	1回	60,00
表紙3	1頁	1回	45,00
表紙4	1頁	1回	80,00
建築事務所錄	1欄	1回	1,50
（建築關係業者案內）	1欄	1回	5,00

廣告掲載御申込は本會へ直接願ひます。
本誌購讀御注文はすべて前金で本會直接又は特約店へ、振替貯金又は爲替で御拂込を願ひます。郵券代用は一割增、代金引換はお斷り致します。

建築と社會第20輯第11號　廣告索引

ア　旭硝子株式會社……14
　　淺野スレート株式會社……34
　　朝日建材株式會社大阪支店……表紙 2
　　阿部鐵工所……16
　　有田製陶所出張店……49
イ　岩元工業株式會社……22
エ　榮進社……45
　　英進商會……27
　　荏原製作所……49
オ　大阪窯業セメント株式會社……中挿
　　大阪伊丹商店……44
　　大阪組立コンクリート製作所……29
　　大野製作所……前附 1
　　奥村重兵衛商店……43
　　岡田建材店……19
キ　桐田商會……40
　　協和製作所……36
ク　黒川化學工業所……42
　　久保商店……36
　　建盛商會……17
　　窪島プレス工業所……50
サ　佐渡島酉店……31
　　佐久間パブコ工業株式會社……39
　　坂本商會大阪支店……27
　　坂田ベンチレーター製作所……30
ス　須賀商會……41
セ　政正合資會社……46
　　清光社……30
タ　田島應用化學工業所大阪支店……前附 4
　　大和工業株式會社……10. 11
　　大洋組建材部……44
　　ダンロップ護謨株式會社……中挿
　　田村商會建築材料部……15
　　田中昌司商店……17
チ　チヨーホー商會……19
ト　東洋リノリユーム株式會社……23
　　東邦建材工業所……49
　　東京電氣株式會社……48
　　巴　商　會……18
　　東洋陶器株式會社大阪出張所……24
ナ　内外土木建築材料合資會社……35
　　南滿鑛業株式會社……37
ニ　日本建築紙工株式會社……22
　　日本放熱器商會大阪支店……21
　　日東物産株式會社……33
　　日本機械工業株式會社大阪支店……12
　　西原衛生工業所……47
　　西孫南店建築金物部……35
ノ　野澤幸三郎商店……26
ヒ　平松釣戸車製造所……32
ホ　邦光化學工業所……20
マ　松井商店……29
　　松下電器株式會社コンデツト部……13
ミ　三井物産株式會社……25
ヤ　矢橋大理石商店……42
　　大和護謨製作所……28
ヨ　横河橋梁製作所……38
　　米本榮商店……32
　　米原商店……46
リ　理化學興業株式會社……前附 3
レ　玲光社(木内眞太郎)……37